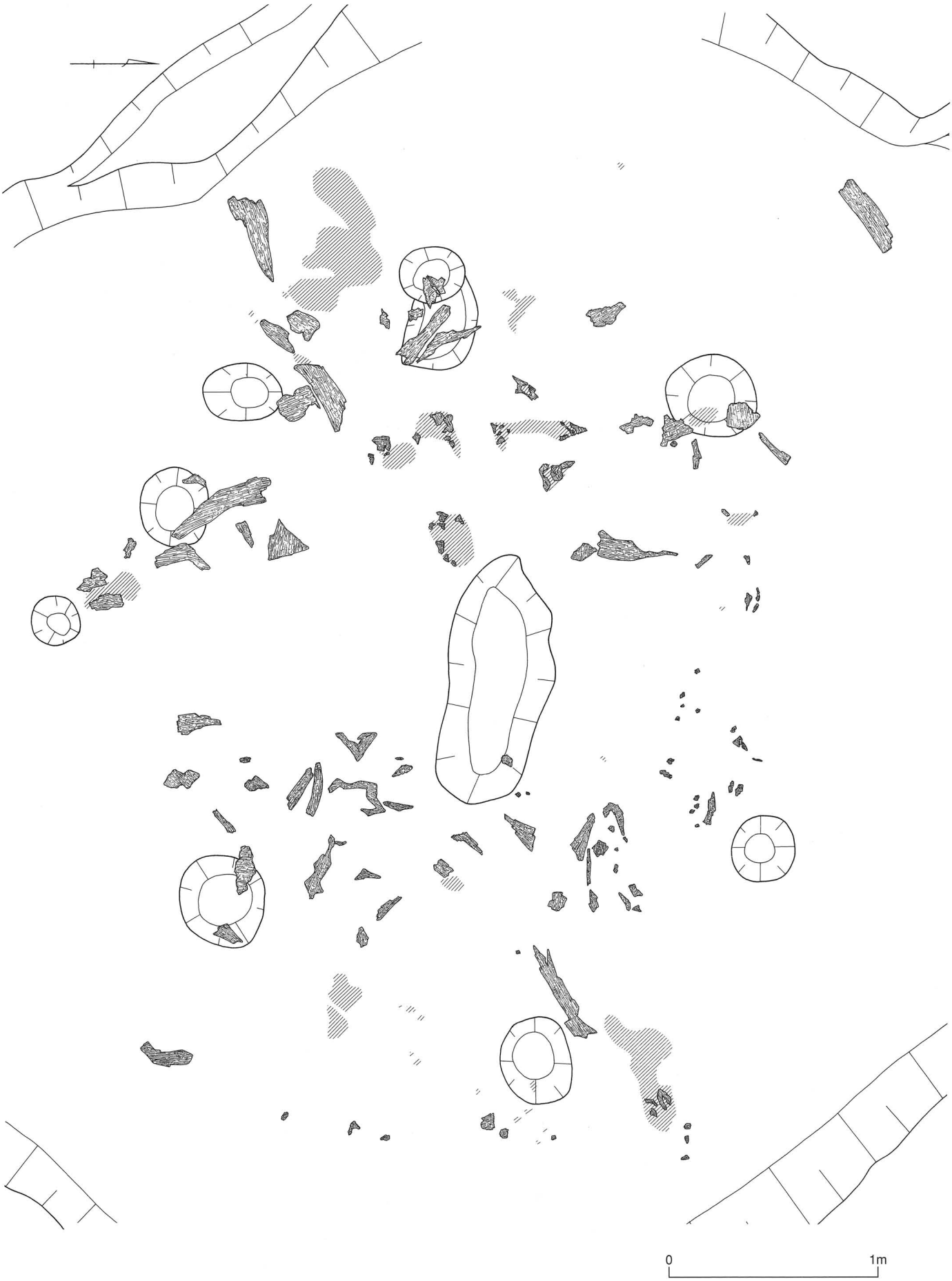
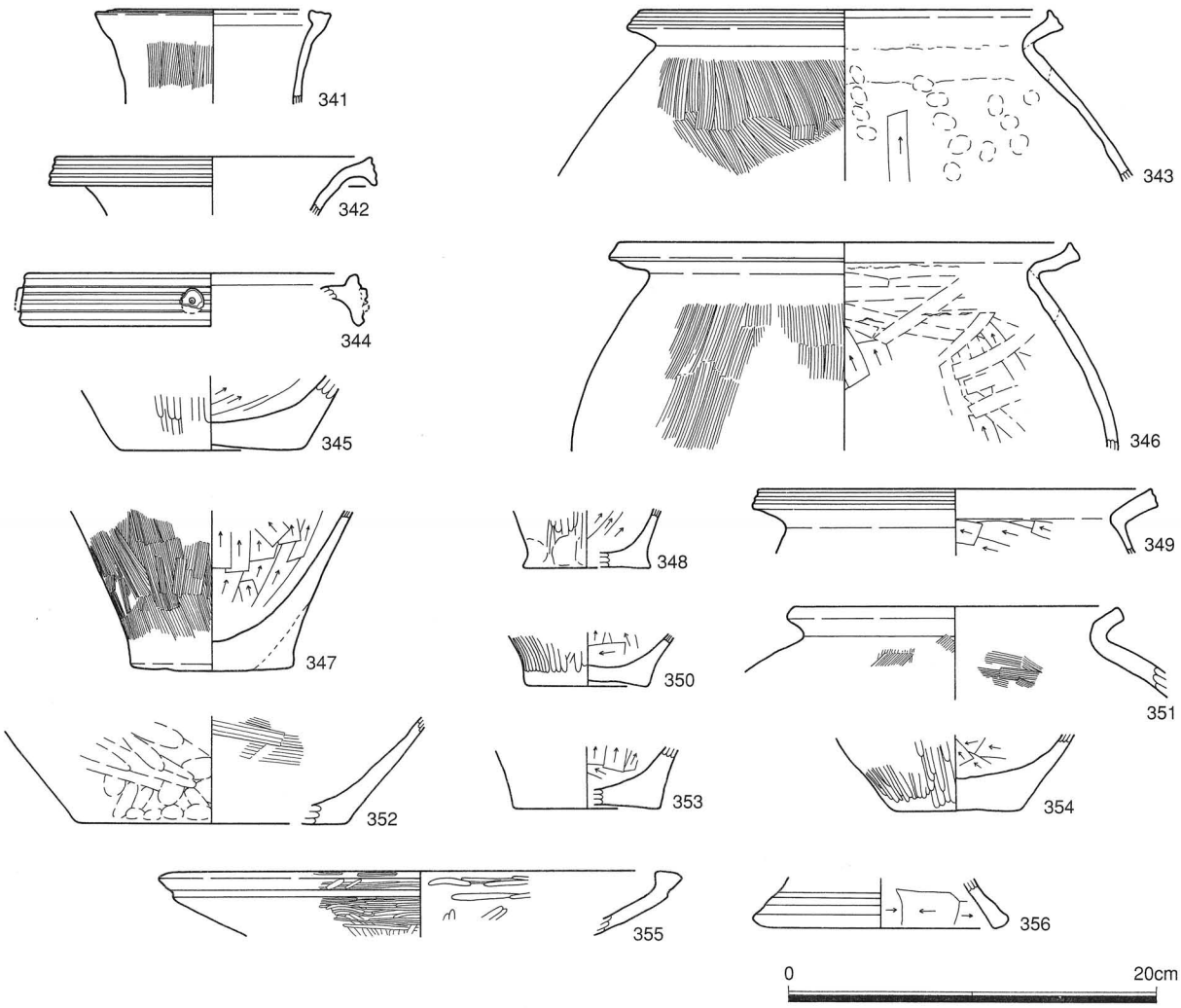
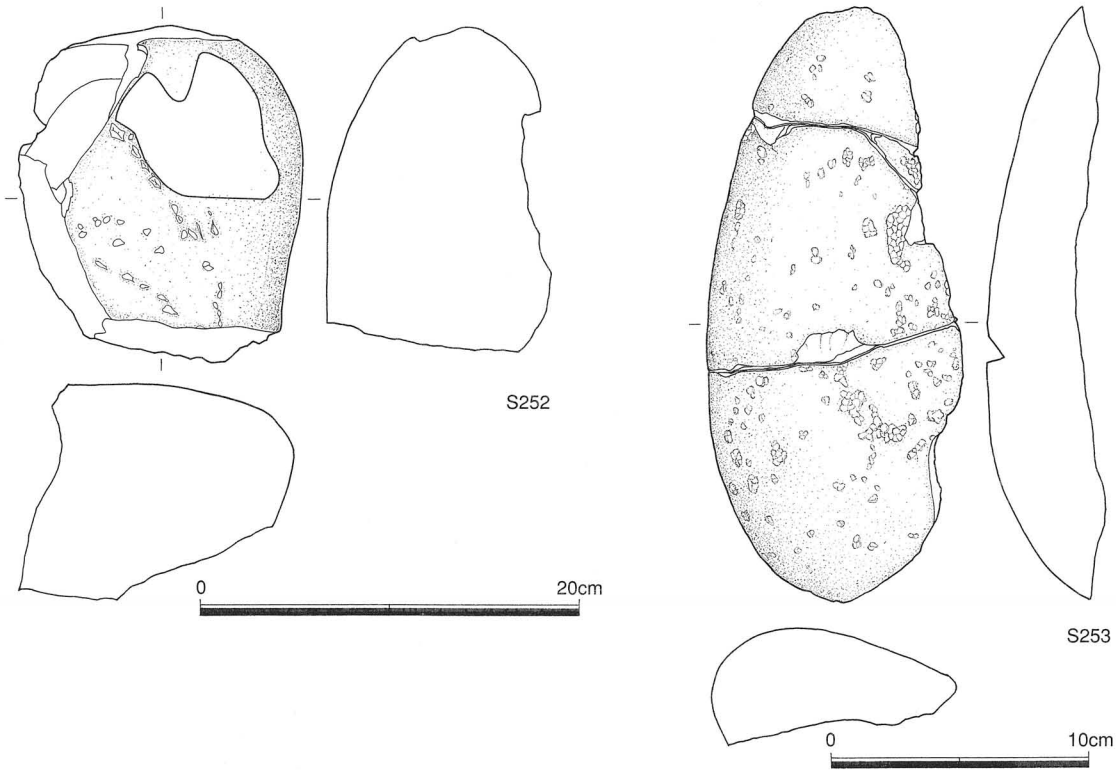


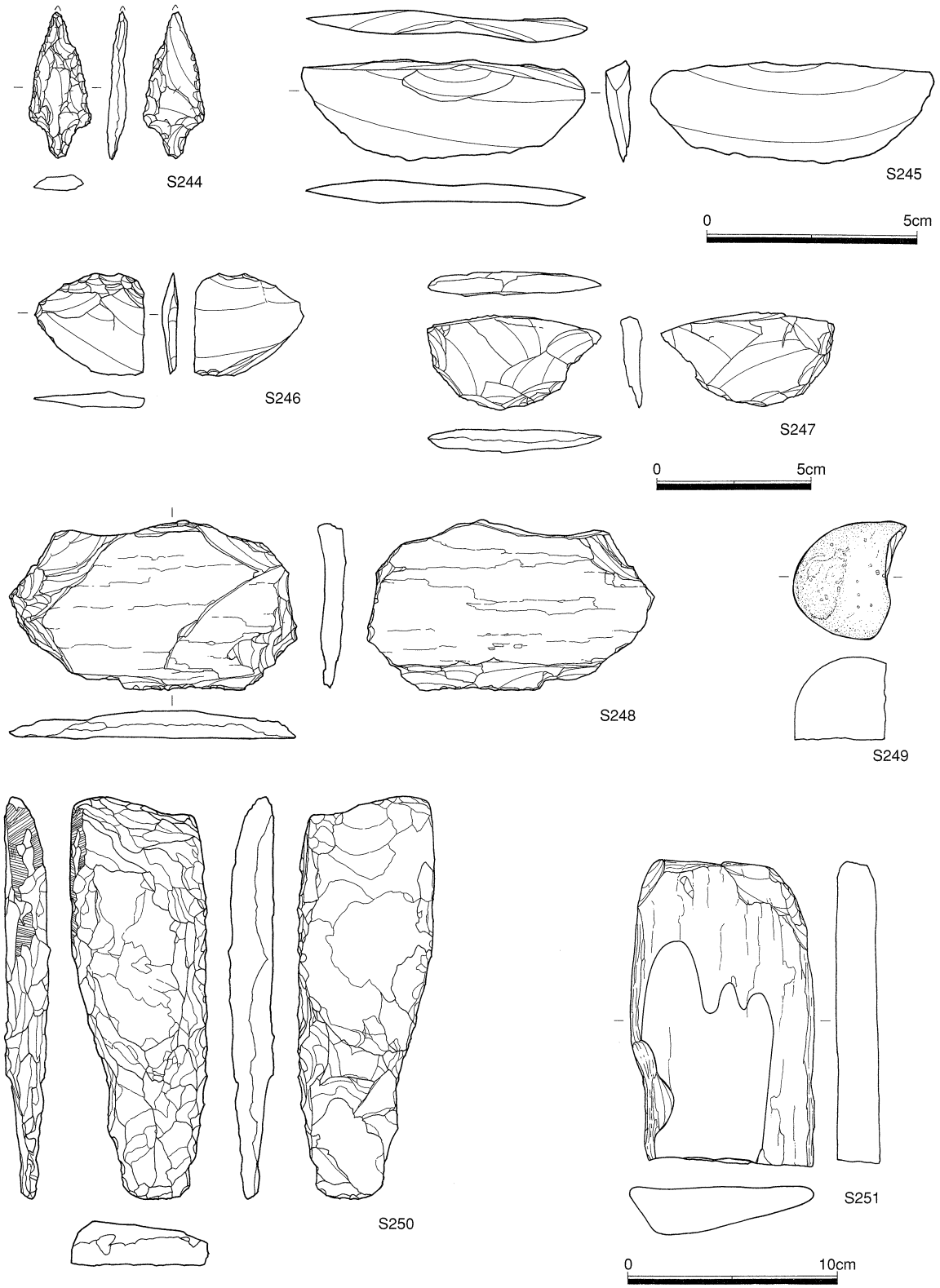
第129図　SB2035焼土、炭化材出土状況図（S＝1/25）



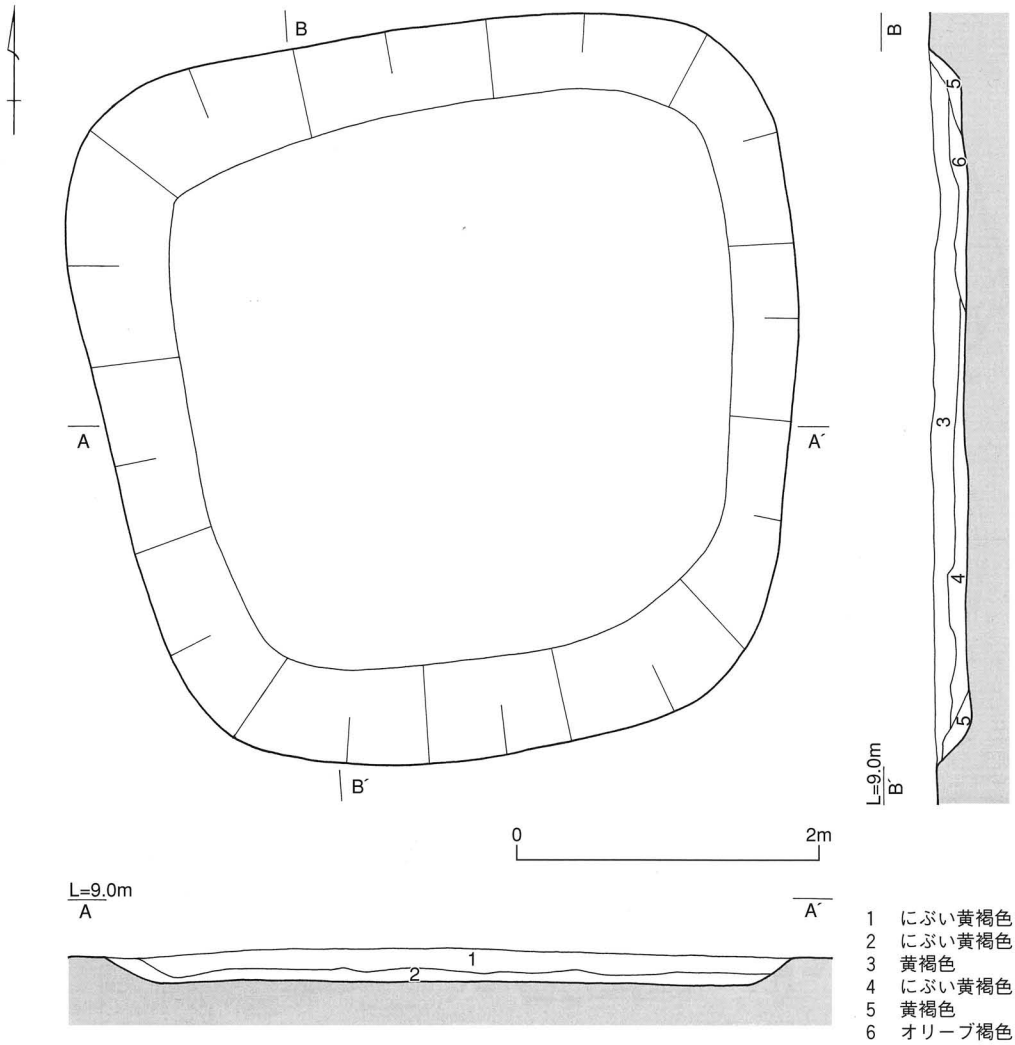
第130図　SB2035出土土器



第131図　SB2035出土石器（1）



第132図　SB2035出土石器（２）



1	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土
2	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土
3	黄褐色	2.5Y5/3	粘質土
4	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘質土
5	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土
6	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土

第133図　SB2036平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2036）

位置　10区　Loc.D２　εⅠ・Ⅱ　mn20～１

平面形　隅丸方形

床面積　12.0㎡

土層　６層

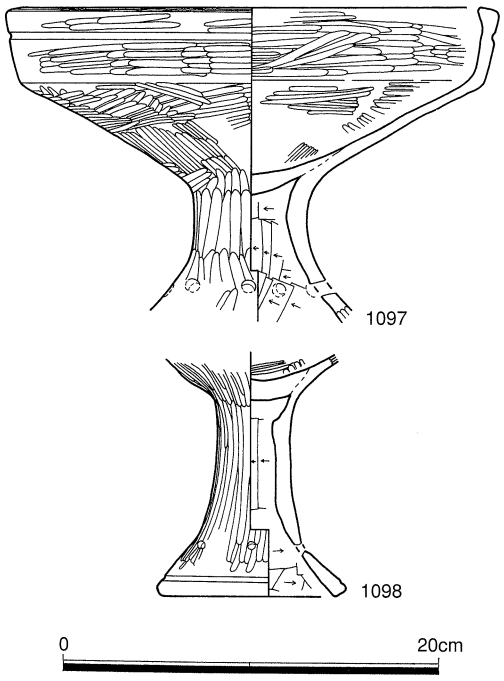
主柱穴　確認されていない。

炉跡　確認されていない。　　**施設**　確認されていない。

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できたのは、高杯の２点である。

時期　弥生時代中期後半

備考　主柱穴、炉跡が確認できなかったこともあり、竪穴住居跡と断定はできない。



第134図　SB2036出土土器

竪穴住居跡（SB2037）

位置　10区　Loc.D２　εⅡ　pq１～３

平面形　円形もしくは楕円形である。（２度の建て替えで、１～３次住居と認識できる。）

床面積　46.8㎡

土層　44層

主柱穴　EP１～13の13基（径30～50㎝、深さ15～45㎝）

炉跡　EH１～４の４基

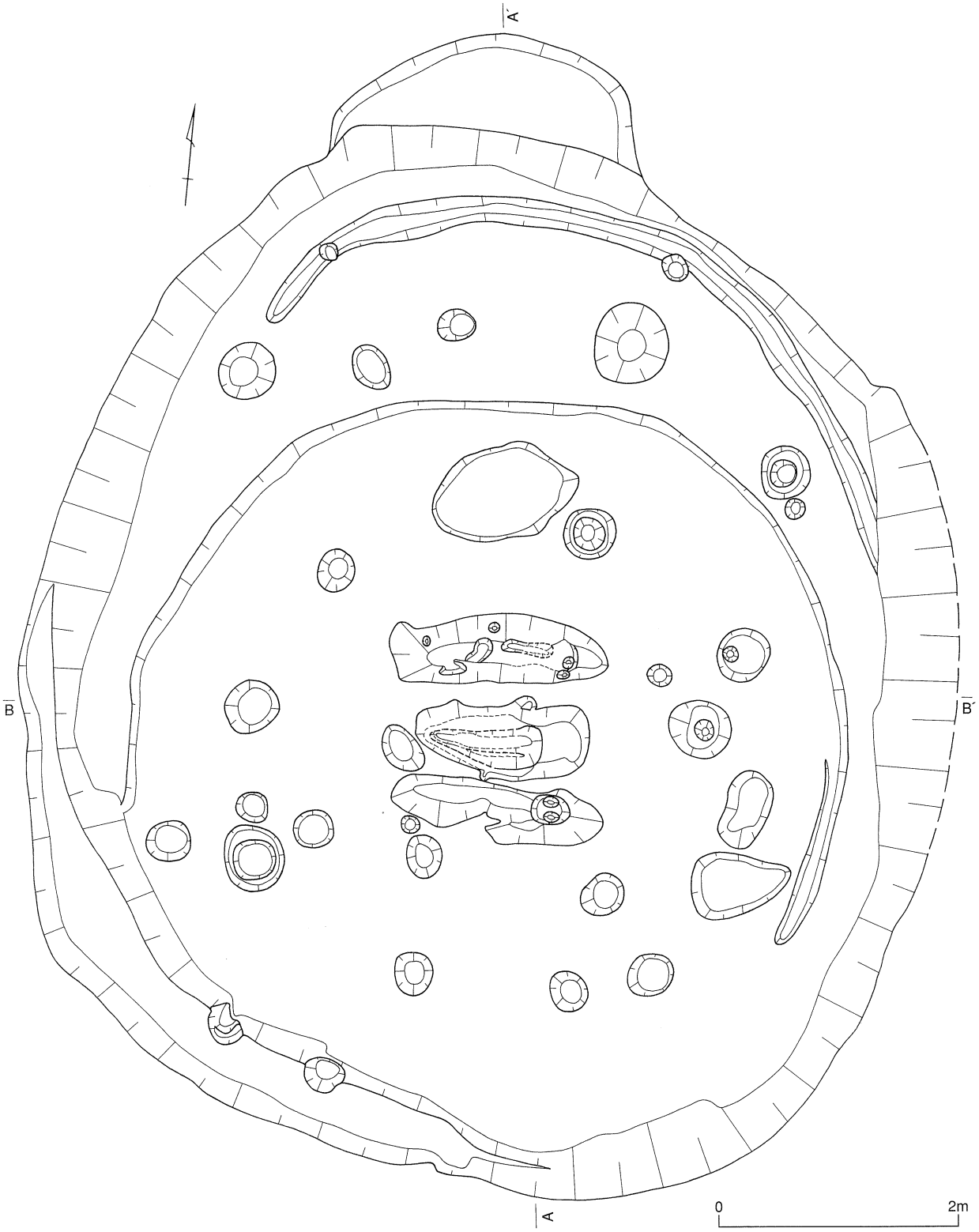
施設　周壁溝、張り出し部、高床部、ピット、土坑

遺物出土状況　かなりの量の遺物が出土している。本報告書に図示した遺物の約１割は、SB2037からの出土である。また、種類も豊富で、土器、石器、鉄器、ガラス玉、管玉が検出されている。土層堆積状況が複雑で、１～３次住居それぞれに所属する遺物を明確に分離できなっかった。ただし、遺物出土状況図にあるように、大部分の遺物は、３次住居の床面直上から出土している。また、２次住居出土土器と３次住居出土土器に型式学的な様式差は認められない。したがって、SB2037出土遺物は他の遺構と比べて、良好な一括出土遺物と考えられる。

時期　弥生時代中期末

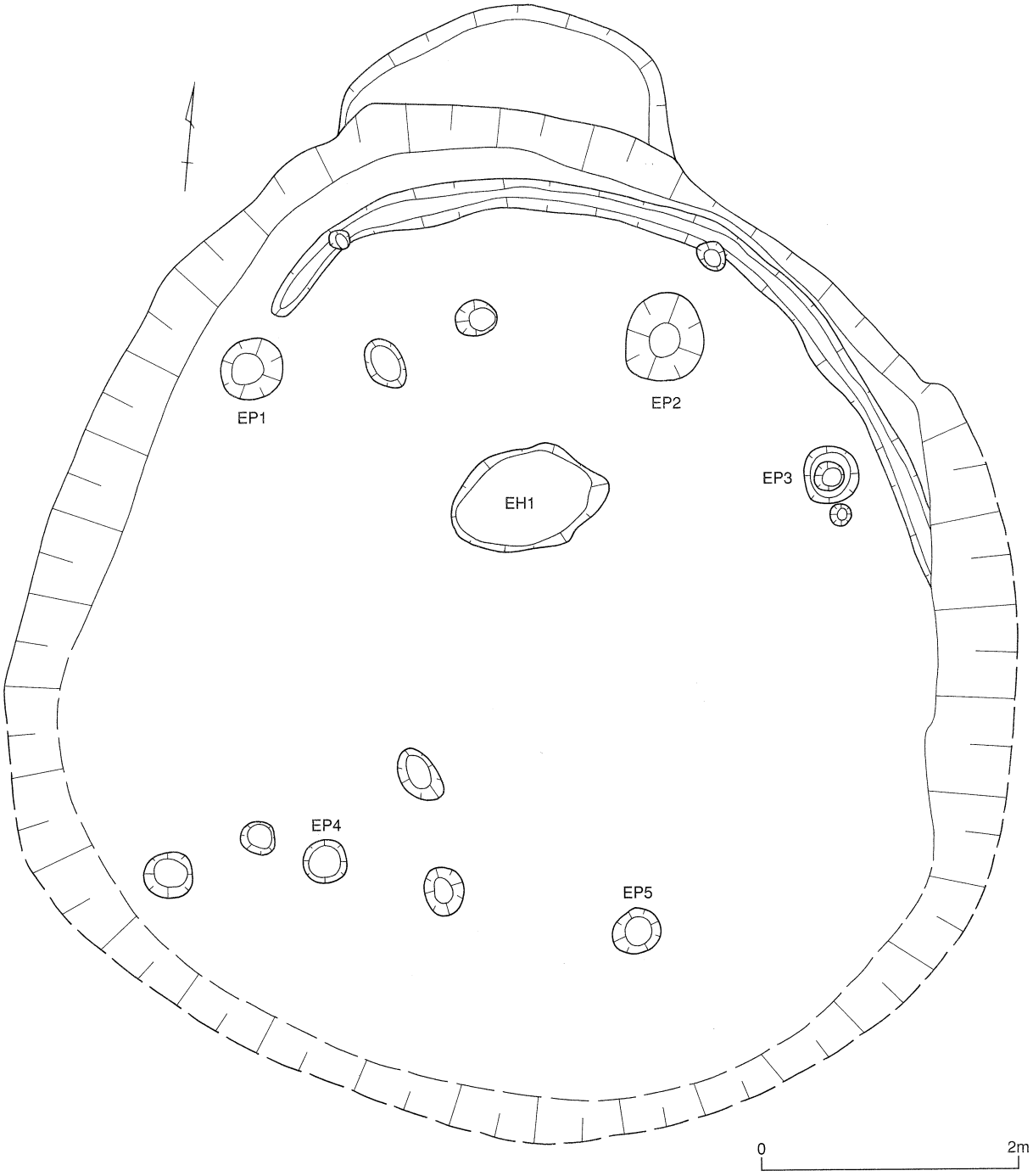
備考　断面観察から２回の建て替え作業を行っており、古い方から１次住居、２次住居、３次住居として区別した。年報作成時の住居規模等と若干の相違があるが、基本的なところに変わりはない。

１次住居は、長軸750㎝、短軸660㎝の楕円形である。北側には、幅250㎝、奥行き80㎝の張り出し部が備わり、北東側の壁体に沿って、幅20㎝前後の壁溝が巡る。主柱穴は、EP１～５の５基と考えたい。炉跡EH１は、住居中央やや北寄りに位置する。長軸120㎝、短軸80㎝、深さ10㎝以下で遺存状態は悪い。２～３次住居構築時に削平を受け、基底部のみ残存していた。



第135図　SB2037平面図（S＝1/50）

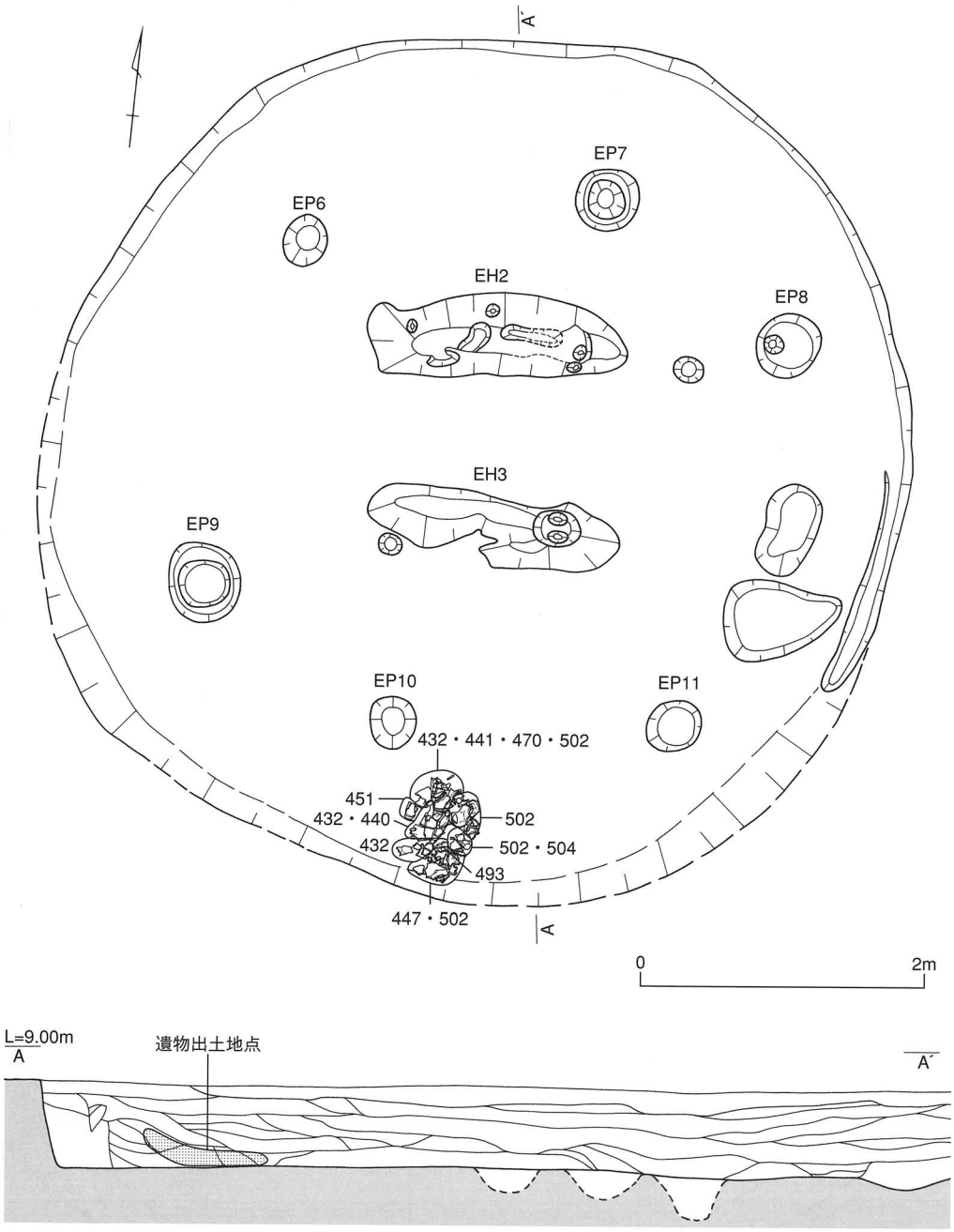
２次住居は、長軸620cm、短軸610cmのほぼ円形を呈する。主柱穴はEP6～11までの６基と考えられる。炉跡EH2、EH3は、長軸180cm、短軸30cmの長楕円形で、深さ50cmを測る。覆土は複雑な堆積状況を示しており、単なる煮炊きのために使用された炉跡でないことがわかる。炭化物、焼土を多量に含ん



第136図　SB2037第１次住居平面図（S＝1/50）

でおり、また、微細な鉄片なども含まれていることからも鍛冶遺構と認定できる。炉跡以外には、土坑、ピットが確認できた。また、住居東側縁辺の一部ではあるが、壁溝を検出している。

３次住居は、２次住居を西側に拡張し、長軸670cm、短軸610cmの楕円形を呈する。主柱穴はEP12・13の２基と考えられる。炉跡（EH４）は、長軸112cm、短軸41cmの楕円形で、最大で深さ33cmを測る。炭化物、焼土を多量に含んでいた。また微細な鉄片も多く出土していること、太型蛤刃石斧を転用し、被熱した敲石と鉄器製作に関わる砥石が出土していることからも、鍛冶炉であることがわかる。なお、出土遺物の多くは、この３次住居床面直上からの出土が多い（遺物出土状況図参照）。管玉、ガラス玉

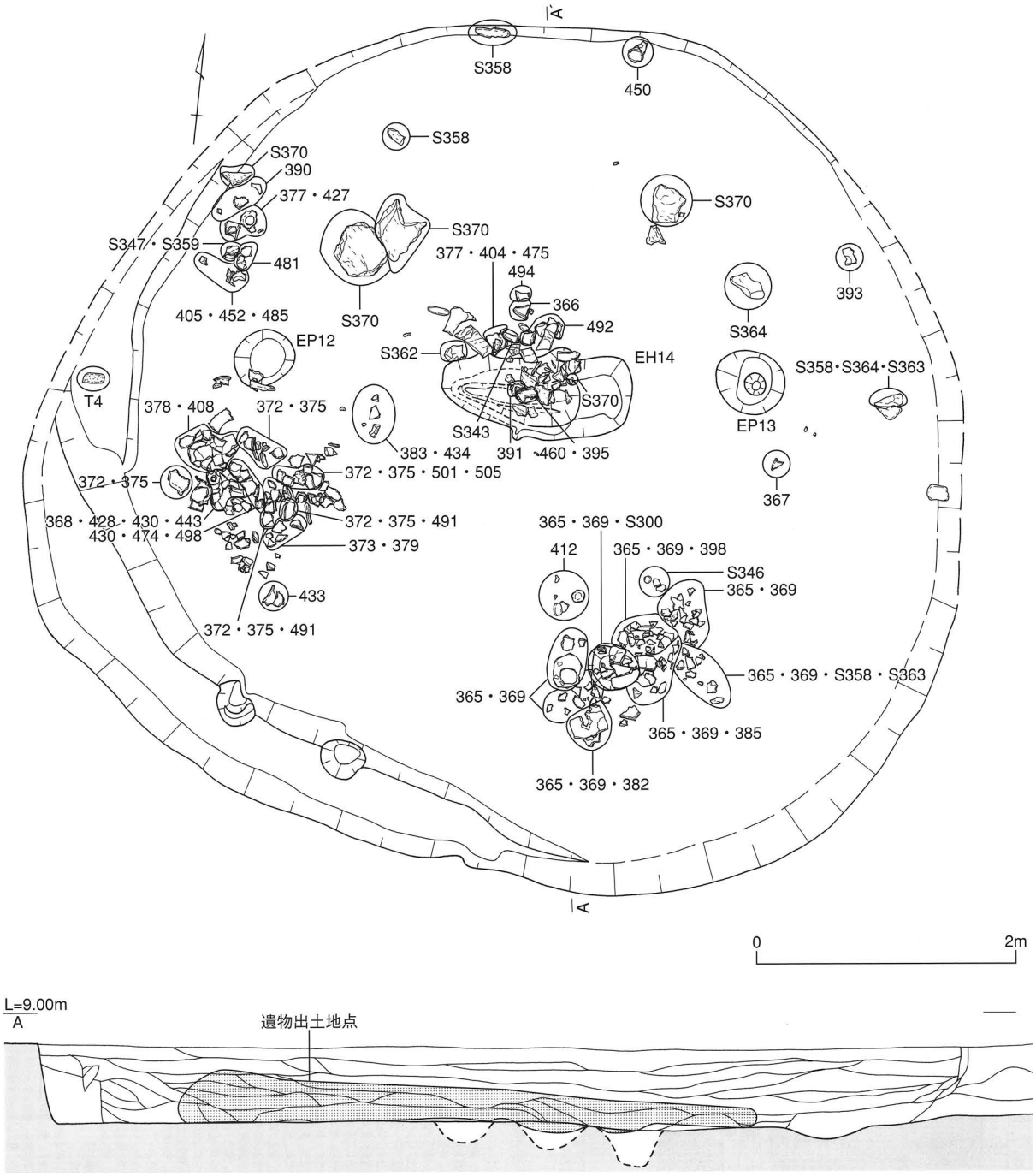


第137図　SB2037第２次住居遺物出土状況図（S＝1/50）

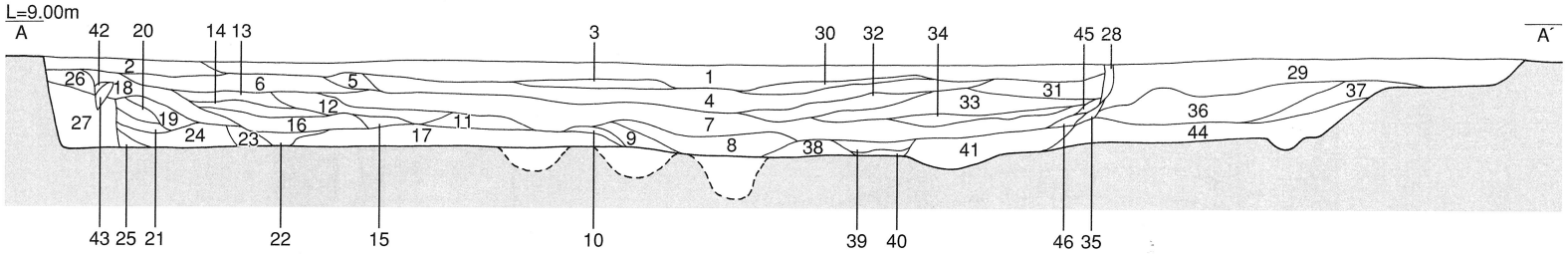
も出土している。多数出土している石器の中で、とりわけ注目されるのは、S370の台石・砥石である。重さ10kgを超える石塊が３つあり、その他接合できたものを合わせると、総重量約20kgになる。接合した中央部分には、かなり濃密に朱が付着している。残念ながら朱の精製時に使用したと考えられる石杵は見つかっていないが、３次住居で朱の精製が行われたことは疑いない。

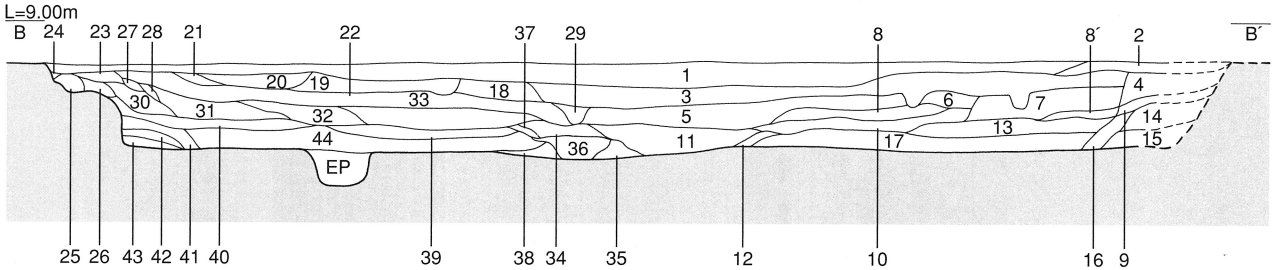
以上のような観察から、SB2037は、人が寝起きしたと考えられる住居というよりは、鉄器、石器、管玉、ガラス玉などを製作し、朱の精製を行った工房的側面が強い遺構と言えよう。

なお、台石・砥石（S362）は、後述のSB2039出土S383、S385と接合した。整理作業時の混乱の可能性は、ほとんど考えられないことから遺構を別にして、出土した石器と思われる。



第138図　SB2037第３次住居遺物出土状況図（S＝1/50）



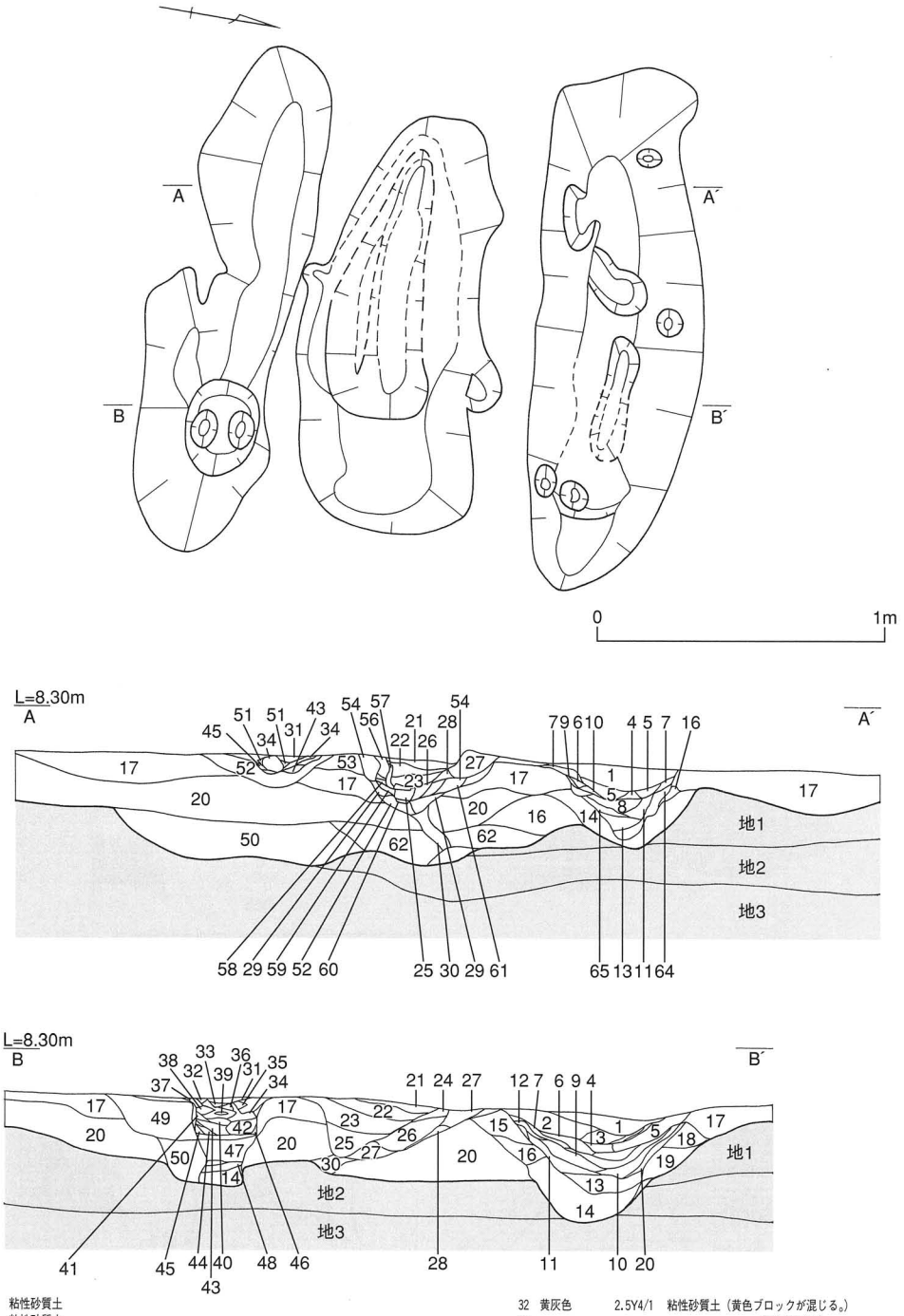


0 2m

1				(B−B`1に対応)
2	黒褐色	10YR2/3	粘質土	(マンガン粒を含む。黄土ブロックを左方に、固まりで20%含む。)
3	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(マンガン粒を含む。黄土ブロックを左方に、固まりで20%含む。)
4				(B−B`3に対応)
5	黒褐色	10YR2/3	粘性砂質土	(マンガン粒を含む。)
6	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(中型の炭化粒を含む。マンガン粒を含む)
7				(B−B`5に対応)
8				(B−B`11に対応)
9	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(大、中型の炭化粒を含む。黄土ブロックをわずかに含む。マンガン粒を含む。焼土ブロックを含む。)
10	黒褐色	10YR2/3	粘質土	(大、少型の炭化粒と炭化材を含む。焼土ブロックを含む。マンガン粒を含む。)
11	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをまばらに25%含む。マンガン粒を含む。)
12	黒褐色	10YR2/3	粘質土	(中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをごく少量含む。マンガン粒を含む。)
13	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(中型の炭化粒を含む。黄土ブロックをごく少量含む。マンガン粒を含む。)
14	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(中型の炭化粒を含む。黄土ブロックをごく少量含む。マンガン粒を含む。)
15	暗灰黄色	2.5Y4/2	粘質土	(中型の炭化粒をわずかに含む。黄土ブロックを10%含む。マンガン粒を含む。わずかに焼土ブロックを含む。)
16	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをまばらに3%含む。マンガン粒を含む。)
17	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをまばらに30%含む。マンガン粒を含む。焼土ブロックをわずかに含む。)
18	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックを左方に固まりで5%含む。まばらに3%ふくむ。)
19	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをまばらに3%含む。マンガン粒を含む。)
20	黒褐色	10YR2/3	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをまばらに5%含む。マンガン粒を含む。)
21	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックを5%含む。マンガン粒を含む。)
22	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックをわずかに含む。マンガン粒を含む。)
23	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックを5%含む。マンガン粒を含む。)
24	黒褐色	10YR2/3	粘質土	(大、中型の炭化粒を含む。炭化材を含む。黄土ブロックをまばらに15%含む。マンガン粒を含む。焼土ブロックを含む。)
25	褐色	10YR4/4	粘質土	(大、中型の炭化粒を含む。黄土ブロックを60%含む。)
26	明黄褐色	2.5Y7/6	粘質土	(地山の土と思われる。マンガン粒を含む。)
27	明黄褐色	2.5Y6/6	粘質土	(地山の土と思われる。マンガン粒を含む。)
28	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	[(黄土ブロック) マンガン粒を含む。]
29	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(中、少型の炭化粒を含む。マンガン粒を多量に含む。)
30	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(小型の炭化物を極少量含む。)
31	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	(中型の炭化粒をわずかに含む。マンガン粒を含む。)
32	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(少、中型の炭化粒をわずかに含む。マンガン粒を含む。)
33	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(少、中型の炭化粒を含む。マンガン粒を含む。)
34	黒褐色	10YR3/2	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。)
35	黒褐色	10YR3/2	粘質土	(少型の炭化粒を極少量含む。)
36	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質土	[中、少型の炭化粒を含む。黄土ブロックを (5%) 含む。マンガン粒を含む。]
37	にぶい黄褐色	2.5Y5/3	粘質土	[少型の炭化粒をわずかに含む。黄土ブロックを (5%) 含む。マンガン粒を含む。]
38	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(大、中型の炭化粒をわずかに含む。黄土ブロックを10%含む。)
39	黒褐色	10YR3/2	粘質土	(中型の炭化粒を極少量含む。黄土ブロックを極少量含む。)
40	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(黄土ブロックをわずかに含む。)
41	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(中型の炭化粒を多量に含む黄土ブロックをまばらに10%含む。)
42	黄褐色	2.5Y5/4	粘質土	(地山の土と思われる。マンガン粒を含む。)
43	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(中型の炭化粒を少量に含む。マンガン粒を含む。)
44	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質土	[中型の炭化粒を含む。黄土ブロックを (10%) 含む。マンガン粒を含む。]
45	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(小型の炭化粒をわずかに含む。マンガン粒をわずかに含む。)
46	黒褐色	10YR2/3	粘性砂質土	(少、中型の炭化粒をわずかに含む。マンガン粒をわずかに含む。黄土ブロックをひとかたまりで25%含む。)

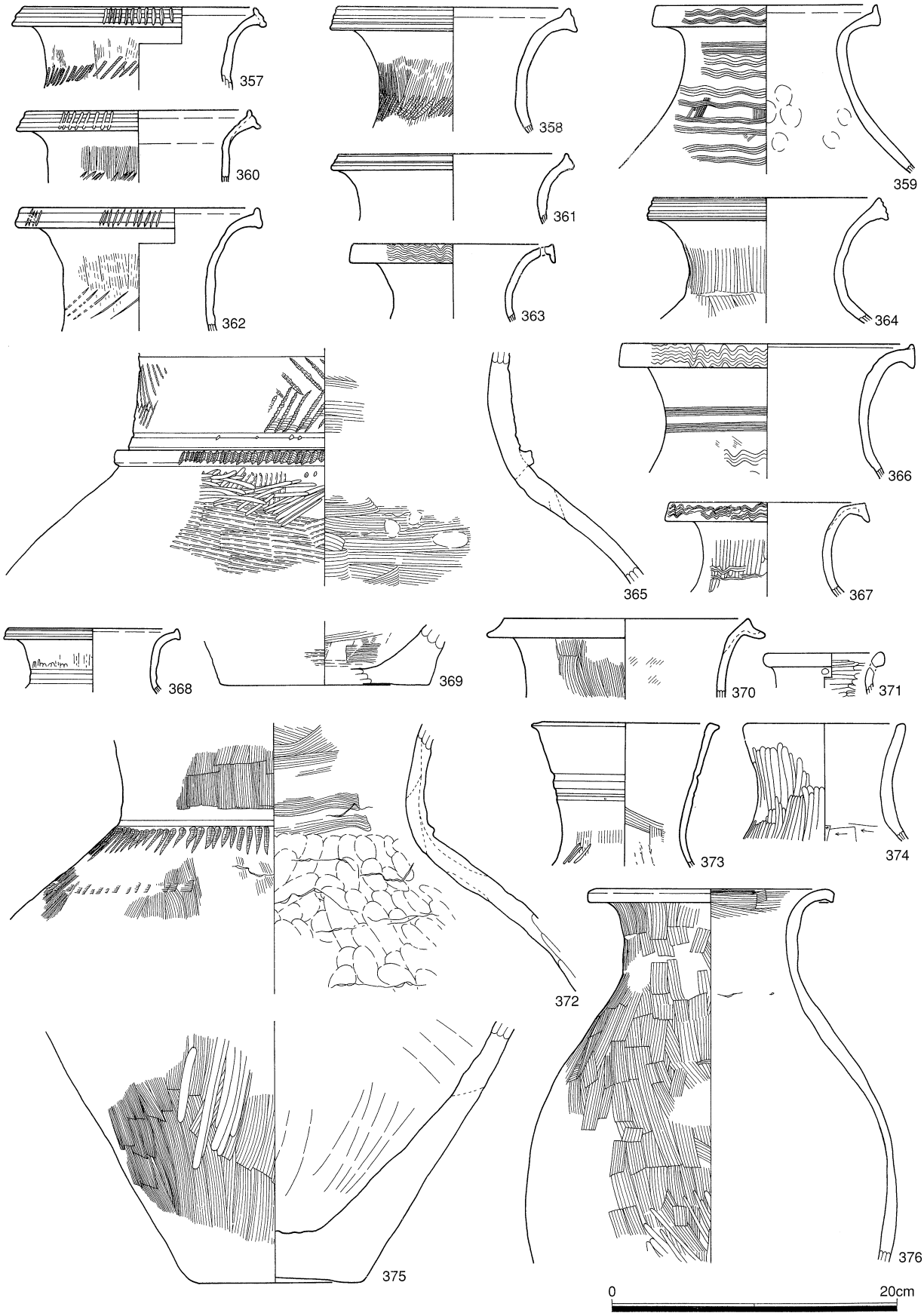
1	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(マンガン粒を多量に含む。)
2	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	(マンガン粒を多量に含む。)
3	黒褐色	10YR3/2	粘性砂質土	[わずかに炭化粒を含む。マンガン粒を多量に含む。一部に黄土ブロックを含む。(4cm×10cm)]
4	暗褐色	10YR3/3	粘性砂質土	(わずかに炭化粒を含む。マンガン粒を多量に含む。)
5	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	[炭化物 (大型、小型) を含む。マンガン粒を多量に含む。]
6				(A−A`5に対応)
7	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(マンガン粒をに含む。少、中、大型の炭化物を多量に含む。黄土ブロックをわずかに含む。)
8	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	(0.5cm〜1.5cmの炭化物を多量に含む。)
9	黒褐色	10YR3/2	粘性砂質土	(黄土ブロックを含む (30%)。少量の炭化物を含む。)
10	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(大、中、少型の炭化粒を含む。マンガン粒を含む。黄土ブロックをわずかに含む。)
11	暗褐色	10YR3/4	粘質土	[中型の炭化粒を含む。黄土ブロックを含む。(5%)]
12	黒褐色	10YR3/2	粘質土	(中型の炭化粒を含む。)
13	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(少、中型の炭化粒を含む。黄土ブロックをわずかに含む。)
14	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	[炭化粒を多量に含む。黄土ブロックを含む。(5%)]
15	明黄褐色	2.5Y6/8	粘質土	(地山の土と思われる。マンガン粒を含む。)
16	暗褐色	10YR3/3	粘質土	[少型の炭化粒を含む。黄土ブロックを (5%) 含む。]
17	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	(大型、中型の炭化粒を多量に含む。黄土ブロックを10%含む。)
18	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	(0.1cmの炭化粒をわずかに含む。)
19	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(0.5cmの炭化粒を含む。)
20	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(0.5cmの炭化粒を1個あり。)
21	黄褐色	2.5Y5/3	粘質土	(0.3cm〜0.6cmの炭化粒をわずかに含む。)
22	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(0.5cm〜0.8cmの炭化物粒含む。0.5×1.0の焼土ブロックをわずかに含む。)
23	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘質土	(マンガン粒)
24	灰黄褐色	10YR5/2	粘質土	(マンガン粒)
25	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(マンガン粒)
26	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	[0.2cmの炭化粒をわずかに含む (1個あり)]
27	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(マンガン粒を多量に含む。)
28	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘質土	(0.5cm〜0.8cmの炭化粒一コあり。マンガン粒を多量に含む。)
29	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	粘質土	(0.3cm〜1.0cmの炭化粒を多量、0.5cmの焼土ブロックを含む。)
30	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(0.1cm〜0.3cmの炭化粒を含む。焼土ブロックをわずかに含む。)
31	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(0.3cm〜1.5cmの炭化粒を含む。焼土ブロックをわずかに含む。)
32	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質土	(0.5cmの炭化粒をわずかに含む。1.0cmの焼土ブロックを一カ所含む。)
33	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(0.5cm〜1.0cmの炭化粒を多量に含む。焼土ブロックをわずか含む。)
34	暗褐色	10YR3/4	粘質土	(1.5cmの炭化粒を四コ含む。1.0cmの焼土ブロックをわずかに含む。)
35	明黄褐色	2.5Y6/6	粘質土	(黄土ブロックを90%含む。0.2cmの炭化粒を少量含む。)
36	暗褐色	10YR3/3	粘質土	(0.5cm〜1.0cmの炭化粒を含む。0.5〜1.0cm焼土ブロックをわずか含む。黄土ブロックをまばらに含む。)
37	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(黄土ブロックを70%含む。0.1cm〜0.3cmの炭化粒を含む。0.1cmの焼土ブロックをわずかに含む。)
38	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	[炭化材 (0.3×2.5cm) を含む。0.5cmの炭化粒を含む。]
39	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(0.5cmの炭化粒を多量に含む。黄土ブロックをわずかに含む。)
40	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	(0.5cm〜1.0cmの炭化粒を含む。黄土ブロックをわずかに含む。)
41	明黄褐色	2.5Y6/6	粘質土	(0.5cmの炭化粒をわずかに含む。(黄土ブロック)]
42	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(0.5cmの炭化粒をわずかに含む。0.1cmの黄土ブロックを30%含む。)
43	褐色	10YR4/4	粘質土	(0.1cmの炭化粒が一個あり)
44	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(0.5cm〜1.0cmの炭化粒を多量に含む。黄土ブロックを5%含む。)

第139図　SB2037断面図（S=1/50）

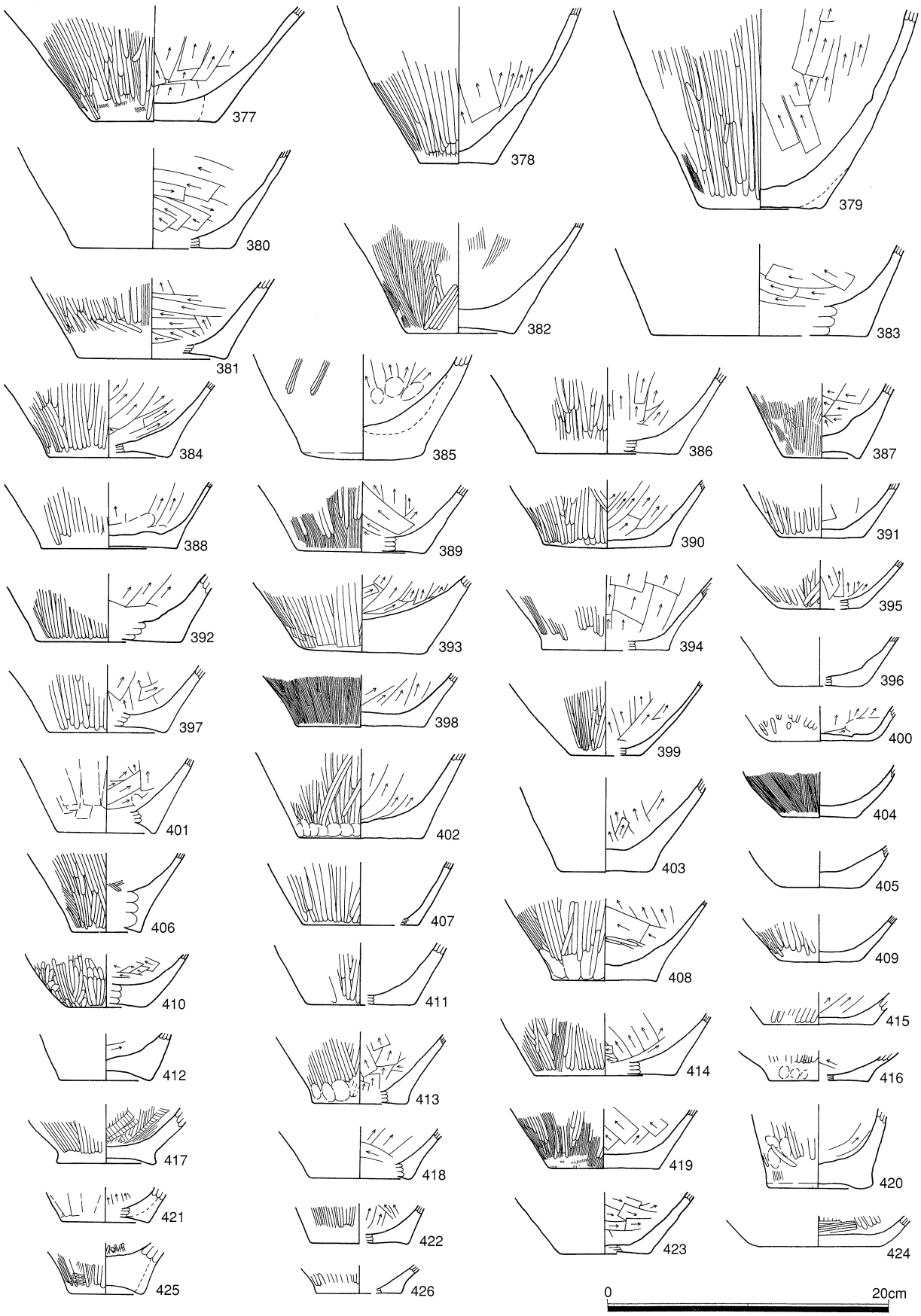


地1	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	
地2	黄色	2.5Y7/8	粘性砂質土	
地3	明黄褐色	2.5Y7/6	粘質土	
1	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	(鉄分粒が非常に密。炭化物、灰色粘土が若干ブロック状に混入。鍛造剥片を含む。)
2	褐灰色	10YR4/1	粘性砂質土	[鉄分粒が密(1より少)。炭化物、黄色粘質土が若干ブロック状に混入。鍛造剥片を含む。]
3	黒褐色	10YR3/2	粘性砂質土	[鉄分粒が密 (1より少)。焼土粒、炭化粒が多い。]
4	灰黄褐色	10YR4/2	粘性砂質土	(鉄分粒が密 (1より少)。焼土粒、炭化粒はほとんど含まない。)
5	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	[地山土に炭化物を混ぜ合わせたもの。(地山土>炭化物)]
6	黒褐色	2.5Y3/2	粘性砂質土	[5層と同じ (地山土<炭化物)]
7	黄灰色	2.5Y4/1	粘性砂質土	
8	暗灰黄色	2.5Y4/2	粘性砂質土	(一部地山土がブロック状に混入。)
9	明黄褐色	2.5Y6/6	粘質土	(掘り下げの際の地1層、一部 8層の炭化分が浸。)
10	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	[炭化物 (材) と混 (地>炭)]
11	黄褐色	2.5Y5//6	粘性砂質土	[炭化物 (材) と混 (地>炭) 10層より炭化物多い。15層の砂質土が混ぜ合わせている。]
12	黄褐色	2.5Y5//6	粘性砂質土	(炭化物等一切含まず。)
13	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘性砂質土	[地山土がブロック状に混入。炭化物と互層状に混入。(炭>地)]
14	明黄褐色	2.5Y7//6	粘質土	(粘性強 地3層か? 炭化物等一切含まず。)
15	黄褐色	2.5Y5//6	砂質土	(砂質土を地1層に混合。)
16	明黄褐色	2.5Y6/8	砂質土	(地1層? 炭化物等一切含まず。)
17				(15層のこと。)
18				(16層のこと。)
19				(14層のこと。)
20	明黄褐色	10YR6/8	砂質土	[大型炭化物 (炭化材) が混じる。一部では板材?]
21	黒褐色	7.5YR3/2	砂質土	(鉄分粒が非常に密。黄色ブロックが若干混じる。鍛造剥片あり。)
22	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	(鉄分粒は少なく、炭化粒、焼土粒を比較的多く含む。黄色ブロックを比較的多く混入。)
23	暗褐色	10YR3/3	砂質土	(鉄分粒は少なく、炭化粒、焼土粒を含む。)
24	褐灰色	10YR4/1	砂質土	[鉄分粒が密。(21層よりは少ないが大型) 炭化物を含む。鍛造剥片あり。]
25	暗褐色	2.5Y3/3	砂質土	[小型黄色ブロックと炭化物が混合 (黄=炭)]
26	黒褐色	7.5YR2/2	砂質土	[小型黄色ブロックと炭化物が混合 (黄=炭)]
27	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	(鉄分粒が密。鍛造剥片あり。)
28	黄褐色	2.5Y5/6	砂質土	(炭化物等一切含まず。)
29	明黄褐色	2.5Y6/6	粘質土	(炭化物が混じる。)
30	明黄褐色	10YR6/8	砂質土	(20層よりよごれている。)
31				(2層のこと。)
32	黄灰色	2.5Y4/1	粘性砂質土	(黄色ブロックが混じる。)
33				(32層のこと)
34	褐灰色	10YR4/1	粘性砂質土	(鉄分粒含まず。炭化物、焼土粒含まない。)
35	黒褐色	10YR3/1	粘性砂質土	[焼土ブロックを含む。黄色ブロックが若干混。(黄<炭)]
36				(35層のこと)
37	黄灰色	2.5Y4/1	粘性砂質土	(鉄分粒はほとんど含まない。炭化物が下面に堆積。)
38	黄灰色	2.5Y5/1	粘質土	(黄色粘質土がブロック状に混じる。)
39				(38層)
40	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘質土	[焼土ブロック、炭化物を若干含む。(黄>炭)]
41	黄灰色	2.5Y4/1	粘性砂質土	(焼土ブロックを含む。)
42	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	(炭化粒を含む。40層と共に崩落土?)
43	褐灰色	10YR4/1	粘性砂質土	(炭化物は少なく、焼土粒を多量に含む。黄色粘質土がブロック状にまじる。)
44	褐灰色	10YR4/1	粘性砂質土	(炭化物、焼土粒は含まない。)
45	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘性砂質土	(若干の炭化物を含む。)
46	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘性砂質土	(若干の炭化物を含む。)
47	黄褐色	10YR5/6	粘性砂質土	(若干の炭化物を含む。)
48	黄褐色	10YR5/8	粘性砂質土	(若干の炭化物を含む。)
49	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(若干の炭化物を含む。)
50	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(若干の炭化物を含む。)
51	黄色	2.5Y7/8	粘質土	(炭化粒等含まず。)
52	明黄褐色	2.5Y7/6	粘性砂質土	
53	明黄褐色	2.5Y6/8	粘性砂質土	
54				(17層に準じる。やや砂が多いか?)
55				(欠番)
56	褐灰色	10YR5/1	粘性砂質土	(若干の炭化粒と多量の焼土粒を含む。)
57	褐灰色	10YR6/1	粘土	
58	褐灰色	10YR6/1	粘性砂質土	
59	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘性砂質土	(小型黄色ブロックが混じる。焼土粒がまじる。)
60	にぶい黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(若干の炭化粒を含む。)
61				(60と同じ。)
62	明黄褐色	2.5Y6/8	粘性砂質土	(小型炭化物や灰色粘質土がブロック状にまじる。)
63				(欠番)
64	明黄褐色	2.5Y6/6	粘性砂質土	(若干の炭化物がまじる。)
65	浅黄色	2.5Y7/4	粘質土	(若干の炭化物と焼土ブロック、灰色粘質土がブロック状にまじる。)

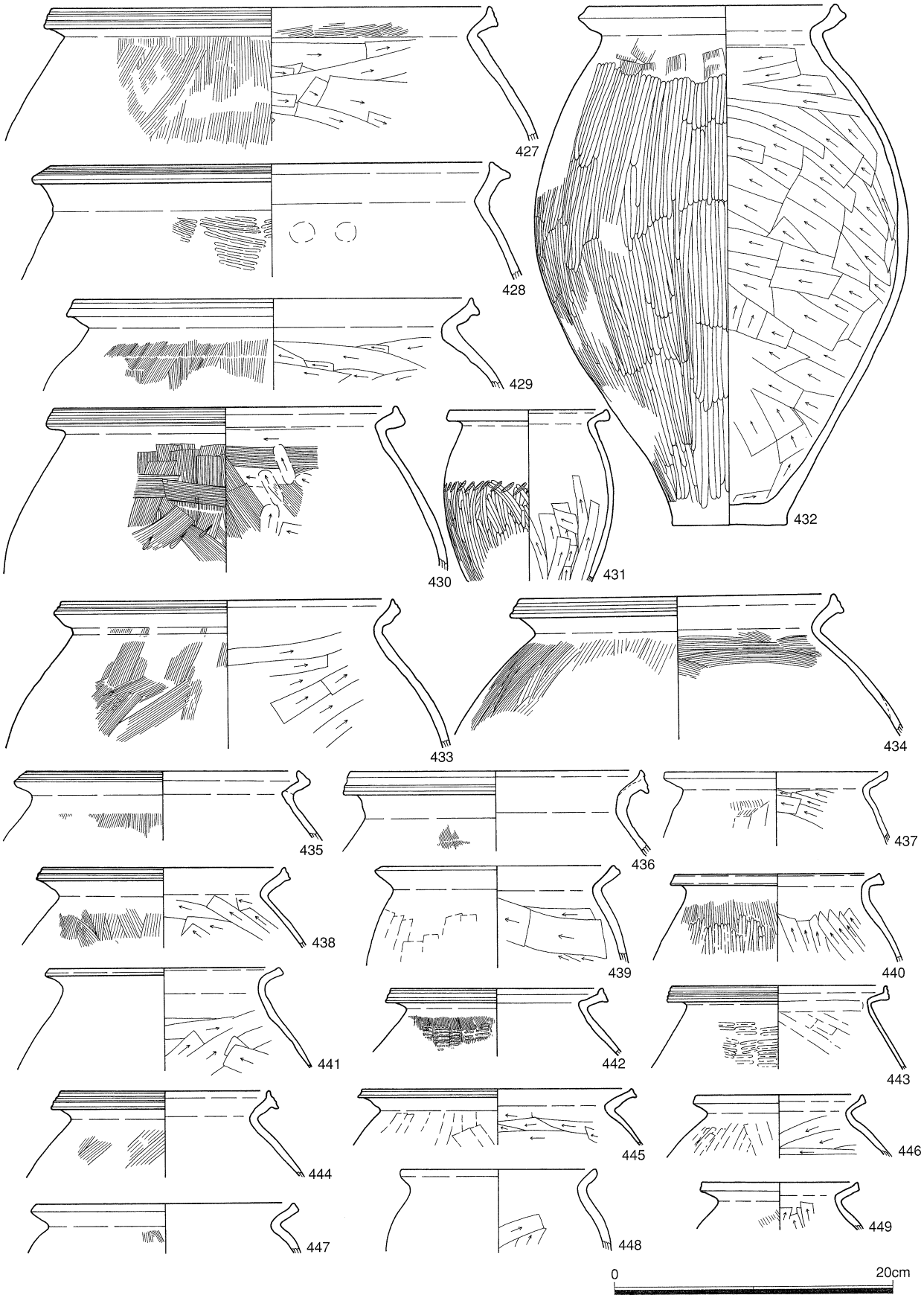
第140図　SB2037EH 平・断面図 (S=1/25)



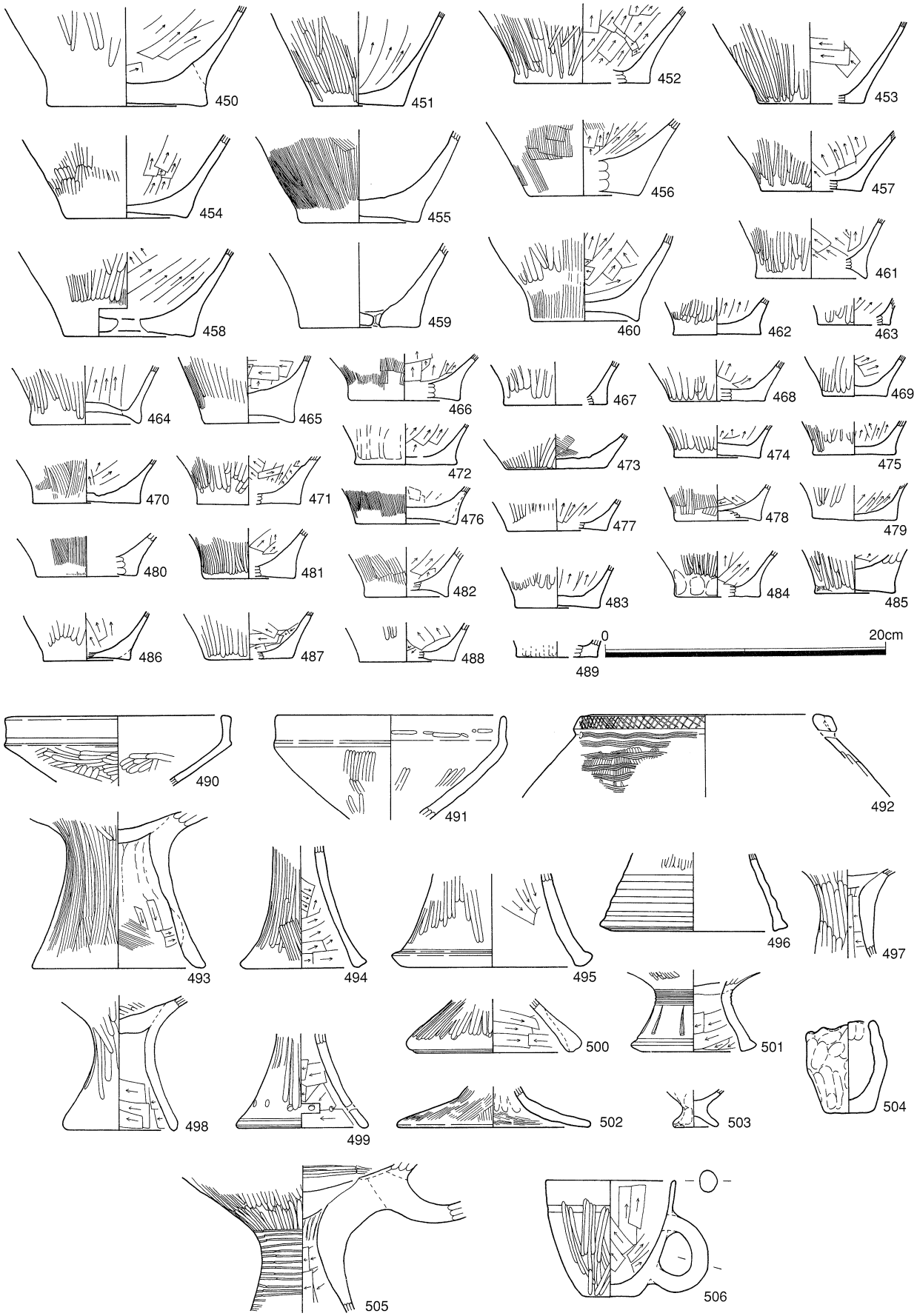
第141図　SB2037出土土器（1）



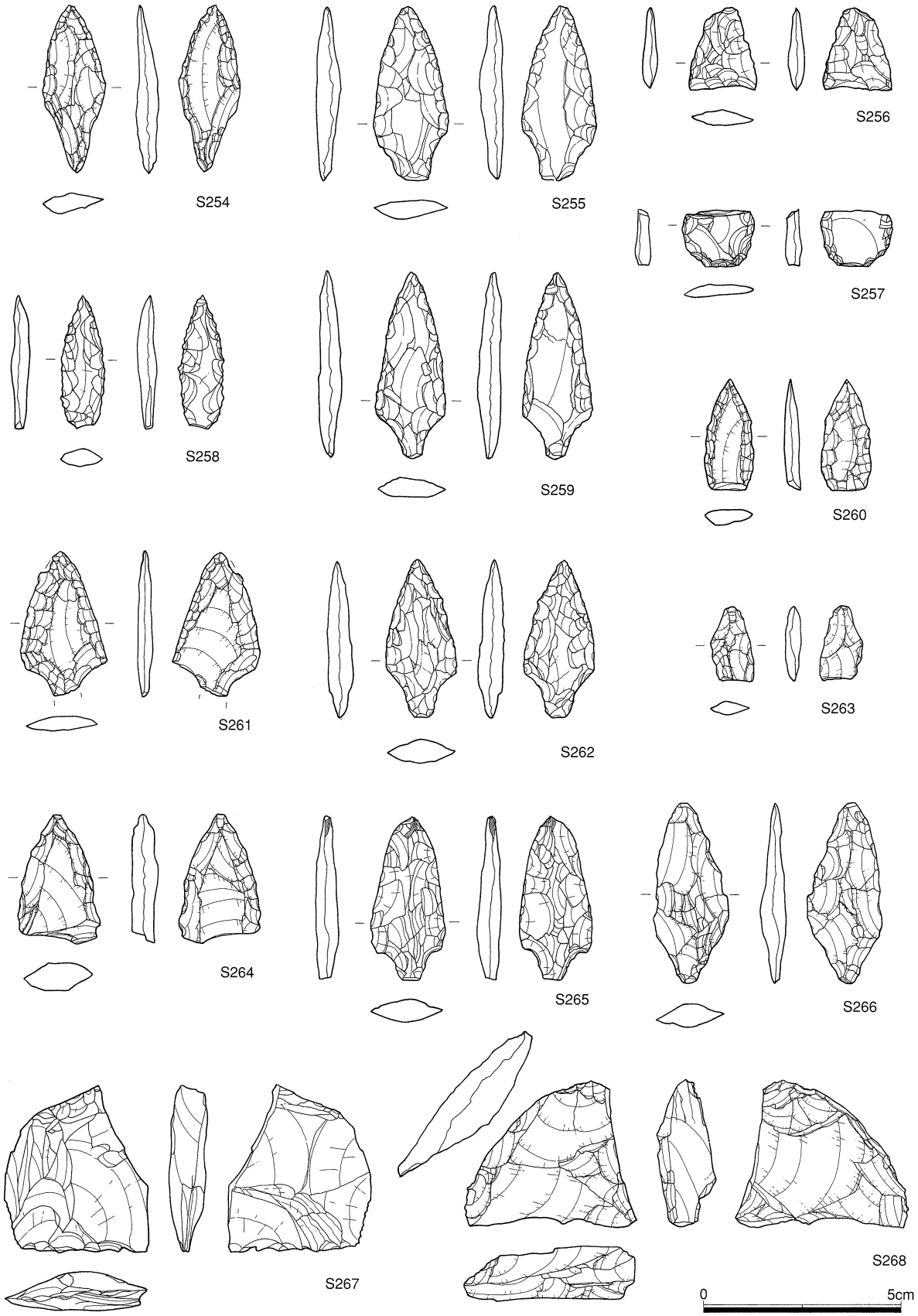
第142図　SB2037出土土器（2）



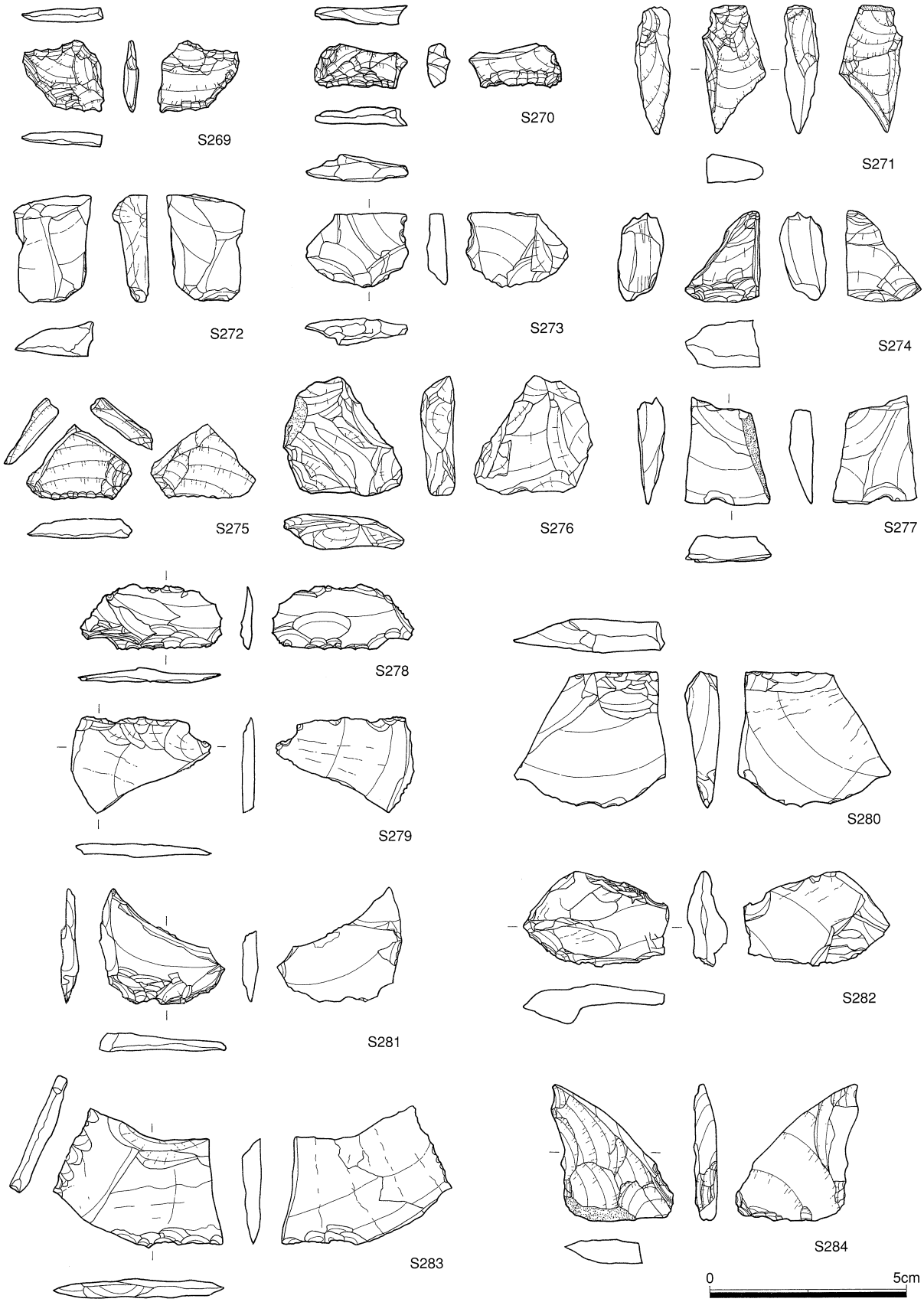
第143図　SB2037出土土器（3）



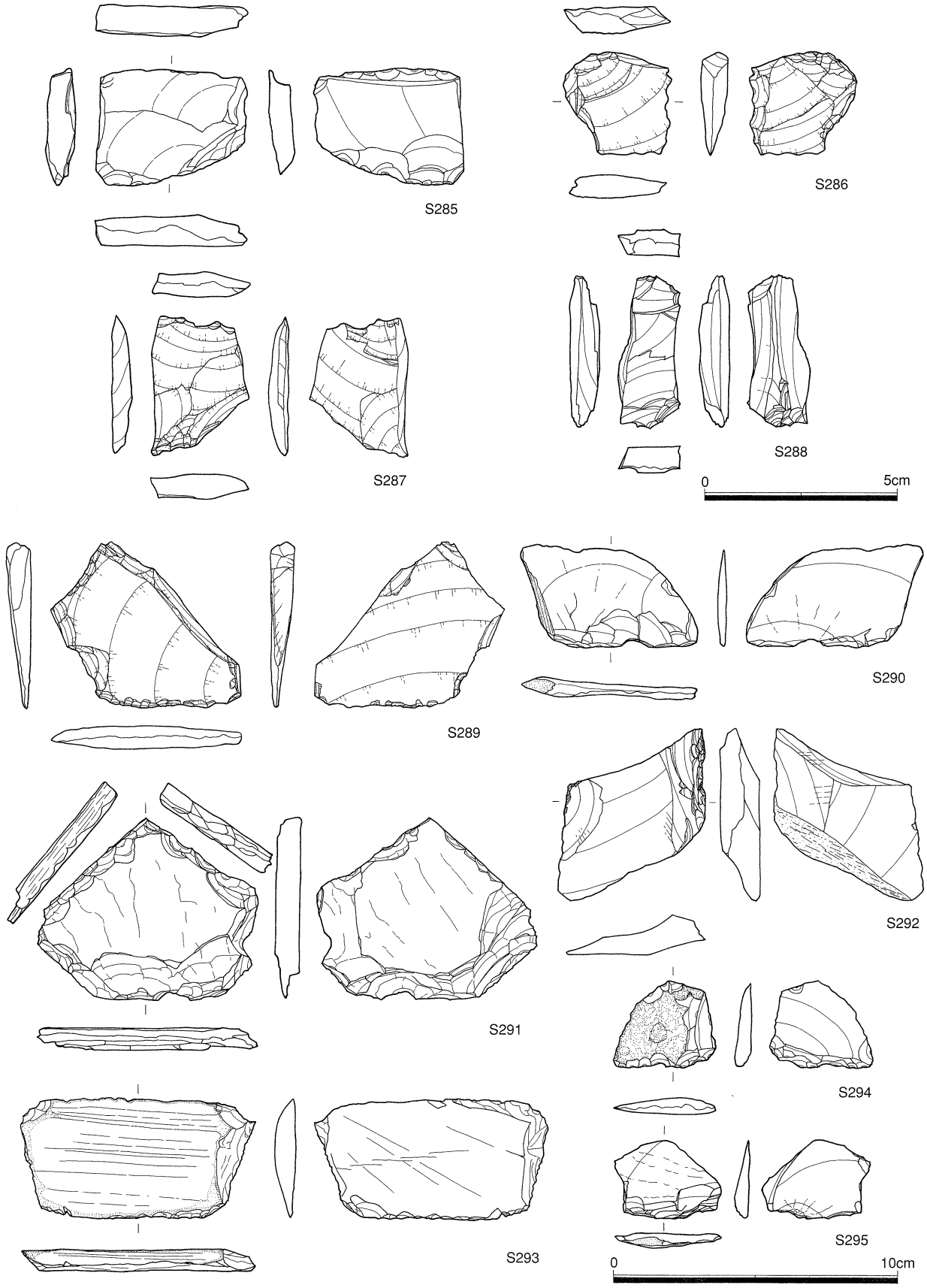
第144図　SB2037出土土器（4）



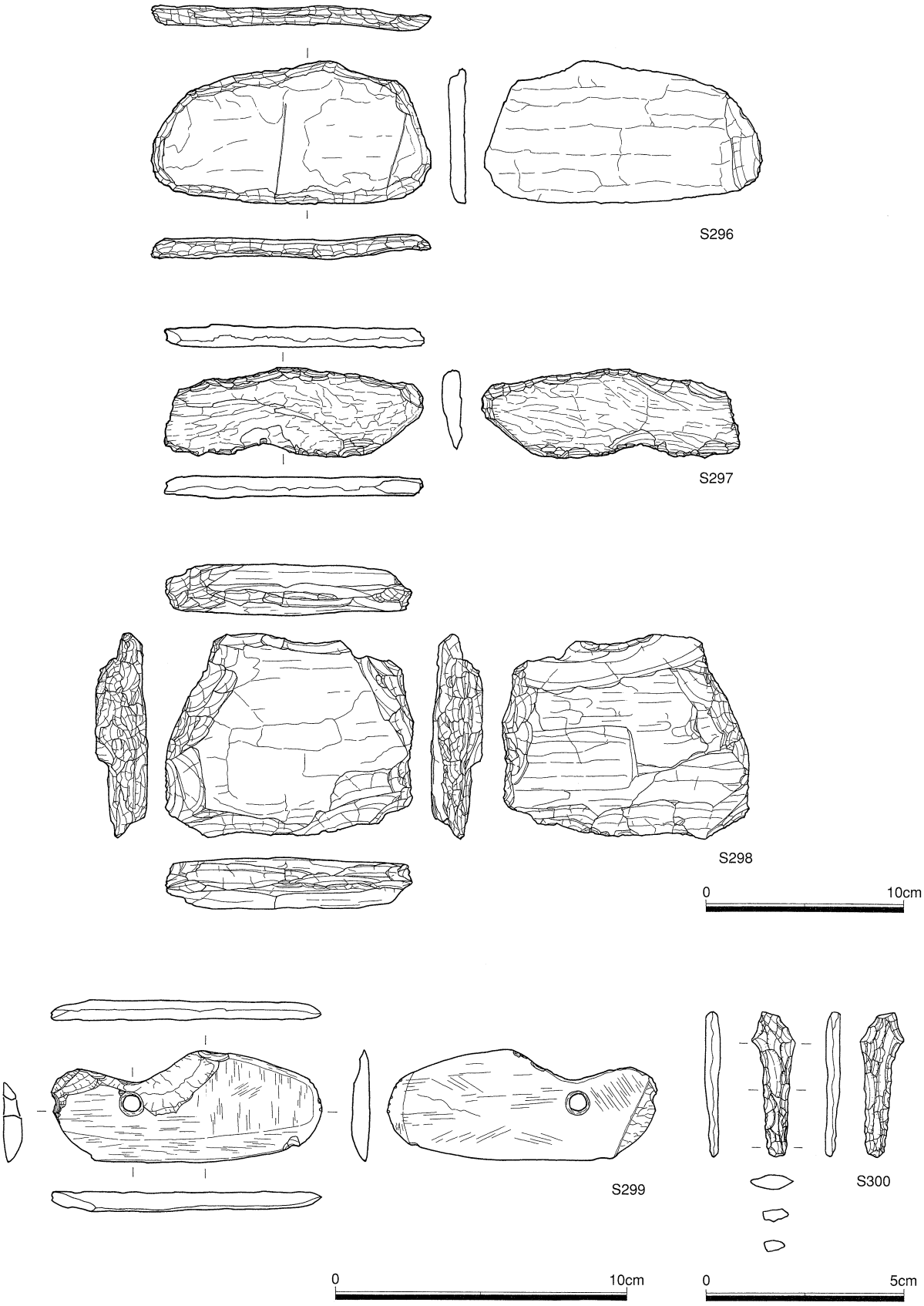
第145図　SB2037出土石器（1）



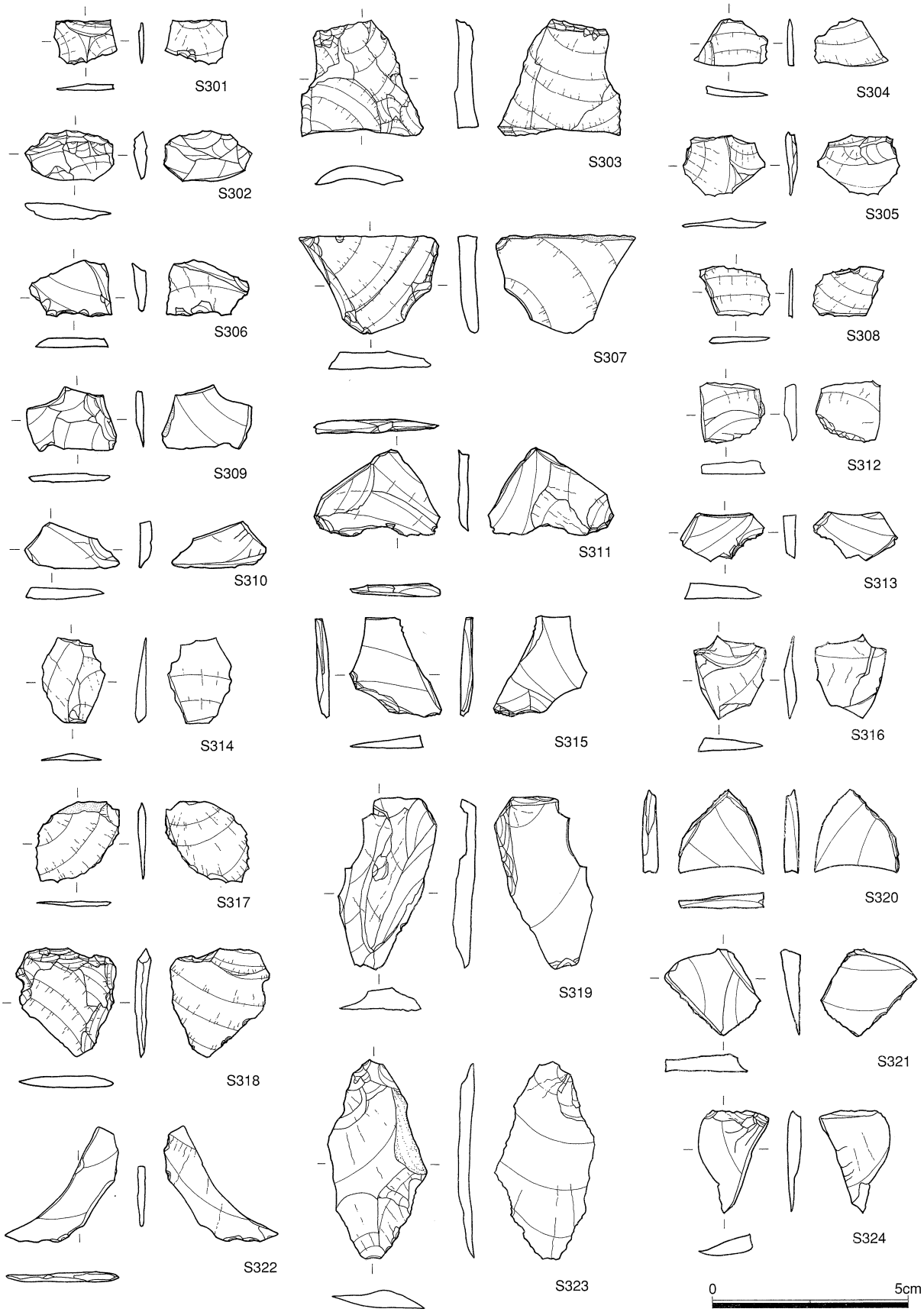
第146図　SB2037出土石器（2）



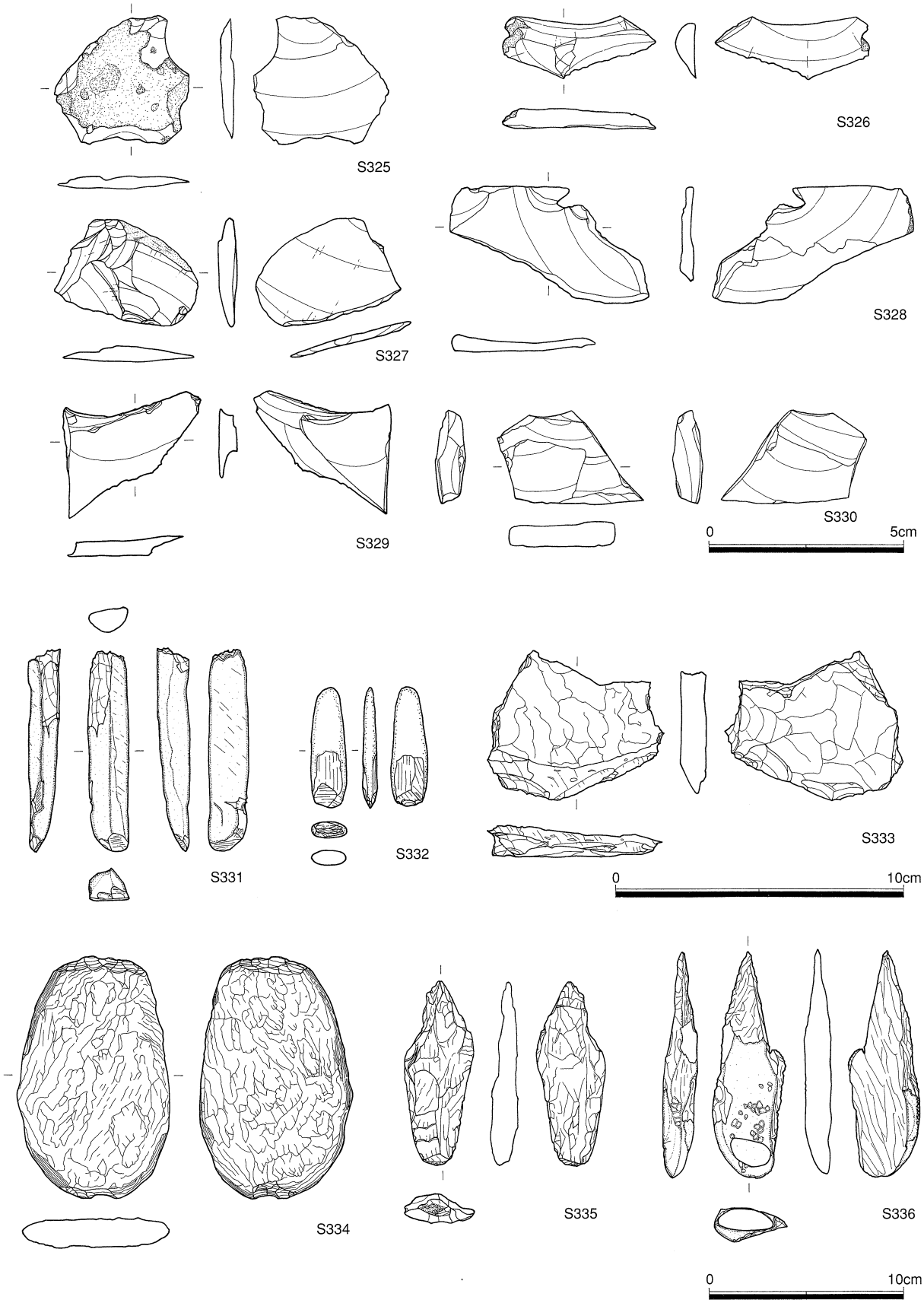
第147図　SB2037出土石器（3）



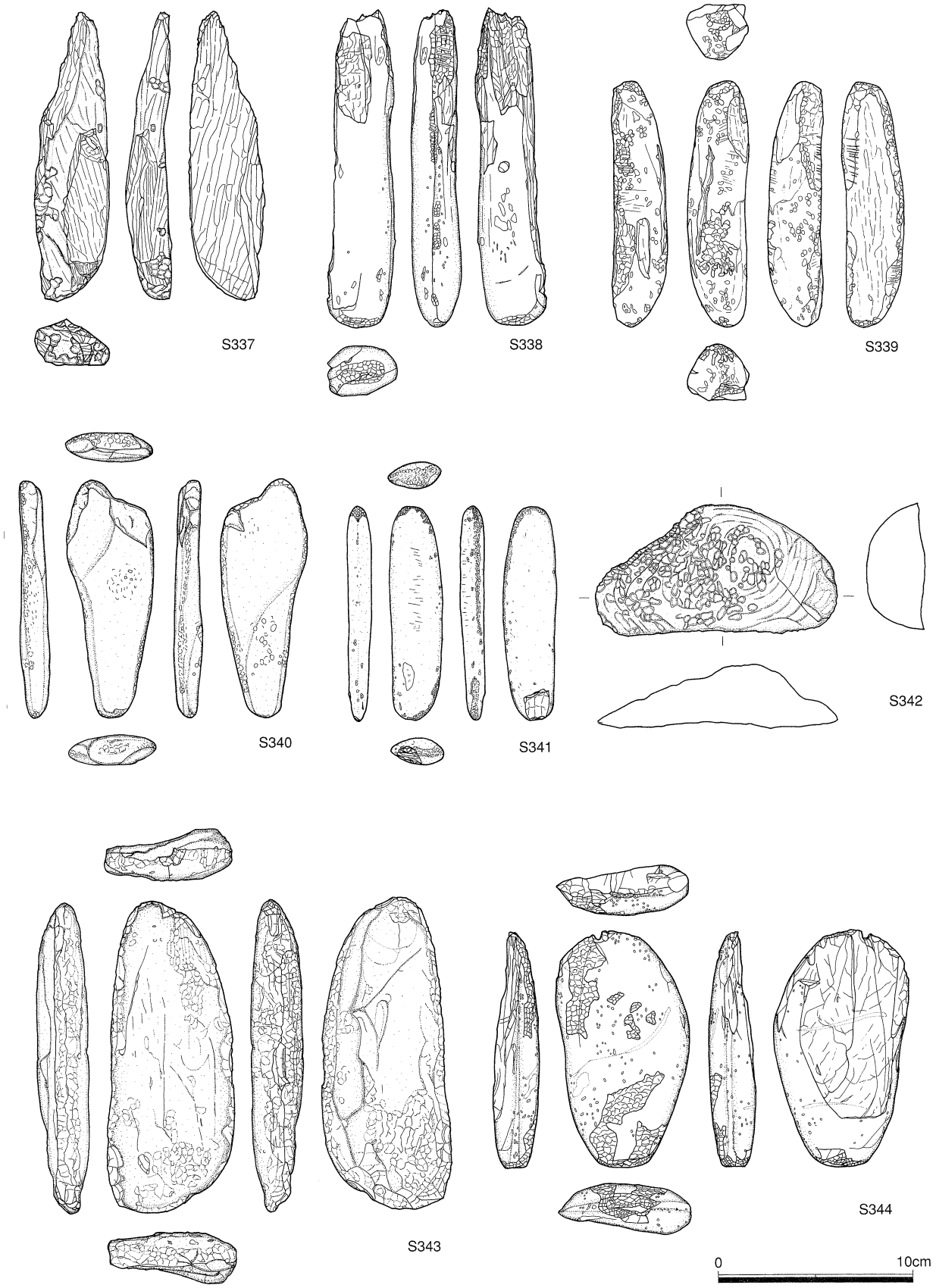
第148図　SB2037出土石器（4）



第149図　SB2037出土石器（5）

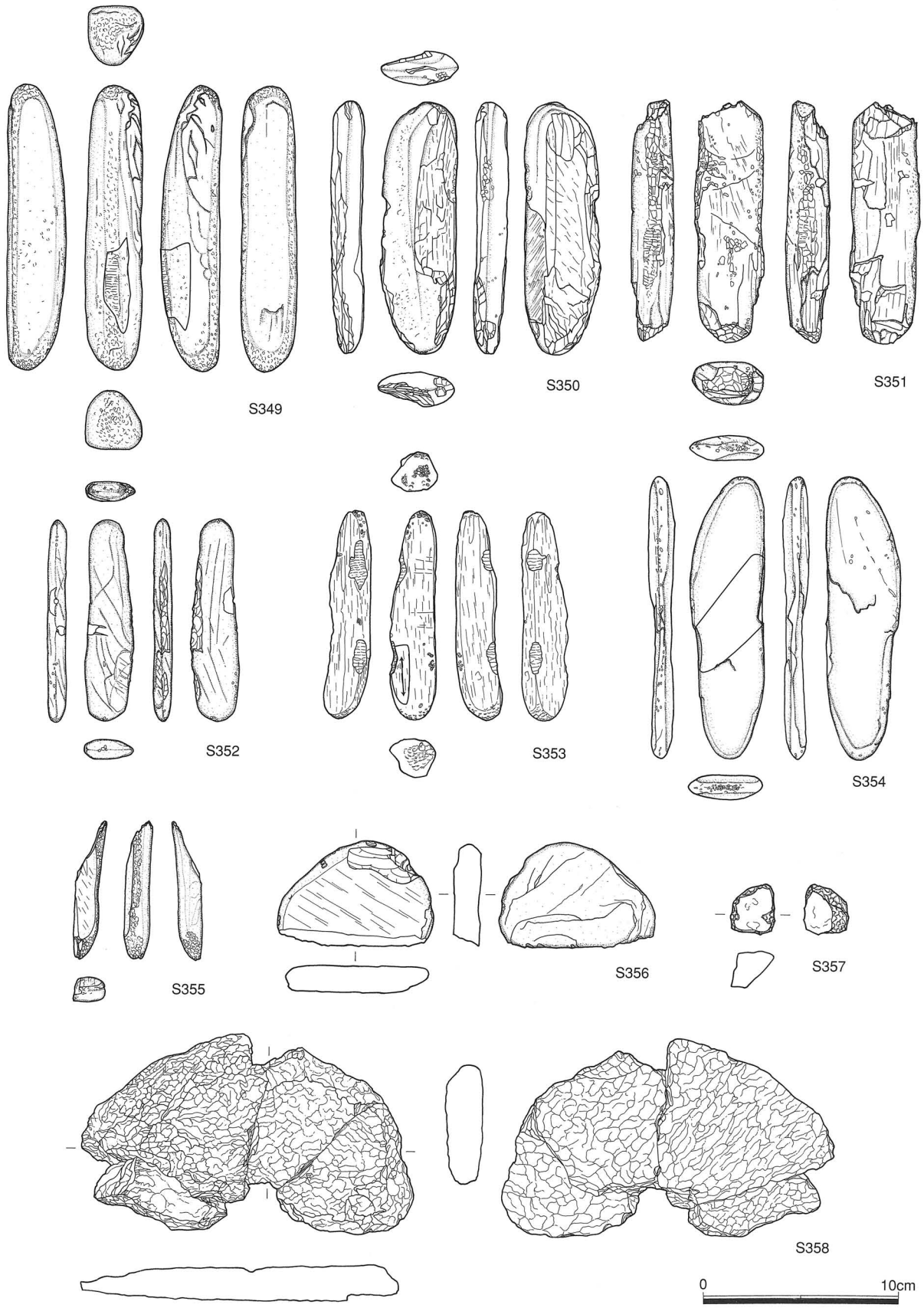


第150図　SB2037出土石器（6）

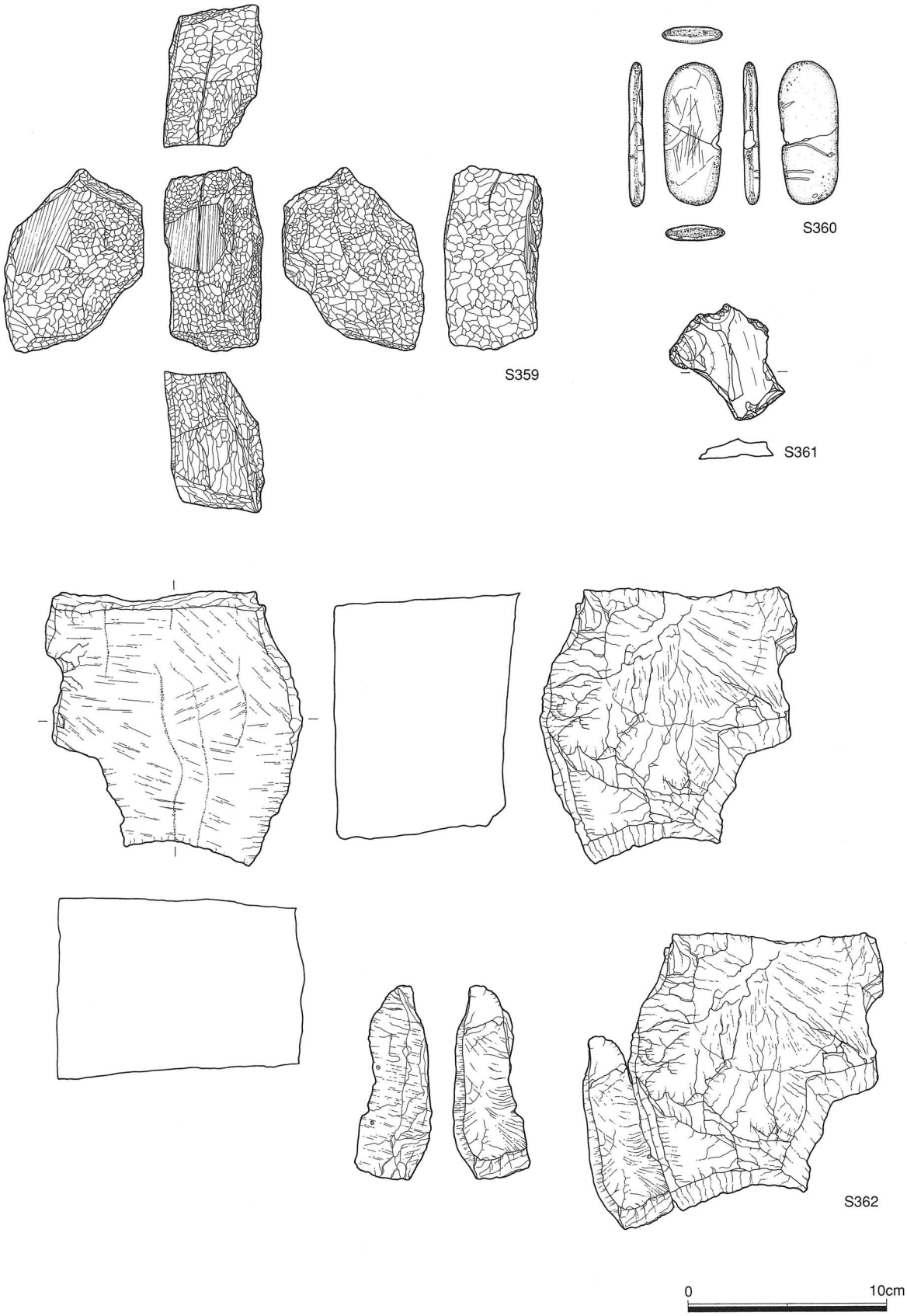


第151図　SB2037出土石器（７）

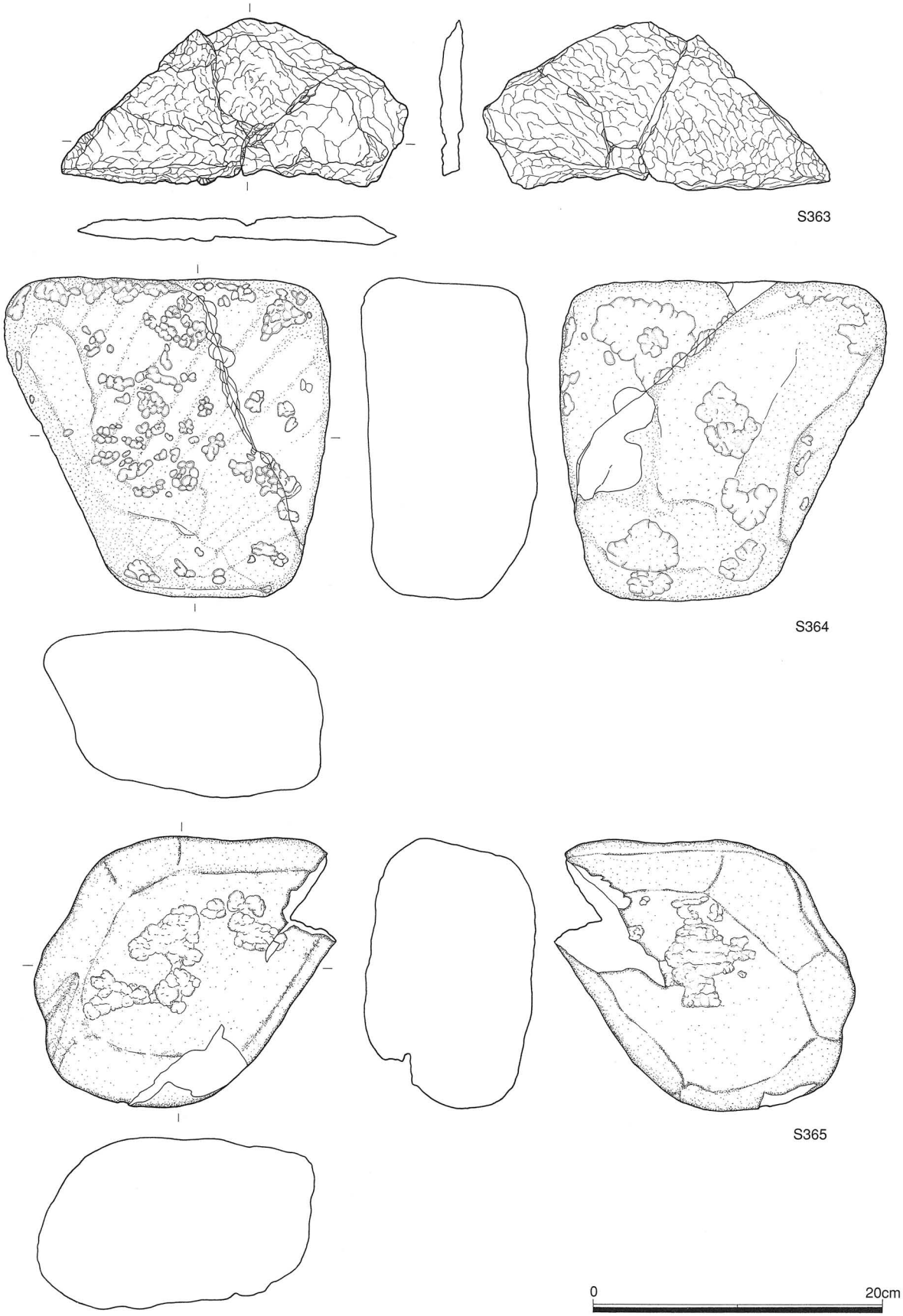
第152図　SB2037出土石器（8）



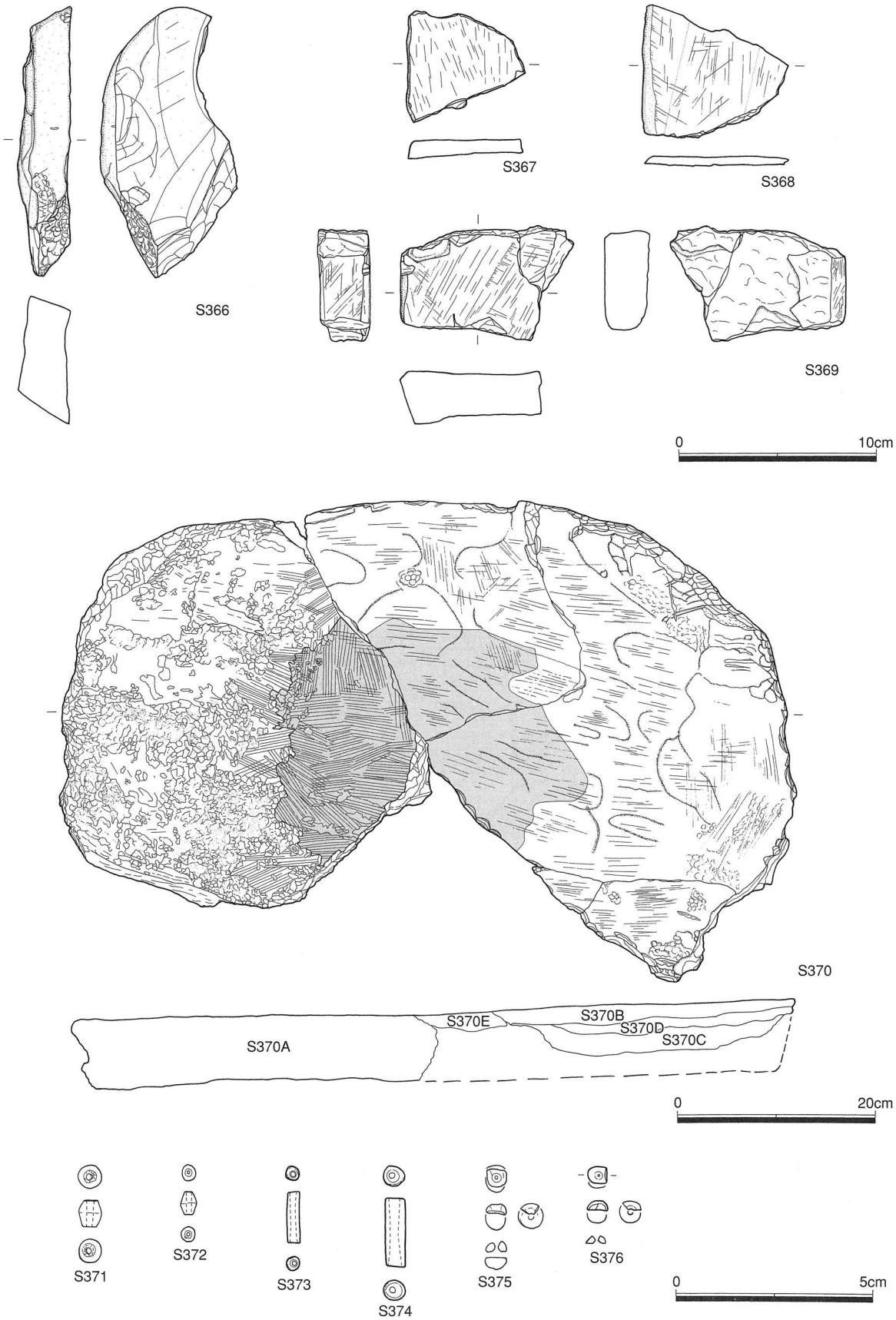
第153図　SB2037出土石器（9）



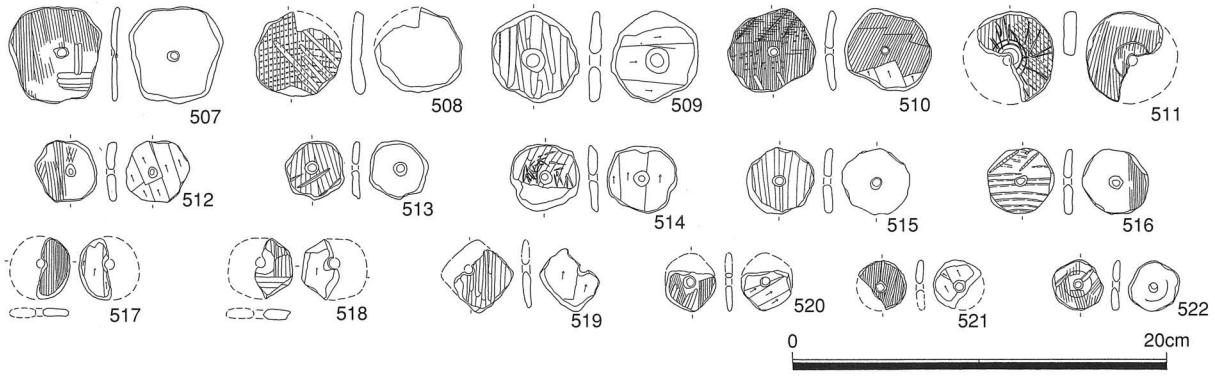
第154図　SB2037出土石器（10）



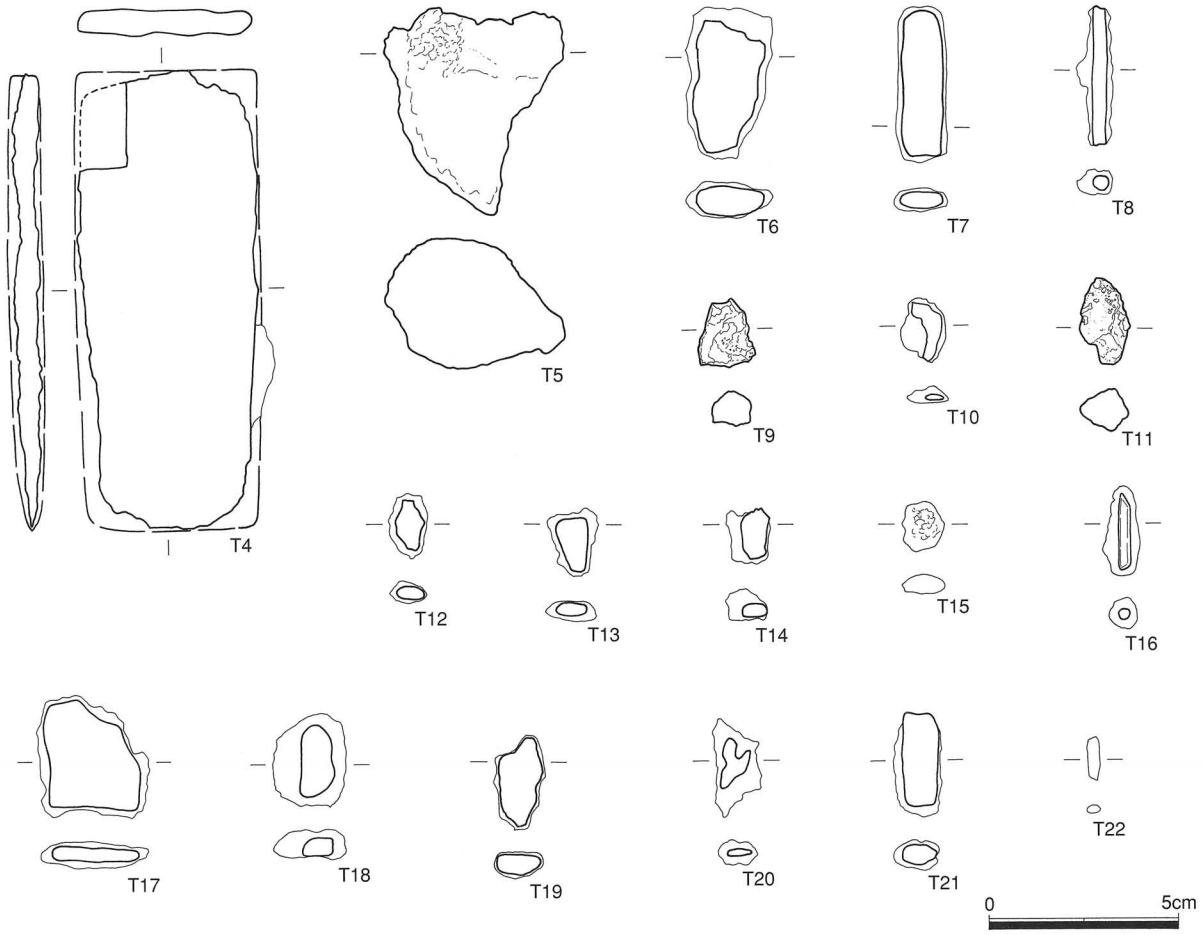
第155図　SB2037出土石器（11）



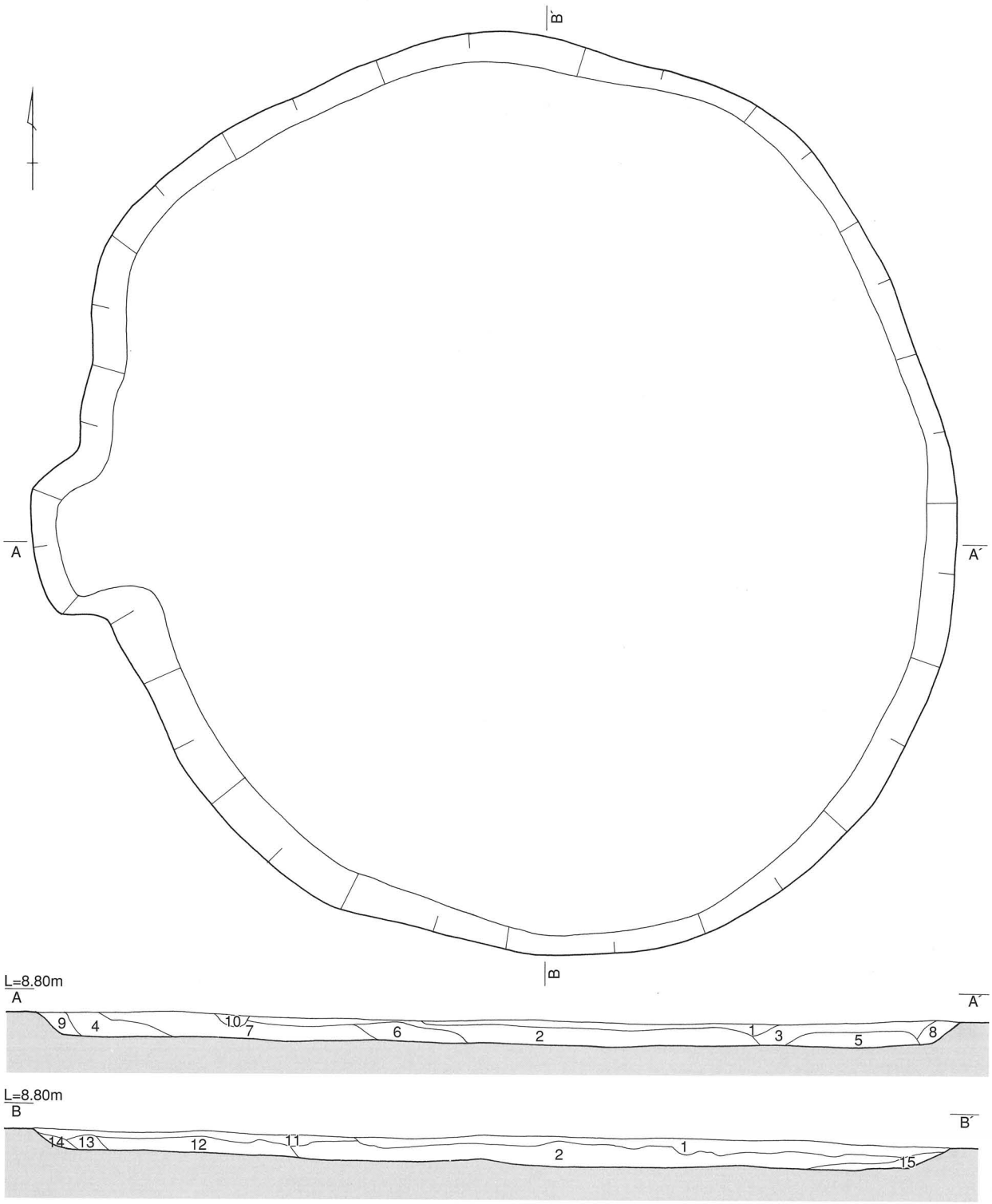
第156図　SB2037出土石器（12）



第157図　SB2037出土土器（５）



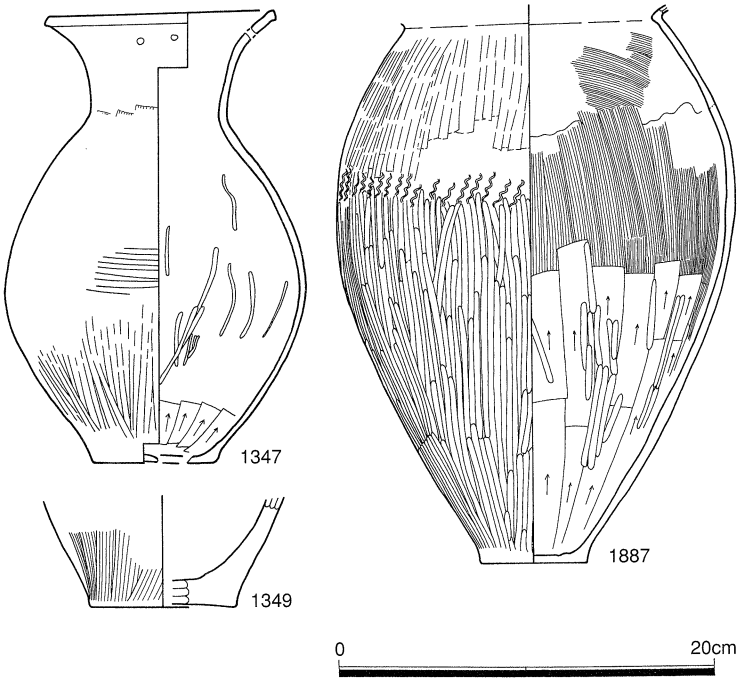
第158図　SB2037出土鉄器



1	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(2～3cmの礫を含む。)
2	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質土	(2～5cmの礫を多量に含む。)
3	黄褐色	2.5Y5/3	粘質土	
4	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質土	
5	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(0.5～1cmの礫を含む。)
6	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(0.5～1cmの礫を含む。)
7	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(1～5cmの礫を含む。)
8	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	(1～3cmの礫を含む。)
9	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	(0.5～5cmの礫を含む。)
10	灰黄褐色	10YR4/2	礫層	
11	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂質土	
12	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	(0.5～1cmの礫を含む。)
13	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	(1～2.5cmの礫を含む。)
14	褐色	10YR4/4	粘質土	(0.5～1.5cmの礫を含む。)
15	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	(0.5cmの礫を含む。)

0　2m

第159図　SB2038平・断面図（S=1/50）



第160図　SB2038出土土器

竪穴住居跡（SB2038）

位置　10区　Loc.D 2　ε Ⅰ　pq19～20

平面形　円形

床面積　38.4㎡

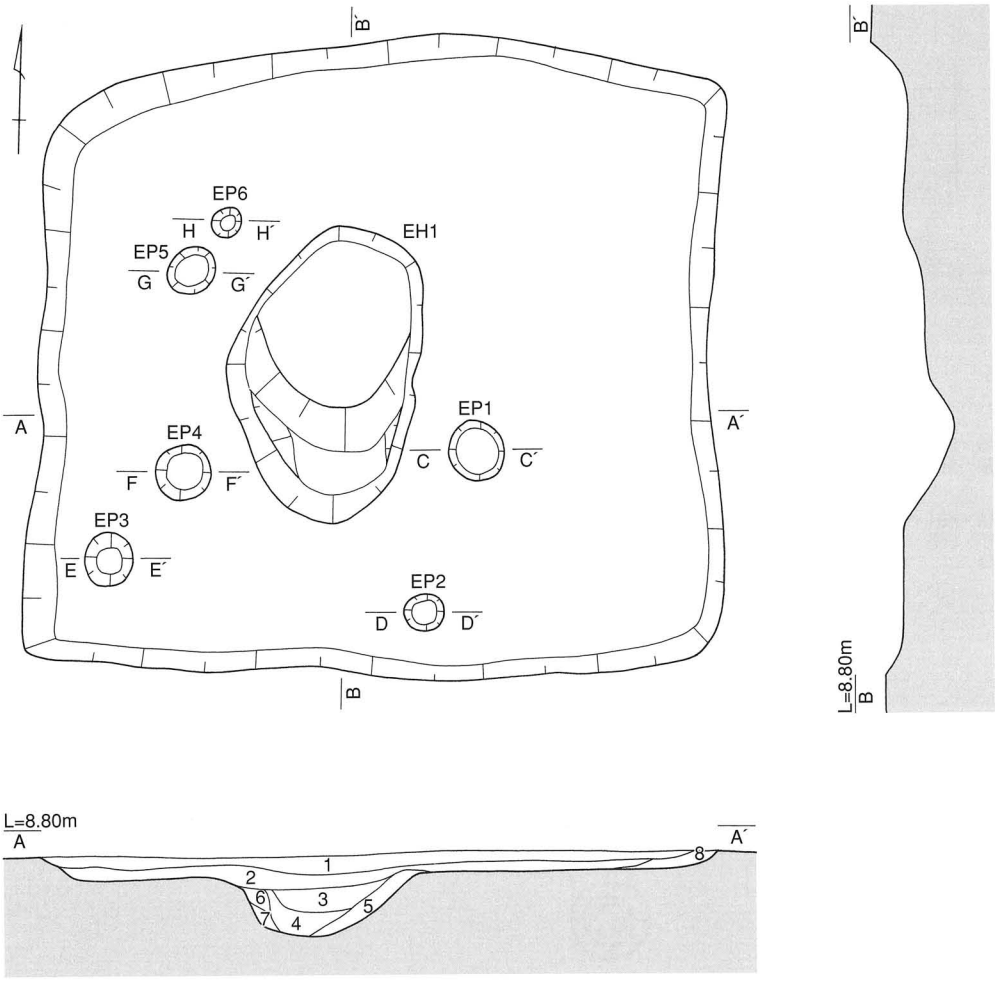
土層　15層

主柱穴　確認されていない。

炉跡　確認されていない。　　施設　確認されていない。

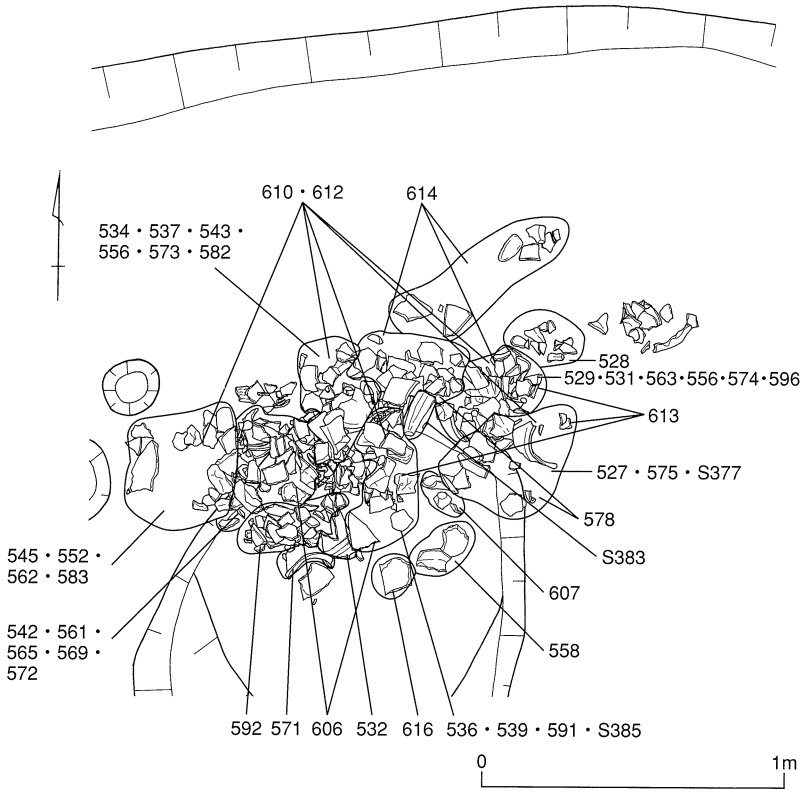
遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できたのは、壺、甕の３点である。

時期　弥生時代中期後半

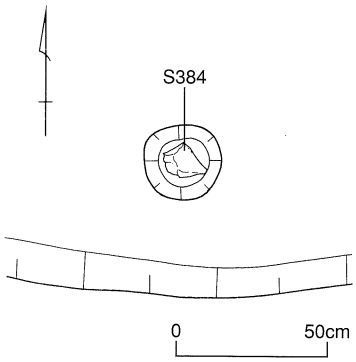


1	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	（炭化物を含む。）
2	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	（土器片、炭化物を多量に含む。）
3	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（炭化物を少量含む。EH１）
4	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	（炭化物を含む。EH１）
5	暗褐色	10YR3/3	粘性砂質土	（炭化物を含む。EH１）
6	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	（炭化物を含む。EH１）
7	暗褐色	10YR3/4	粘性砂質土	（炭化物を含む。EH１）
8	褐色	10YR4/4	粘質土	（炭化物を含む。）
9	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	（EP１）
10	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	（EP２）
11	褐色	10YR4/4	粘質土	（EP３）
12	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	（EP４）
13	褐色	10YR4/4	粘質土	（EP５）
14	褐色	10YR4/4	粘質土	（EP６）

第161図　SB2039平・断面図（S＝1/50）



第162図　SB2039遺物出土状況図（S＝1/25）



第163図　SB2039、EP２遺物出土状況図（S＝1/25）

竪穴住居跡（SB2039）

位置　10区　Loc.E２　αⅠ　b19～20　　**平面形**　方形　　**床面積**　14.7㎡　　**土層**　２層

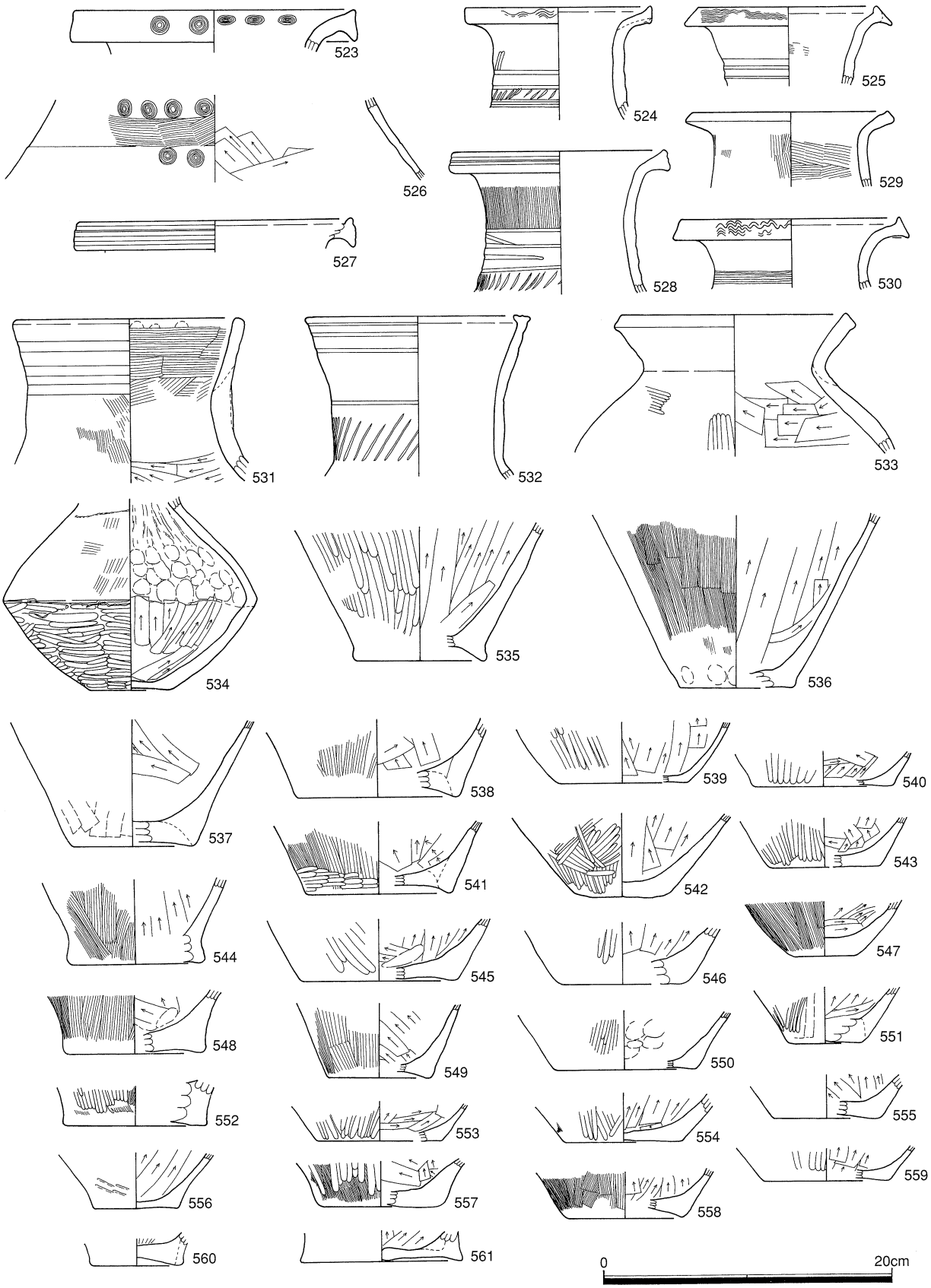
主柱穴　EP1・4・5の３基（径32～42㎝、深さ10㎝）

炉跡　１基（長軸199㎝、短軸128㎝の楕円形、深さ36㎝、炭化物を多く含む５層）

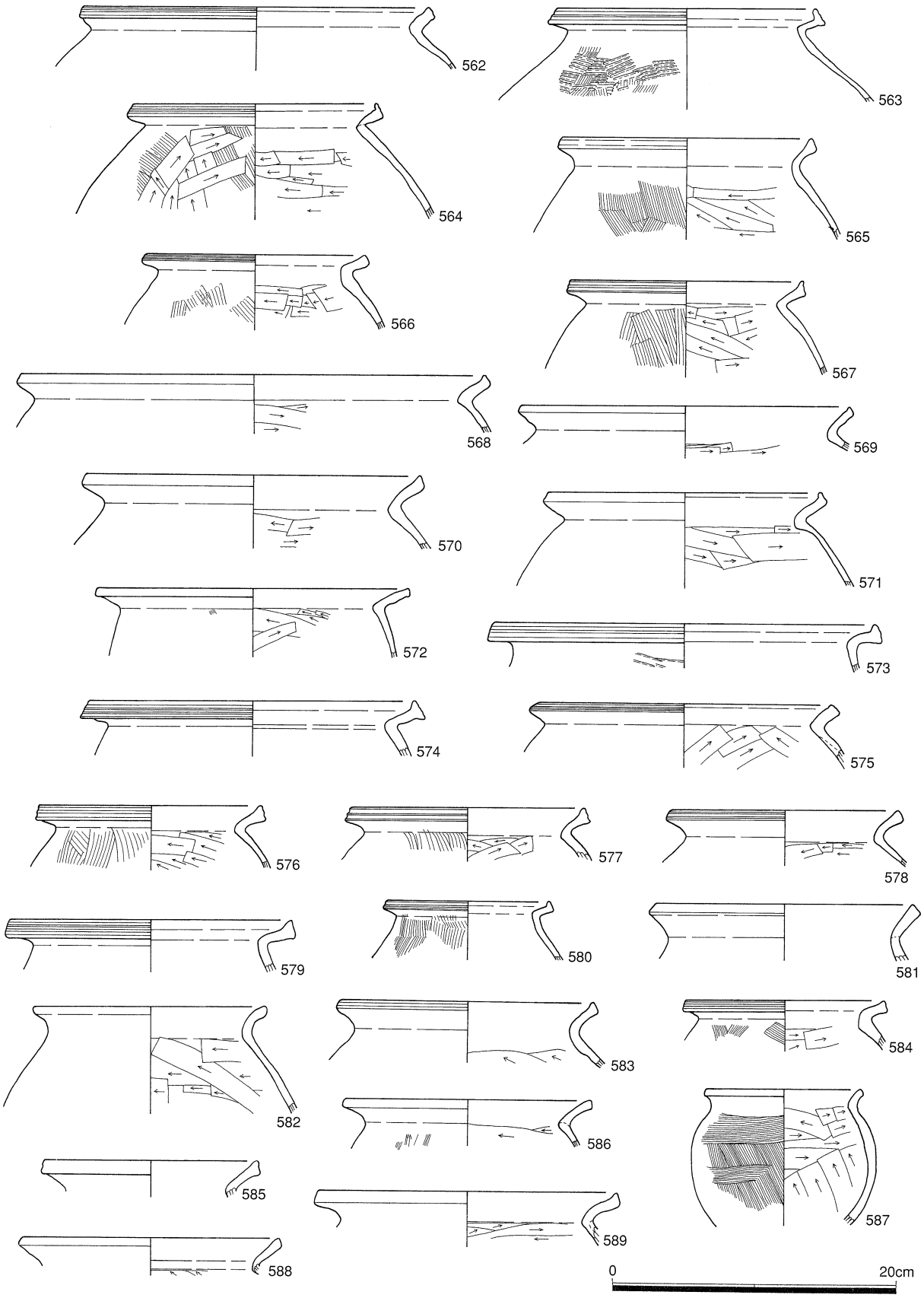
施設　ピット３基

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土しており、その量は、他の竪穴住居跡と比較して多い。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、器台の94点である。一方、石器は、　楔形石器、磨石、砥石、剥片などが10点出土している。これらの遺物は、炉跡北辺からの出土が多い。また、砥石（S384）は、EP2から出土している。

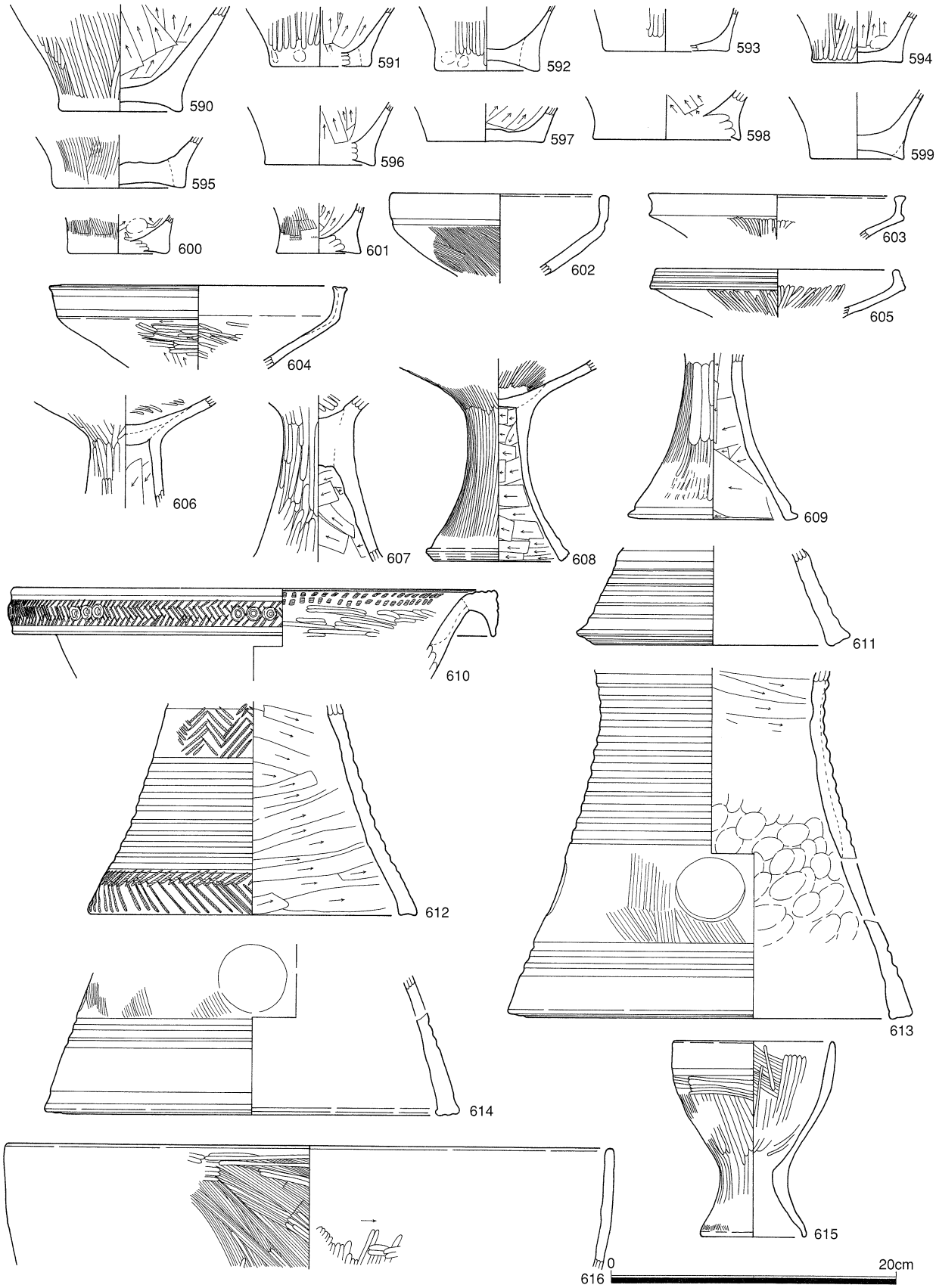
時期　弥生時代中期末



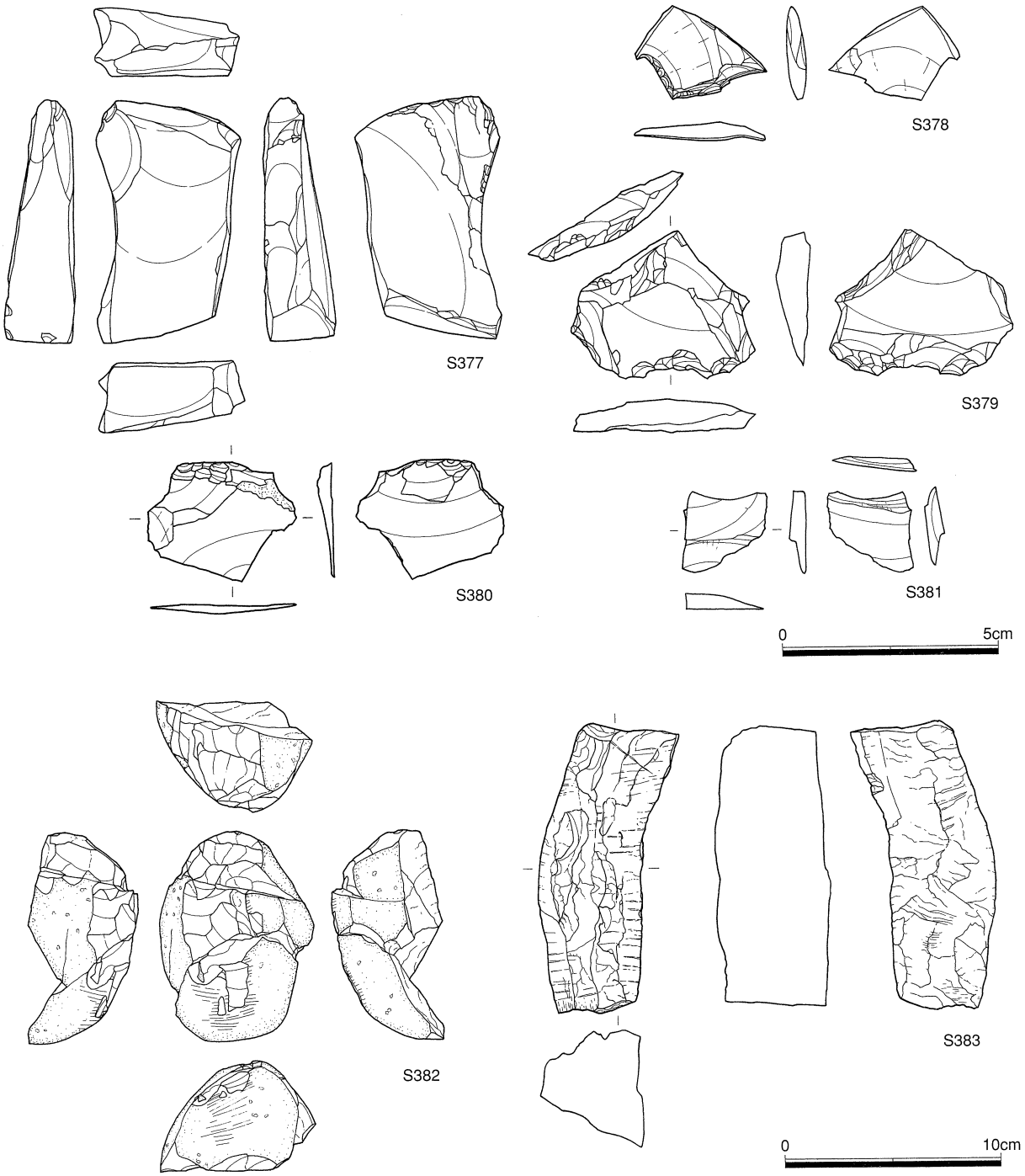
第164図　SB2039出土土器（1）



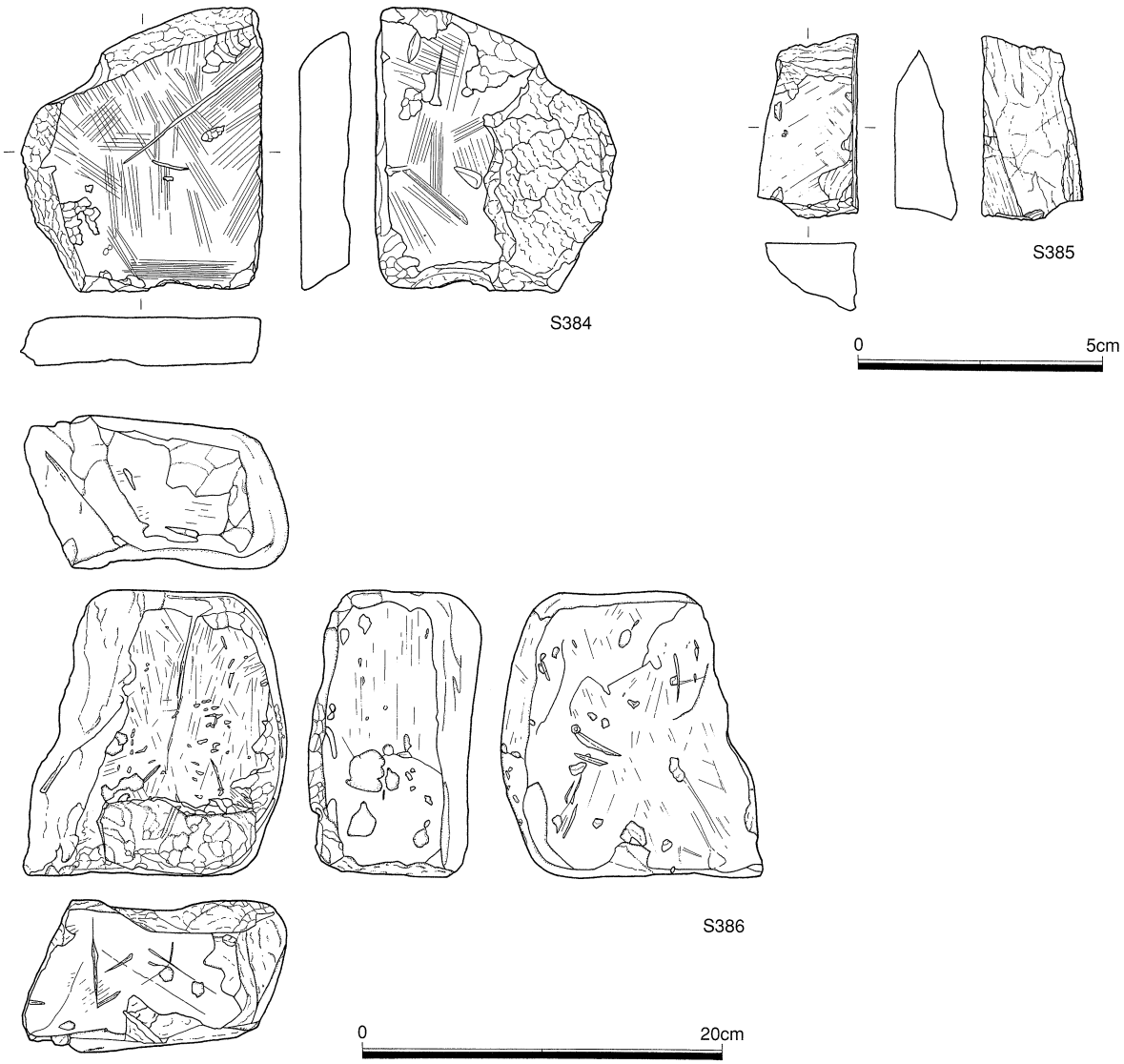
第165図　SB2039出土土器（2）



第166図　SB2039出土土器（3）



第167図　SB2039出土石器（1）



第168図　SB2039出土石器（２）

竪穴住居跡（SB2040）

位置　10区　Loc.E２　αⅡ　de１　　**平面形**　円形　　**床面積**　4.8㎡　　**土層**　２層

主柱穴　確認されていない。

炉跡　確認されていない。　　**施設**　土坑１基

遺物出土状況　図示できる遺物は出土していない。

時期　覆土の堆積状況から弥生時代中期後半と考えられる。

竪穴住居跡（SB2041）

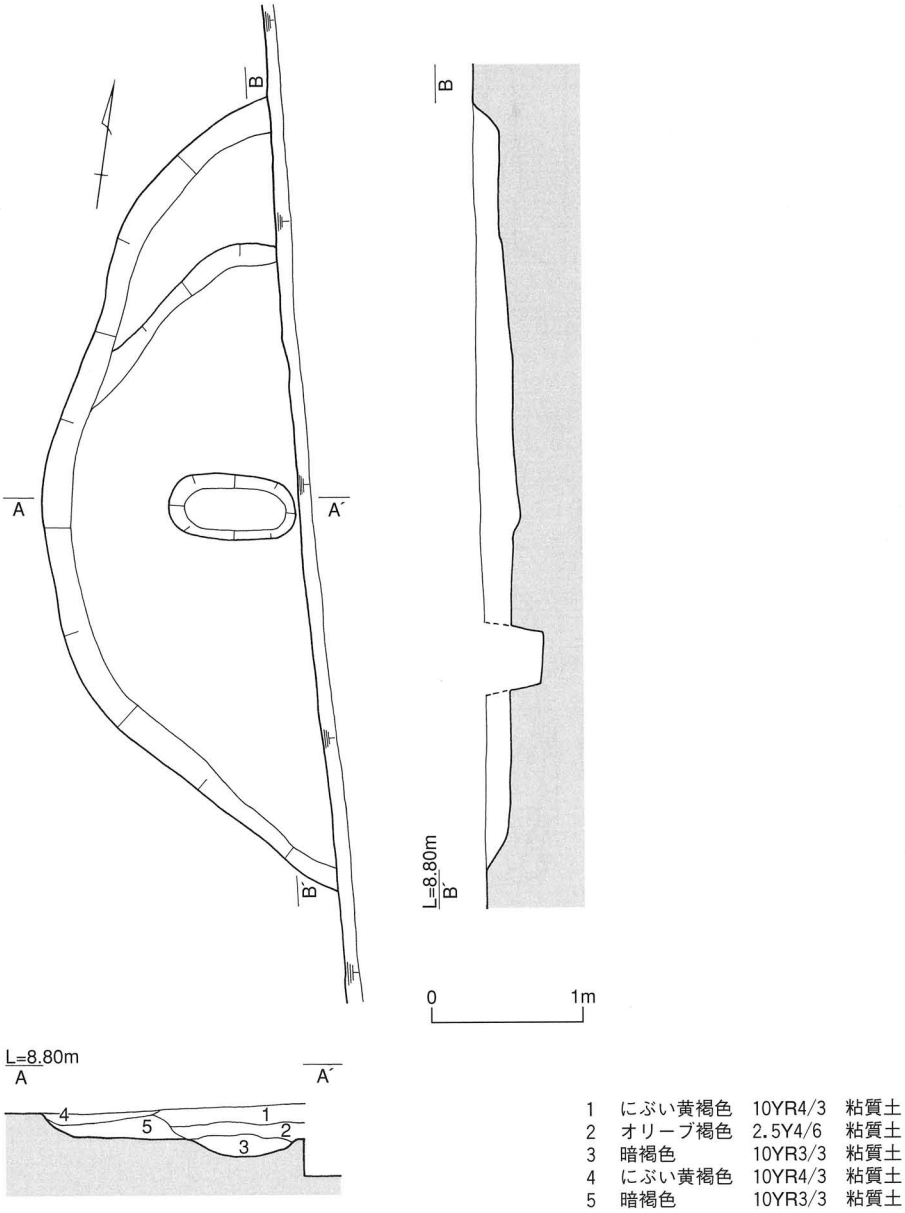
位置　10区　Loc.E２　αⅡ　c16　　**平面形**　円形？　　**床面積**　4.0㎡　　**土層**　６層

主柱穴　確認されていない。　　**炉跡**　確認されていない。　　**施設**　土坑１基

遺物出土状況　図示できたのは、甕底部１点だけである。

時期　覆土の堆積状況から弥生時代中期後半と考えられる。

備考　検出部分が狭いため、本来の構造が把握できない。よって、竪穴住居跡と断定できない。



第169図　SB2040平・断面図（S＝1/50）

竪穴住居跡（SB2042）

位置　10区　Loc.E２　αⅠ　de15～16　　**平面形**　不整形(五角形？）床面積　14.7㎡　　**土層**　12層

主柱穴　確認されていない。

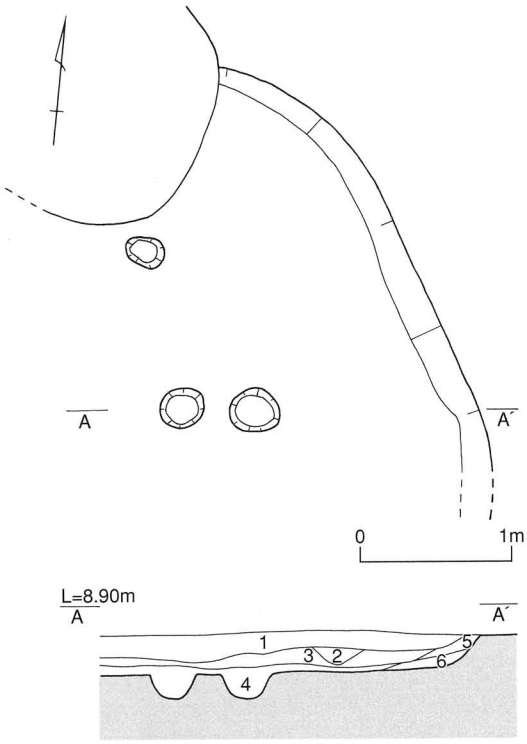
炉跡　確認されていない。

施設　ピット３基

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、甕、高杯など６点である。

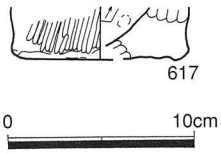
時期　弥生時代中期後半

備考　遺構の西側は調査区外で、南側は前述のSB2041によって破壊されており、完掘することはできなかった。ピット３基は、その位置関係から主柱穴になる可能性を残すものの、掘削深度が浅く主柱穴と断定するには至らなかった。

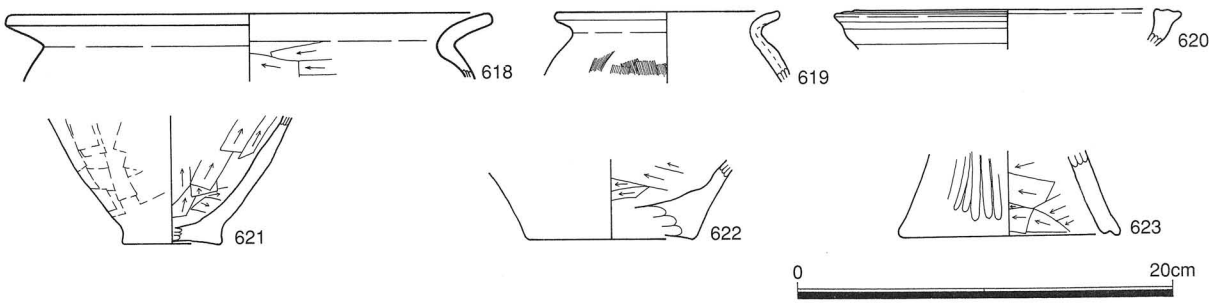


1　オリーブ褐色　2.5Y4/4　シルト砂混じり
2　オリーブ褐色　2.5Y4/3　シルト砂混じり
3　オリーブ褐色　2.5Y4/6　シルト砂混じり
4　オリーブ褐色　2.5Y4/4　シルト砂混じり
5　オリーブ褐色　2.5Y4/3　シルト砂混じり
6　オリーブ褐色　2.5Y4/6　シルト砂混じり

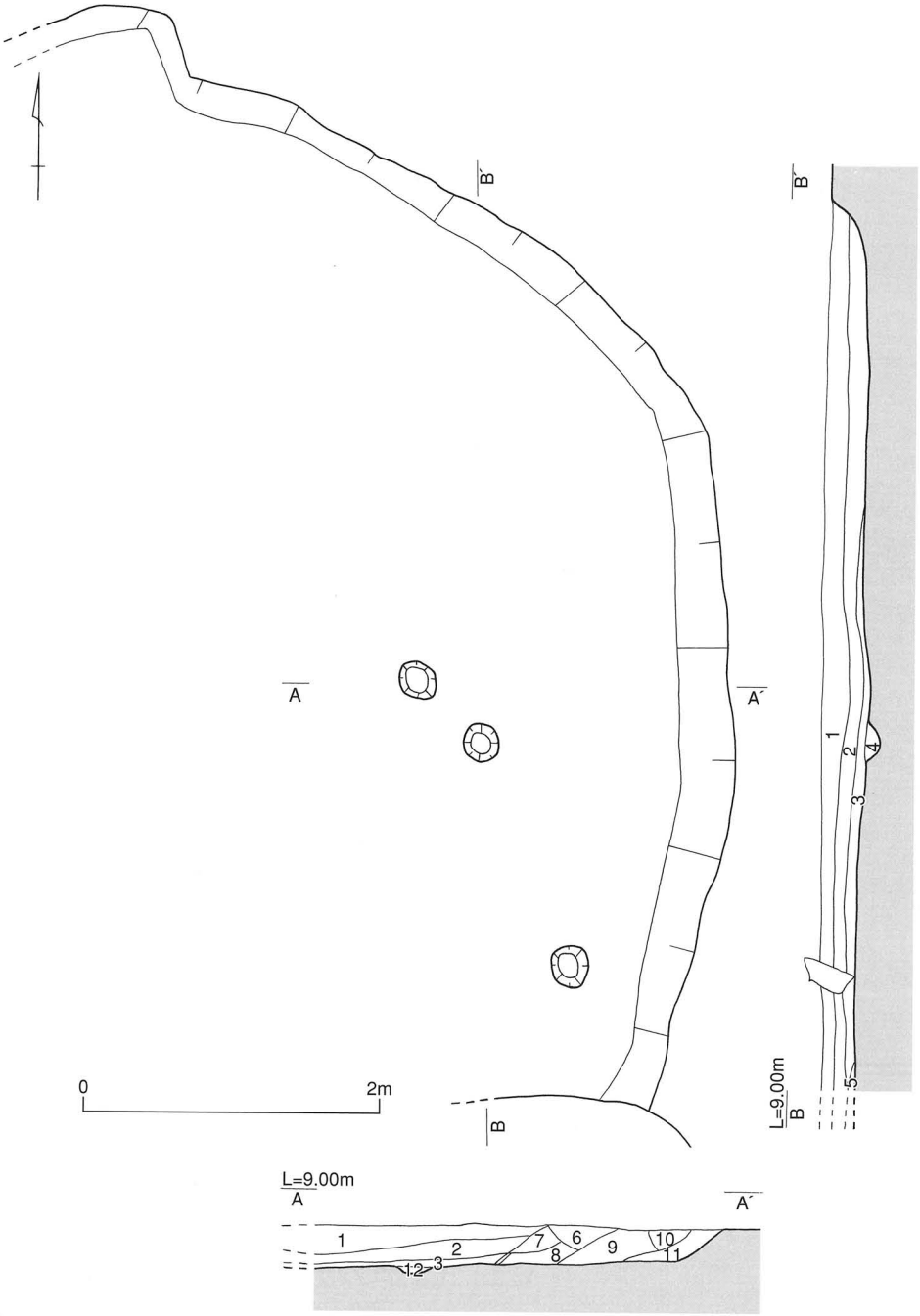
第170図　SB2041平・断面図（S＝1/50）



第171図　SB2041出土土器

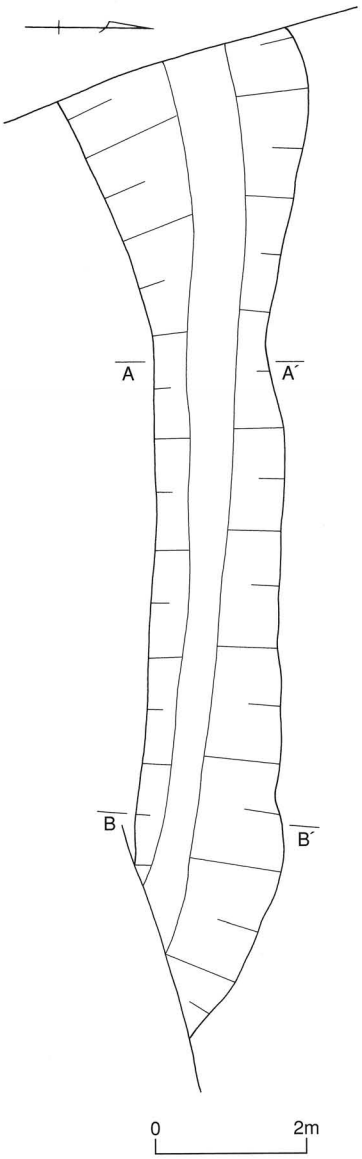


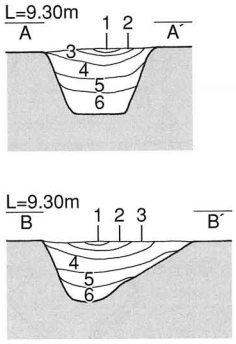
第172図　SB2042出土土器



1	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	7	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂礫土
2	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	8	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土
3	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	9	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂礫土
4	不明			10	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土
5	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂礫土	11	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂礫土
6	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	砂質土	12	不明		

第173図　SB2042平・断面図（S＝1/50）





1	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土	（粒子が細かく、粘性が弱い。2㎝未満の礫を微量含む。黒褐色粘性砂質土を少量含む。）
2	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土	（マンガンを少量含む。5㎜～3㎝程度の礫を少量含む。黒褐色粘性砂質土を微量含む。）
3	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	（粒子が細かく、粘性が弱い。マンガンを少量含む。5㎝未満の礫を多量に含む。）
4	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（マンガン、土器片を含む。1㎝未満の礫を含む。）
5	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	（しまりがなく、やや粘性が強い。砂を含む。マンガンを多量に含む。2㎝程度の礫を少量含む。）
6	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	（粘性が強く、砂を少量含む。マンガンを多量に含む。1㎝程度の礫を微量含む。）

第174図　SD2001平・断面図（S＝1/100）

③溝状遺構（SD）

溝状遺構（SD2001）

位置　3区　Loc.D 2　γⅡ　st10～13

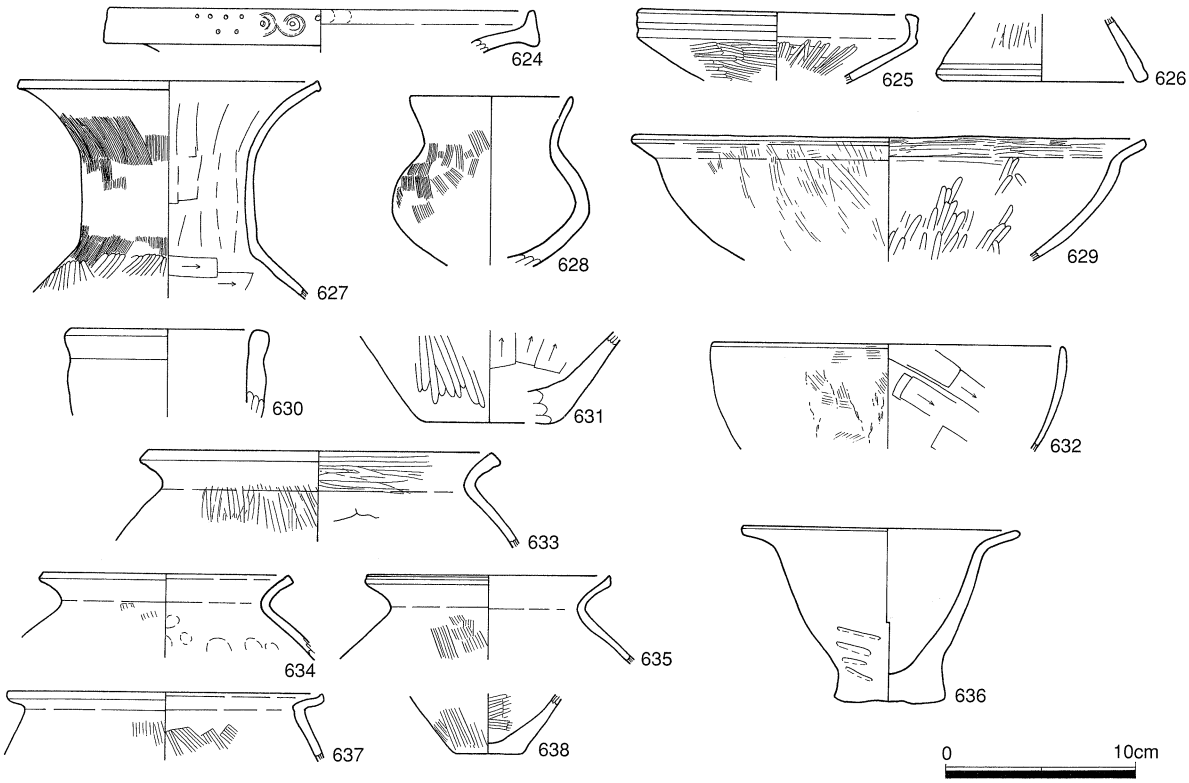
断面形　逆台形

全長　12.5m

土層　6層

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。1～6層すべてで土器片は見つかっているが、4層出土のものが比較的目に付いた。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の15点である。

時期　弥生時代中期後半～後期後半



第175図　SD2001出土土器

溝状遺構（SD2002）

位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　cd14～16

断面形　皿形

全長　14.3m

土層　3層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できたのは、2点である。1765は土製品であり、鋳型の可能性も否定できない。一方、石器は剥片が1点図示できた。

時期　弥生時代中期後半～後期

溝状遺構（SD2003）

位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　c～g10～18

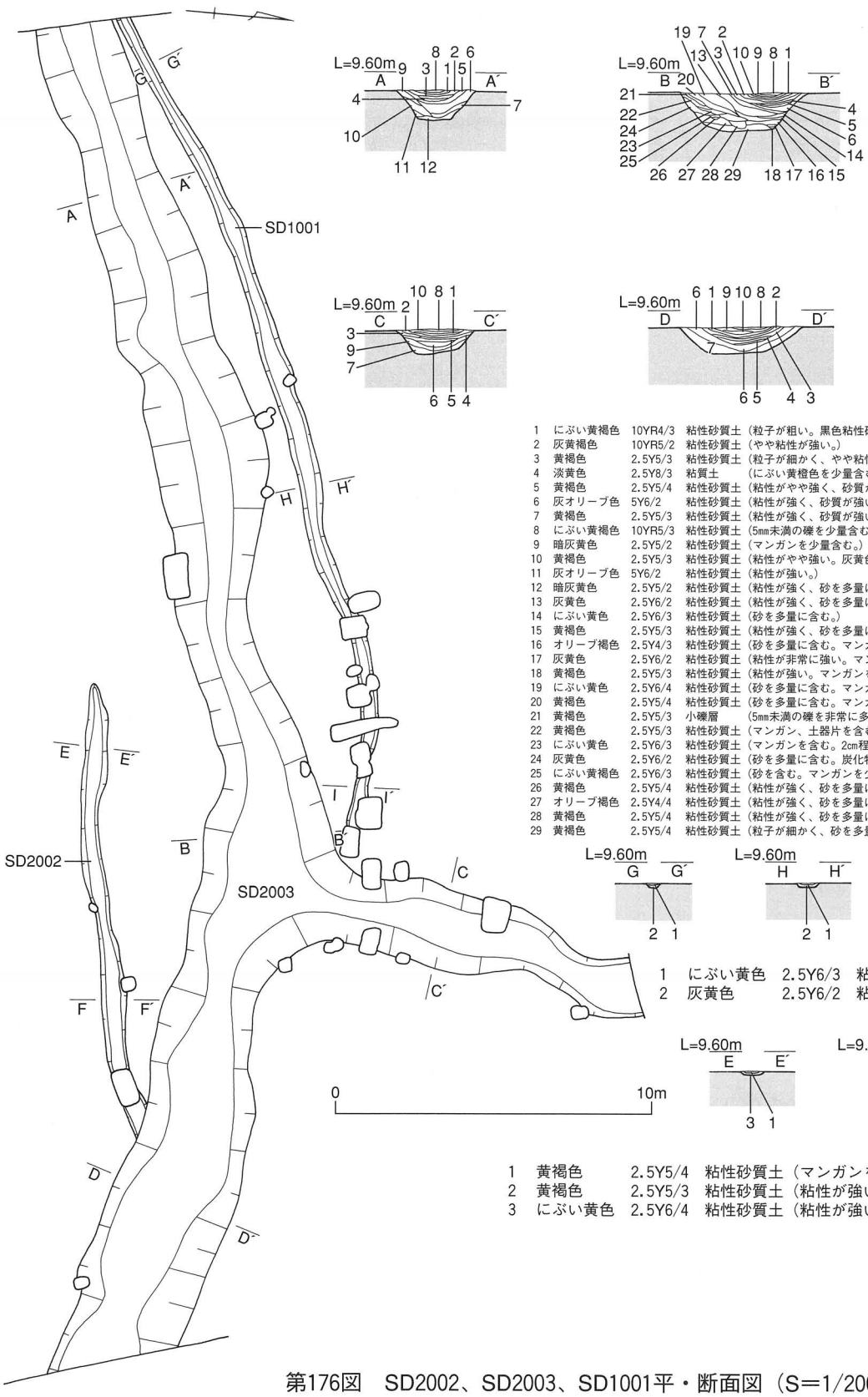
断面形　逆台形

全長　44.0m

土層　29層

遺物出土状況　比較的まとまって土器、石器が出土している。図示できたのは、壺、甕、鉢、高杯、土錘の52点である。後期後半の土器を主体とする。壺（641）の頸部には、弧帯文状の線刻が認められる。一方、石器は、石鏃、敲石、剥片、石核など7点が出土している。

時期　弥生時代中期後半～古墳時代前期

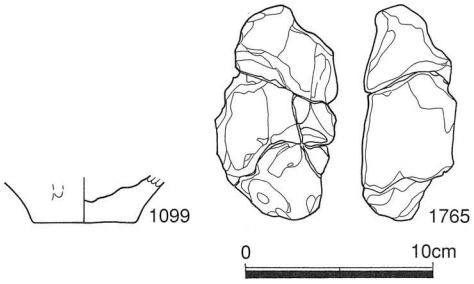


1	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土（粒子が粗い。黒色粘性砂質土を含む。）
2	灰黄褐色	10YR5/2	粘性砂質土（やや粘性が強い。）
3	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（粒子が細かく、やや粘性が強い。）
4	淡黄色	2.5Y8/3	粘質土（にぶい黄橙色を少量含む。）
5	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（粘性がやや強く、砂質がやや強い。）
6	灰オリーブ色	5Y6/2	粘性砂質土（粘性が強く、砂質が強い。下部ほど粘性が強い。）
7	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（粘性が強く、砂質が強い。マンガンを多量に含む。）
8	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土（5mm未満の礫を少量含む。）
9	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘性砂質土（マンガンを少量含む。）
10	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（粘性がやや強い。灰黄色粘性砂質土を少量含む。）
11	灰オリーブ色	5Y6/2	粘性砂質土（粘性が強い。）
12	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘性砂質土（粘性が強く、砂を多量に含む。マンガンを多量に含む。）
13	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土（粘性が強く、砂を多量に含む。マンガンを含む。1cm未満の礫を微量含む。）
14	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土（砂を多量に含む。）
15	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（粘性が強く、砂を多量に含む。マンガンを多量に含む。）
16	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘性砂質土（砂を多量に含む。マンガンを少量含む。）
17	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土（粘性が非常に強い。マンガンを含む。）
18	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（粘性が強い。マンガンを少量含む。）
19	にぶい黄色	2.5Y6/4	粘性砂質土（砂を多量に含む。マンガンを含む。1cm未満の礫を少量含む。）
20	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（砂を多量に含む。マンガンを多量に含む。1cm未満の礫を少量含む。）
21	黄褐色	2.5Y5/3	小礫層（5mm未満の礫を非常に多く含む。）
22	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（マンガン、土器片を含む。1cm未満の礫を少量含む。）
23	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土（マンガンを含む。2cm程度の石を少量含む。）
24	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土（砂を多量に含む。炭化物を含む。2cm未満の礫を微量含む。）
25	にぶい黄褐色	2.5Y6/3	粘性砂質土（砂を含む。マンガンを少量含む。2cm未満の礫を微量含む。）
26	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（粘性が強く、砂を多量に含む。マンガンを少量含む。）
27	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土（粘性が強く、砂を多量に含む。マンガン、1cm未満の礫を少量含む。）
28	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（粘性が強く、砂を多量に含む。）
29	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（粒子が細かく、砂を多量に含む。マンガンを少量含む。）

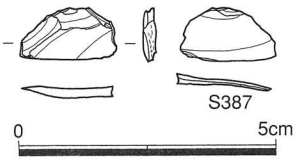
1	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土（マンガンを含む。）
2	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土（マンガンを多量に含む。）

1	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土（マンガンを多量に含む。）
2	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土（粘性が強い。マンガン、土器片、小礫を含む。）
3	にぶい黄色	2.5Y6/4	粘性砂質土（粘性が強い。マンガン、土器片を含む。）

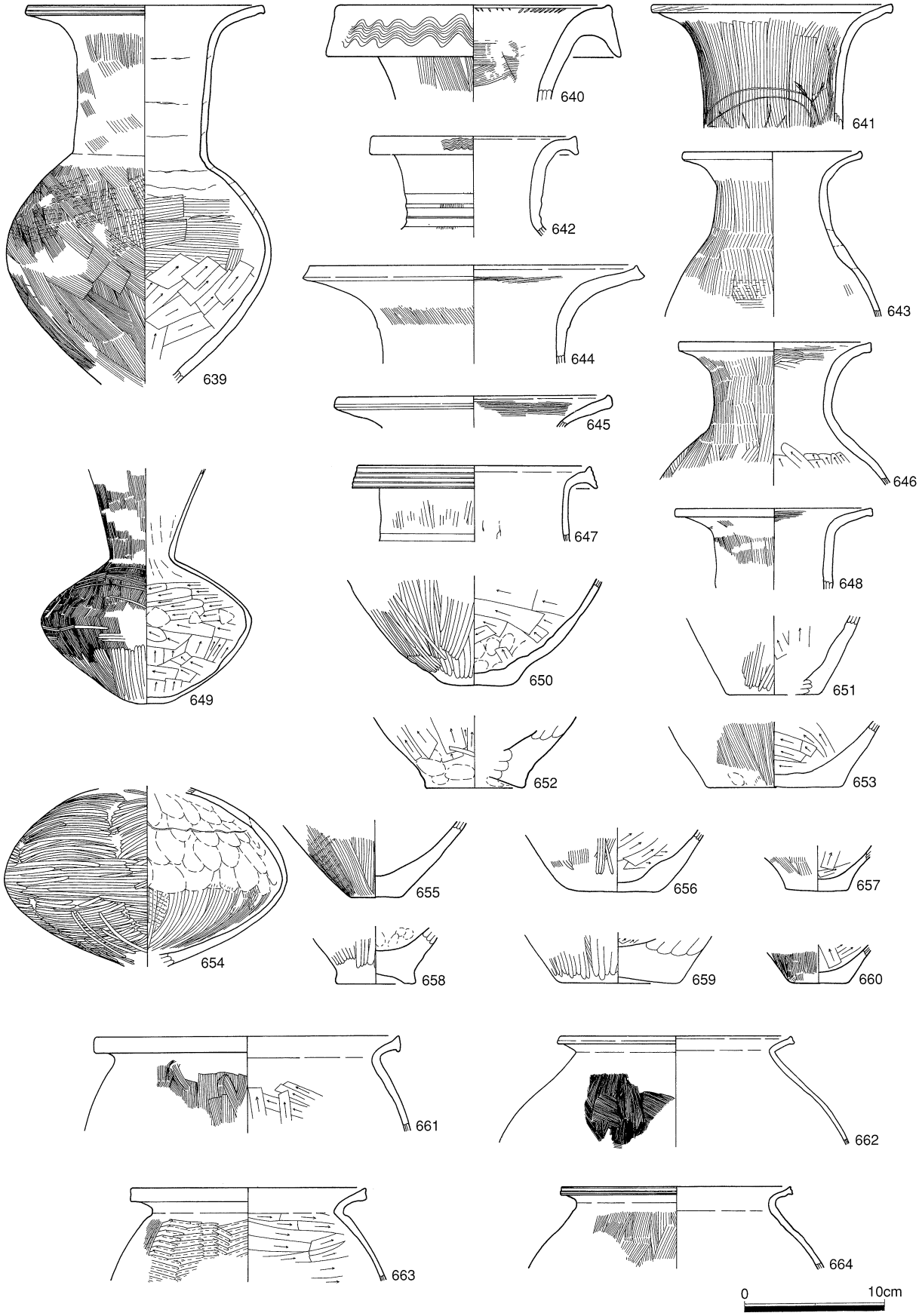
第176図　SD2002、SD2003、SD1001平・断面図（S=1/200）



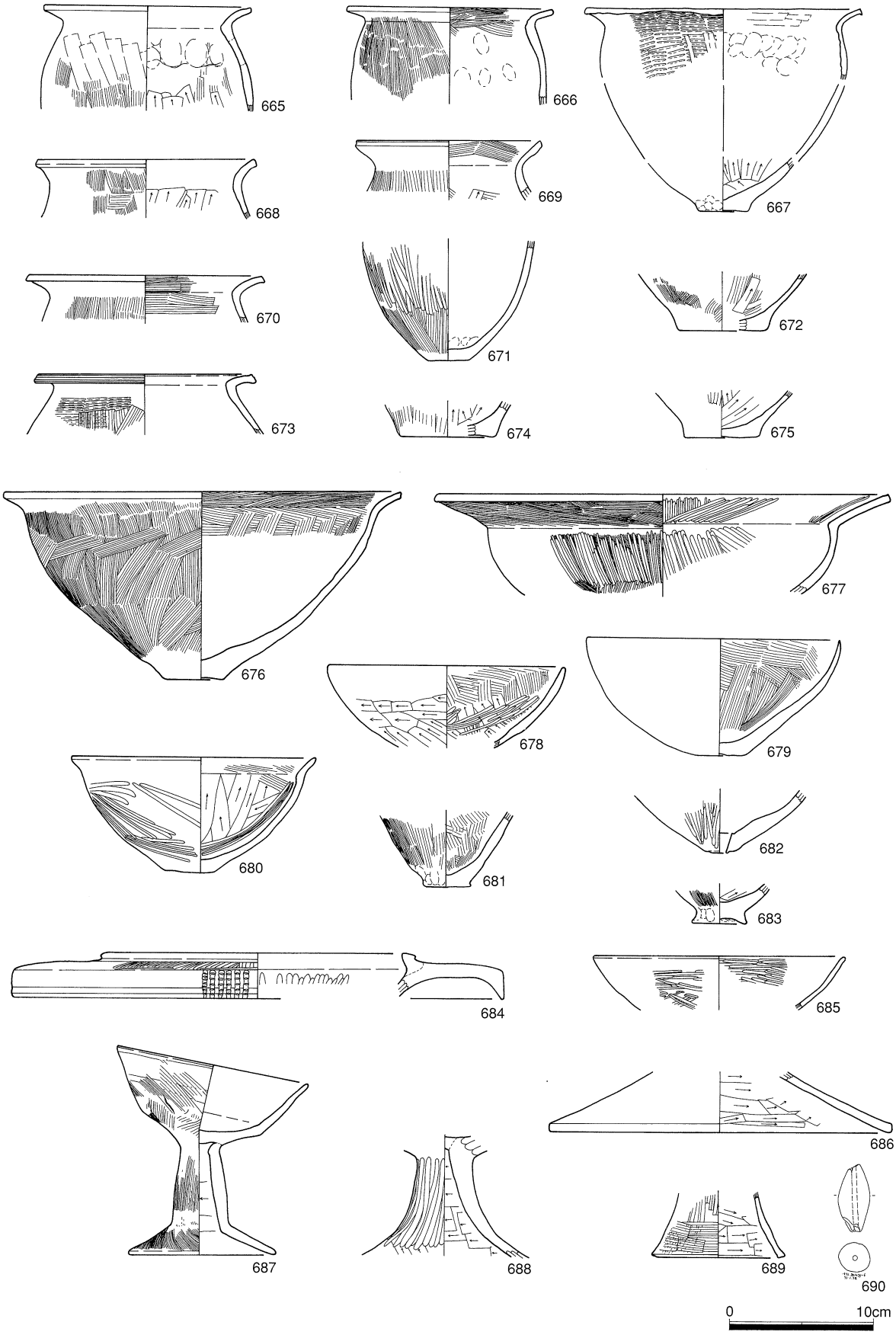
第177図　SD2002出土土器



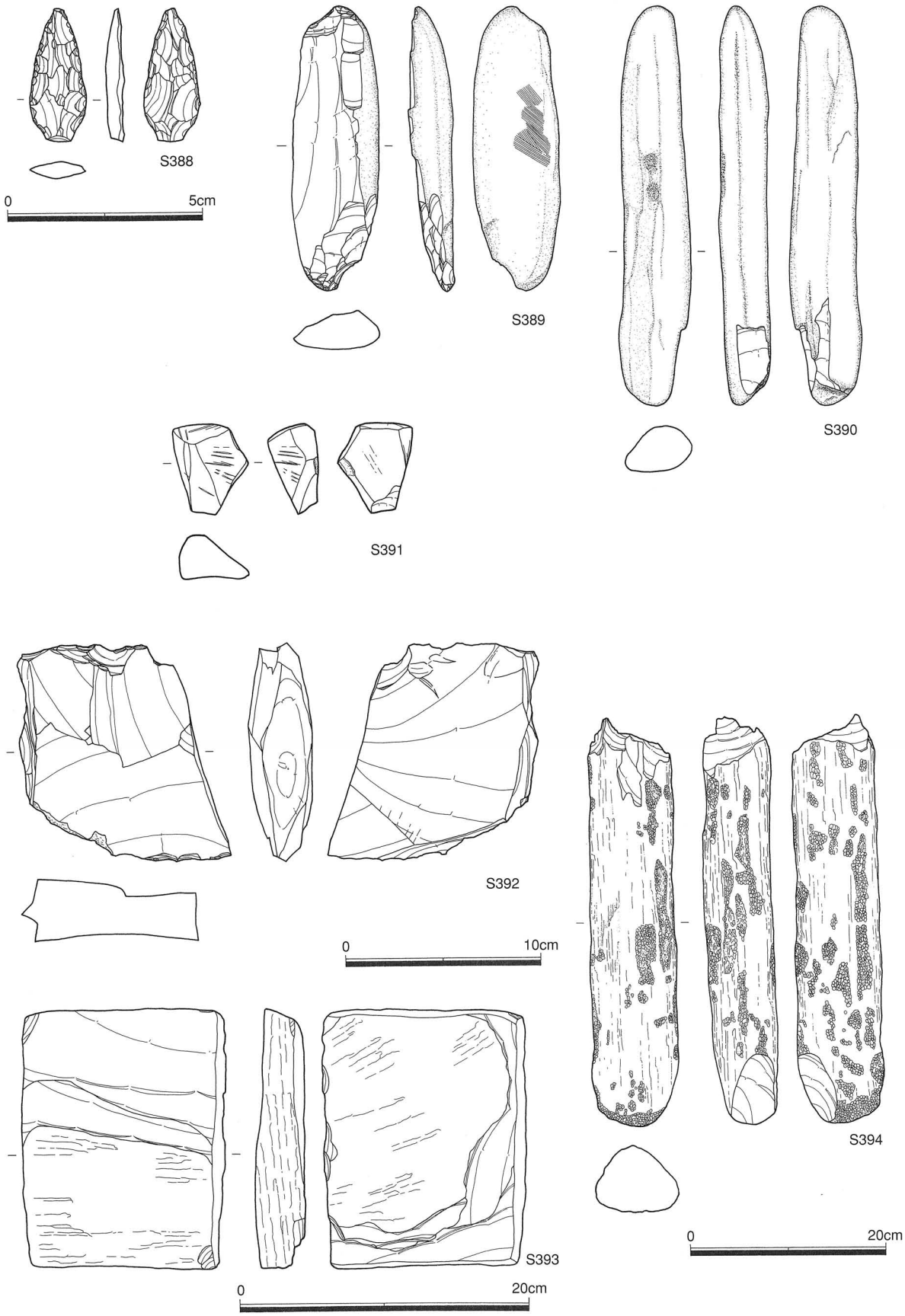
第178図　SD2002出土石器



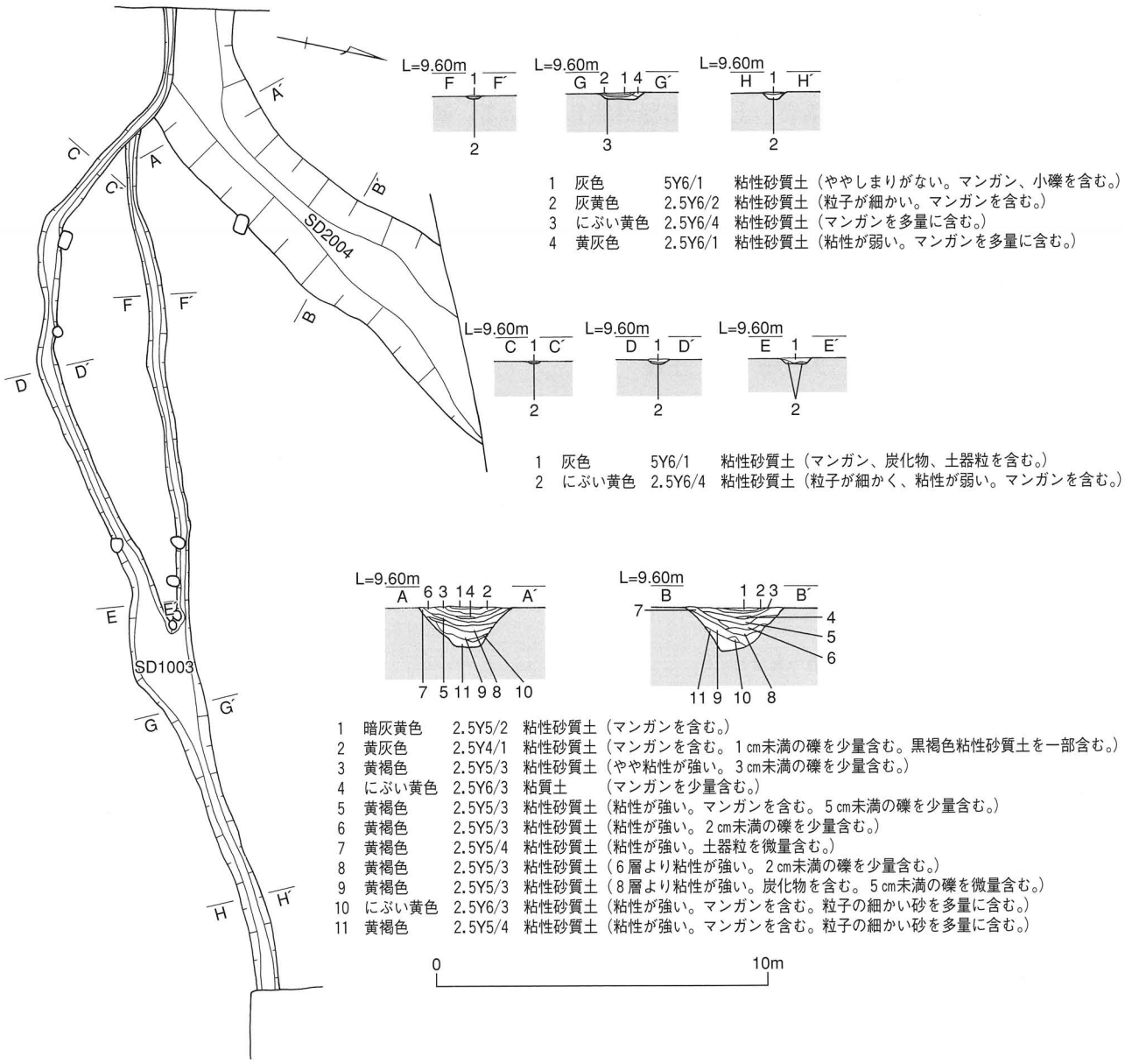
第179図　SD2003出土土器（1）



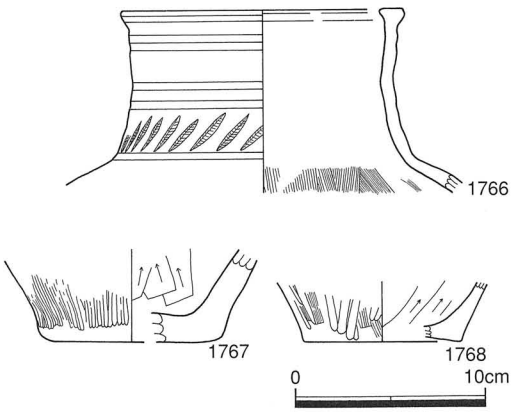
第180図　SD2003出土土器（2）



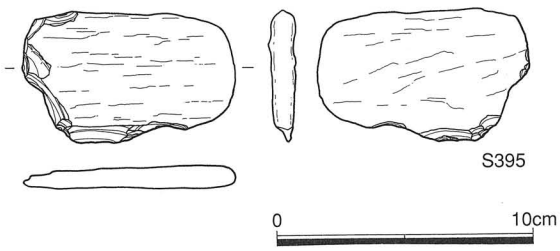
第181図　SD2003出土石器



第182図　SD2004、SD1003平・断面図（S＝1/200）



第183図　SD2004出土土器



第184図　SD2004出土石器

溝状遺構（SD2004）

位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　f～h 9 ～10

断面形　逆台形　　**全長**　14.2m　　**土層**　11層

遺物出土状況　わずかではあるが、土器、石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の3点である。一方、石器は、スクレイパーが1点だけ図示できた。

時期　弥生時代中期後半～古墳時代前期初頭

溝状遺構（SD2005）

位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　h～j12～16

断面形　船底形　　**全長**　24.0m　　**土層**　4層

遺物出土状況　覆土からかなりまとまった量の土器と石器が出土している。ただし、特定の地点、層位からの出土ではなく、溝状遺構全体から出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯など107点である。一方、石器は、柱状片刃石斧、石庖丁、スクレイパー、楔形石器、敲石が7点出土している。

時期　弥生時代中期後半～後期前半

溝状遺構（SD2006）

位置　4区　Loc.D 2　δⅡ　h～k 9 ～16

断面形　逆台形　　**全長**　43.5m　　**土層**　34層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の26点である。一方、石器は、太型蛤刃石斧と砥石が図示できた。

時期　弥生時代中期後半～古墳時代前期初頭

備考　前述のSD2004と覆土の堆積状況は似ており、また、平面的な位置関係からもSD2006はSD2004と同一の溝状遺構の可能性が高いと考えられる。

溝状遺構（SD2007）

位置　4～6区　Loc.D 2　δεⅡ　s～e 9 ～11

断面形　皿形　　**全長**　28.5m　　**土層**　2層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できたのは甕1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

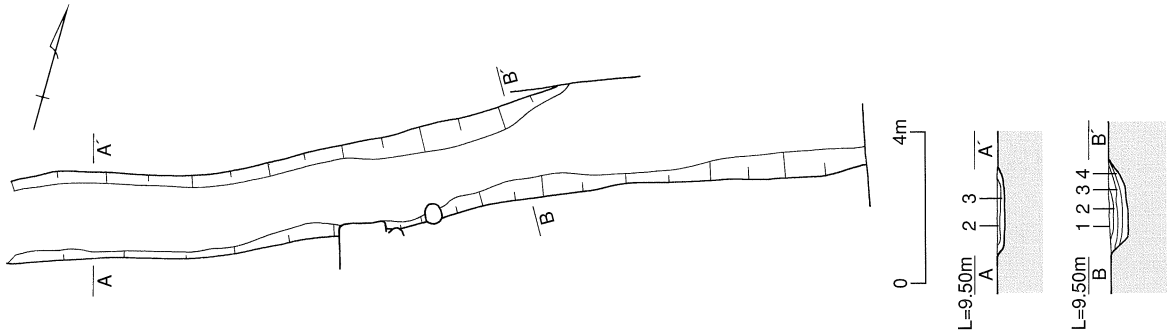
溝状遺構（SD2012）

位置　4区　Loc.D 2　δⅡ　i～k 9 ～11

断面形　逆台形　　**全長**　40.2m　　**土層**　17層

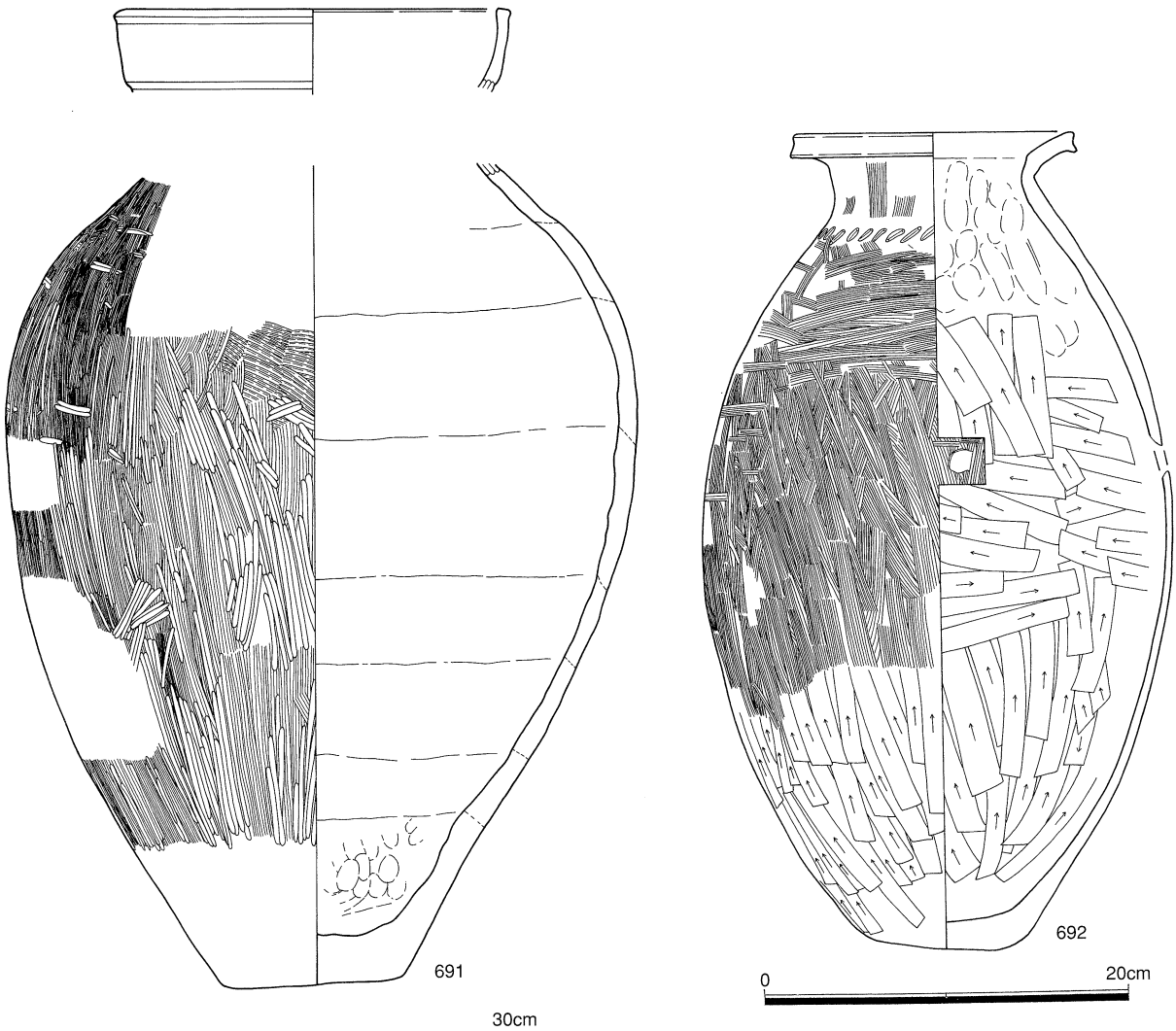
遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕の4点である。一方、石器は、石鏃と敲石が2点出土している。また、鉄器も1点出土している。

時期　弥生時代中期後半

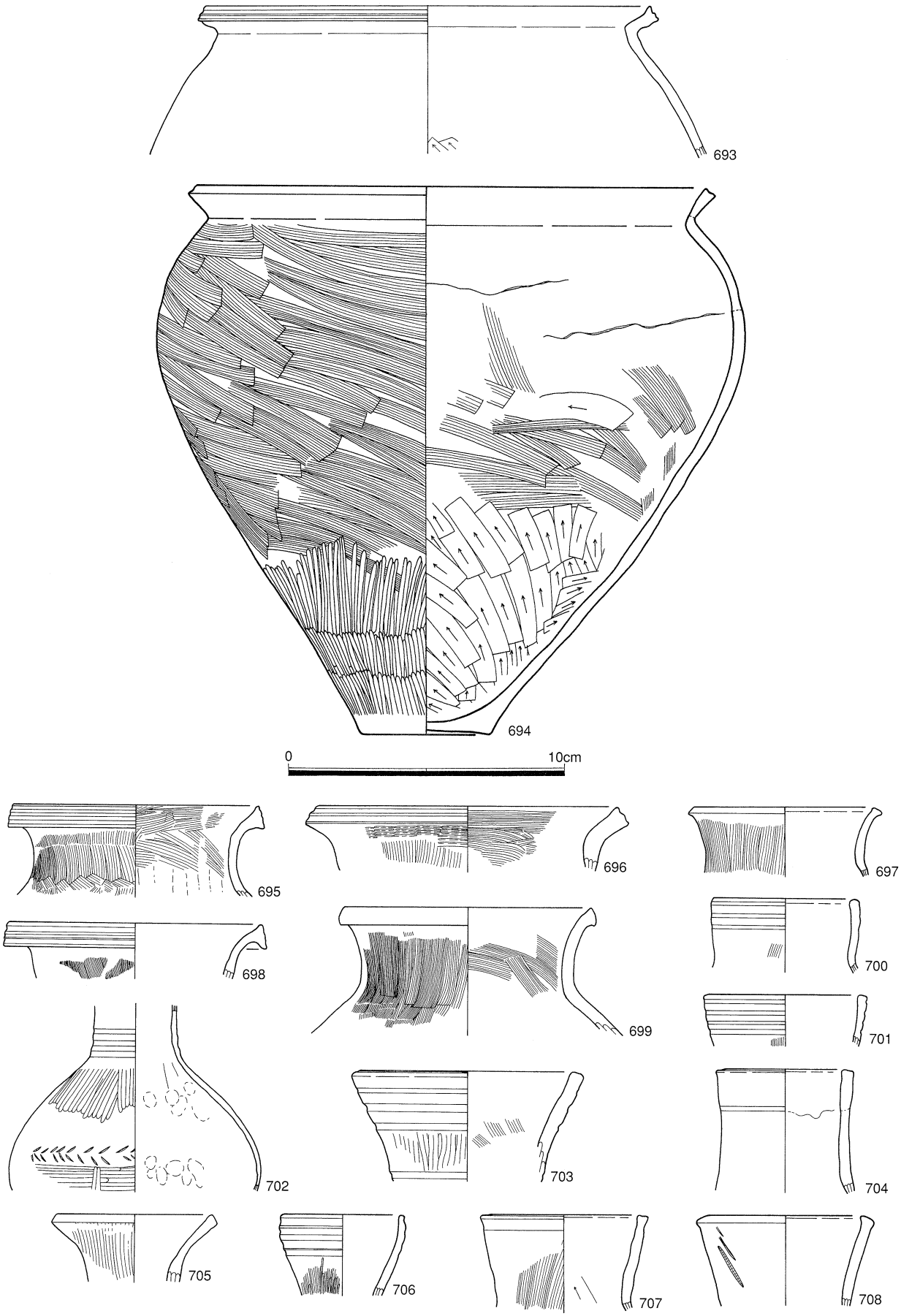


1	灰黄色	2.5Y7/2	粘性砂質土（粒子が細かく、粘性が弱い。マンガン、土器粒を含む。）
2	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土（粒子が細かく、粘性が弱い。マンガン、土器片を含む。）
3	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土（粒子が細かく、粘性が弱い。マンガン、土器片を含む。）
4	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土（粘性が強い。マンガン、石、土器片を含む。）

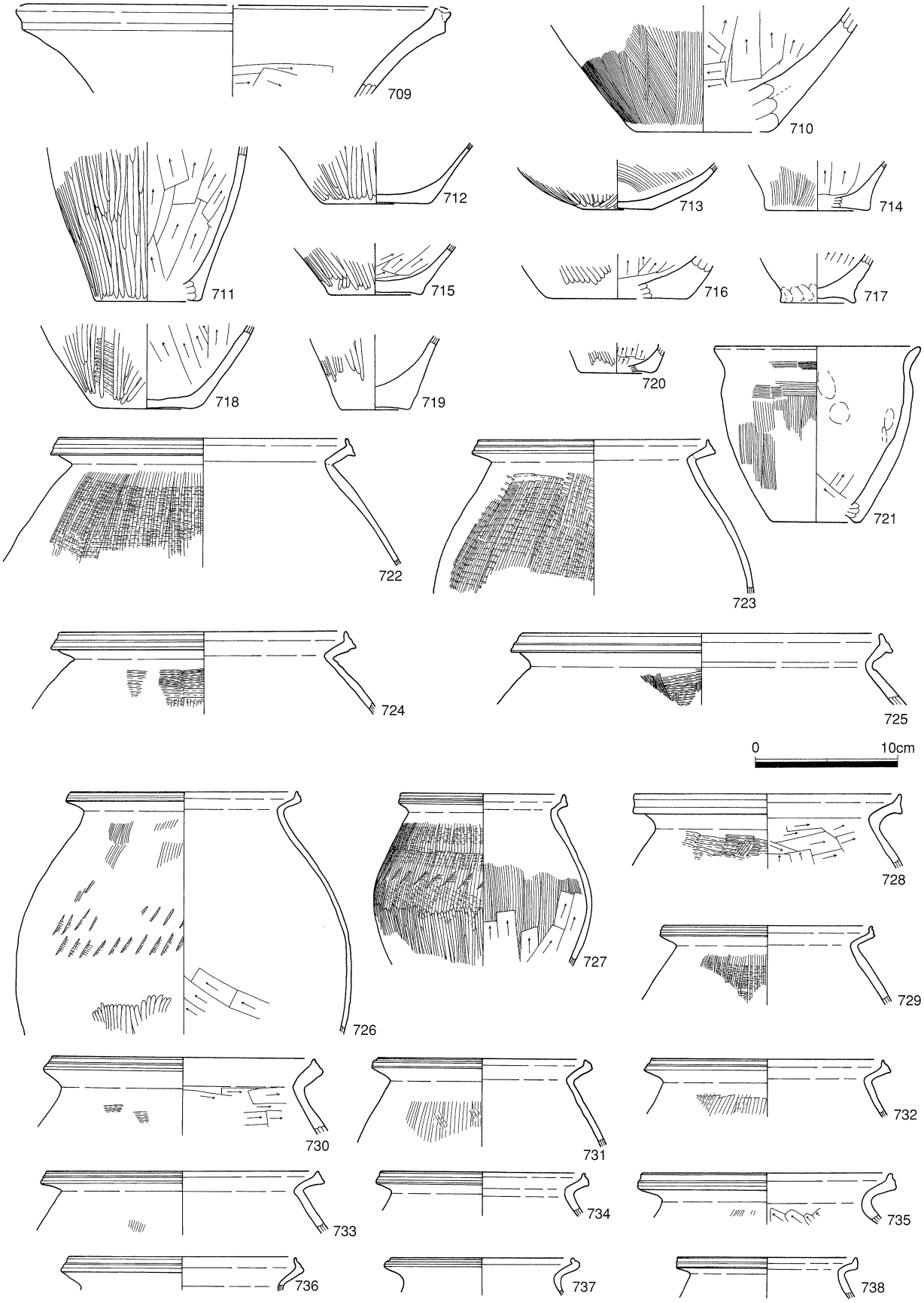
第185図　SD2005平・断面図（S=1/200）



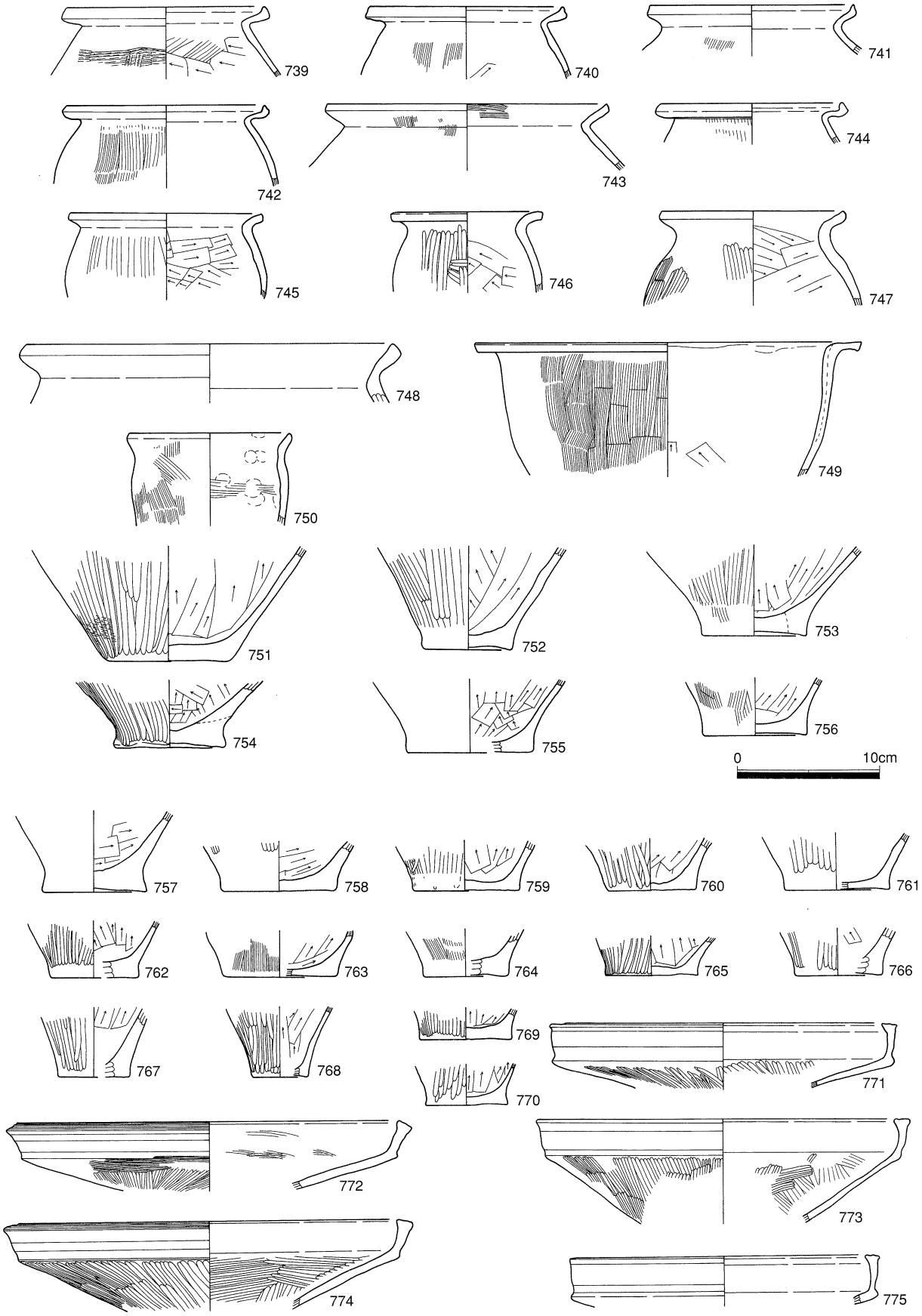
第186図 SD2005出土土器（1）



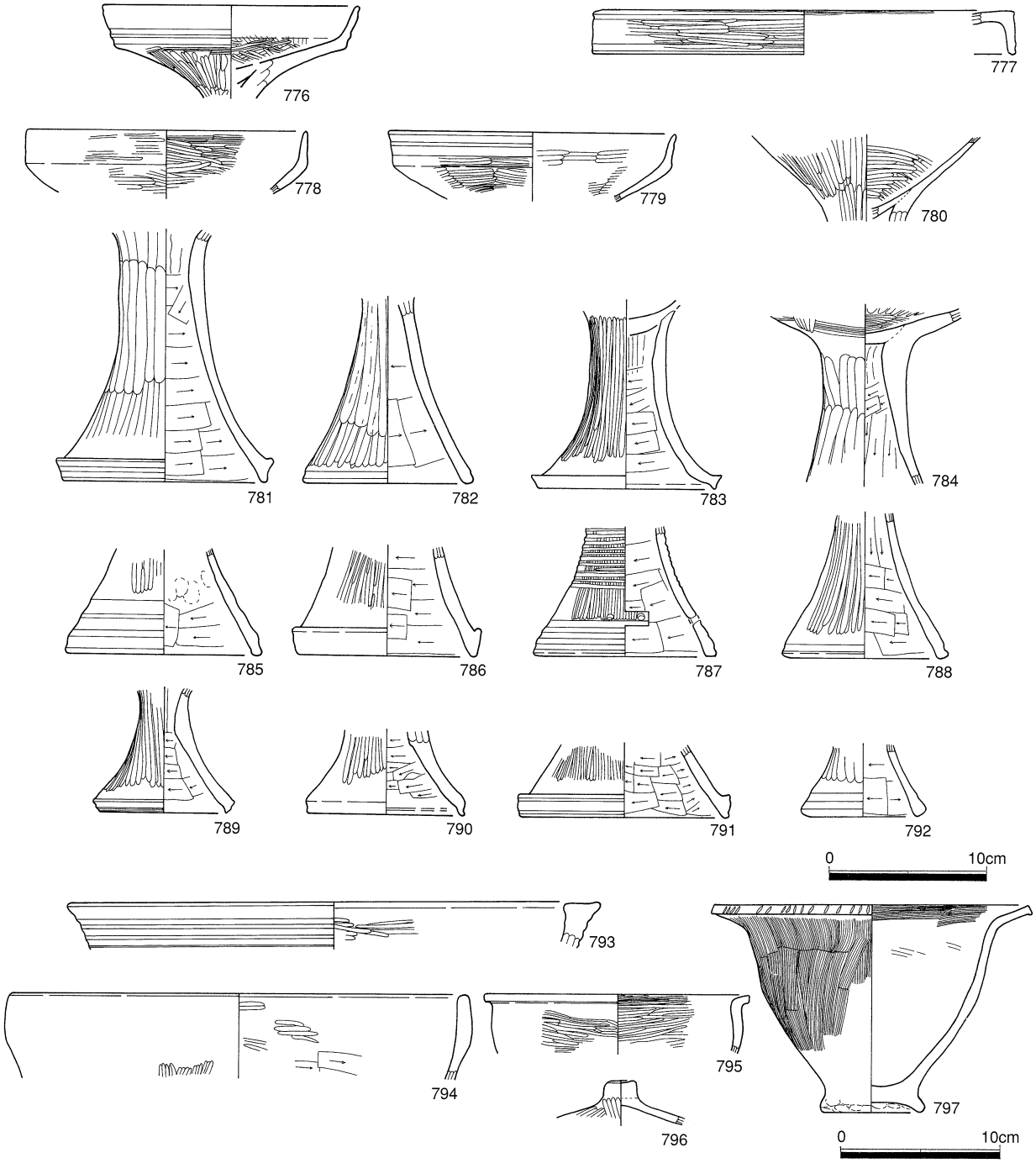
第187図　SD2005出土土器（２）



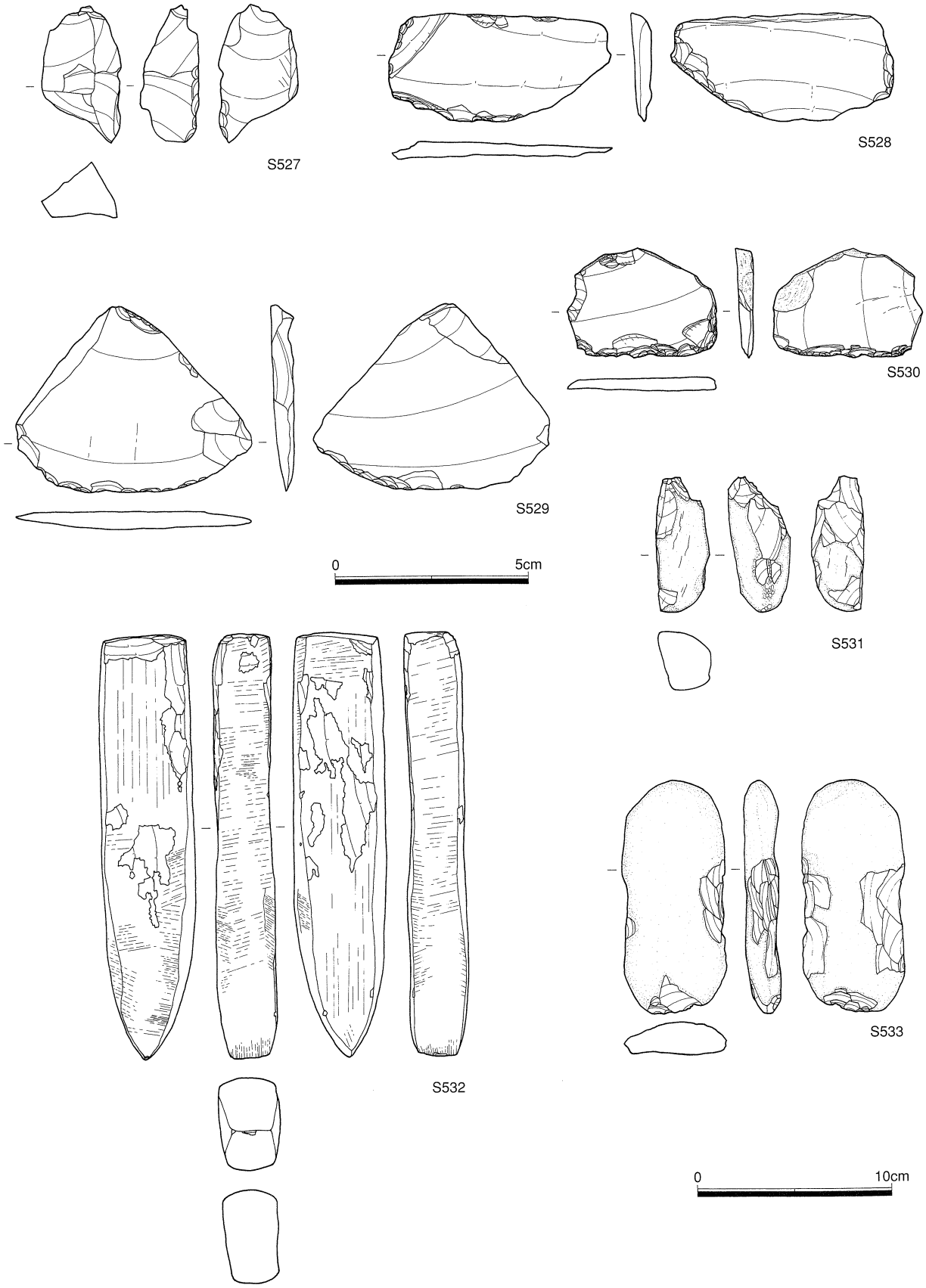
第188図　SD2005出土土器（3）



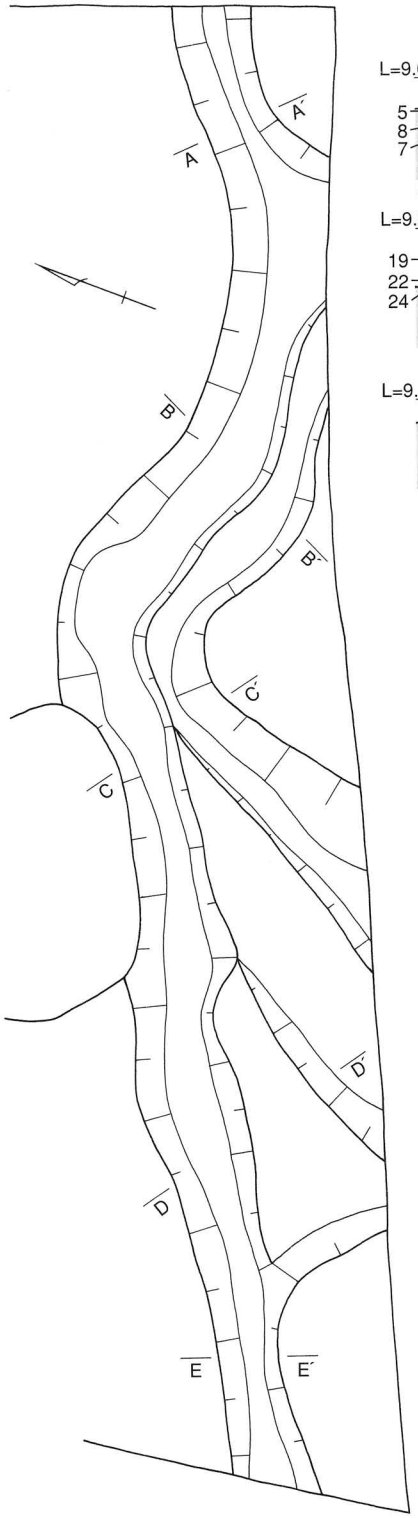
第189図　SD2005出土土器（4）

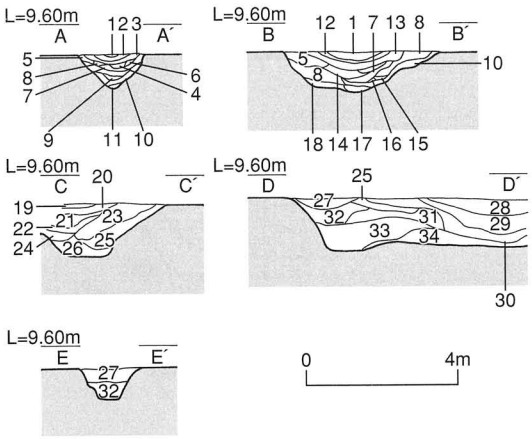


第190図　SD2005出土土器（5）



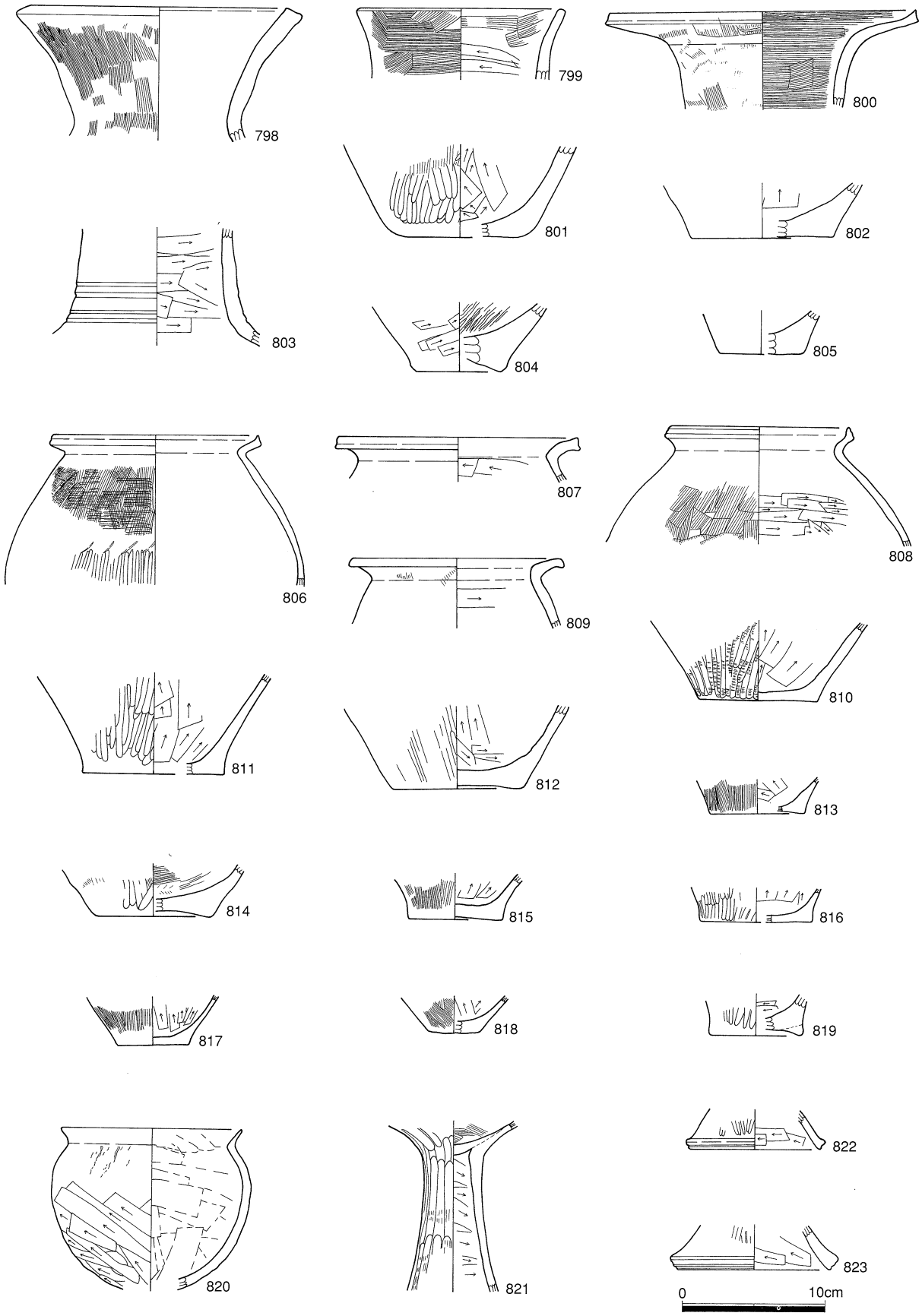
第191図　SD2005出土石器



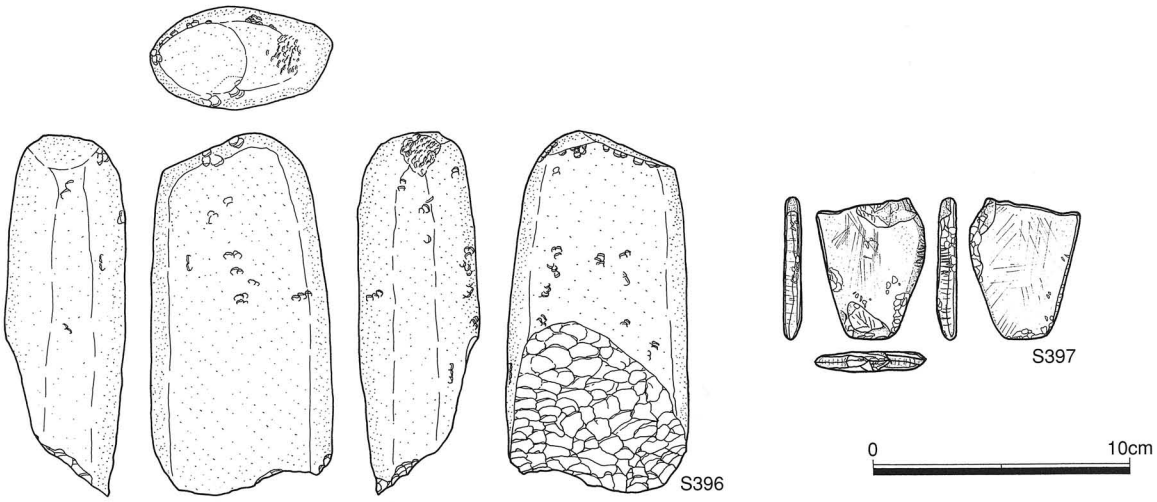


1	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	
2	黒褐色	2.5Y5/1	砂質土	（1層の土を筋状に含む。炭化物を含む。）
3	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	（2層の土が所々に点在する。）
4	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	（5層より粒子が細かい。）
5	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	
6	暗灰黄色	2.5Y5/2	砂質土	
7	暗灰黄色	2.5Y5/2	砂質土	（6層より粒子が細かい。）
8	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	
9	暗灰黄色	2.5Y5/2	砂質土	（砂を含む。）
10	オリーブ褐色	2.5Y5/3	砂質土	（8層より粒子が細かい。）
11	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	（炭化物を含む。）
12	黒褐色	2.5Y3/2	砂質土	（1層の土を上部に含む。）
13	黒色	5Y2/1	砂質土	（炭化物を含む。下部は黄褐色砂質土を含む。）
14	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	（炭化物を含む。）
15	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂質土	
16	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	（8層より粒子が細かい。）
17	暗灰黄色	2.5Y5/2	砂層	
18	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	
19	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土	（下層に褐灰色粘性砂質土を多く含む。）
20	褐灰色	10YR5/1	粘性砂質土	（上層に黒褐色の炭化土を多く含む。0.5～1cmの礫を少量含む。）
21	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土	（マンガン、0.5～2cm の礫を多く含む。）
22	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土	（21層よりマンガンを多く含む。1cm程度の礫を少量含む。）
23	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	（22層よりマンガンを多く含む。0.5cm程度の礫を少量含む。）
24	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘性砂質土	（上層にマンガンを多く含む。1cm程度の礫を少量含む。）
25	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	（粘性がやや強い。）
26	黄褐色	2.5Y5/6	粘性砂質土	（粘性が強く、一面に非常に多量のマンガンを含む。）
27	黒褐色	2.5Y3/2	砂礫層	
28	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質土	
29	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質土	（28層より粒子が細かい。）
30	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土	
31	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂礫層	
32	黄褐色	2.5Y5/3	砂礫層	
33	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂礫層	（31層より粒子が細かい。）
34	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂質土	（30層より粒子が細かい。）

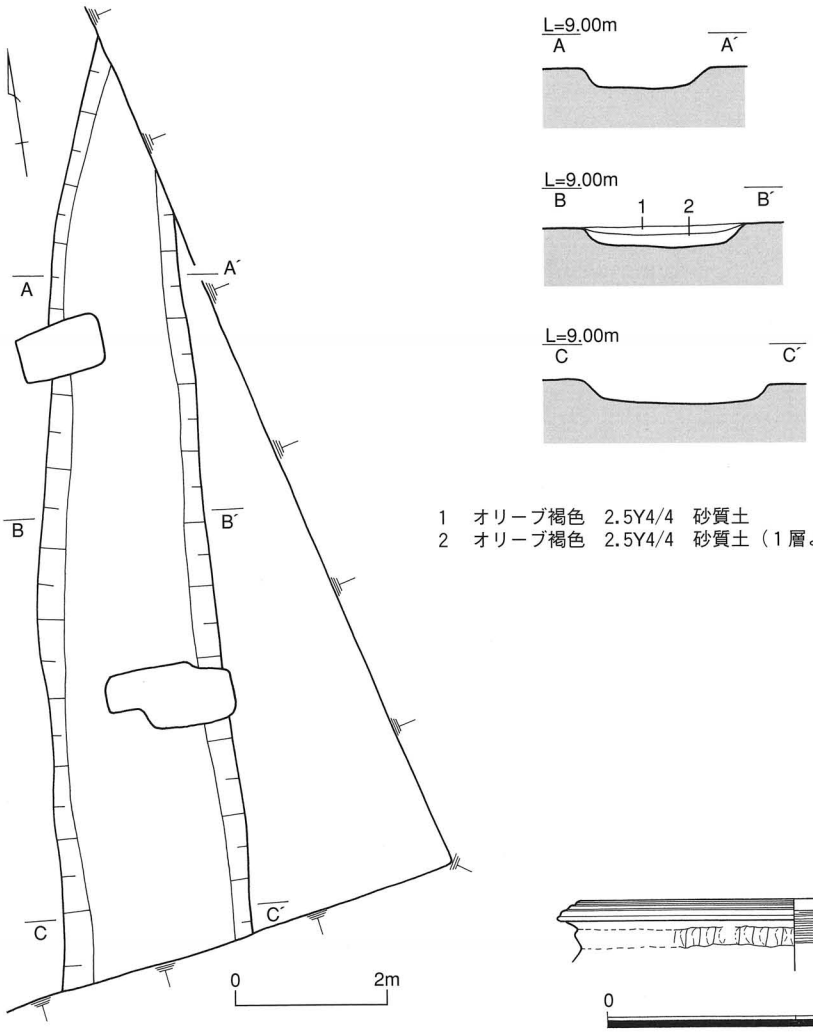
第192図　SD2006平・断面図（S＝1/200）



第193図　SD2006出土土器

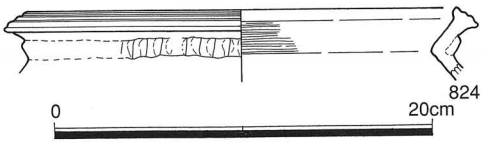


第194図　SD2006出土石器

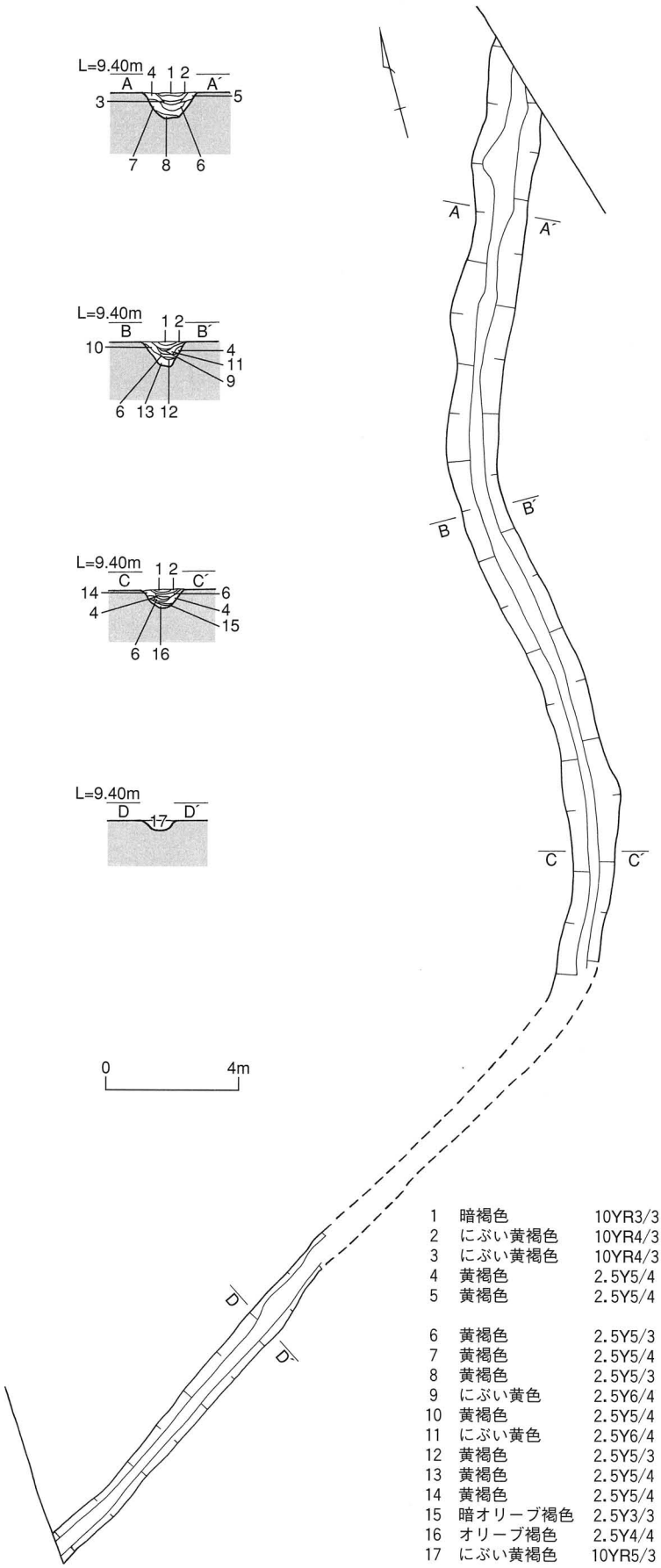


1　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土
2　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土（1層よりやや明るい）

第195図　SD2007平・断面図（S＝1/100）

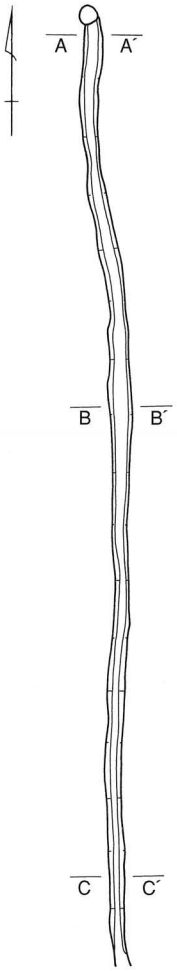


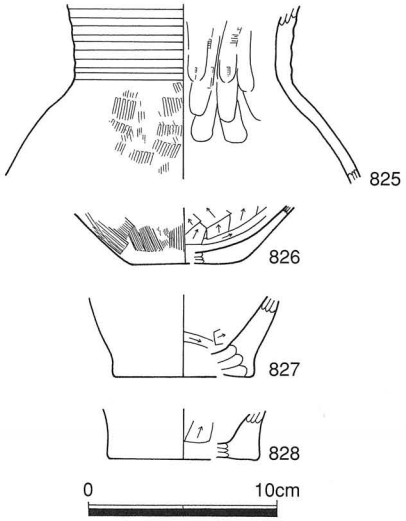
第196図　SD2007出土土器



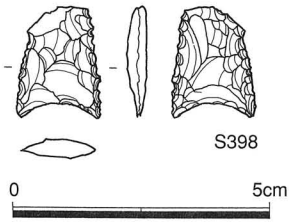
1	暗褐色	10YR3/3	砂質土	(粘性が弱く、炭化物を含む。)
2	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂質土	(粘性が弱く、炭化物を含む。)
3	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂質土	(粘性が弱い。)
4	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(粘性が弱い。)
5	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(粘性が弱い。一部にぶい黄褐色砂質土を含む。)
6	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	(粘性が弱い。)
7	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(粘性が弱い。粒子がやや細かい。)
8	黄褐色	2.5Y5/3	シルト	(粘性がやや強い。砂粒を含む。)
9	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土	(粘性が弱く、粗い砂粒を含む。)
10	黄褐色	2.5Y5/4	シルト	(粘性がやや強い。)
11	にぶい黄色	2.5Y6/4	砂質土	(粘性がやや強い。)
12	黄褐色	2.5Y5/3	シルト	(粘性がやや強い。)
13	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(粘性が弱い。)
14	黄褐色	2.5Y5/4	砂質土	(粘性がやや強い。)
15	暗オリーブ褐色	2.5Y3/3	シルト	(粘性がやや強い。)
16	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	(粘性が弱い。)
17	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	(マンガン、2㎝程度の小石を含む。礫を全面に含む。)

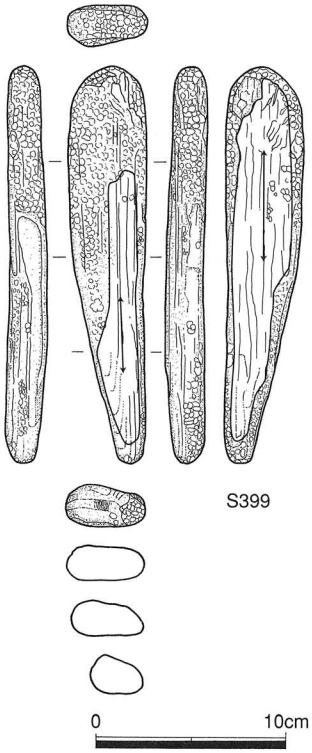
第197図　SD2012平・断面図（S=1/200）

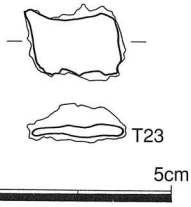




第199図　SD2012出土土器

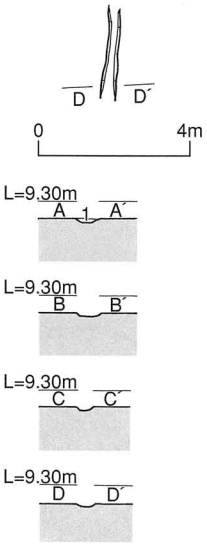






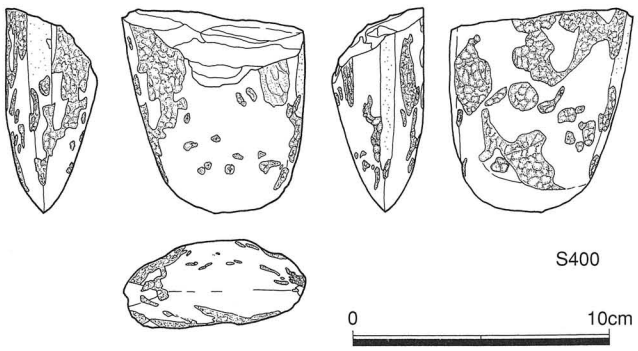
第200図　SD2012出土鉄器

第201図　SD2012出土石器



1　灰黄褐色　10YR4/2　粘性砂質土（マンガンを含む。）

第198図　SD2014平・断面図（S＝1/200）



第202図　SD2014出土石器

溝状遺構（SD2014）

位置　4区　Loc.D 2　δε Ⅱ　l～b10

断面形　皿形　　**全長**　32.3m　　**土層**　1層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できたのは、石器で太型蛤刃石斧1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

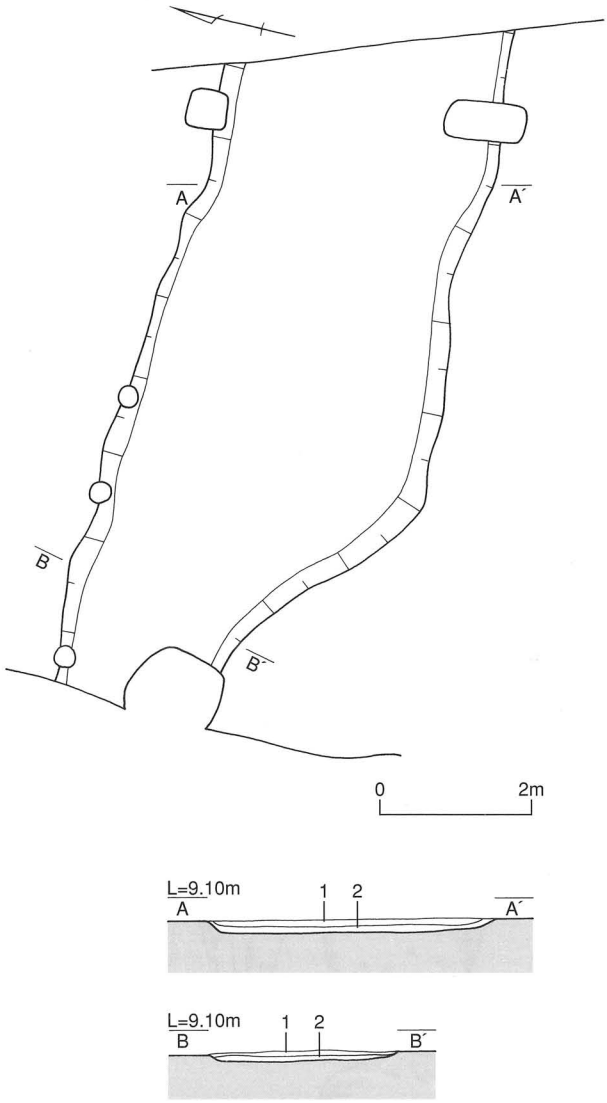
溝状遺構（SD2017）

位置　4区　Loc.D 2　δ Ⅱ　st11～13

断面形　皿形　　**全長**　9.5m　　**土層**　2層

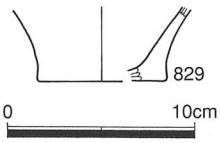
遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。一方、石器は、楔形石器と剥片が図示できた。

時期　弥生時代中期後半

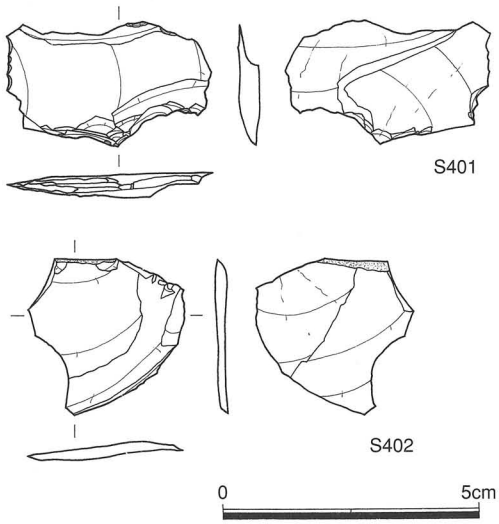


1　灰オリーブ色　5Y6/2　シルト　（マンガンを含む。）
2　黄褐色　2.5Y5/3　粘性砂質土（マンガンを含む。）

第203図　SD2017平・断面図（S=1/100）



第204図　SD2017出土土器



第205図　SD2017出土石器

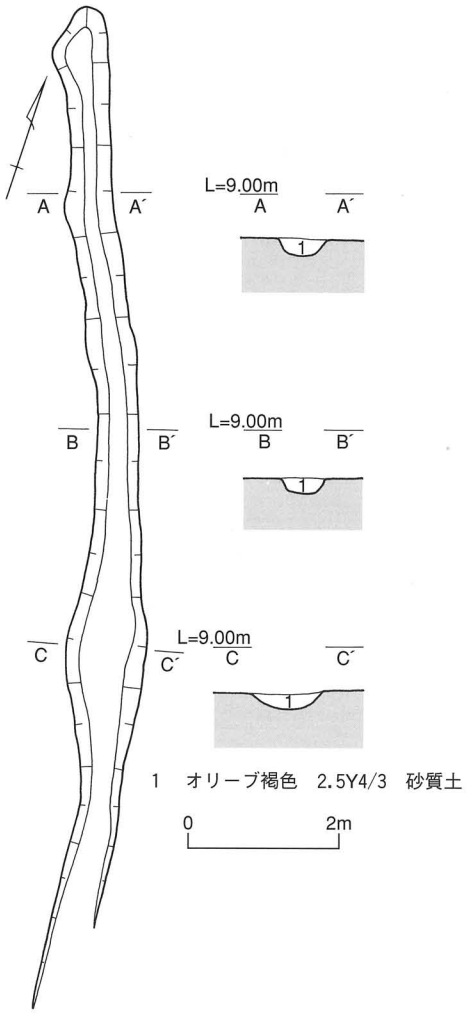
溝状遺構（SD2019）

位置　7区　Loc.E2　αⅡ　e～g4

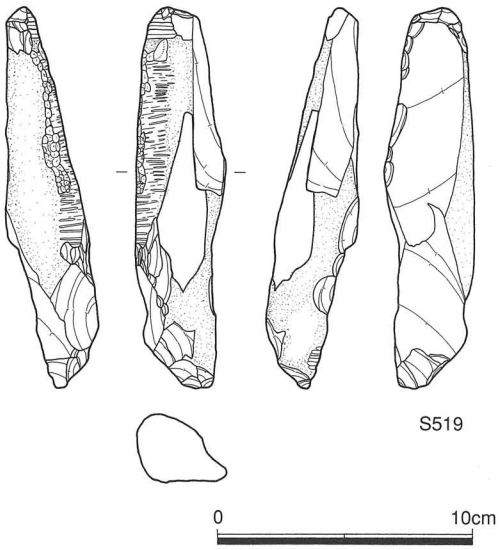
断面形　皿形　　**全長**　13.3m　　**土層**　1層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕の5点である。一方、石器は、砥石が1点図示できた。この砥石は、特徴的な細かな線状痕を有しており、鉄器製作に関連したものの可能性も指摘できる。

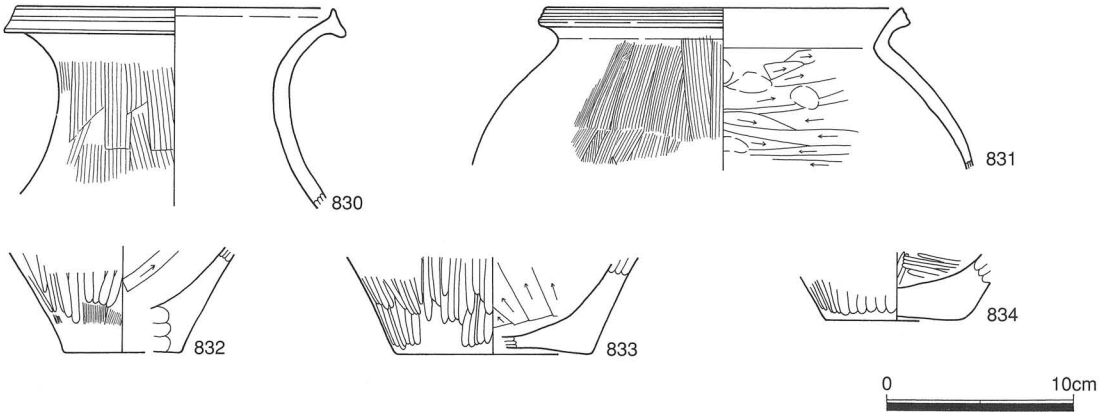
時期　弥生時代中期後半～後期初頭



第206図　SD2019平・断面図（S=1/100）



第207図　SD2019出土石器



第208図　SD2019出土土器

溝状遺構（SD2020）

位置　８区

Loc.D２　δⅡ　o～q５～６

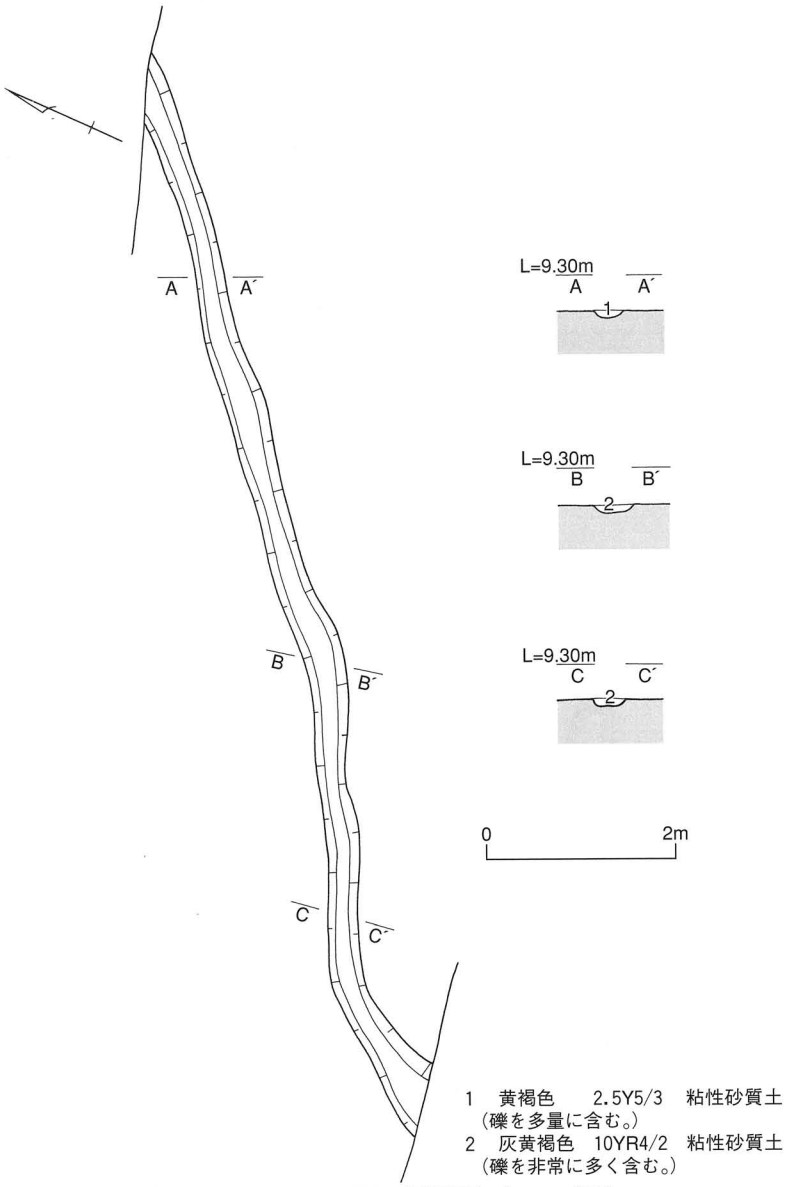
断面形　皿形

全長　11.3m

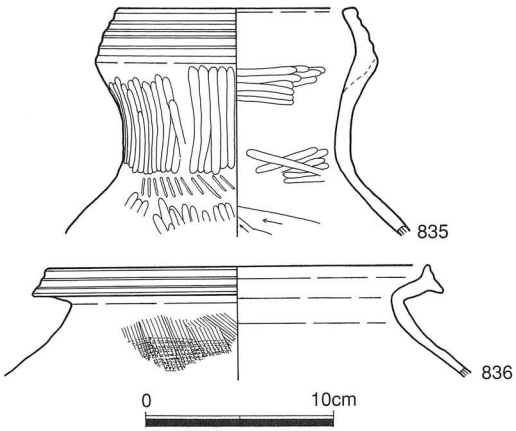
土層　２層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕の２点である。

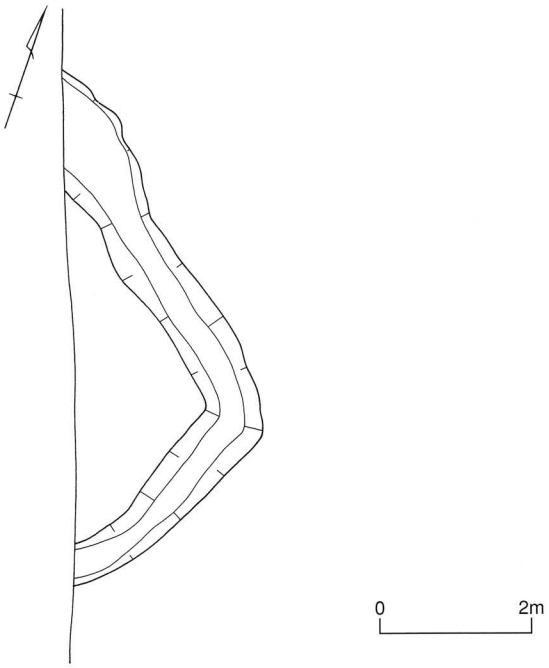
時期　弥生時代中期後半



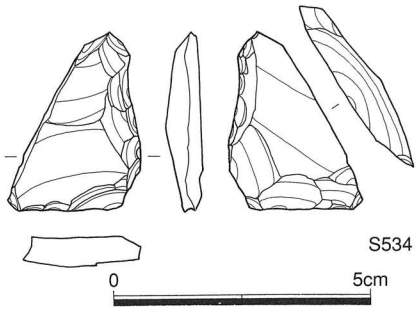
第209図　SD2020平・断面図（S＝1/80）



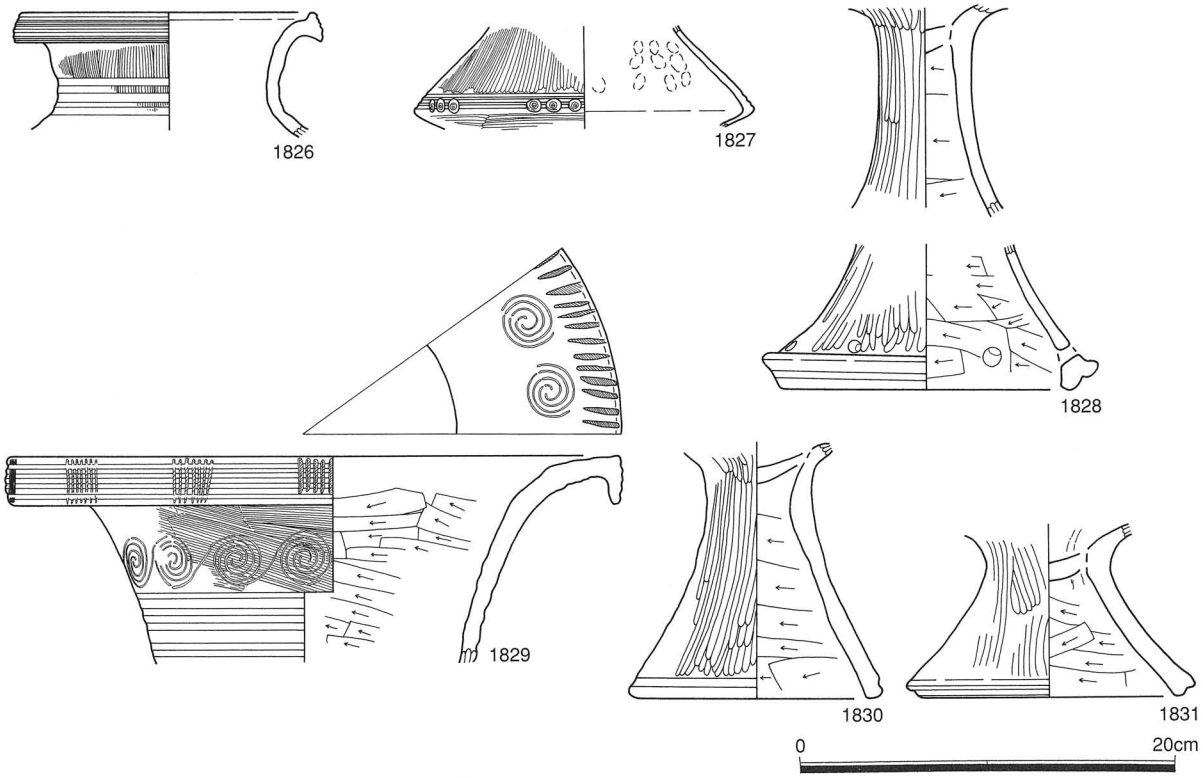
第210図　SD2020出土土器



第211図　SD2022平・断面図（S＝1/100）



第212図　SD2022出土石器



第213図　SD2022出土土器

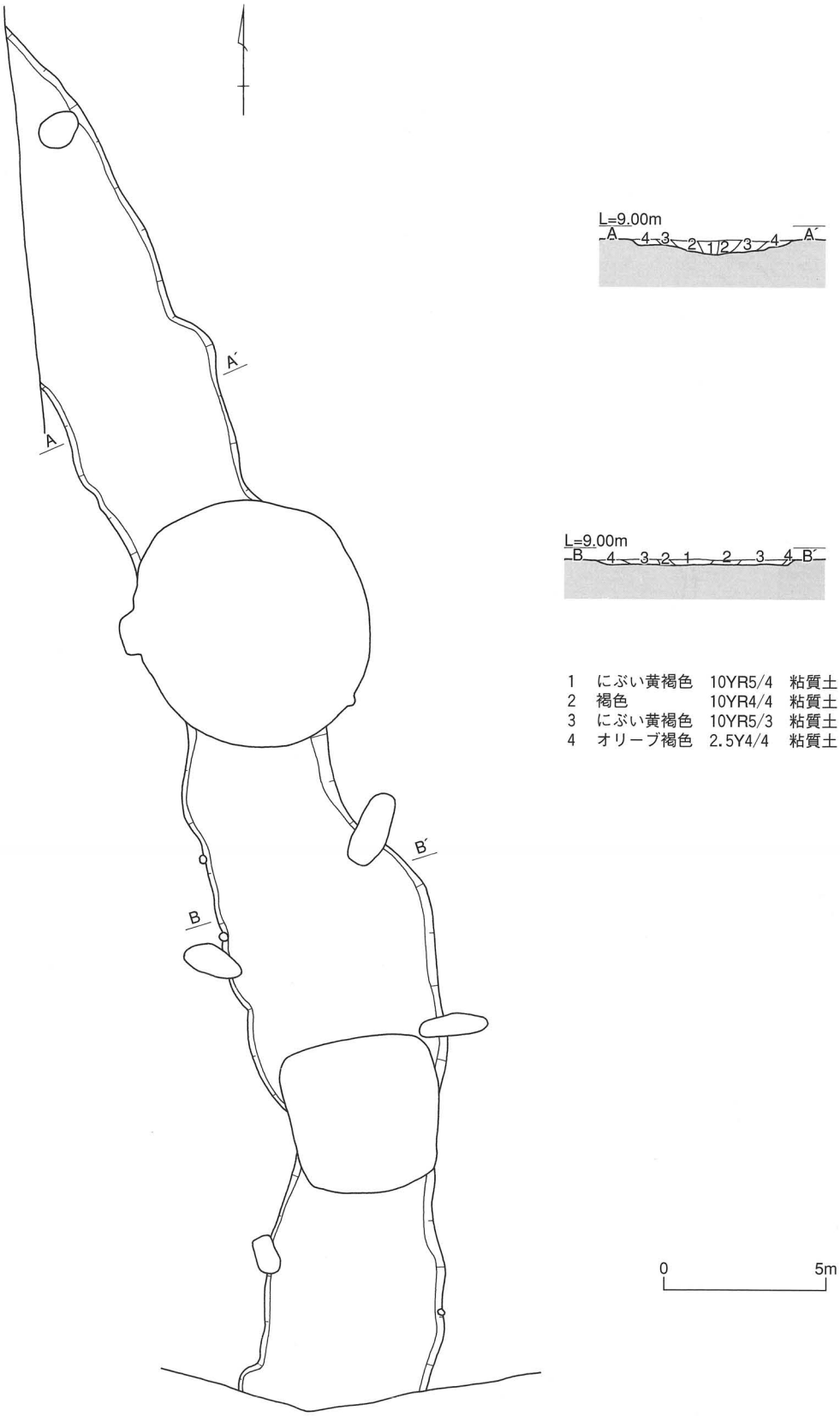
溝状遺構（SD2022）

位置　9区　Loc.D 2　εⅡ　g 1 ～ 2　　**断面形**　逆台形　　**全長**　9.3m　　**土層**　不明

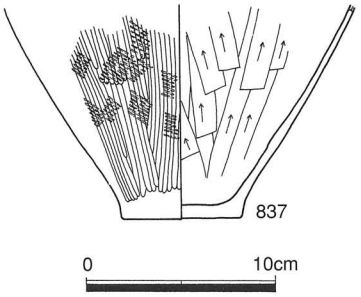
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、高杯の７点である。一方、石器は、楔形石器が１点出土している。

時期　弥生時代後期初頭

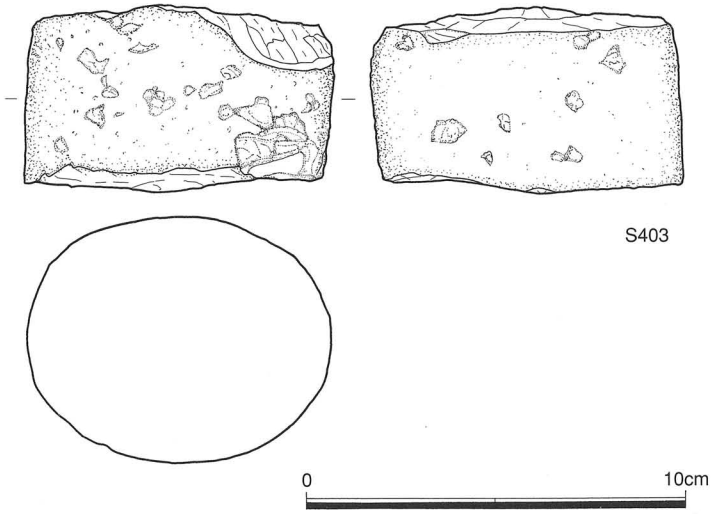
備考　前述のSB2033埋没後に構築されている。



第214図　SD2023平・断面図（S＝1/200）



第215図　SD2023出土土器



第216図　SD2023出土石器

溝状遺構（SD2023）

位置　10区　Loc.D２　εⅠ～Ⅱ　１～t18～１

断面形　皿形　　**全長**　39.0m　　**土層**　４層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、甕の１点だけである。一方、石器は、太型蛤刃石斧が１点出土している。

時期　弥生時代中期後半

備考　前述のSB2036、SB2038は、SD2023埋没後に構築されている。

溝状遺構（SD2026）

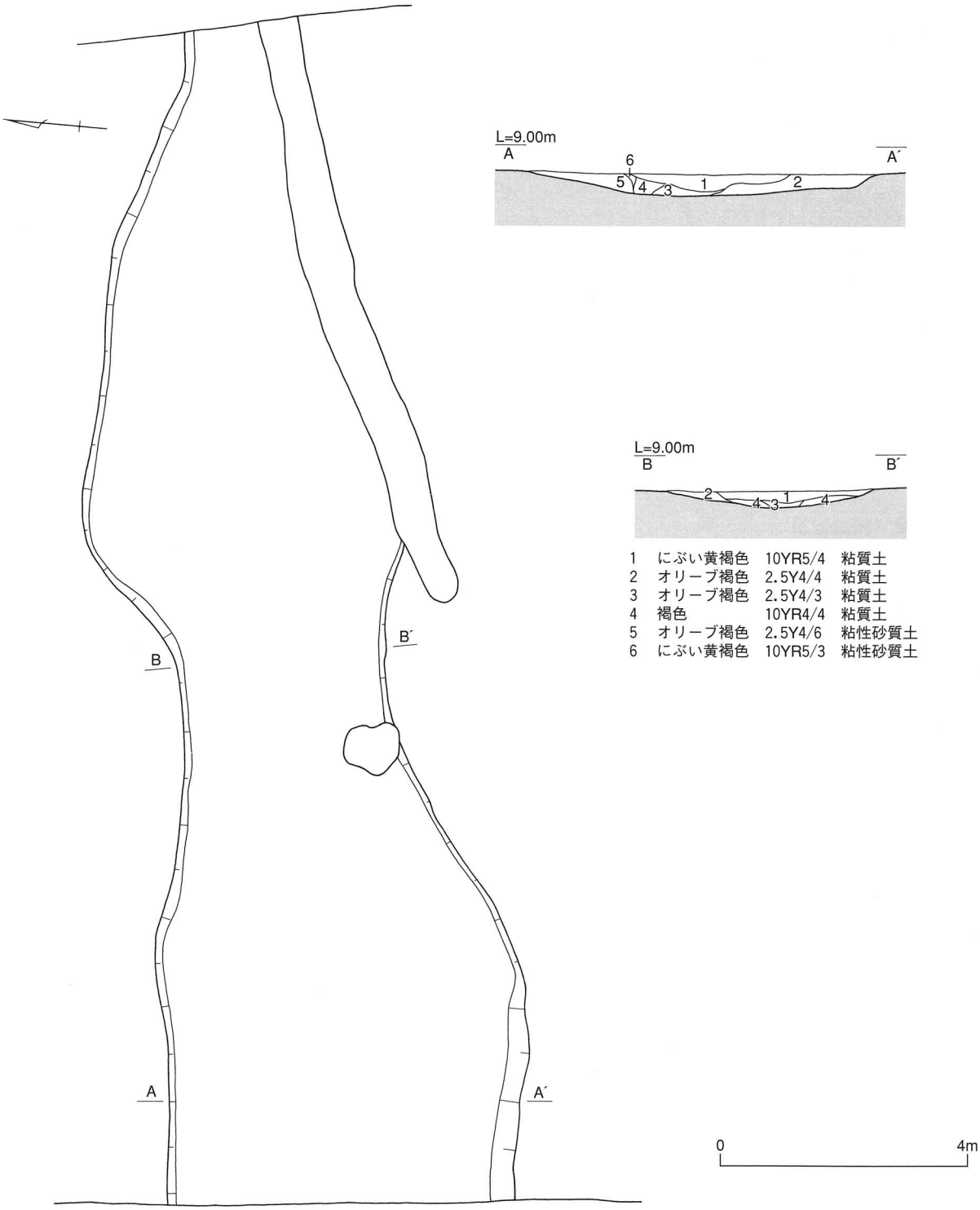
位置　10区　Loc.E２　αⅠ～Ⅱ　a～c18～２

断面形　皿形　　**全長**　19.3m　　**土層**　６層

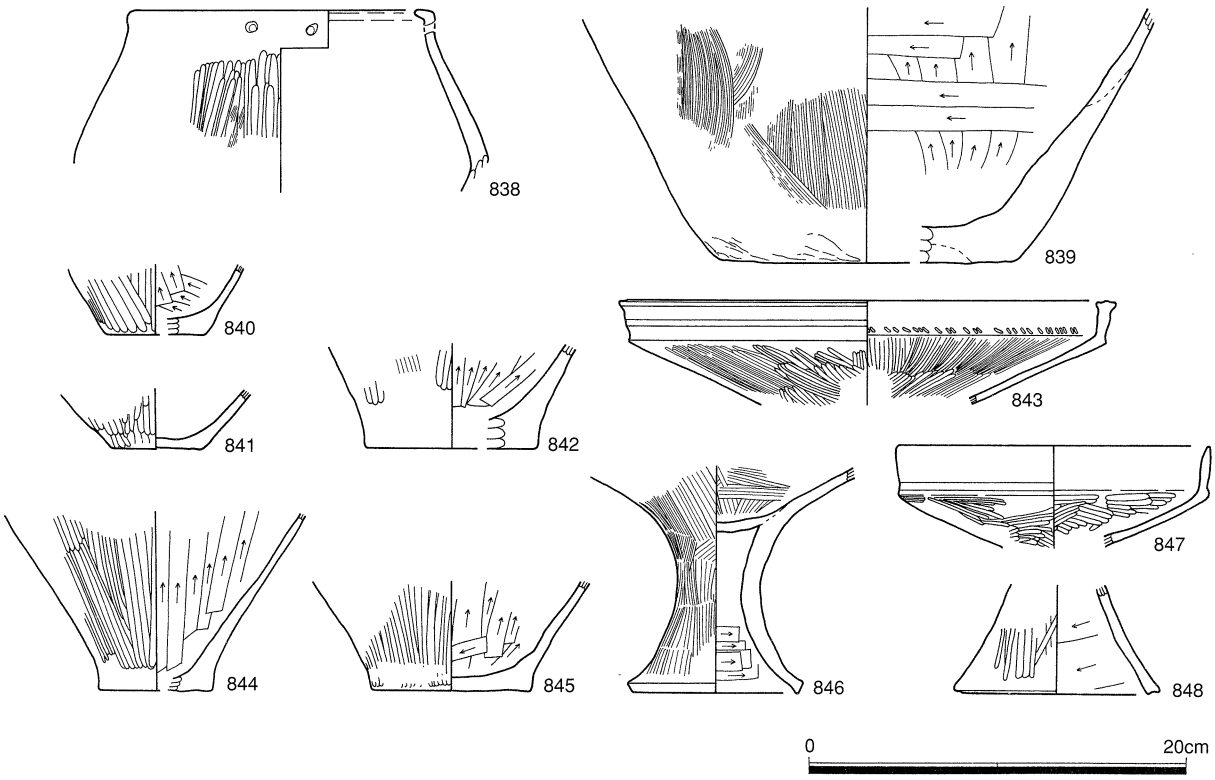
遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の11点である。

時期　弥生時代中期末～後期初頭

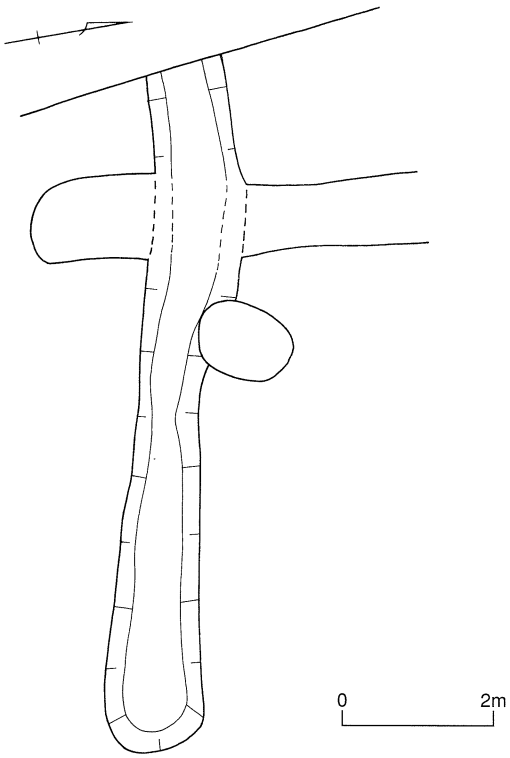
備考　前述のSB2039は、SD2026埋没後に構築されている。



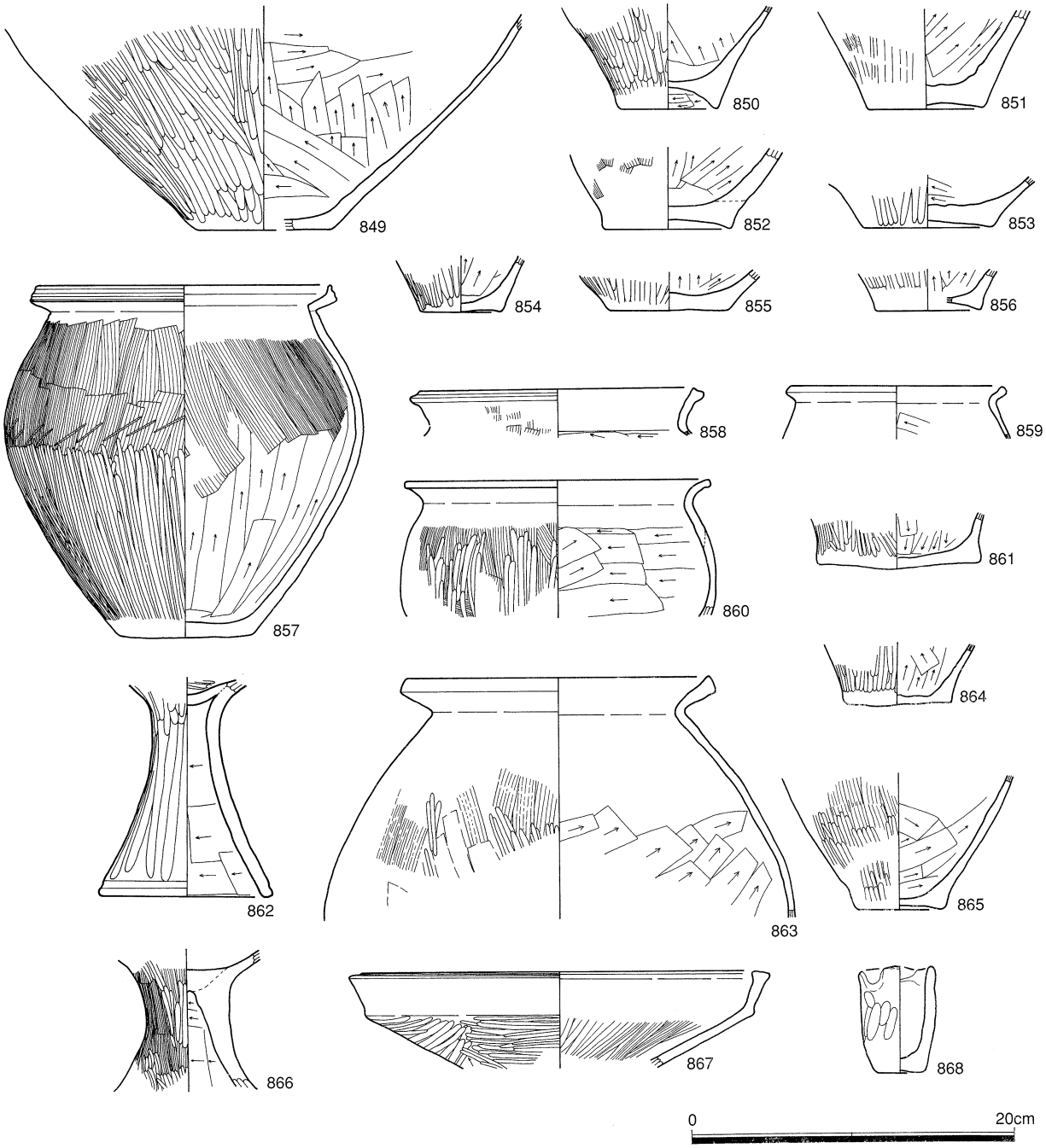
第217図　SD2026平・断面図（S＝1/100）



第218図　SD2026出土土器



第219図　SD2027平・断面図（S=1/100）



第220図　SD2027出土土器

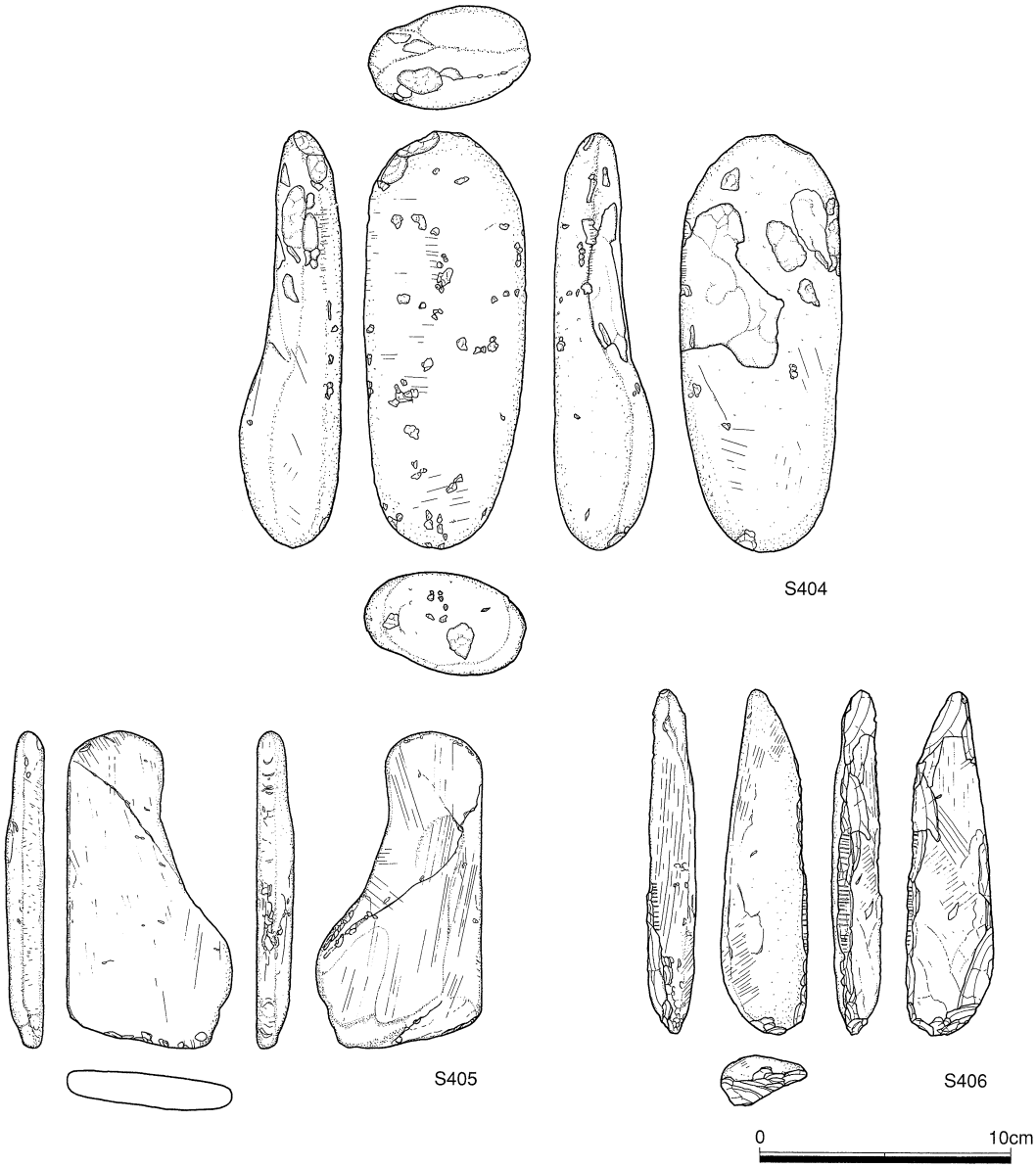
溝状遺構（SD2027）

位置　10区　Loc.D 2　εⅠ　rs18～20

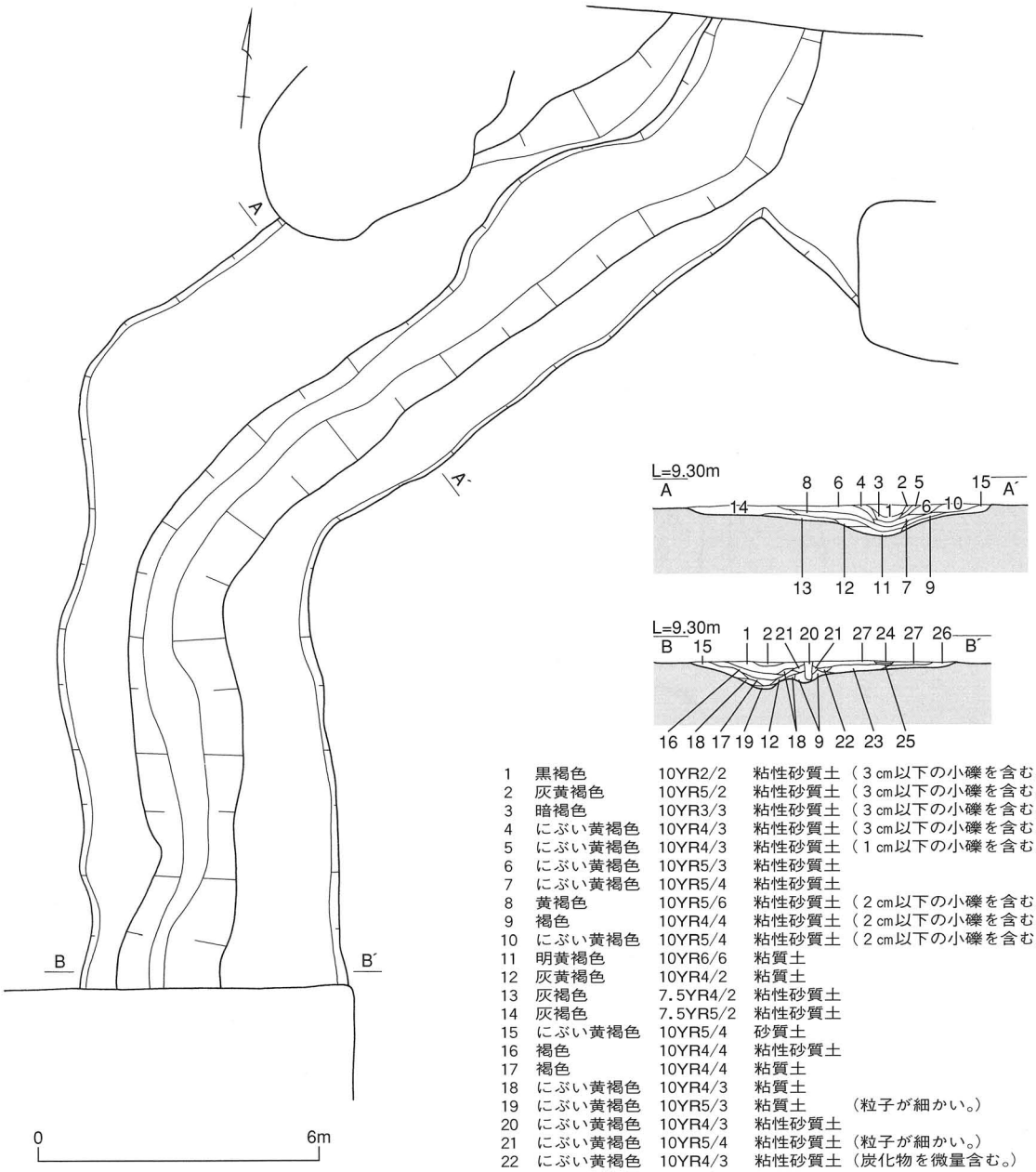
断面形　皿形　　**全長**　9.1m　　**土層**　不明

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の20点である。一方、石器は、砥石が3点図示できた。砥石S406は側面部に特徴ある細かな線状痕を有しており、鉄器製作の関連が窺われる。

時期　弥生時代中期後半～後期初頭



第221図　SD2027出土石器



1	黒褐色	10YR2/2	粘性砂質土	（3cm以下の小礫を含む。）
2	灰黄褐色	10YR5/2	粘性砂質土	（3cm以下の小礫を含む。）
3	暗褐色	10YR3/3	粘性砂質土	（3cm以下の小礫を含む。）
4	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	（3cm以下の小礫を含む。）
5	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	（1cm以下の小礫を含む。）
6	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	
7	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	
8	黄褐色	10YR5/6	粘性砂質土	（2cm以下の小礫を含む。）
9	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	（2cm以下の小礫を含む。）
10	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（2cm以下の小礫を含む。）
11	明黄褐色	10YR6/6	粘質土	
12	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	
13	灰褐色	7.5YR4/2	粘性砂質土	
14	灰褐色	7.5YR5/2	粘性砂質土	
15	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質土	
16	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	
17	褐色	10YR4/4	粘質土	
18	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質土	
19	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘質土	（粒子が細かい。）
20	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	
21	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（粒子が細かい。）
22	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘性砂質土	（炭化物を微量含む。）
23	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘質土	
24	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	
25	褐色	7.5YR4/4	粘質土	
26	褐色	10YR4/4	粘質土	
27	灰黄褐色	10YR4/2	粘質土	（やや明るい。）

第222図　SD2028平・断面図（1）（S=1/150）

溝状遺構（SD2028）

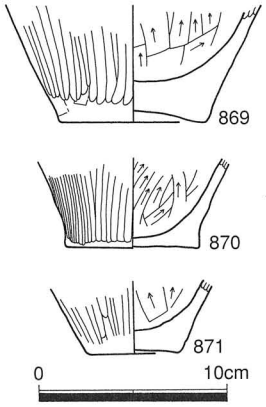
位置　10区　Loc.E2　αⅠ　c～g16～19

断面形　皿形　　**全長**　26.9m

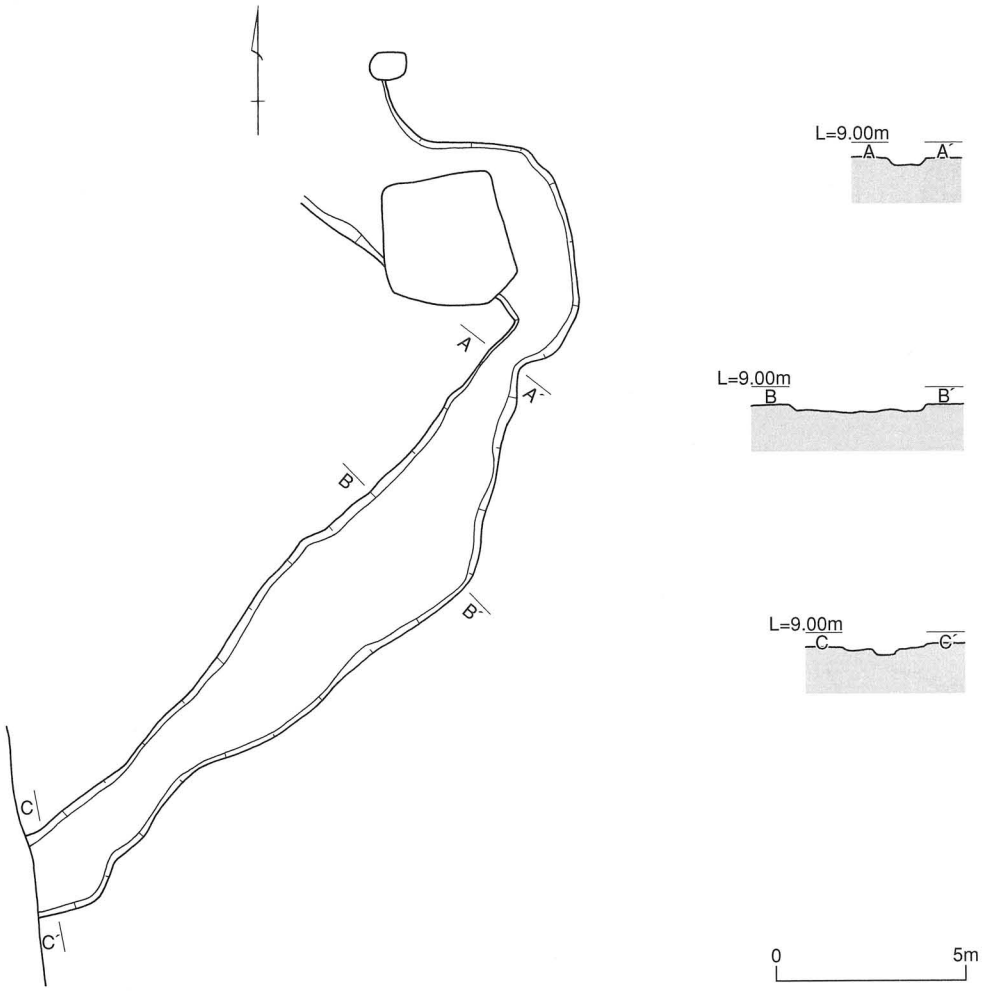
土層　27層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の13点である。一方、石器は、石鏃、石庖丁、楔形石器、敲石・磨石などが10点図示できた。また、鉄器が13点とまとまって出土しているが、確実に弥生時代と考えられるのは、鉄鏃（T32）だけである。その他は、器種も不明な鉄片である。

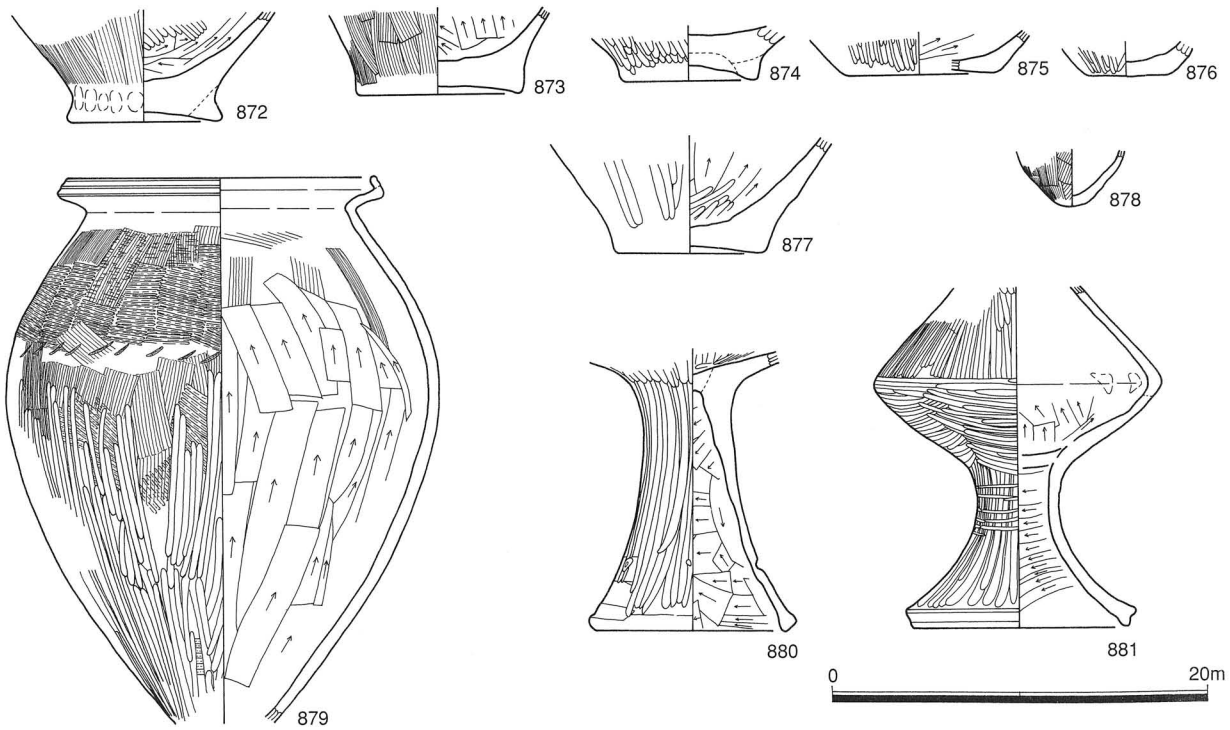
時期　弥生時代中期後半～後期初頭



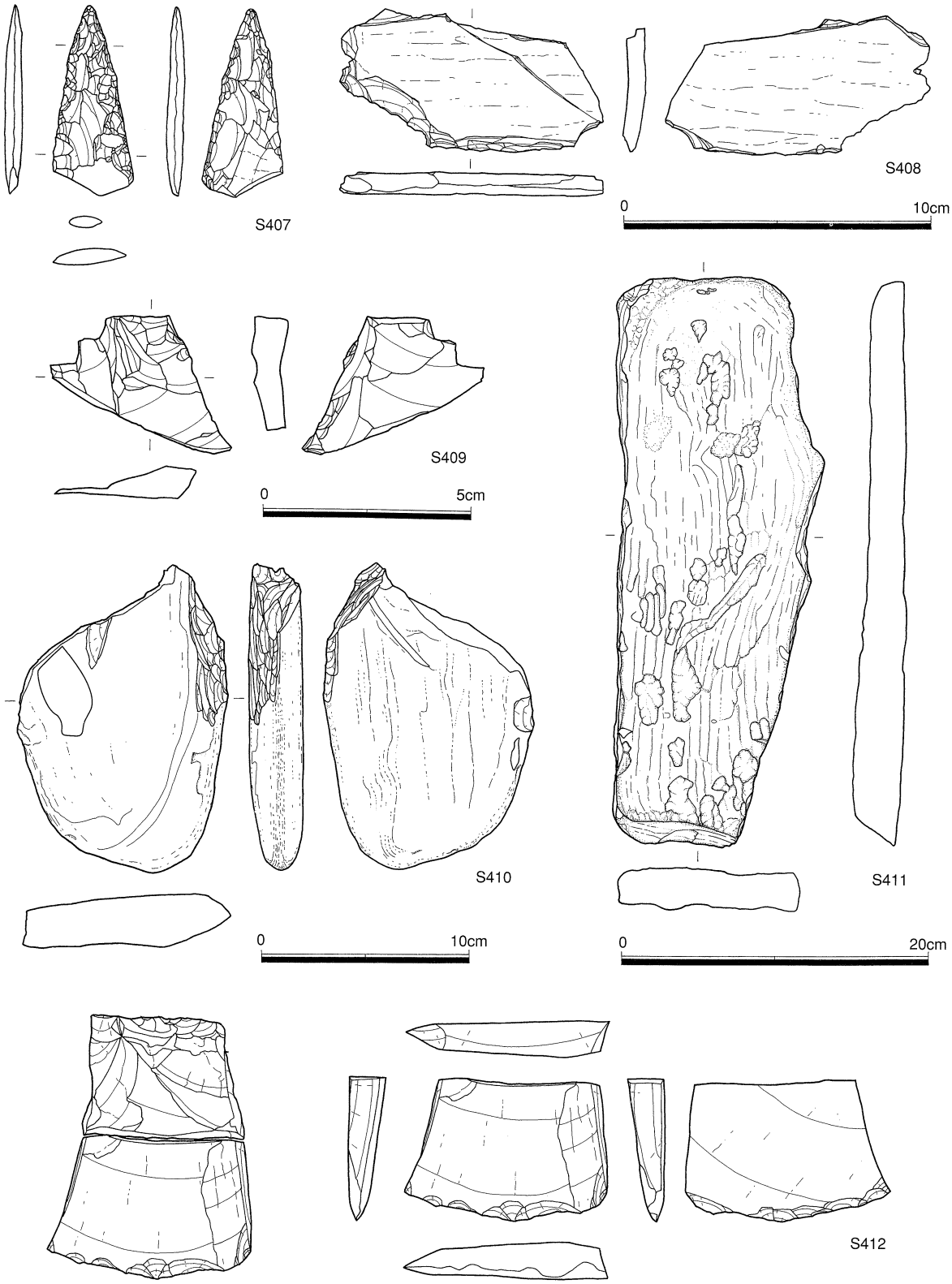
第223図　SD2028出土土器（1）



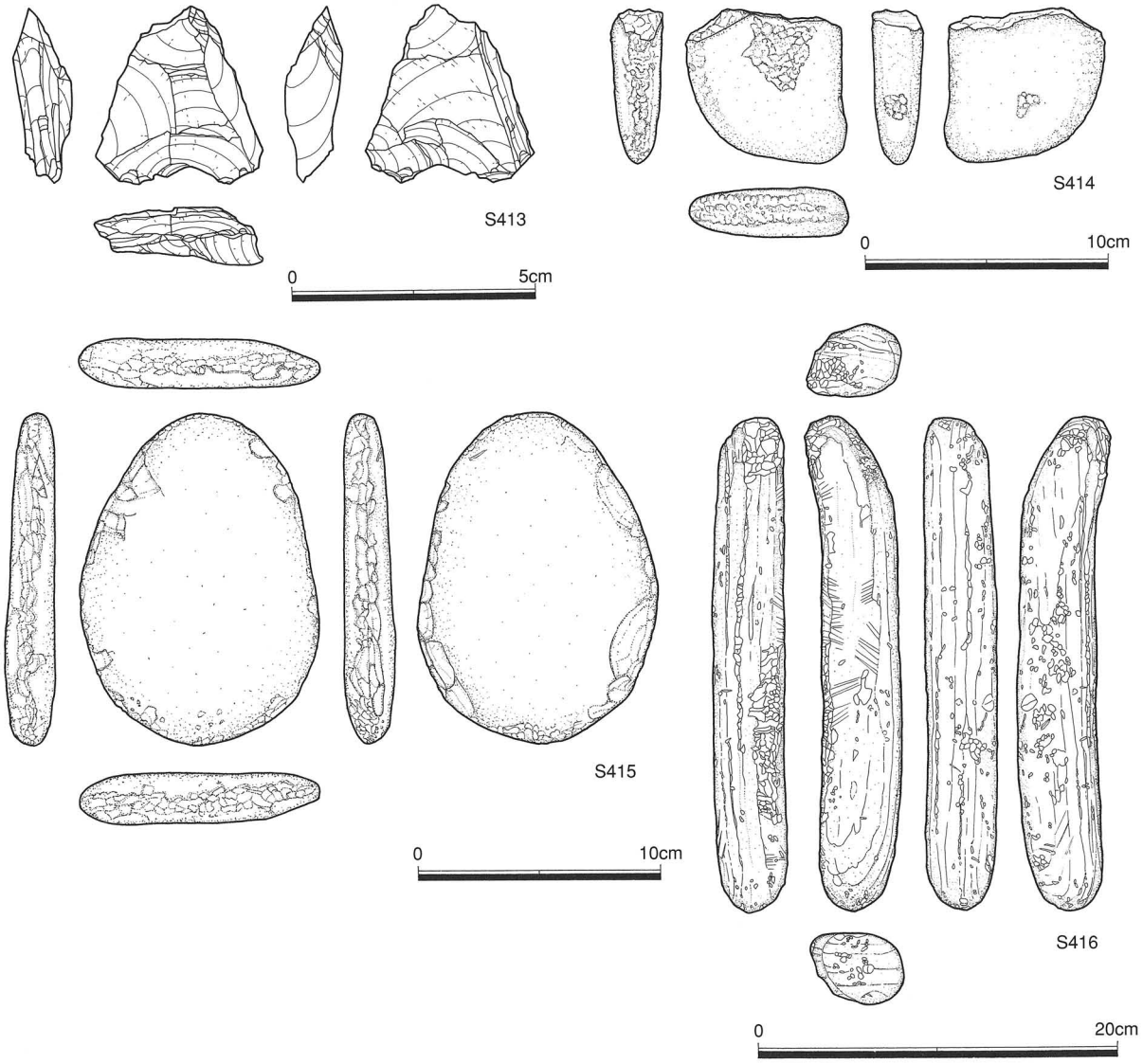
第224図　SD2028平・断面図（２）（S=1/200）



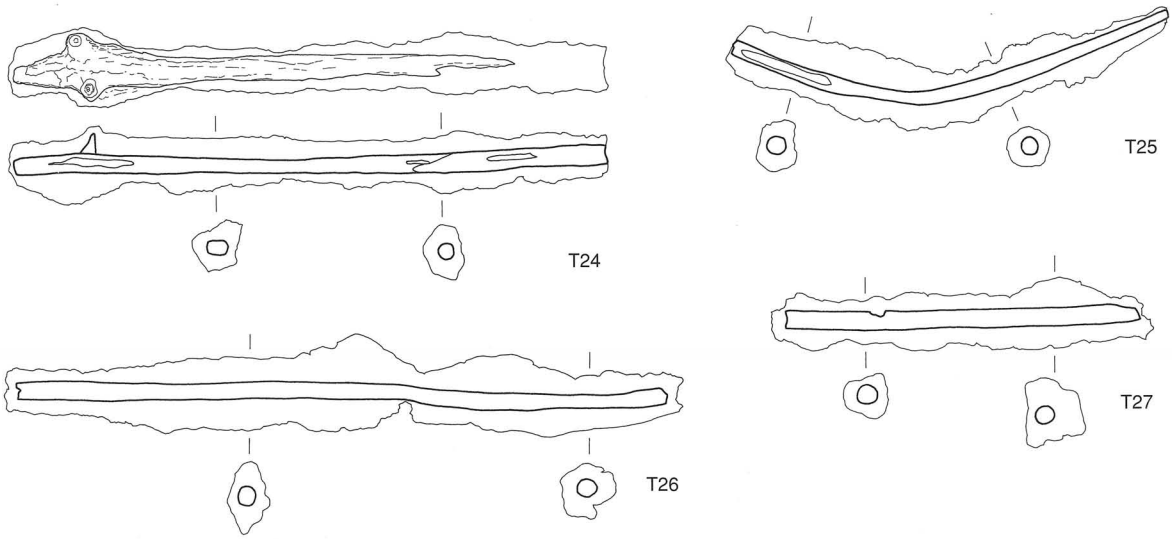
第225図　SD2028出土土器（２）



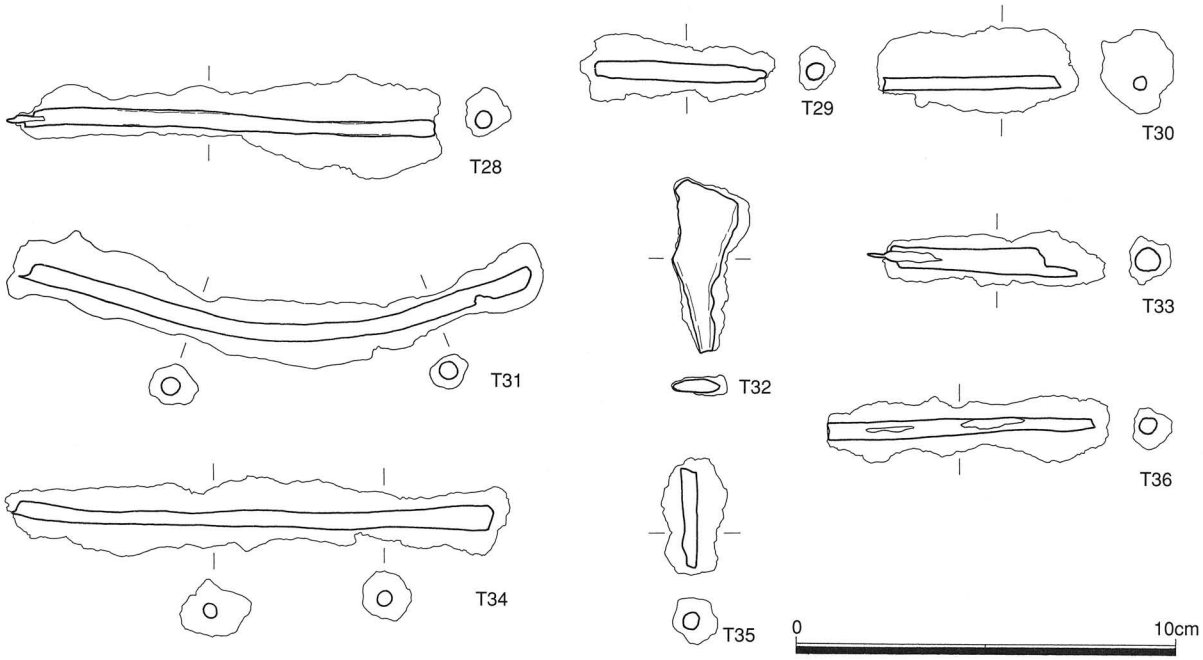
第226図　SD2028出土石器（1）



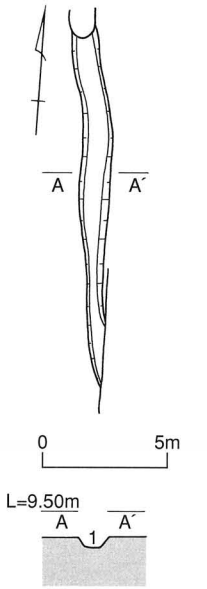
第227図　SD2028出土石器（２）



第228図　SD2028出土鉄器（１）

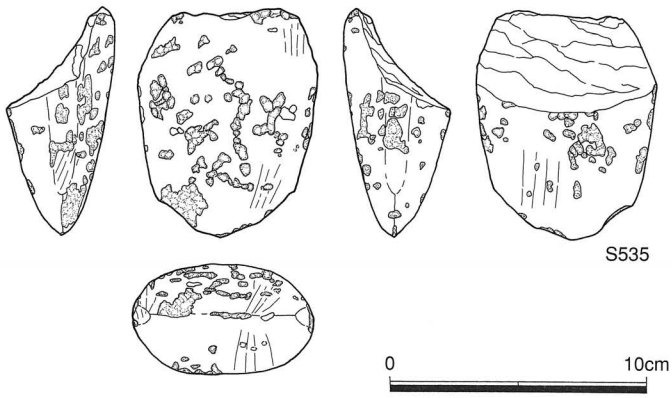


第229図　SD2028出土鉄器（２）



1　黄褐色　2.5Y5/4　粘性砂質土
（マンガンを所々に含む。）

第230図　SD2030平・断面図（S＝1/300）



第231図　SD2030出土石器

溝状遺構（SD2030）

位置　12区　Loc.E２　αⅡ　l～o１

断面形　Ⅲ形　　**全長**　14.0m　　**土層**　不明

遺物出土状況　覆土からわずかに石器が出土している。図示できた石器は、太型蛤刃石斧１点だけである。

時期　弥生時代中期後半

④土坑（SK）

土坑（SK2001）

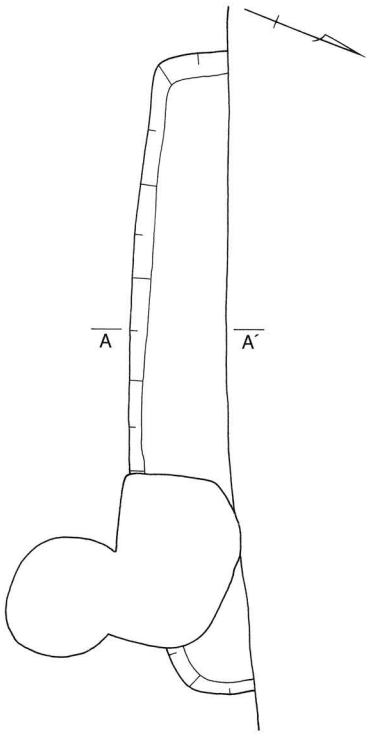
位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　d13～14　　**平面形**　方形

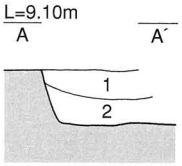
土層　2層

遺物出土状況　覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

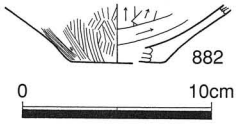
備考　前述のSD2003に破壊されており、平面形や断面観察から復元を考えると、竪穴住居跡の可能性も考えられよう。



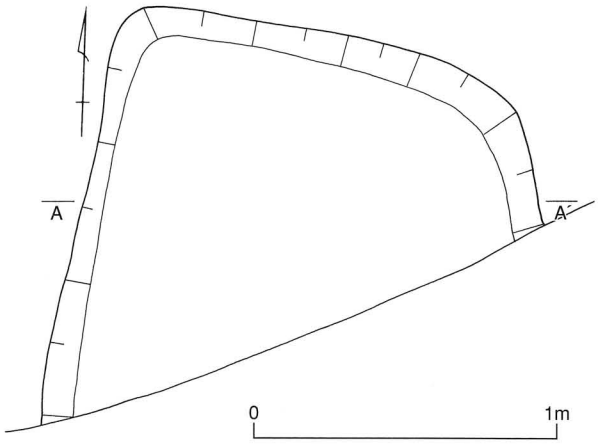


1　灰色　5Y6/1　粘性砂質土（粒子が粗く、粘性が弱い。マンガン、小礫を含む。）
2　灰黄色　2.5Y6/2　粘性砂質土（砂質が強い。マンガンを含む。）

第232図　SK2001平・断面図（S＝1/25）

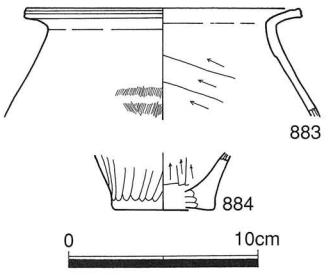


第233図　SK2001出土土器



1　黄褐色　2.5Y5/4　粘性砂質土（マンガン、小礫、3cm程度の小石を含む。）

第234図　SK2002平・断面図（S＝1/25）



第235図　SK2002出土土器

土坑（SK2002）

位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　de13　　**平面形**　方形

土層　1層

遺物出土状況　覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕が2点である。型式学的には、後期後半であるので、混入の可能性も考えられる。

時期　SD2003との前後関係から考えると弥生時代中期後半である。

備考　前述のSD2003により遺構の南東部分は、破壊されている。

土坑（SK2003）

位置　3区　Loc.D 2　δⅡ　e14　　**平面形**　方形

土層　6層

遺物出土状況　覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

備考　前述のSD2003に遺構の南西部分を破壊されている。

土坑（SK2008）

位置　5・6区　Loc.D 2　εⅡ　c 7～8　　**平面形**　円形

土層　6層

遺物出土状況　覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

備考　後述するSX2004に遺構の南西部分を破壊されている。

土坑（SK2016）

位置　7区　Loc.D 2　εⅡ　m 7　　**平面形**　楕円形

土層　3層

遺物出土状況　覆土からわずかに土器と石器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。一方、石器は、敲石が1点図示できた。

時期　弥生時代中期後半

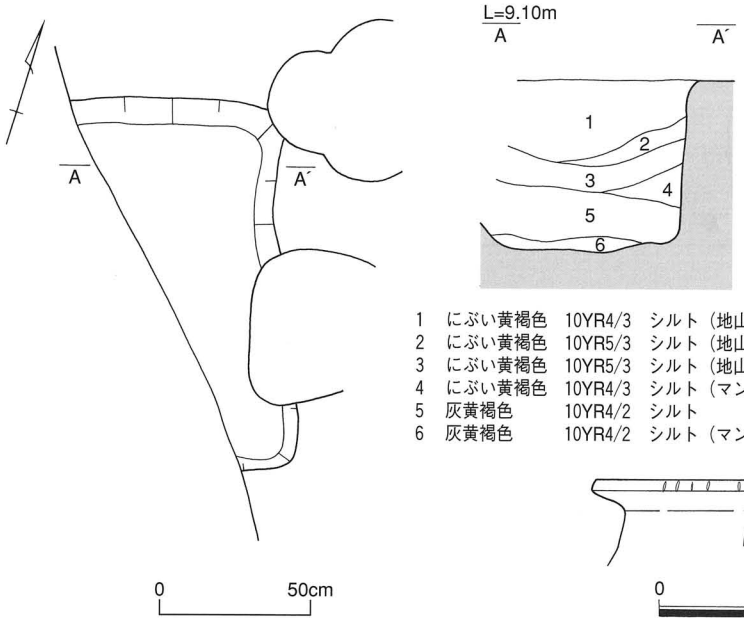
土坑（SK2017）

位置　7区　Loc.D 2　εⅡ　mn 5～6　　**平面形**　楕円形

土層　1層

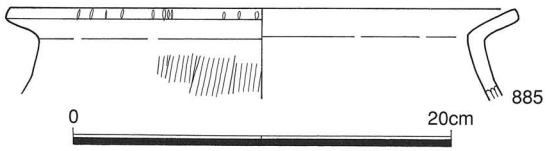
遺物出土状況　覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕2点である。

時期　弥生時代中期後半

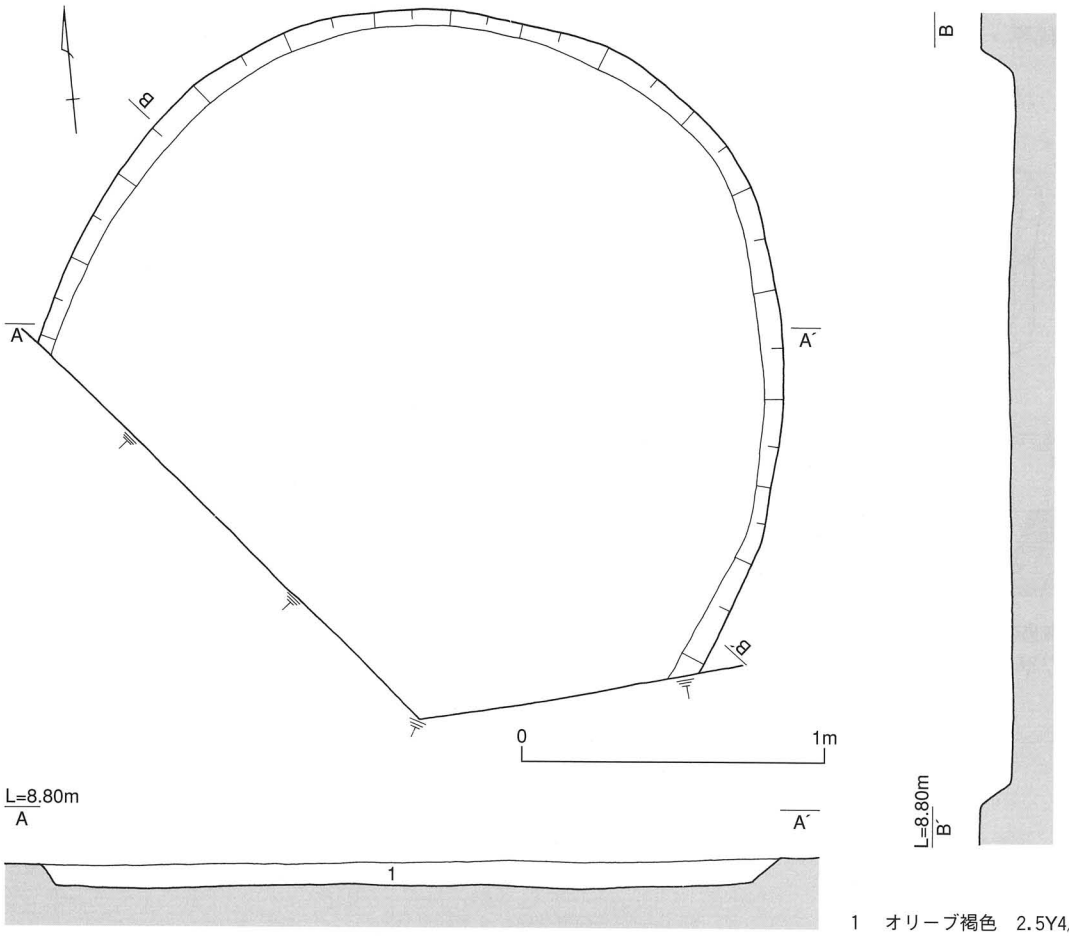


1　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト（地山ブロックをやや多く含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト（地山ブロックを多く含む。）
3　にぶい黄褐色　10YR5/3　シルト（地山ブロックを非常に多く含む。土器片を微量含む。）
4　にぶい黄褐色　10YR4/3　シルト（マンガンを少量含む。土器片を含む。）
5　灰黄褐色　10YR4/2　シルト
6　灰黄褐色　10YR4/2　シルト（マンガンを含む。炭化物、土器粒を微量含む。）

第236図　SK2003平・断面図（S＝1/25）

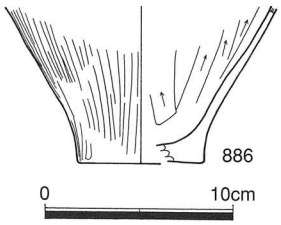


第237図　SK2003出土土器

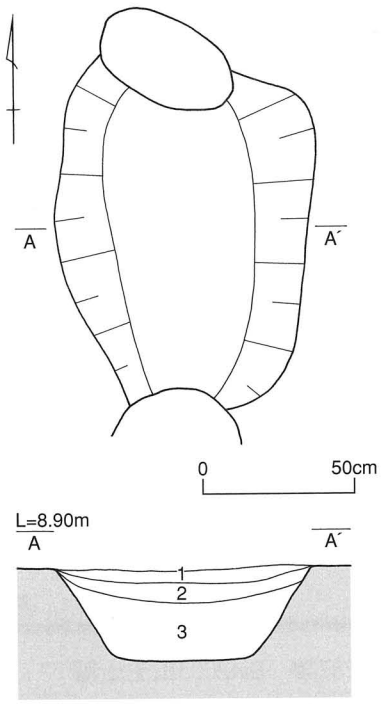


1　オリーブ褐色　2.5Y4/6　砂質土

第238図　SK2008平・断面図（S＝1/25）

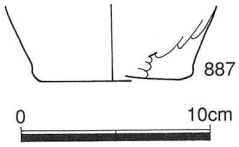


第239図　SK2008出土土器

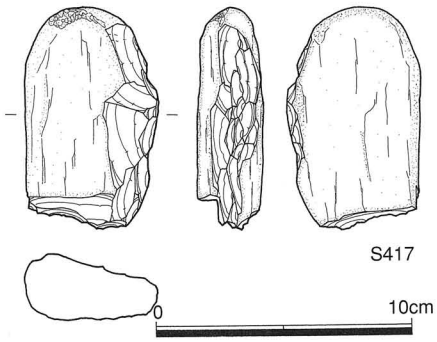


1　黄褐色　　2.5Y5/3　シルト
2　にぶい黄褐色　10YR5/4　シルト
（やや砂質が強い。マンガンを含む。）
3　にぶい黄褐色　10YR5/4　シルト
（やや砂質が強い。マンガンを含む。炭化物を多量に含む。）

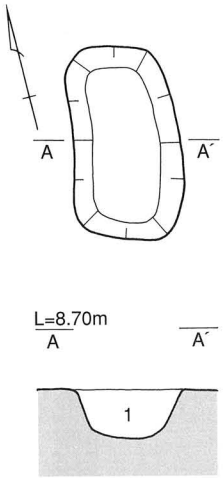
第240図　SK2016平・断面図（S＝1/25）



第241図　SK2016出土土器

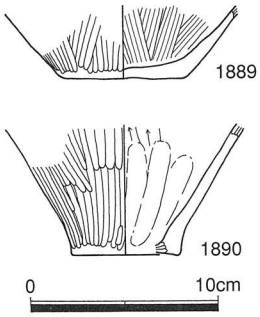


第242図　SK2016出土石器

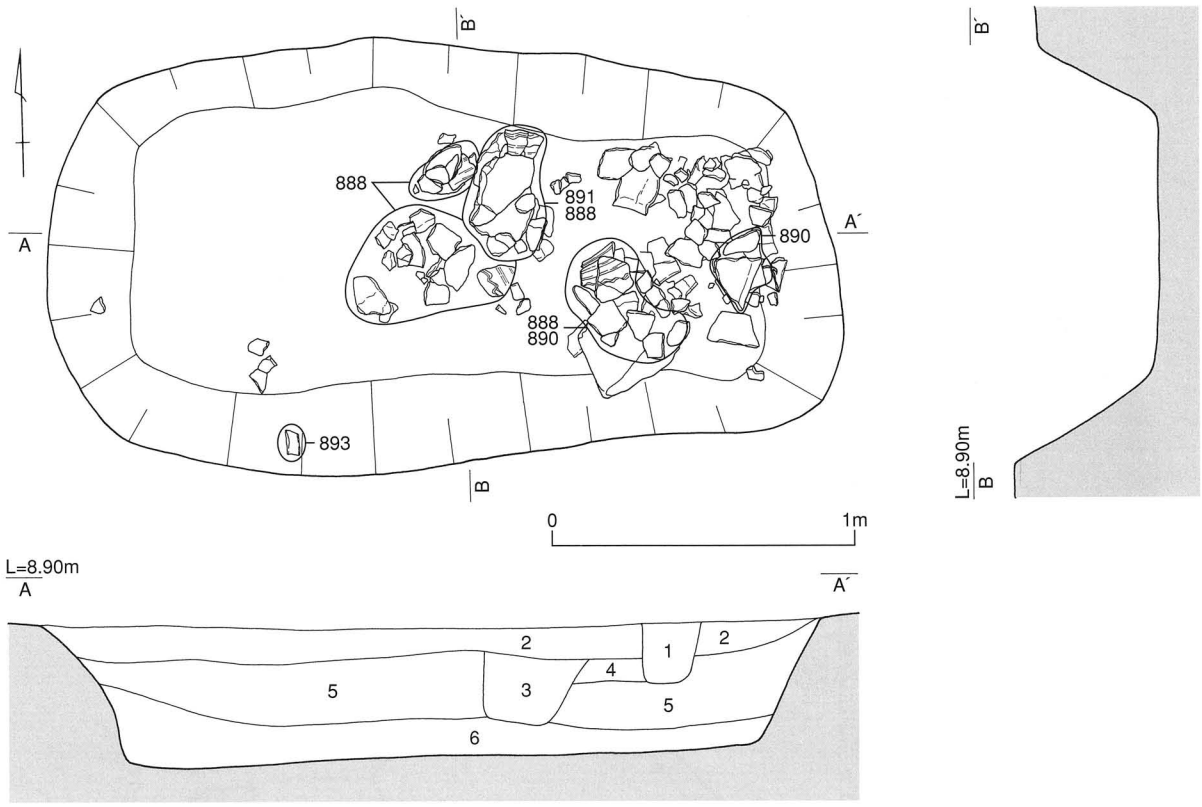


1　にぶい黄褐色　10YR5/4　シルト

第243図 SK2017平・断面図（S＝1/25）



第244図　SK2017出土土器



1　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘性砂質土（マンガン、炭化物、土器片を含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘性砂質土（マンガン、小礫土器片を含む。下部に炭化物を含む。）
3　にぶい黄橙色　10YR6/4　粘性砂質土（マンガン、炭化物、小礫、土器片を含む。にぶい黄色粘性砂質土を少量含む。）
4　にぶい黄橙色　10YR6/3　粘性砂質土（マンガン、土器片を含む。）
5　にぶい黄橙色　10YR6/3　粘性砂質土（マンガン、土器片を含む。４層より炭化物を多く含む。）
6　にぶい黄色　2.5Y6/3　粘性砂質土（マンガン、炭化物を含む。褐色粘質土を少量含む。）

第245図　SK2018平・断面図，遺物出土状況図（s＝1/25）

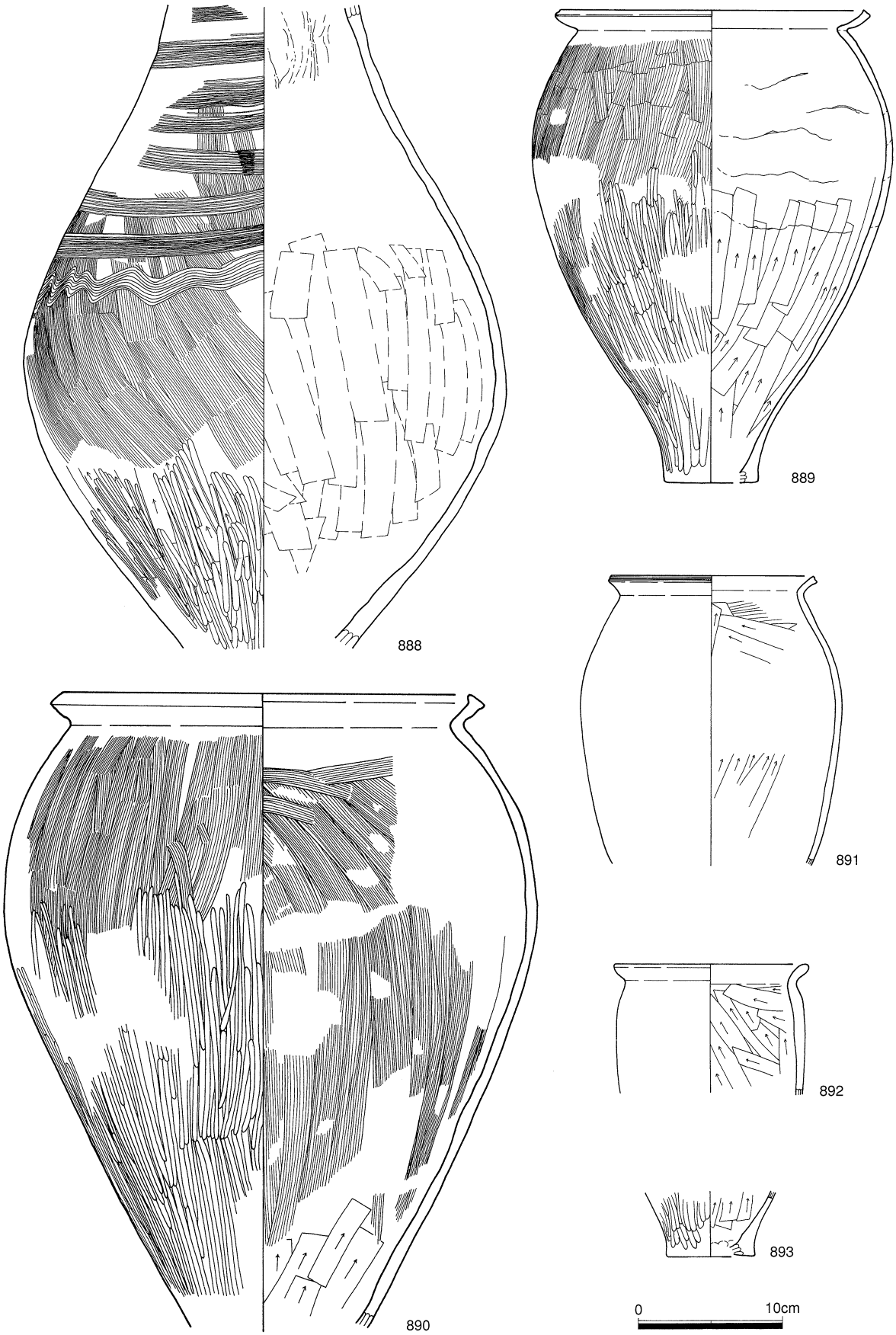
土坑（SK2018）

位置　７区　Loc.D２　εⅡ　p６～７　　**平面形**　楕円形

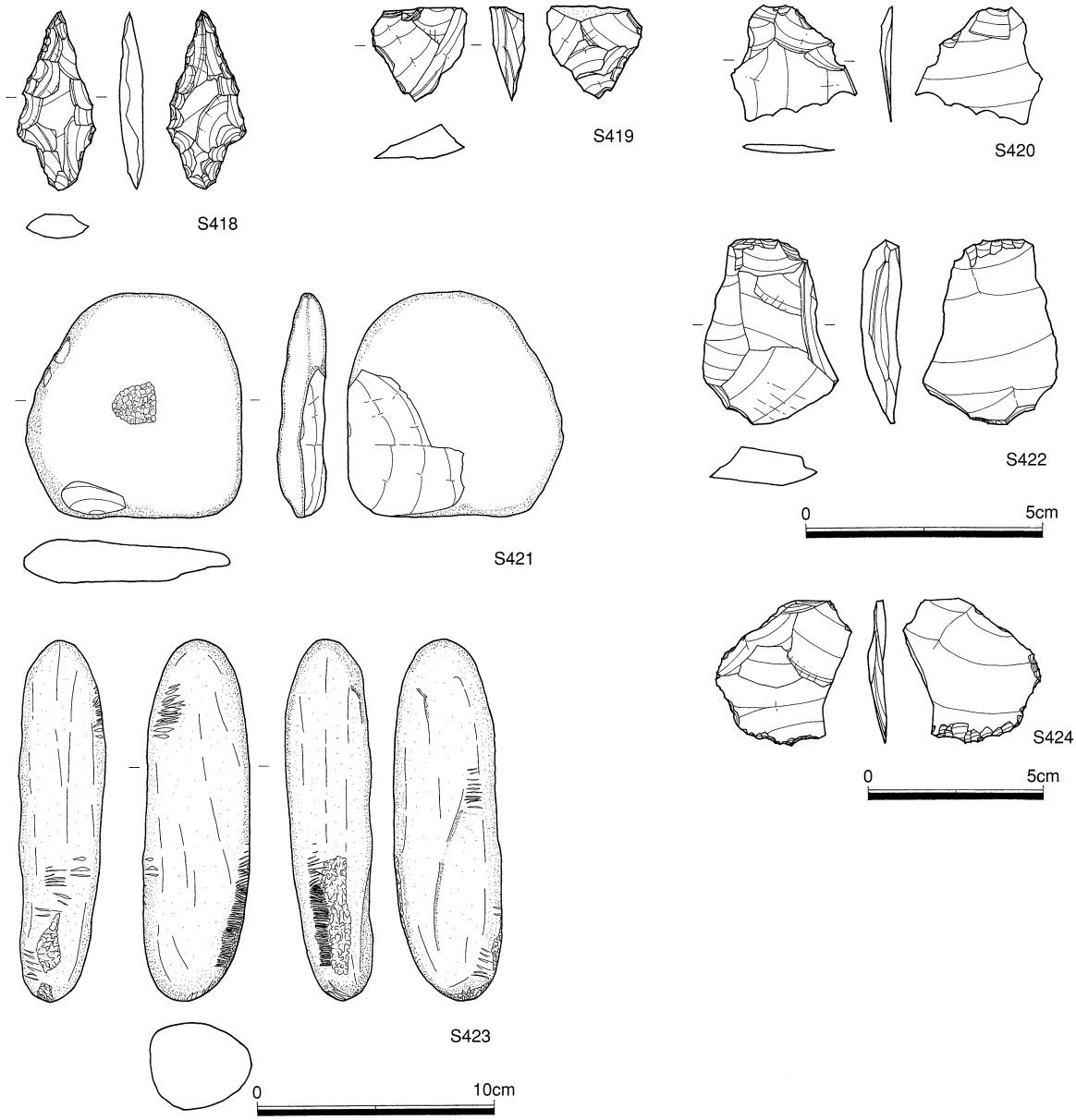
土層　６層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺１点、甕５点である。一方、石器は、石鏃、楔形石器、敲石、砥石、剥片が７点出土している。これらの遺物は、出土状況図にあるように、土坑東側から集中して出土している。

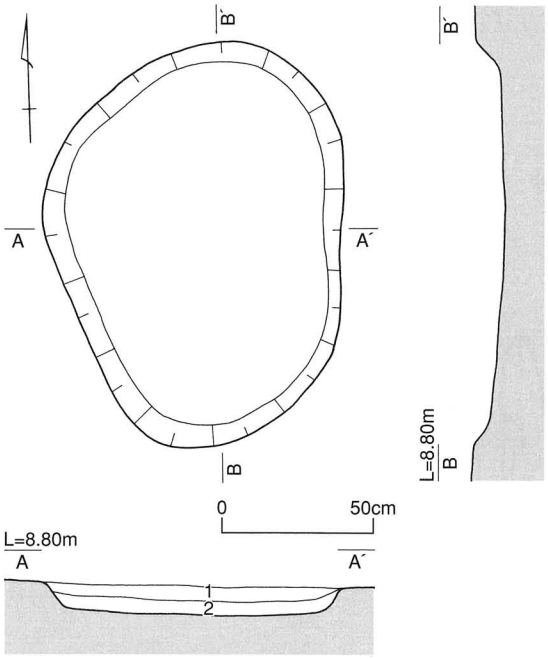
時期　弥生時代中期後半



第246図　SK2018出土土器



第247図　SK2018出土石器



1　にぶい黄色　　2.5Y6/2　粘性砂質土
（粒子が細かく、砂質が強い。土器片、マンガンを含む。）
2　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘性砂質土
（マンガン、土器片を含む。砂質の強い褐色粘性砂質土を一部含む。）

第248図　SK2019平・断面図（S＝1/25）

土坑（SK2019）

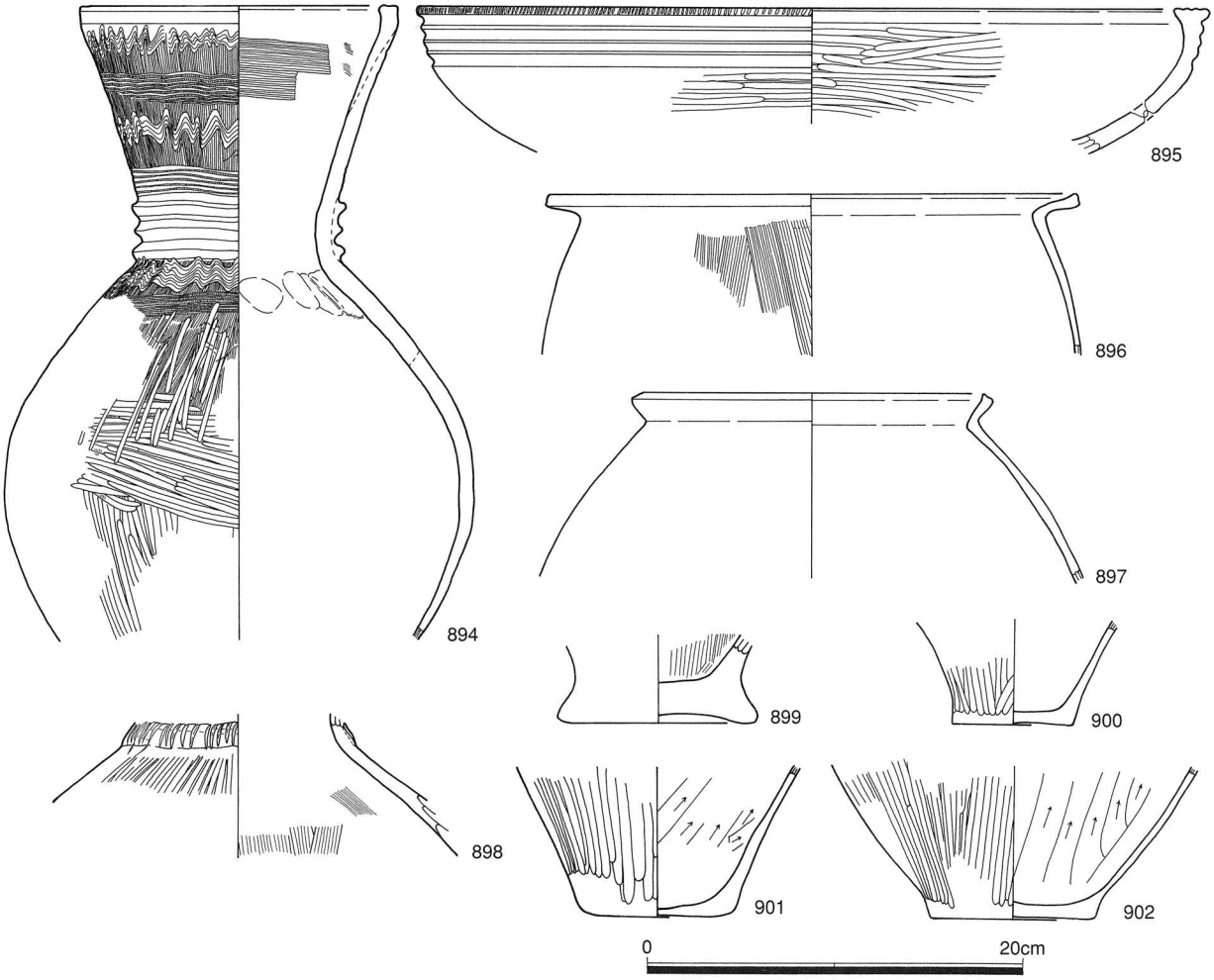
位置　7区　Loc.D 2　εⅡ　r 6

平面形　楕円形

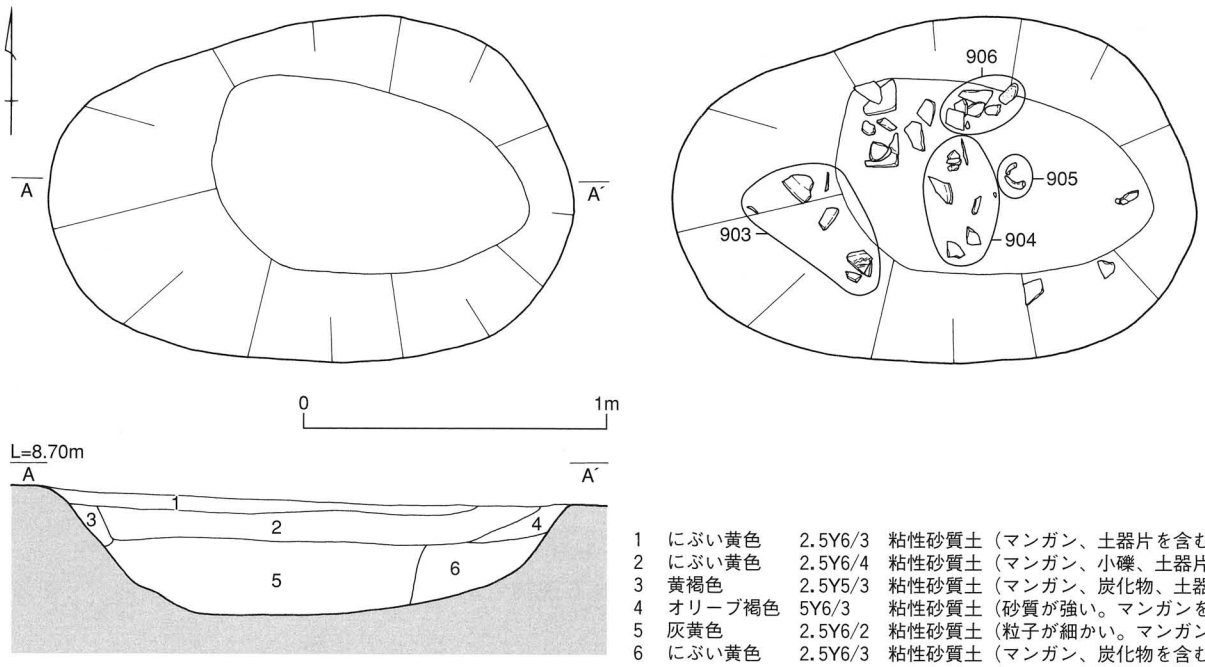
土層　2層

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の9点である。

時期　弥生時代中期後半

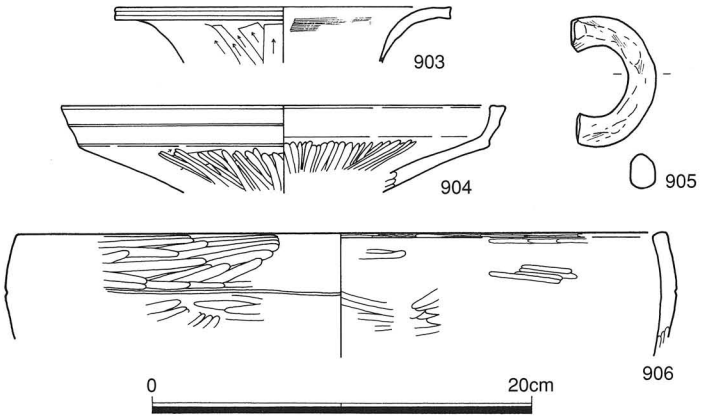


第249図　SK2019出土土器



1	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土	（マンガン、土器片を含む。）
2	にぶい黄色	2.5Y6/4	粘性砂質土	（マンガン、小礫、土器片を含む。）
3	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土	（マンガン、炭化物、土器片を含む。）
4	オリーブ褐色	5Y6/3	粘性砂質土	（砂質が強い。マンガンを含む。）
5	灰黄色	2.5Y6/2	粘性砂質土	（粒子が細かい。マンガン、炭化物を含む。）
6	にぶい黄色	2.5Y6/3	粘性砂質土	（マンガン、炭化物を含む。）

第250図　SK2020平・断面図，遺物出土状況図（S＝1/25）



第251図　SK2020出土土器

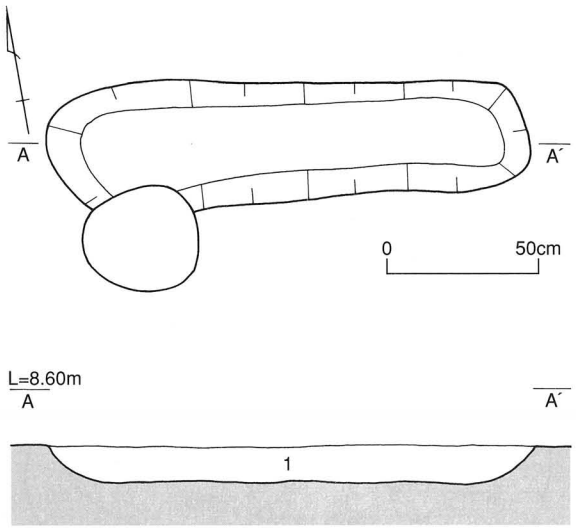
土坑（SK2020）

位置　7区　Loc.D 2　εⅡ　s 6 ～ 7　　**平面形**　楕円形

土層　6層

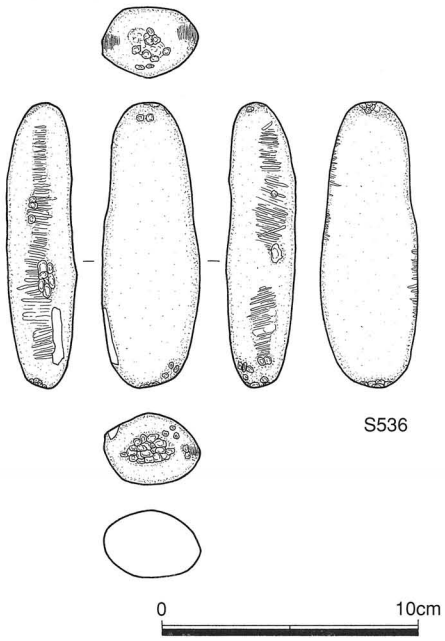
遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、鉢、高杯、把手の4点である。

時期　弥生時代中期後半～後期初頭



1　黄褐色　2.5Y5/3　粘性砂質土（マンガン、炭化物を含む。）

第252図　SK2021平・断面図（S＝1/25）



第253図　SK2021出土石器

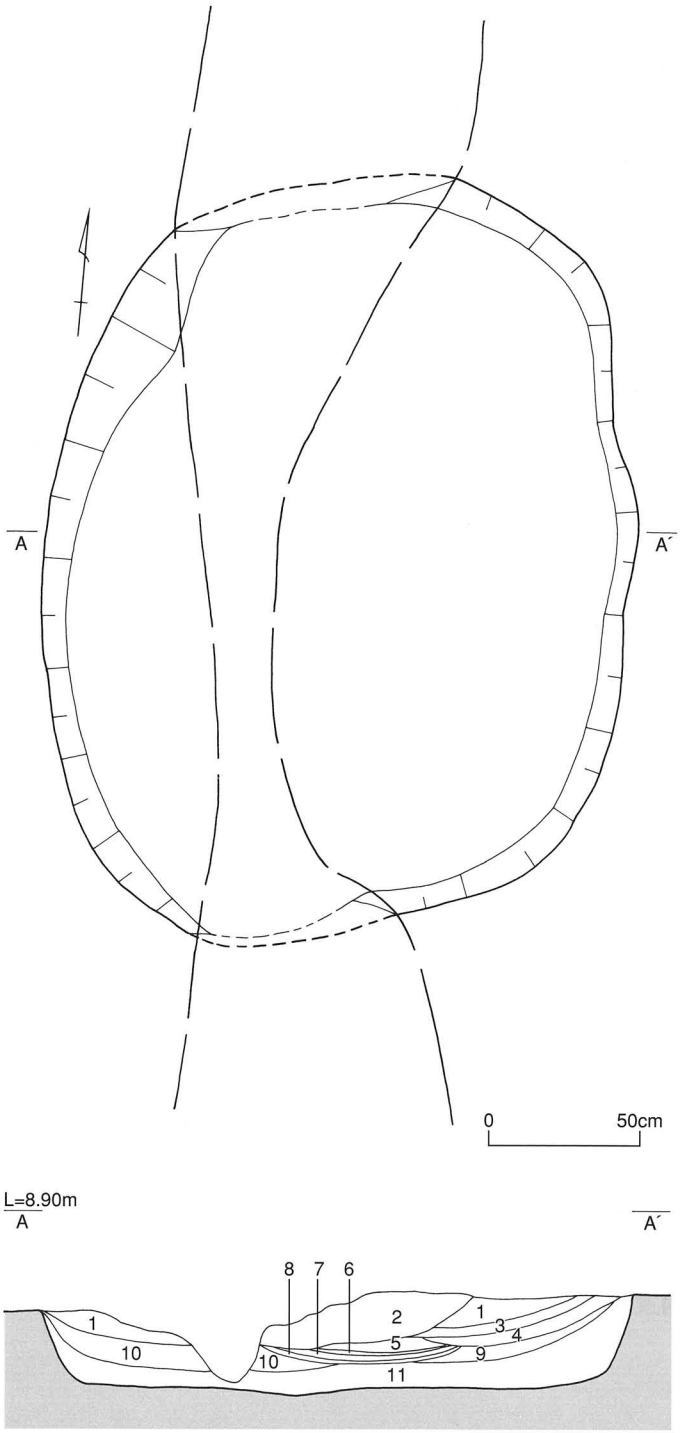
土坑（SK2021）

位置　7区　Loc.D 2　εⅡ　s 4 ～ 5　　**平面形**　楕円形

土層　1層

遺物出土状況　覆土から石器が出土している。図示できた石器は、砥石の1点だけである。側縁部には、特徴的な線状痕を有している。鉄器製作との関連が窺われる遺物である。

時期　弥生時代中期後半



1	にぶい黄褐色	10YR5/4	シルト	（焼土を所々に含む。）
2	灰白色	10YR7/1	粘性砂質土	（灰と土器片を多く含む。）
3	にぶい黄褐色	10YR5/4	シルト	（炭化物を多く含む。）
4	にぶい黄褐色	10YR4/3	シルト	（焼土、炭化物を含む。）
5	灰黄褐色	10YR4/2	シルト	（焼土、炭化物を含み、土器片を多く含む。）
6	褐灰色	7.5YR5/1	炭化物層	
7	にぶい黄橙色	10YR6/4	粘質土	
8	褐灰色	7.5YR5/1	炭化物層	（６層よりやや暗い。）
9	にぶい黄褐色	10YR5/3	シルト	（炭化物を含む。）
10	にぶい黄橙色	10YR6/3	シルト	（焼土を含み、マンガン、土器片を非常に多く含む。）
11	にぶい黄褐色	10YR5/3	シルト	（マンガンの沈着が著しい。）

第254図　SK2024平・断面図（S＝1/25）

土坑（SK2024）

位置　７区　Loc.E２　αⅡ　b４～５

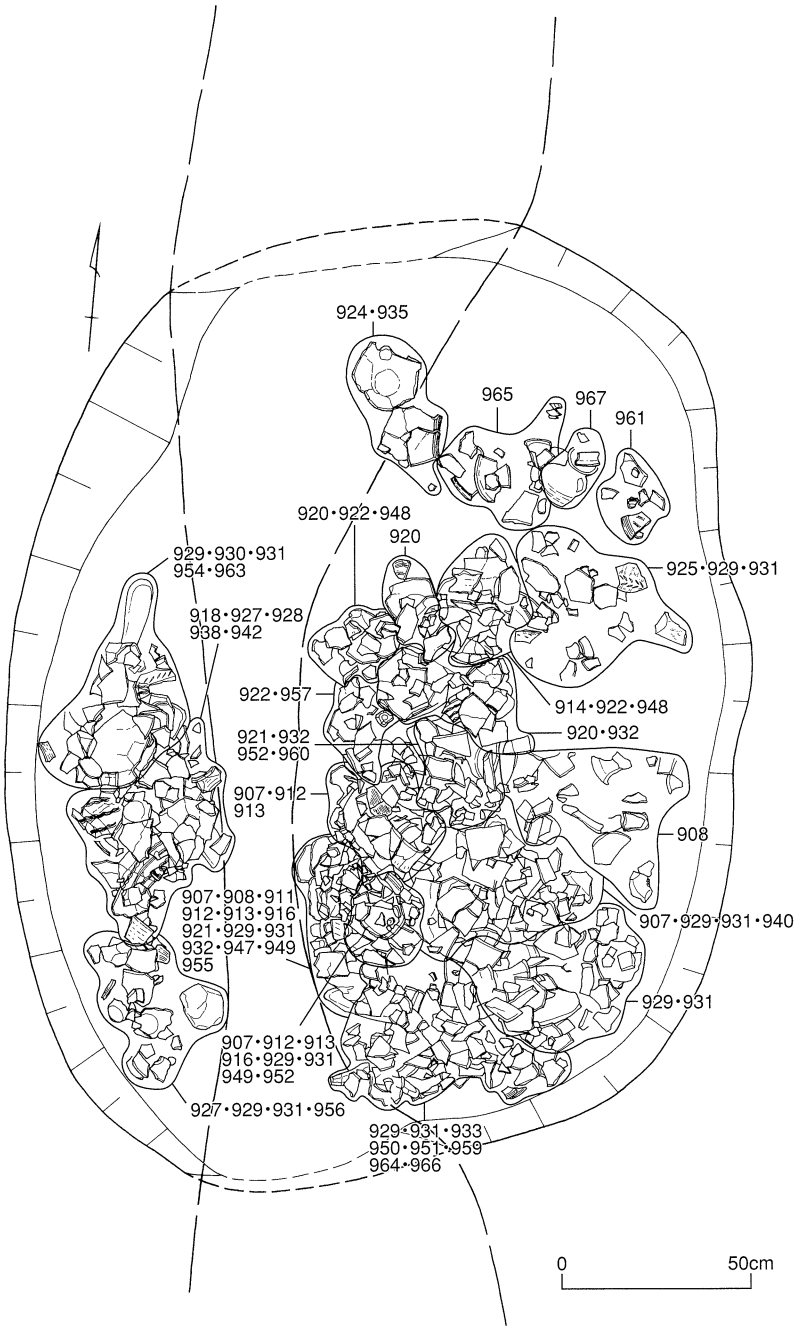
平面形　楕円形

土層　11層（焼土、灰、炭化物を多く含む。）

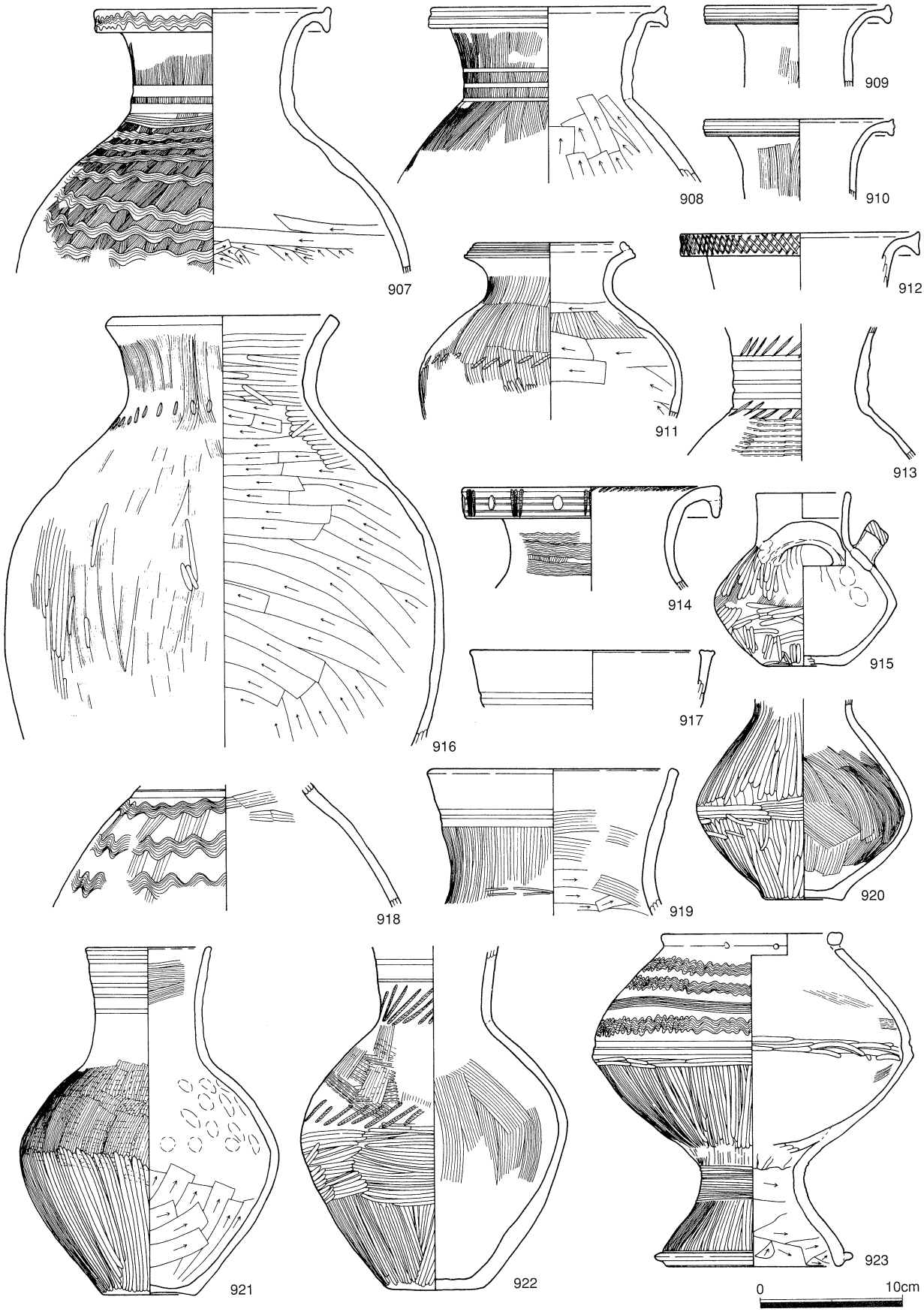
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。他の土坑と比べ、遺物量は多かった。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の61点である。一方、石器は、石鏃、石庖丁、敲石、砥石などが９点出土している。これらの遺物は、出土状況図にあるように、平面的には土坑全体から細かな破片となって出土している。また、断面観察からは、土器片がとくに多い層が認められる。

時期　弥生時代中期末

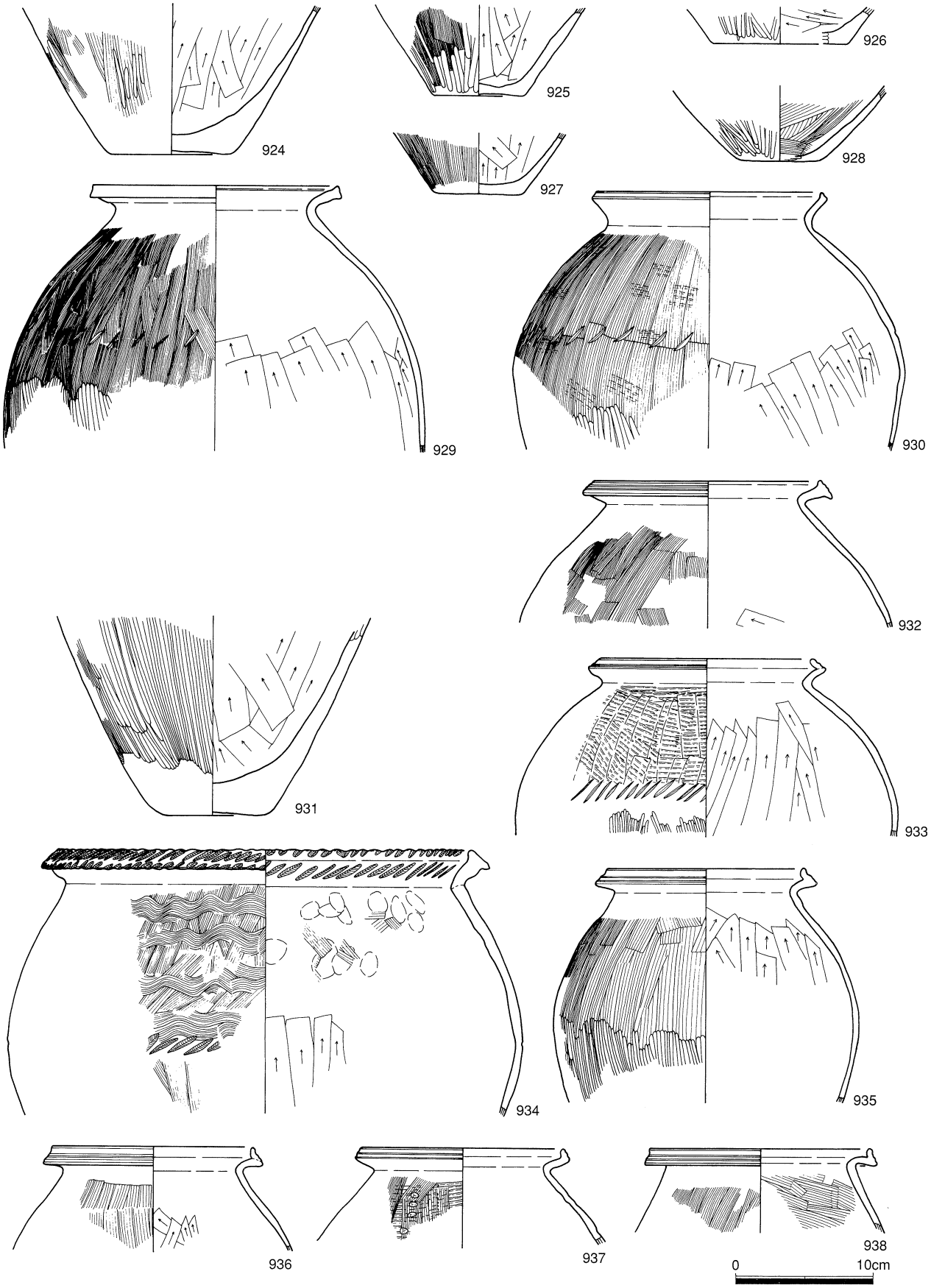
備考　土坑の中央西側一部は、古代の溝状遺構により破壊されている。断面観察から、焼土、炭化物、灰が土器片とともに、何層にも折り重なる状況が確認できた。このことから、火を用いた何らかの（祭祀）行為が行われた可能性が指摘できよう。



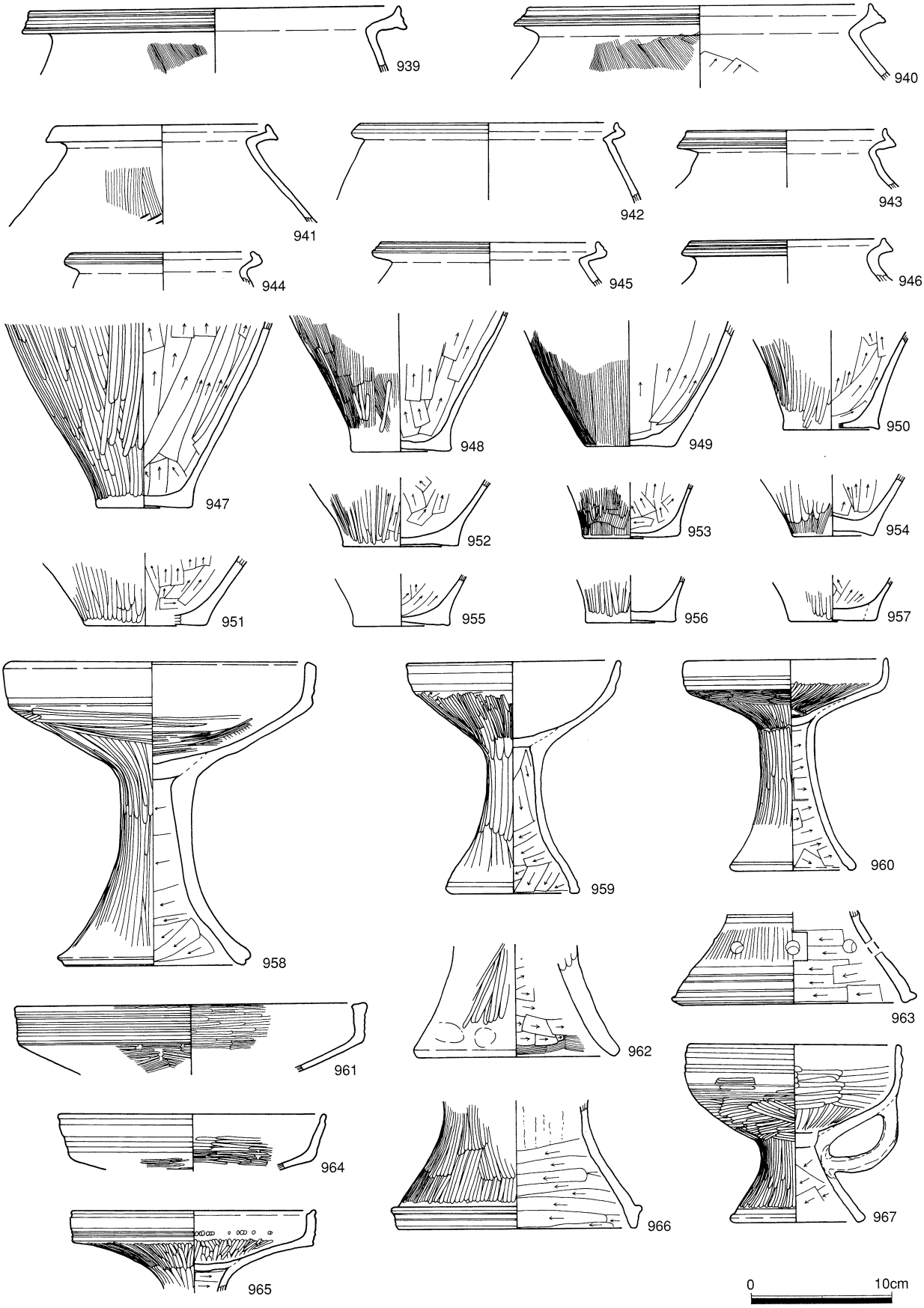
第255図　SK2024遺物出土状況図（S＝1/20）



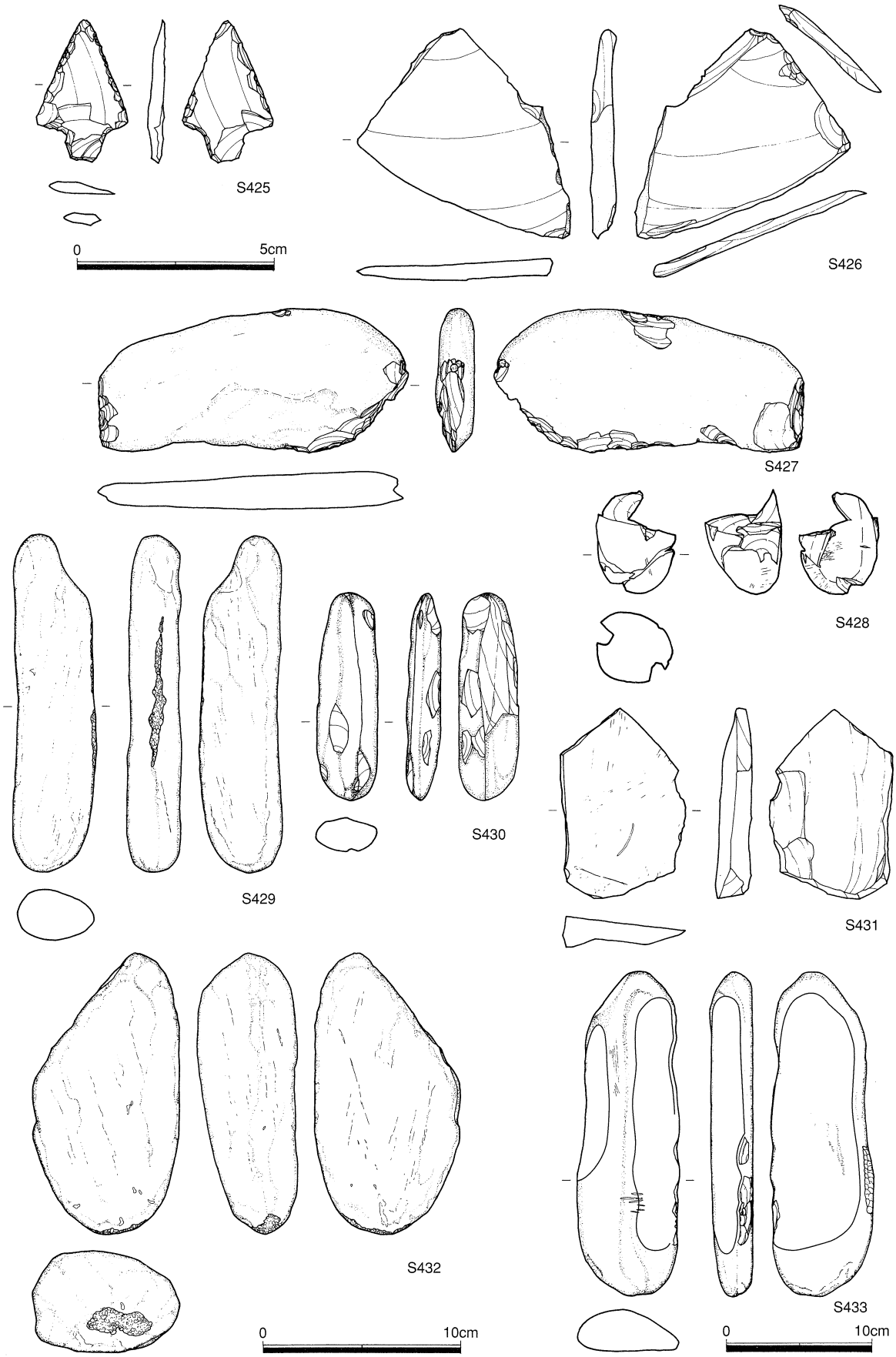
第256図　SK2024出土土器（1）



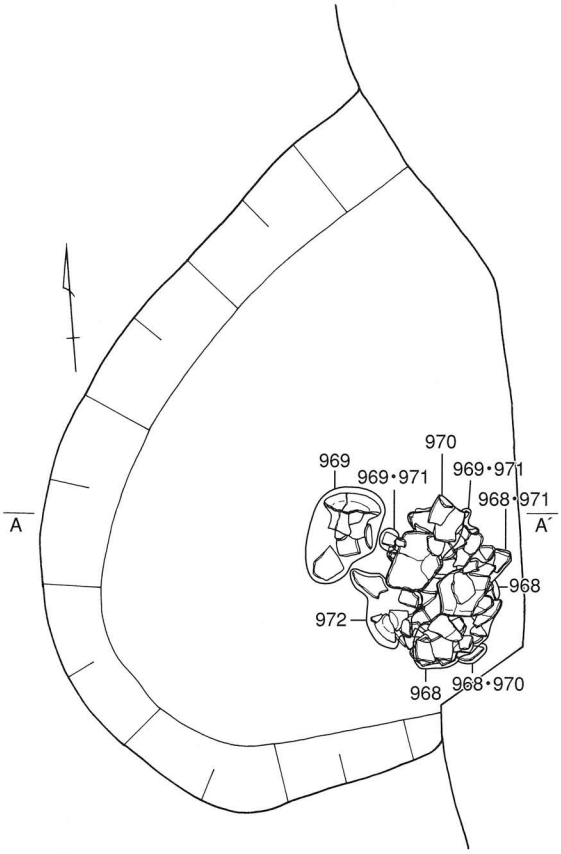
第257図　SK2024出土土器（２）



第258図　SK2024出土土器（3）



第259図　SK2024出土石器



溝状遺構（SK2026）

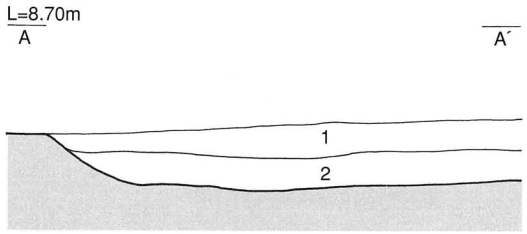
位置　7区　Loc.E2　αⅡ　kl2～3

平面形　楕円形

土層　2層

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。出土状況図にあるように、土坑の中央やや南東よりに土器片が出土している。図示できた土器は、壺、甕の5点である。

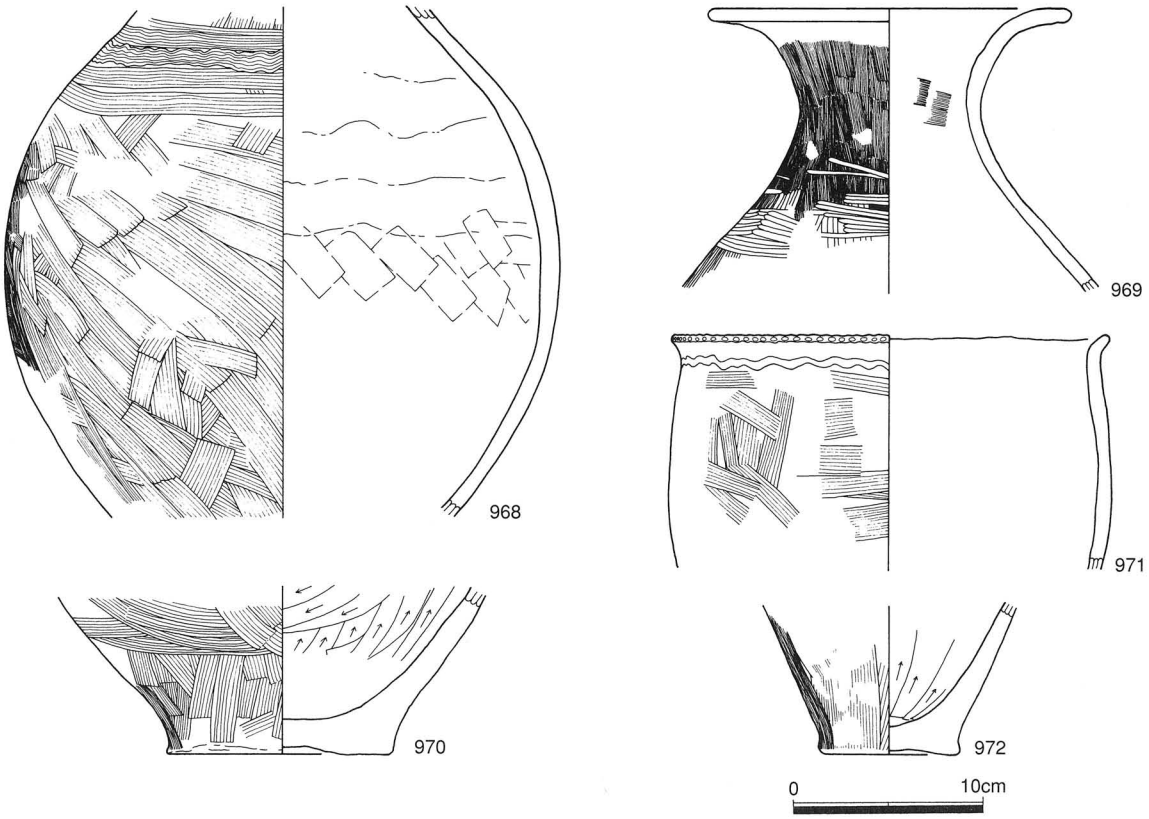
時期　弥生時代中期前半



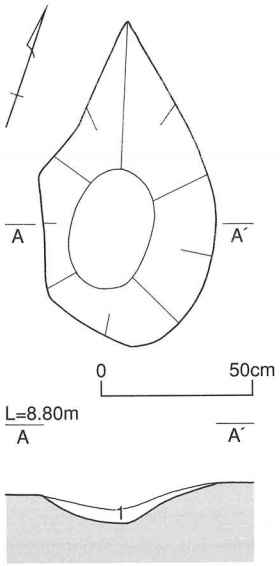
1　オリーブ褐色　2.5Y4/6　砂質土（マンガンを多く含む。）
2　褐色　10YR4/4　砂質土（マンガンを多く含む。）

0　50cm

第260図　SK2026平・断面図，遺物出土状況図（S＝1/25）

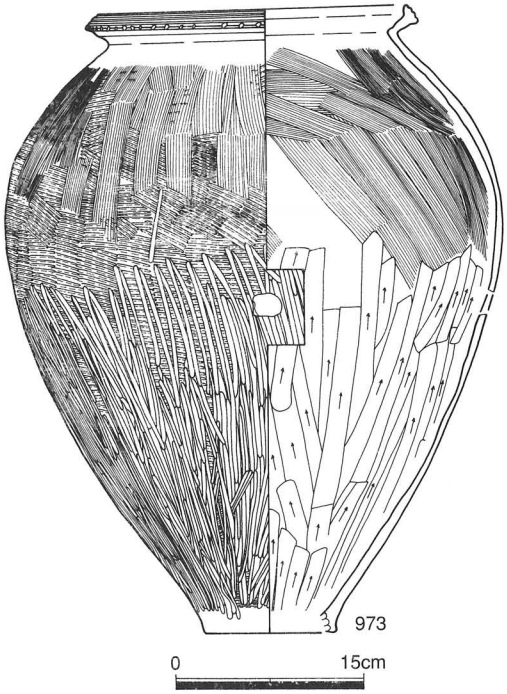


第261図　SK2026出土土器



1　黄褐色　2.5Y5/3　粘性砂質土
（5㎜程度の礫を含む。）

第262図　SK2031平・断面図（s＝1/25）



第263図　SK2031出土土器

土坑（SK2031）

位置　8区　Loc.D２　δⅡ　p５　　**平面形**　楕円形　　**土層**　1層

遺物出土状況　覆土からほぼ完形で甕が出土している。口縁部を北側に向けて、横倒しの状態で見つかっている。土器体部と底部には穿孔が施されている。甕の口縁部を塞ぐような土器片は見つかっていない。

時期　弥生時代中期後半

備考　出土状況から土器棺墓の可能性も考えられる。

土坑（SK2032）

位置　8区　Loc.D２　δⅡ　r５　　**平面形**　楕円形　　**土層**　1層

遺物出土状況　覆土からほぼ完形で甕と鉢が出土している。口縁部を東側に向けて、横倒しの状態で見つかっている。土器体部と底部には穿孔が施されている。甕の口縁部を塞ぐような形で鉢が見つかっている。

時期　弥生時代中期後半

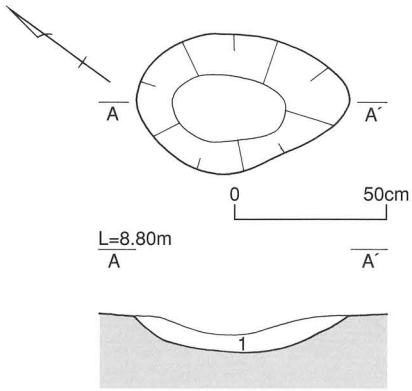
備考　出土状況から土器棺墓の可能性も考えられる。

土坑（SK2034）

位置　9区　Loc.D２　δⅡ　t４　　**平面形**　楕円形　　**土層**　3層

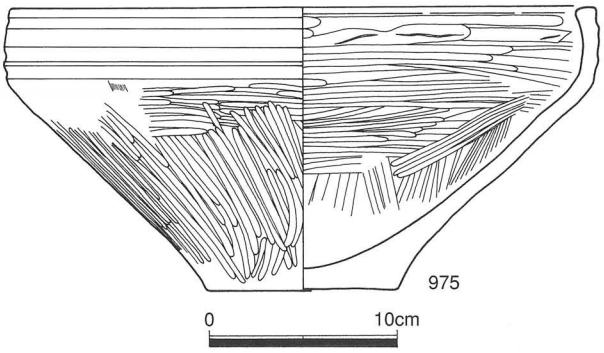
遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の５点である。

時期　弥生時代中期後半

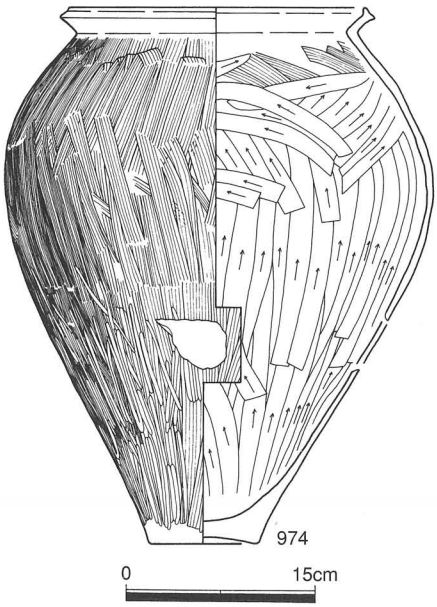


1　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘性砂質土
（粘性がやや強い。マンガン、礫、小石を含む。）

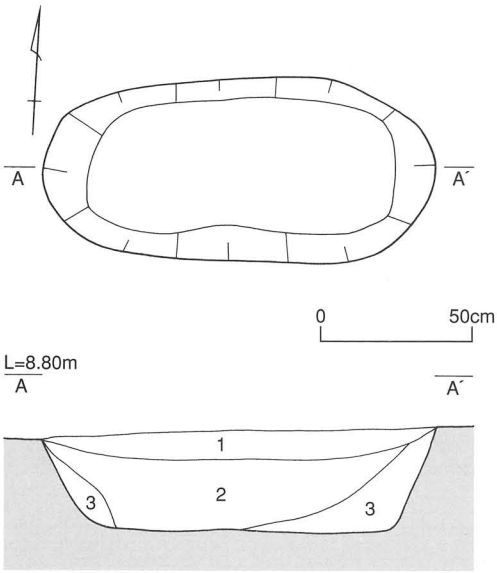
第264図　SK2032平・断面図（S=1/25）



第265図　SK2032出土土器（1）

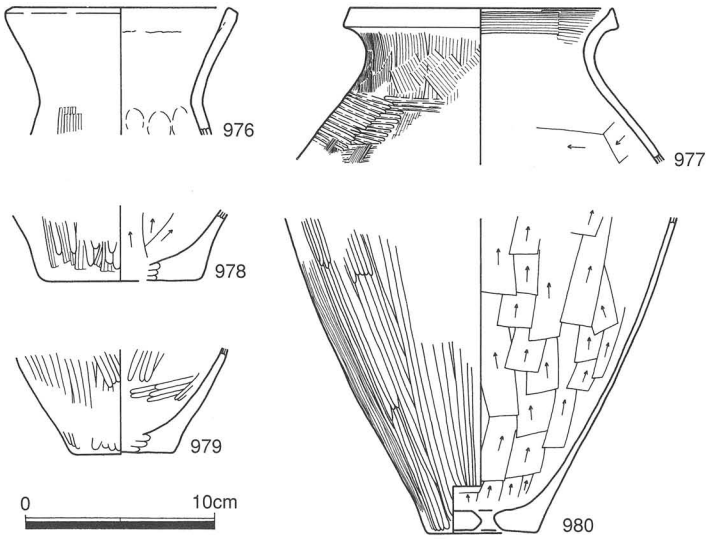


第266図　SK2032出土土器（2）

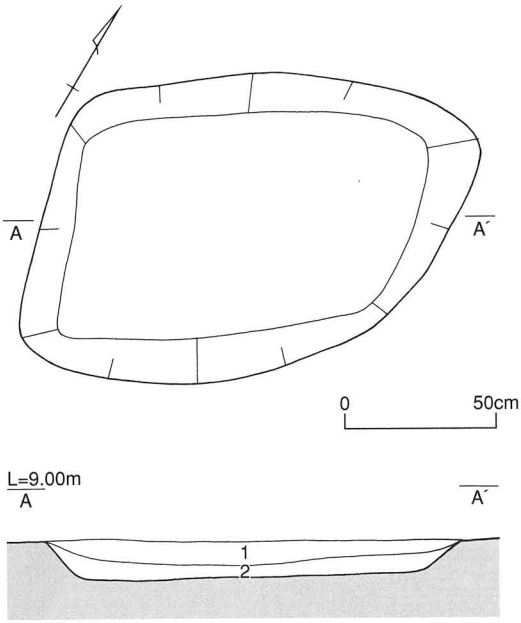


1　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土
2　褐色　7.5YR4/3　粘質土
3　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土

第267図　SK2034平・断面図（S=1/25）

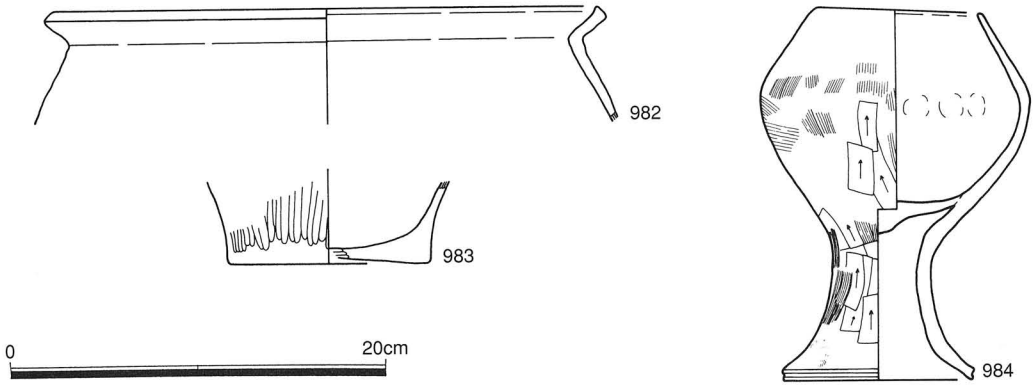


第268図　SK2034出土土器



1　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土
2　黄褐色　　2.5Y5/4　砂質土（3～4㎝大と1～2㎝大の礫を含む。）

第269図　SK2035平・断面図（S＝1/25）



第270図　SK2035　出土土器

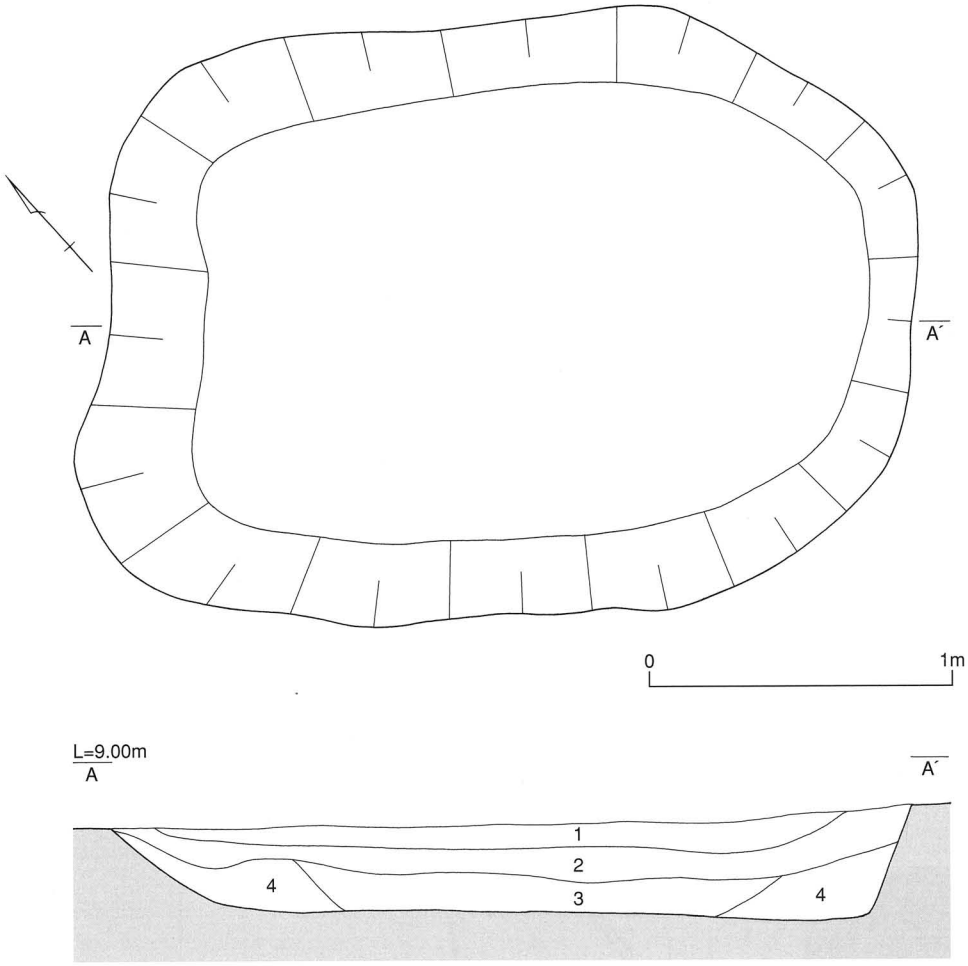
土坑（SK2035）

位置　9区　Loc.D2　δⅡ　t5　　平面形　不整な方形

土層　2層

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、甕と鉢（脚台付）の3点である。

時期　弥生時代中期後半



1	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	3	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土
2	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	4	褐色	10YR4/6	粘性砂質土

第271図　SK2042平・断面図（S＝1/25）

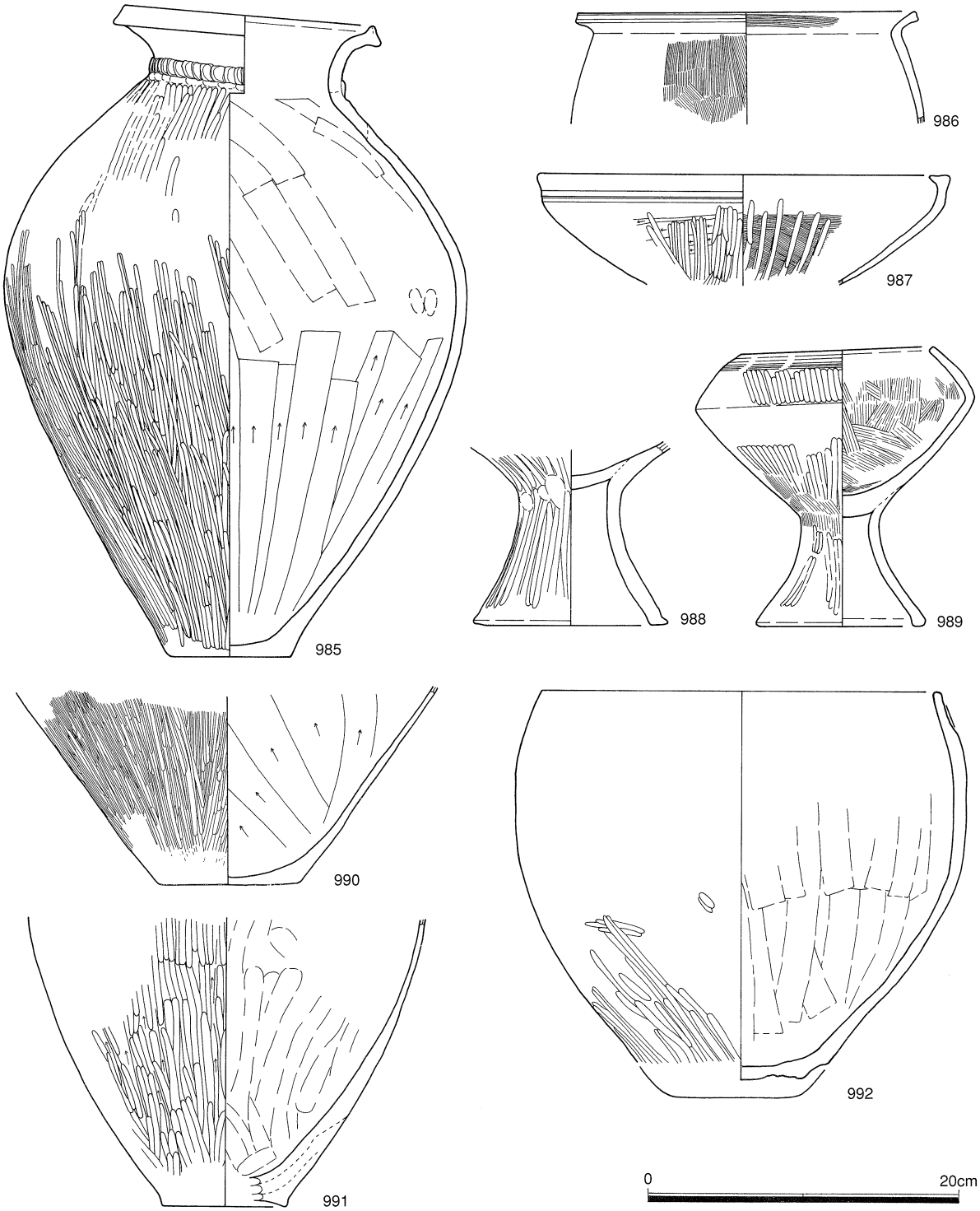
土坑（SK2042）

位置　9区　Loc.D２　εⅡ　f３～４　　**平面形**　隅丸長方形

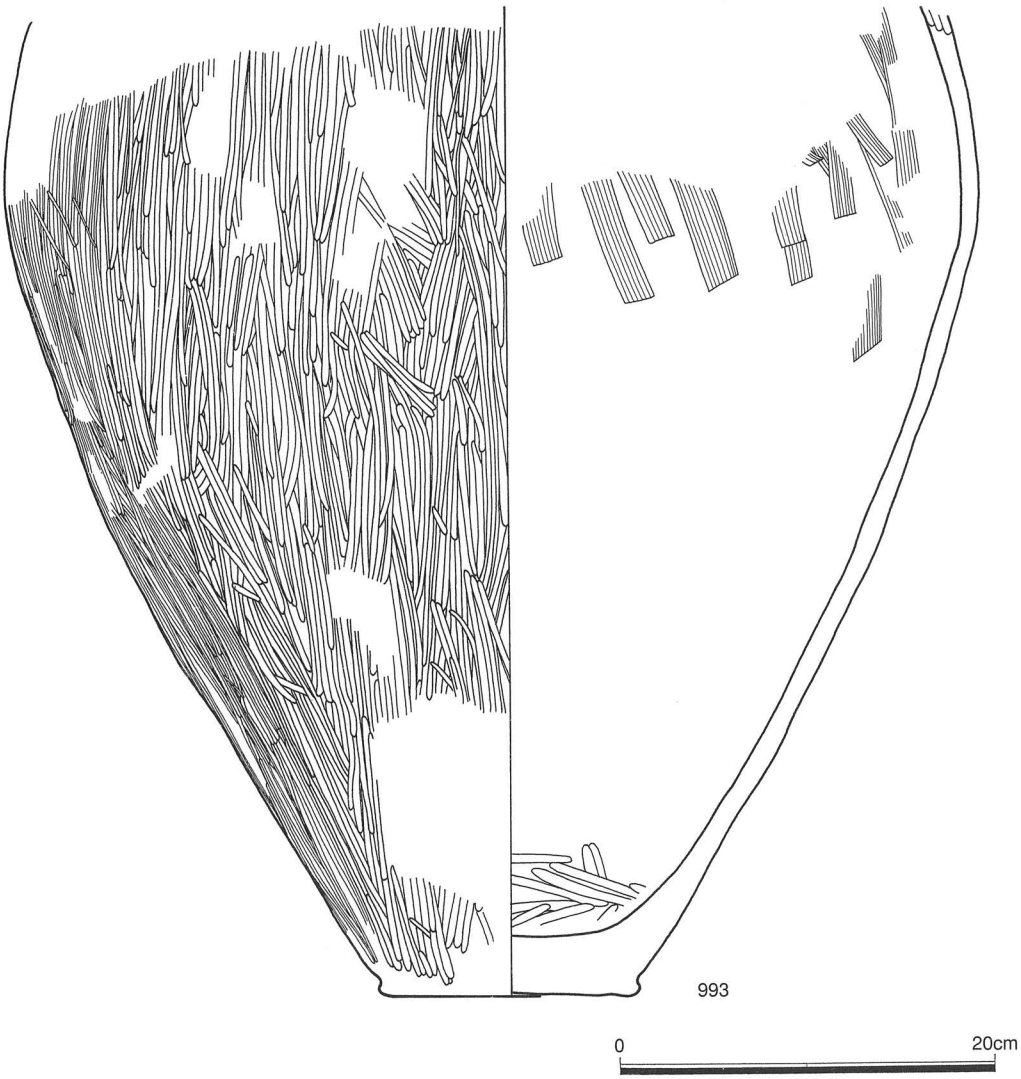
土層　４層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の９点である。一方、石器は、砥石が１点図示できた。

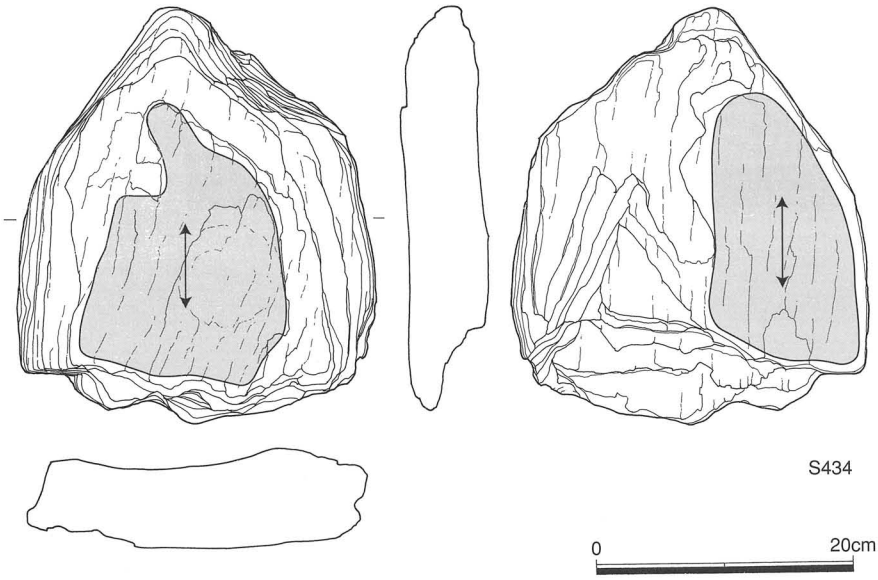
時期　弥生時代中期後半



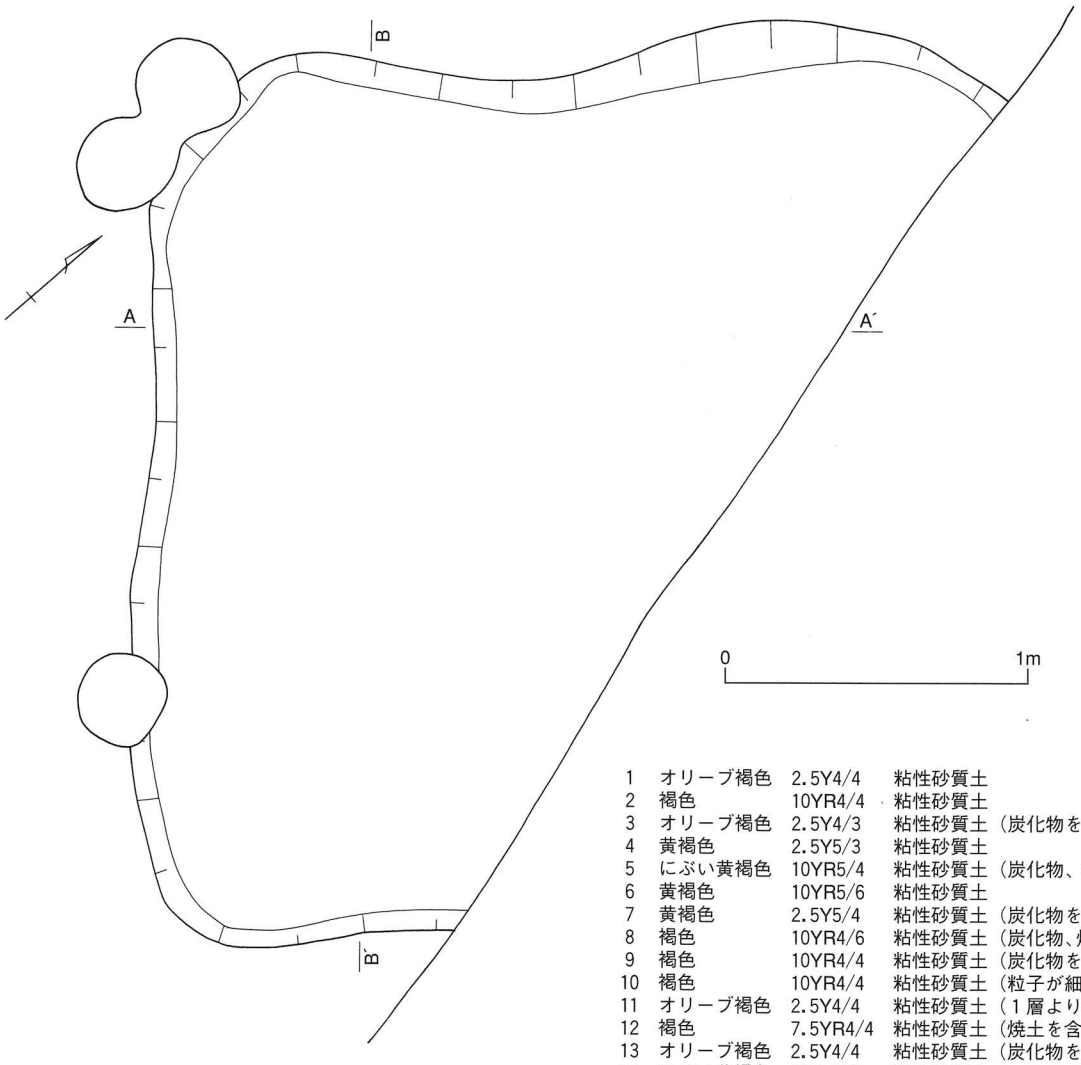
第272図　SK2042出土土器（1）



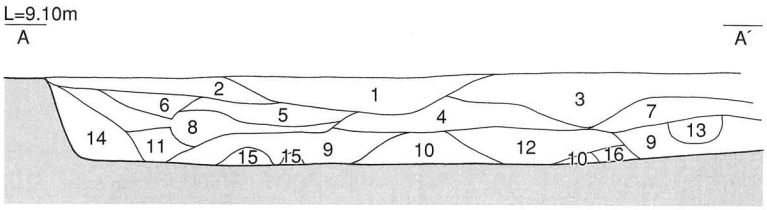
第273図　SK2042出土土器（２）

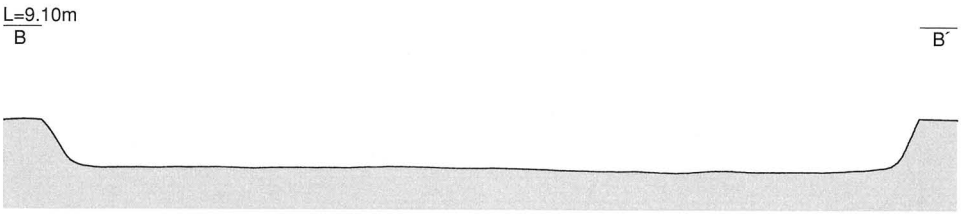


第274図　SK2042出土石器

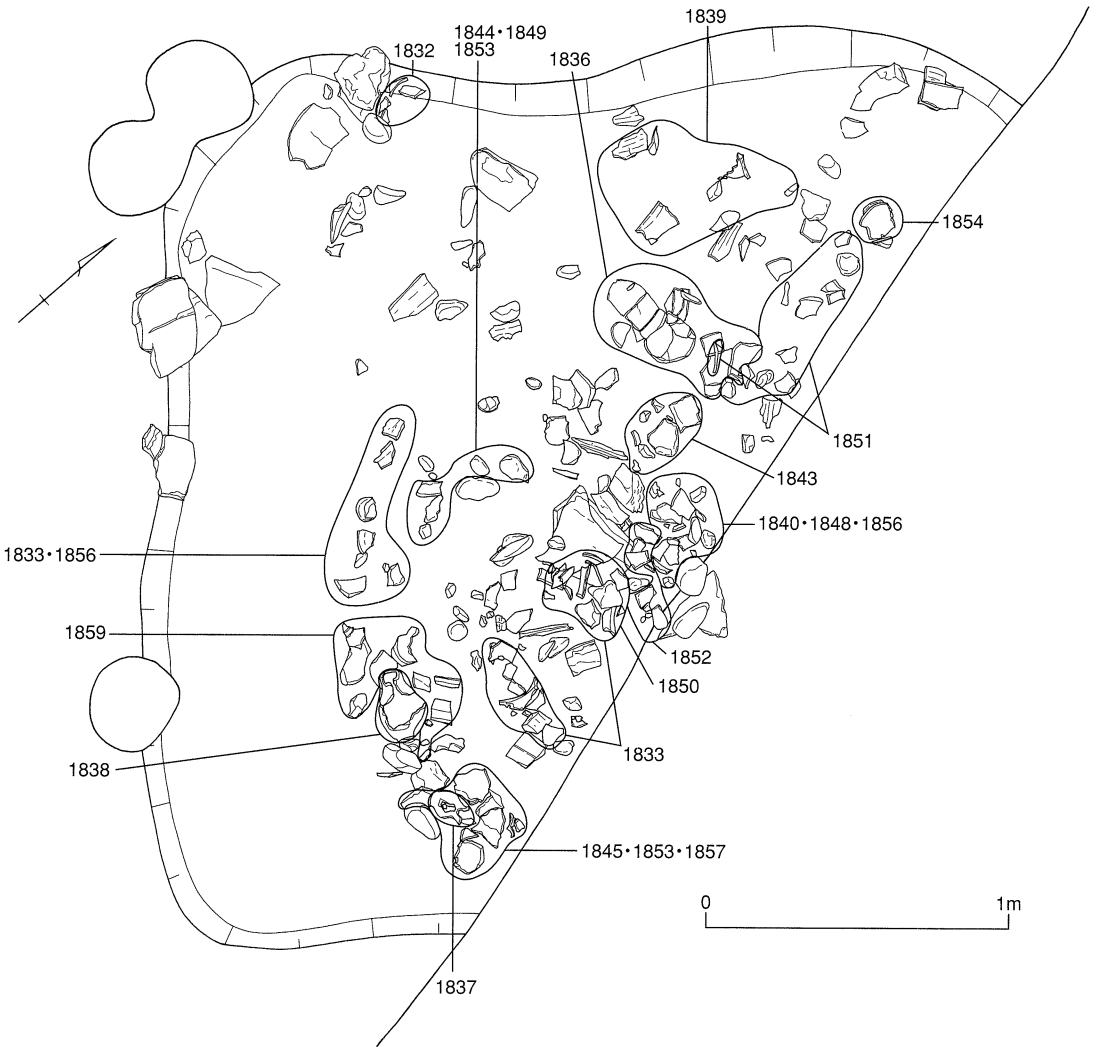


1	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	
2	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	
3	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘性砂質土	（炭化物を少量含む。）
4	黄褐色	2.5Y5/3	粘性砂質土	
5	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	（炭化物、焼土を含む。）
6	黄褐色	10YR5/6	粘性砂質土	
7	黄褐色	2.5Y5/4	粘性砂質土	（炭化物を少量含む。）
8	褐色	10YR4/6	粘性砂質土	（炭化物、焼土を少量含む。）
9	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	（炭化物を含む。）
10	褐色	10YR4/4	粘性砂質土	（粒子が細かい。）
11	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	（１層より粒子が細かい。）
12	褐色	7.5YR4/4	粘性砂質土	（焼土を含む。）
13	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘性砂質土	（炭化物を多量に含む。）
14	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘性砂質土	
15	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	
16	黄褐色	2.5Y5/3	粘質土	（炭化物を多量に含む。）





第275図　SK2043平・断面図（S=1/25）



第276図　SK2043遺物出土状況図（S＝1/25）

土坑（SK2043）

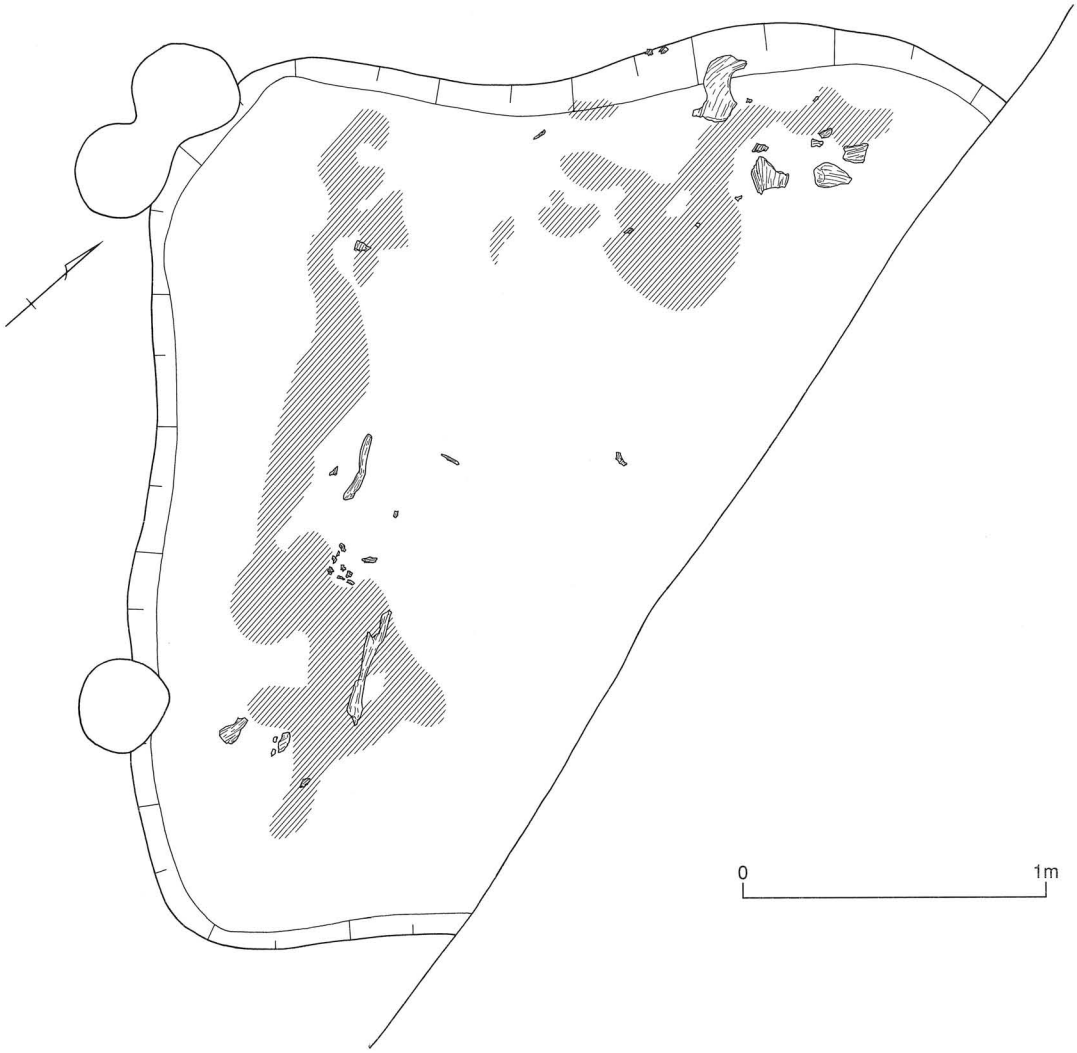
位置　9区　Loc.D 2　εⅡ　g 4　　**平面形**　方形

土層　16層

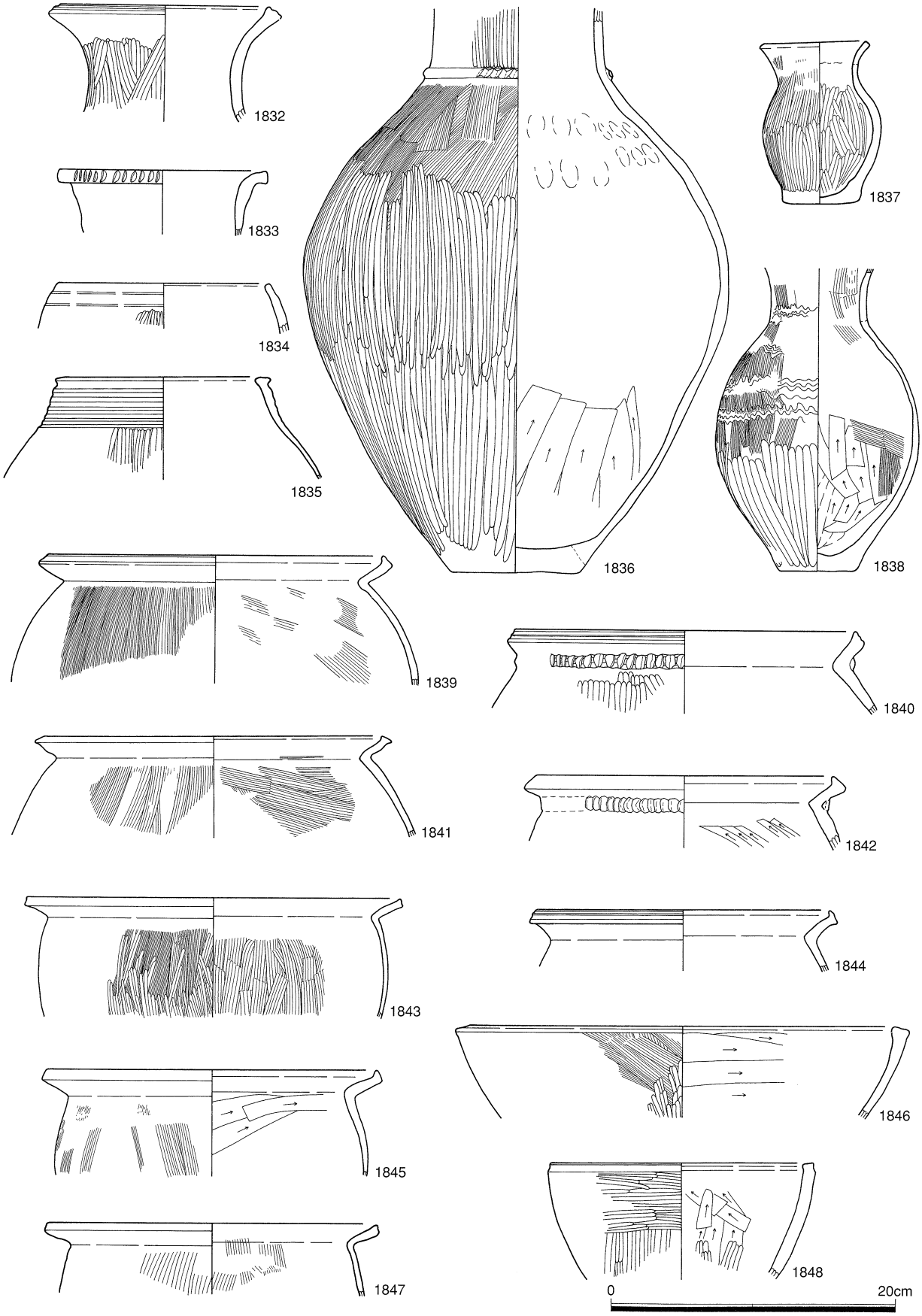
遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の28点である。一方、石器は、砥石が3点図示できた。また、出土状況図にあるように、土坑内から炭化材、炭化物、焼土が多量に検出されている。

時期　弥生時代中期後半

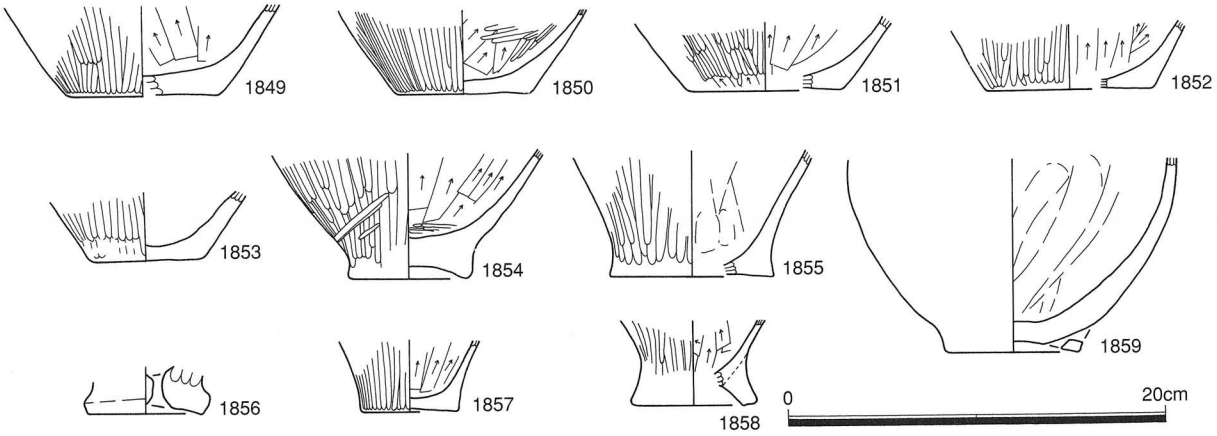
備考　平面形態や断面観察から竪穴住居跡の可能性が指摘できる。ただし、柱穴や炉跡は確認されていない。そのため竪穴住居跡であると断定はできない。



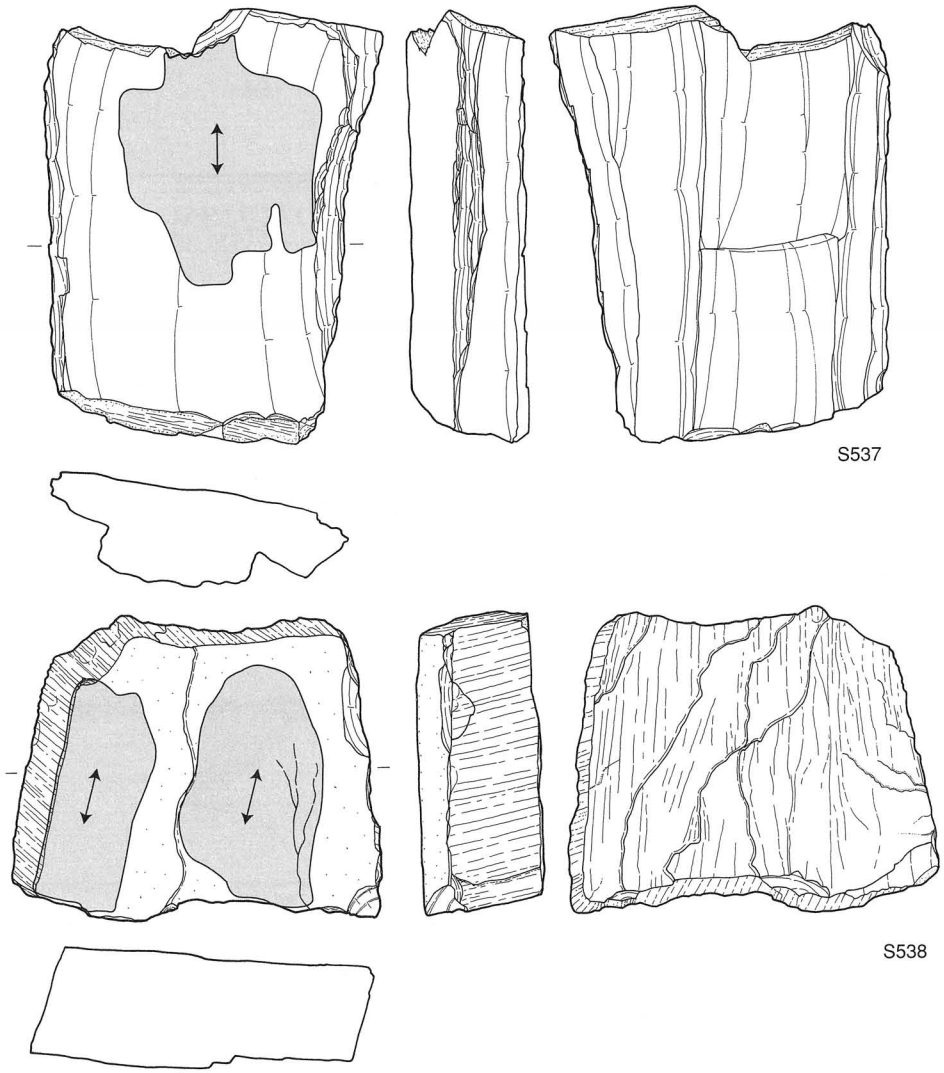
第277図　SK2043焼土、炭化材出土状況図（S＝1/25）



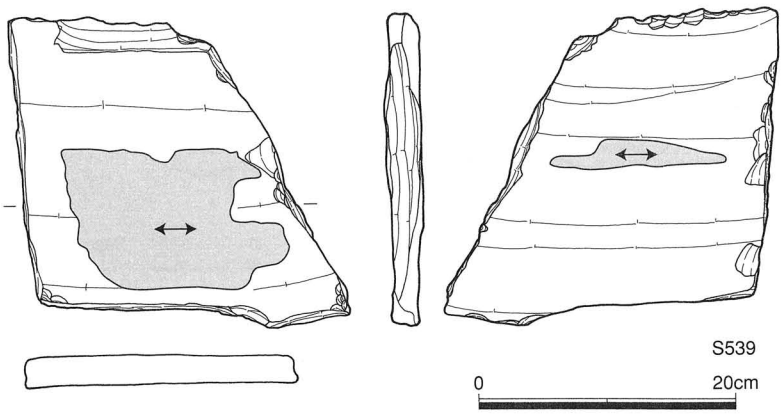
第278図　SK2043出土土器（1）



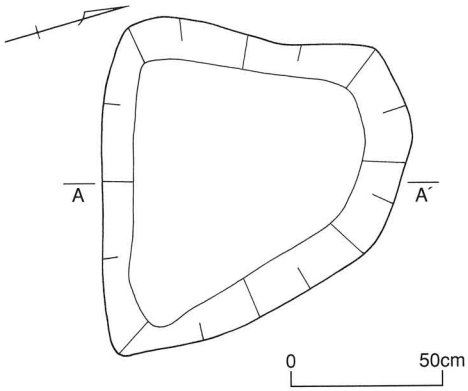
第279図　SK2043出土土器（２）

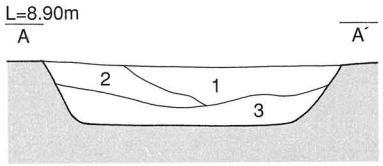


第280図　SK2043出土石器（１）



第281図　SK2043出土石器（２）





1　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘性砂質土
2　オリーブ褐色　2.5Y4/3　粘性砂質土
3　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘性砂質土

第282図　SK2044平・断面図（S＝1/25）

土坑（SK2044）

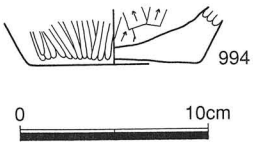
位置　９区　Loc.D２　εⅡ　g２

平面形　不整な方形

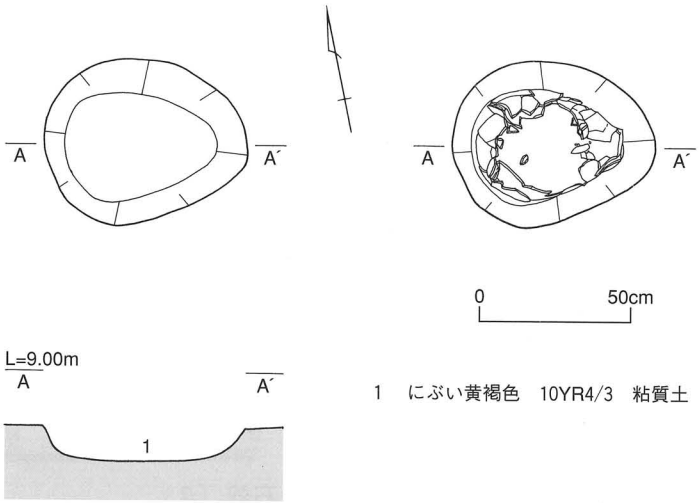
土層　３層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕の１点だけである。

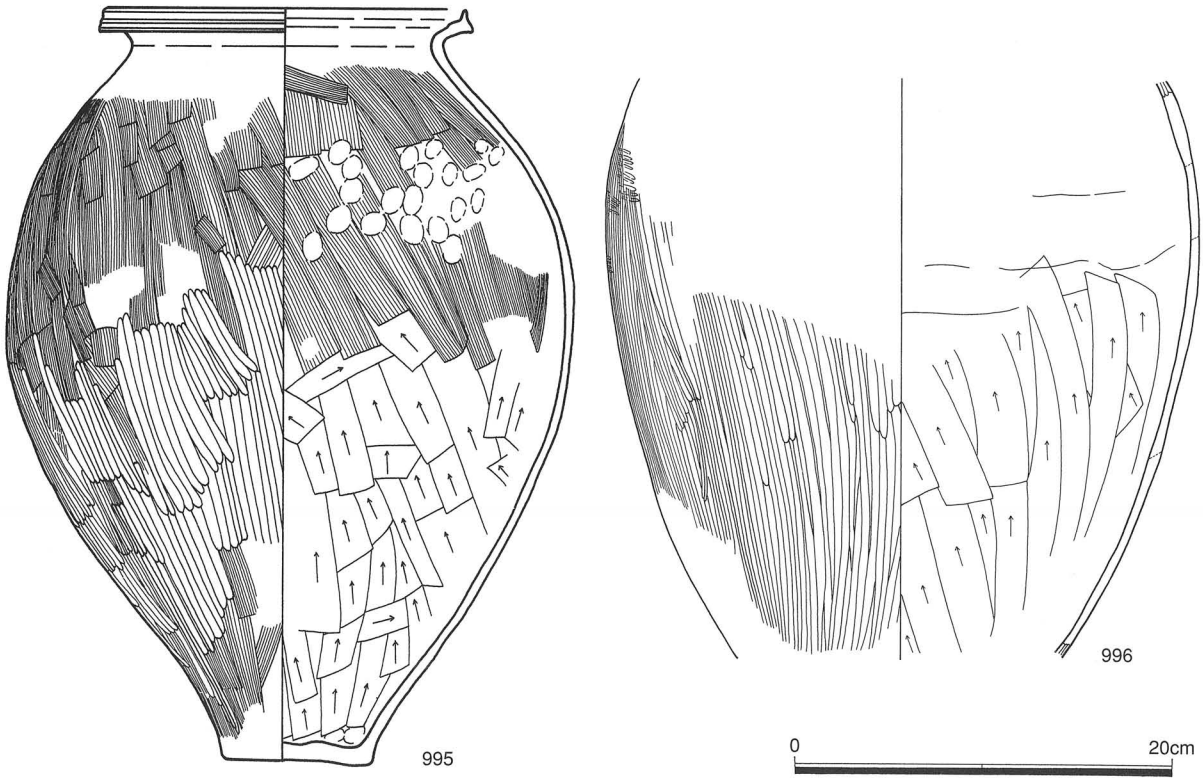
時期　弥生時代中期後半



第283図　SK2044出土土器



第284図　SK2047平・断面図，遺物出土状況図（S＝1/25）



第285図　SK2047出土土器

土坑（SK2047）

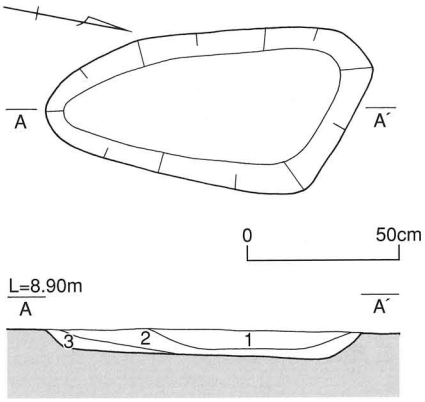
位置　9区　Loc.D 2　εⅡ　h 4　　**平面形**　楕円形

土層　1層

遺物出土状況　覆土から甕形土器が2点出土している。出土状況図にあるように、口縁部を西側に向けて、横倒しの状態で出土している。口縁部は、別の甕形土器の体部破片で覆いをされていた。

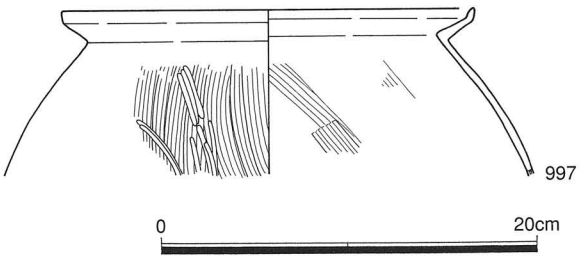
時期　弥生時代中期後半

備考　出土状況からすれば、土器棺墓の可能性が指摘できる。



1　オリーブ褐色　2.5Y4/4　砂質土（炭化物を含む。）
2　黄褐色　2.5Y5/4　砂質土（炭化物を含む。）
3　オリーブ褐色　2.5Y4/3　粘質土

第286図　SK2048平・断面図（＝1/25）



第287図　SK2048出土土器

土坑（SK2048）

位置　9区　Loc.D 2　εⅡ　h 4　　**平面形**　楕円形

土層　3層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期　弥生時代中期後半

土坑（SK2052）

位置　10区　Loc.D 2　εⅡ　lm 2　　**平面形**　長方形

土層　11層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕4点である。

時期　弥生時代中期後半

土坑（SK2054）

位置　10区　Loc.D 2　εⅡ　mn 1～2　　**平面形**　隅丸方形

土層　1層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の4点である。一方、石器は、楔形石器、敲石・磨石、剥片の5点が図示できた。

時期　弥生時代中期後半

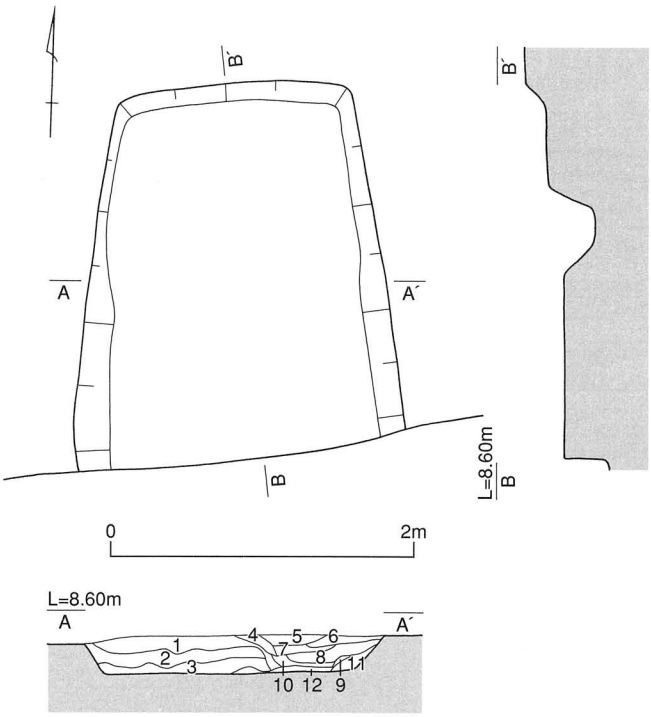
土坑（SK2055）

位置　10区　Loc.D 2　εⅡ　n 2　　**平面形**　楕円形

土層　4層

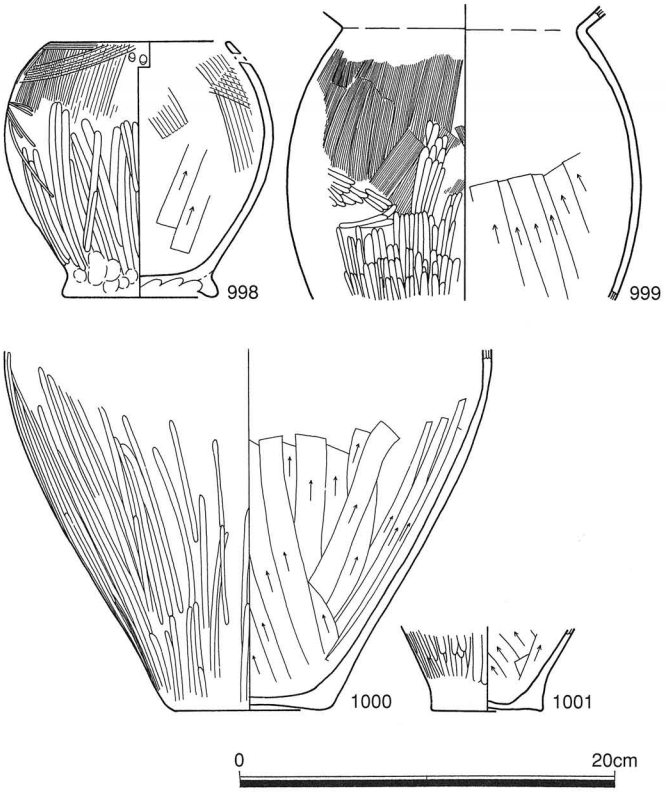
遺物出土状況　覆土から石器が出土している。図示できた石器は、剥片の4点である。

時期　弥生時代中期後半

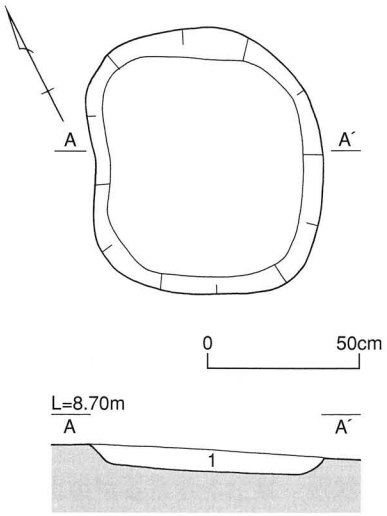


1　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土（焼土ブロックを微量含む。）
2　褐色　7.5Y4/3　粘質土
3　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土（炭化物を微量含む。）
4　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土（炭化物を微量含む。）
5　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土
6　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土
7　褐色　10YR4/4　粘質土
8　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土
9　褐色　10YR4/4　粘質土
10　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土（炭化物を含む。）
11　暗褐色　10YR3/3　粘質土（炭化物を微量含む。）

第288図　SK2052平・断面図（S＝1/50）

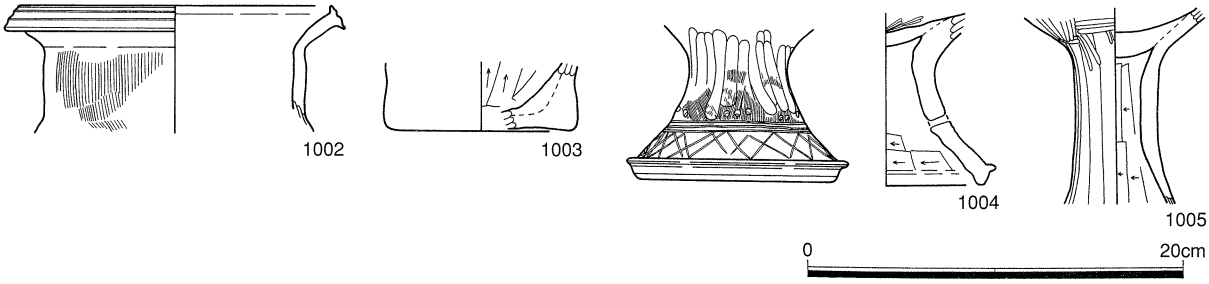


第289図　SK2052出土土器

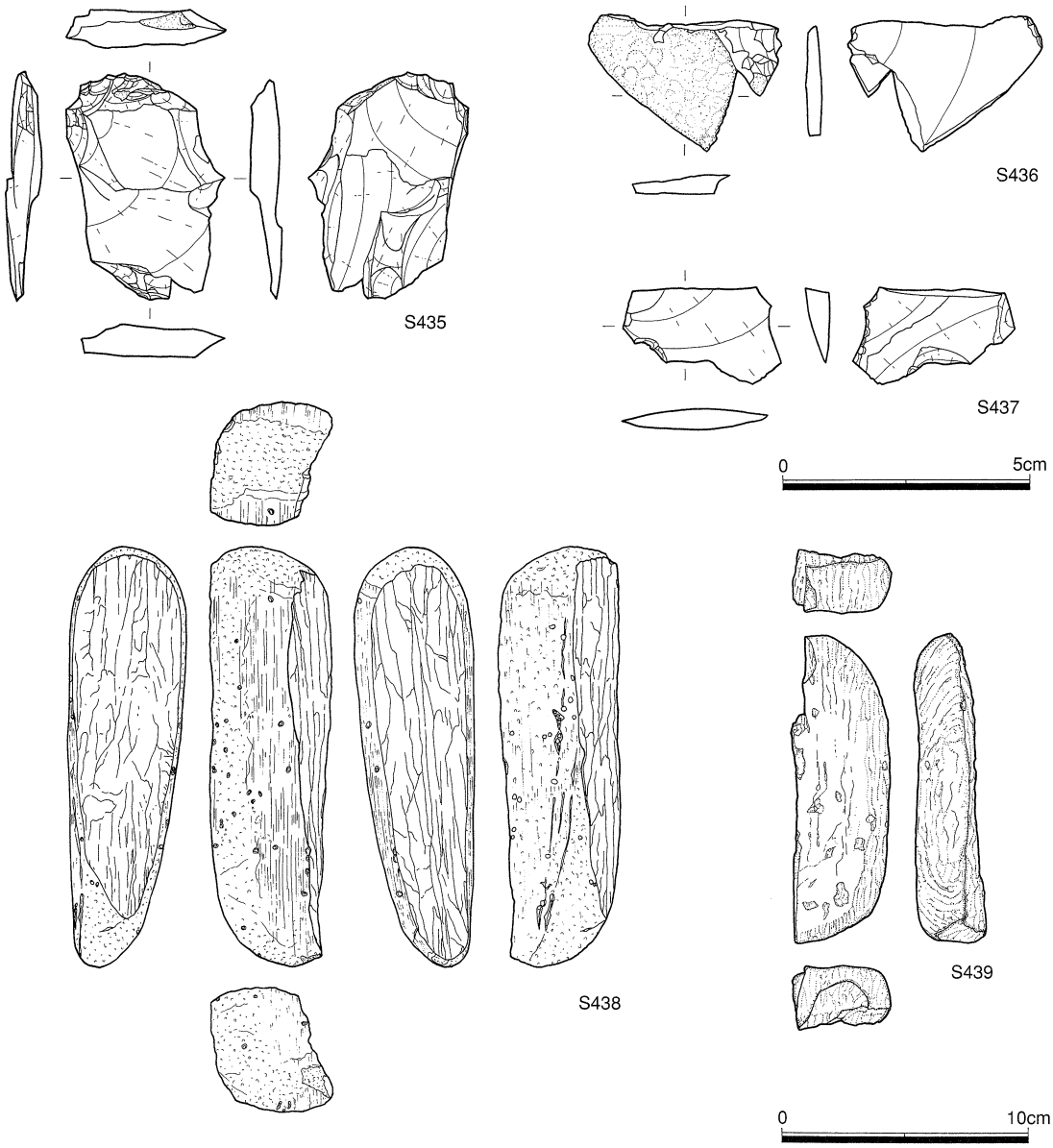


1　褐色　10YR4/4　粘性砂質土

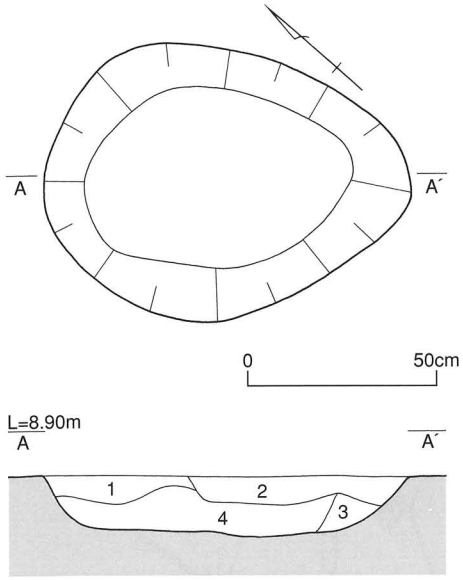
第290図　SK2054平・断面図（S＝1/25）



第291図　SK2054出土土器

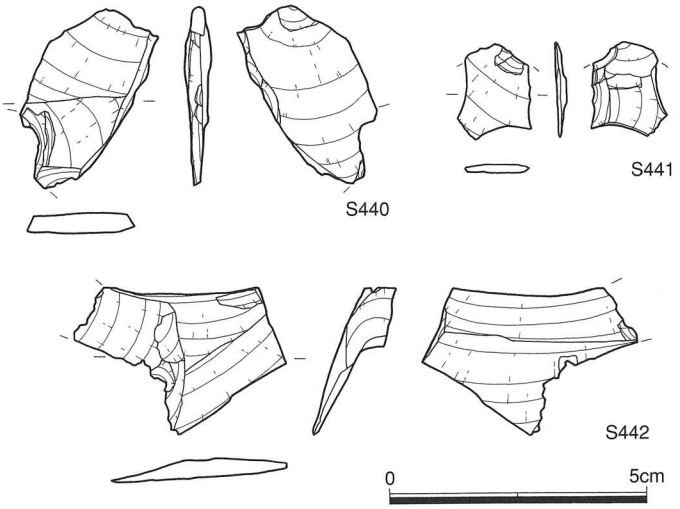


第292図　SK2054出土石器

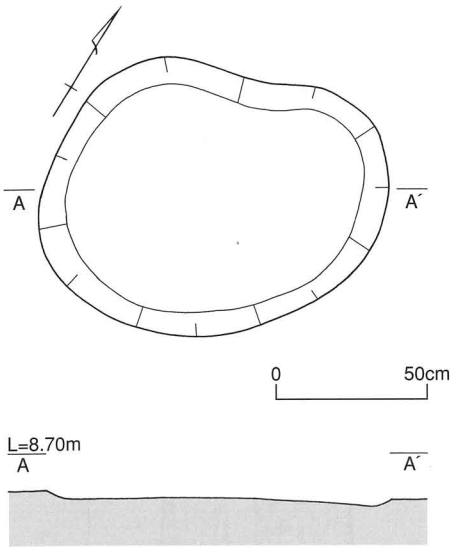


1　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土　（炭化物を含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘性砂質土
3　にぶい黄褐色　2.5Y6/4　粘性砂質土
4　黄褐色　10YR4/4　粘性砂質土

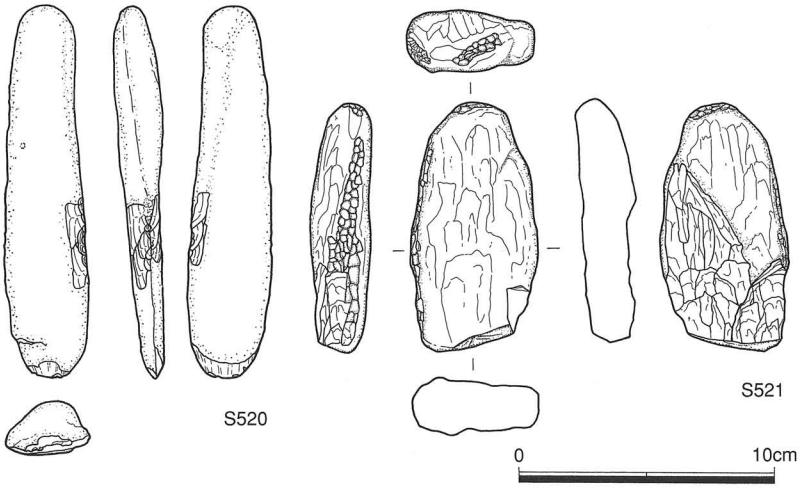
第293図　SK2055平・断面図（S=1/25）



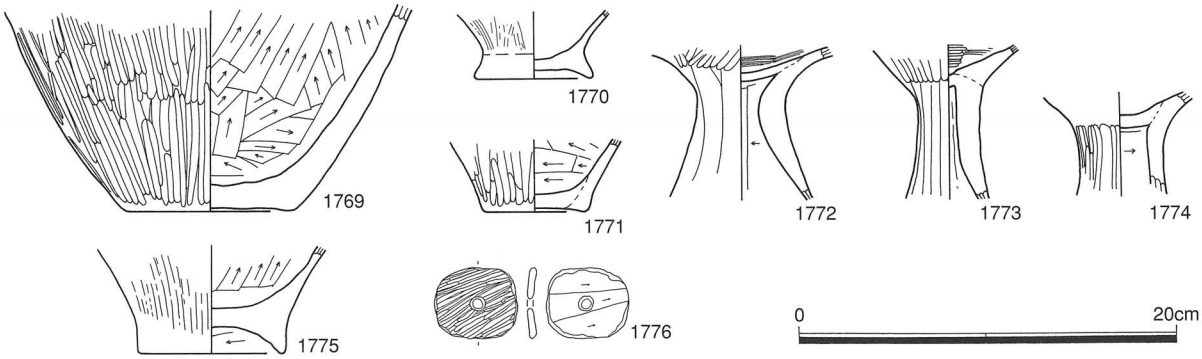
第294図　SK2055出土石器



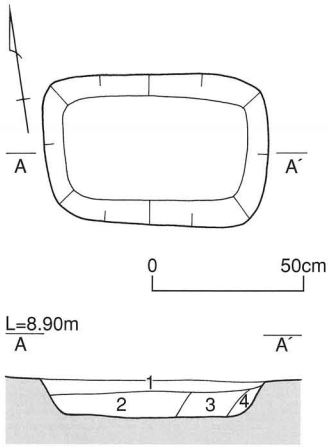
第295図　SK2056平・断面図（S=1/25）



第296図　SK2056出土石器

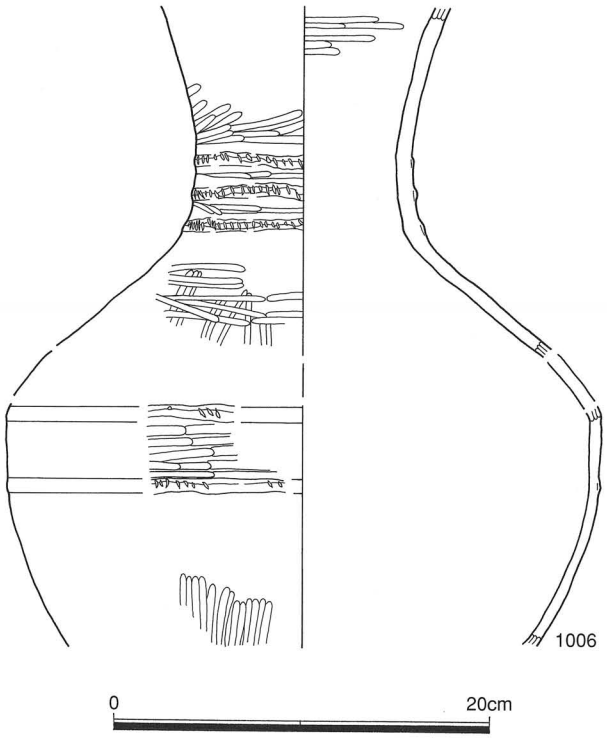


第297図　SK2056出土土器



1　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘性砂質土
2　黄褐色　2.5Y5/4　粘質土
3　オリーブ褐色　2.5Y4/3　粘性砂質土
4　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土

第298図　SK2057平・断面図（S＝1/25）



第299図　SK2057出土土器

土坑（SK2056）

位置　10区　Loc.D２　εⅡ　n２　　**平面形**　楕円形

土層　不明

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯、紡錘車の８点である。一方、石器は、敲石などが２点図示できた。

時期　弥生時代中期後半

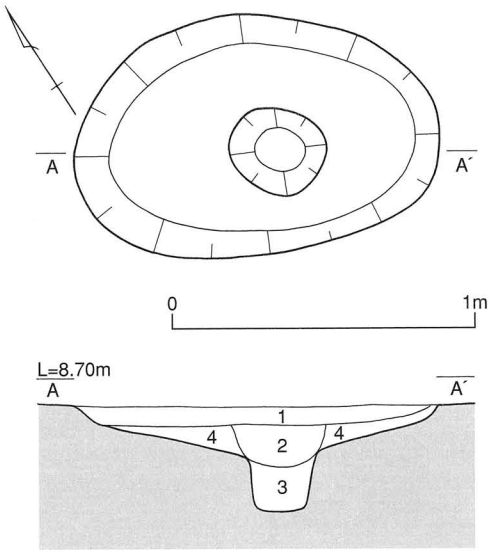
土坑（SK2057）

位置　10区　Loc.D２　εⅡ　no２　　**平面形**　長方形

土層　４層

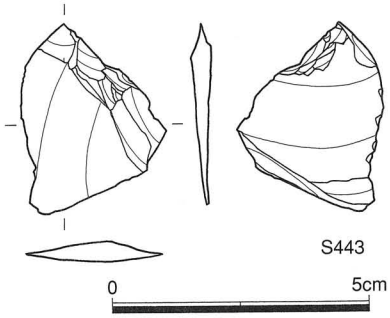
遺物出土状況　覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、壺の１点だけである。

時期　弥生時代前期末～中期初頭



1　にぶい黄褐色　10YR4/3　砂質土
2　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘性砂質土
3　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土
4　褐色　10YR4/4　粘質土

第300図　SK2059平・断面図（S＝1/25）



第301図　SK2059出土土器

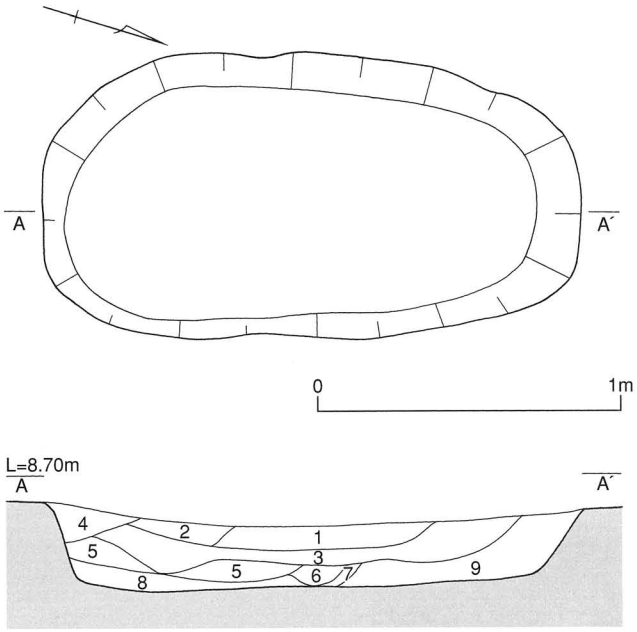
土坑（SK2059）

位置　10区　Loc.D２　εⅡ　o１　　**平面形**　楕円形

土層　４層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の石器が出土している。図示できた石器は、剥片の１点だけである。

時期　弥生時代中期後半



1　褐色　7.5YR4/3　粘質土（炭化物、焼土を含む。）
2　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土（炭化物、焼土を含む。）
3　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土（炭化物を微量含む。）
4　にぶい黄橙色　10YR6/4　粘質土
5　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土（炭化物、焼土ブロックを含む。）
6　黄褐色　2.5Y5/4　粘質土
7　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土
8　褐色　10YR4/4　粘質土
9　にぶい赤褐色　5YR4/4　粘質土（にぶい黄褐色の粘質土を多量に含む。炭化物を含む。）

第302図　SK2065平・断面図（S＝1/25）

土坑（SK2065）

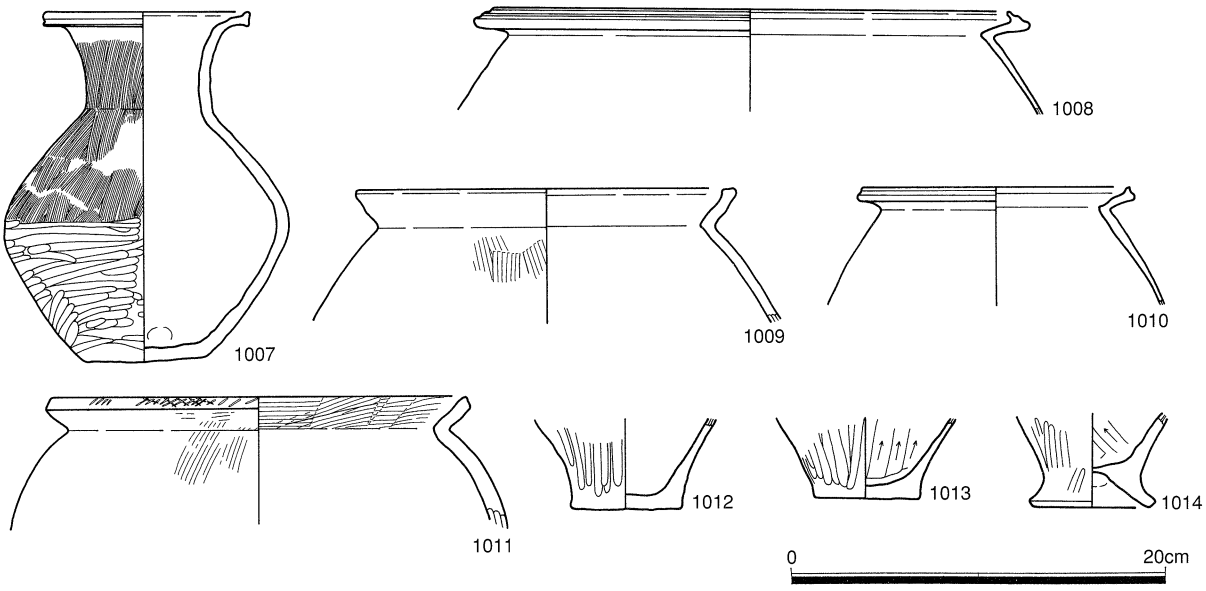
位置　10区　Loc.D２　εⅡ　o p１

平面形　楕円形

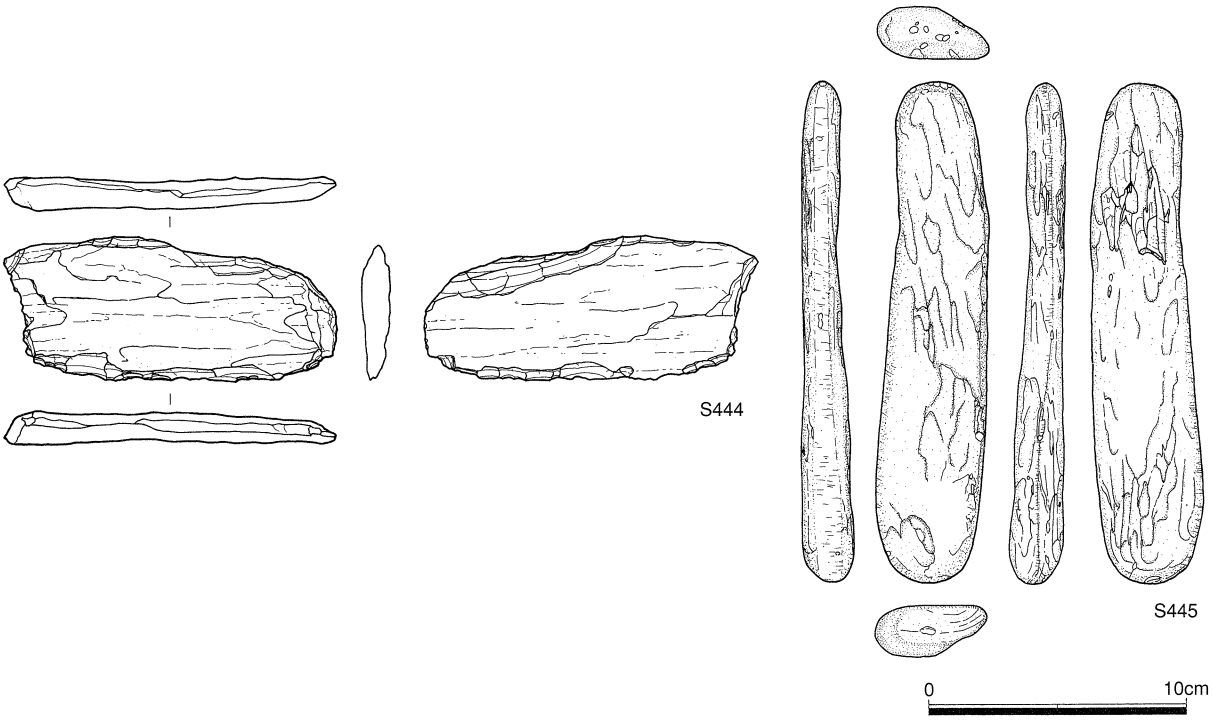
土層　９層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の８点である。一方、石器は、石庖丁と敲石が２点図示できた。

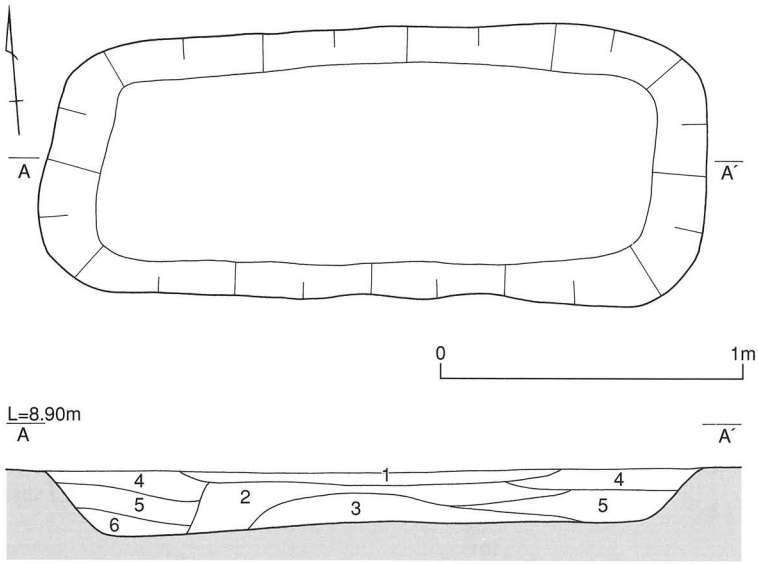
時期　弥生時代中期後半



第303図　SK2065出土土器

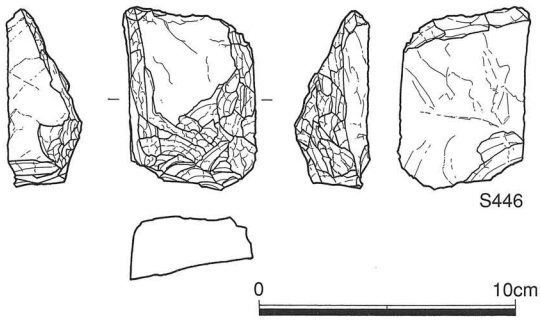


第304図　SK2065出土石器



1	褐色	10YR4/6	砂質土	4	にぶい黄橙色	10YR6/4	粘性砂質土
2	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘性砂質土	5	黄褐色	10YR5/6	粘質土
3	にぶい黄橙色	10YR6/3	粘性砂質土	6	黄褐色	10YR5/8	粘質土

第305図　SK2066平・断面図（S＝1/25）



第306図 SK2066出土石器

土坑（SK2066）

位置　10区　Loc.D 2　εⅠ　p20　　**平面形**　長方形

土層　6 層

遺物出土状況　覆土からわずかな量の石器が出土している。図示できた石器は、敲石の 1 点だけである。

時期　弥生時代中期後半

土坑（SK2068）

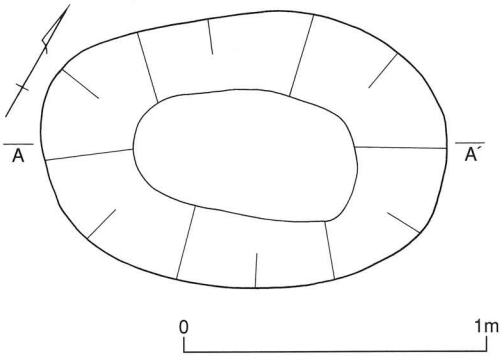
位置　10区　Loc.D２　εⅡ　q１

平面形　楕円形

土層　７層

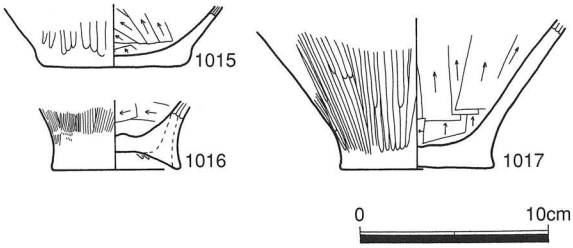
遺物出土状況　覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕の３点である。

時期　弥生時代中期後半

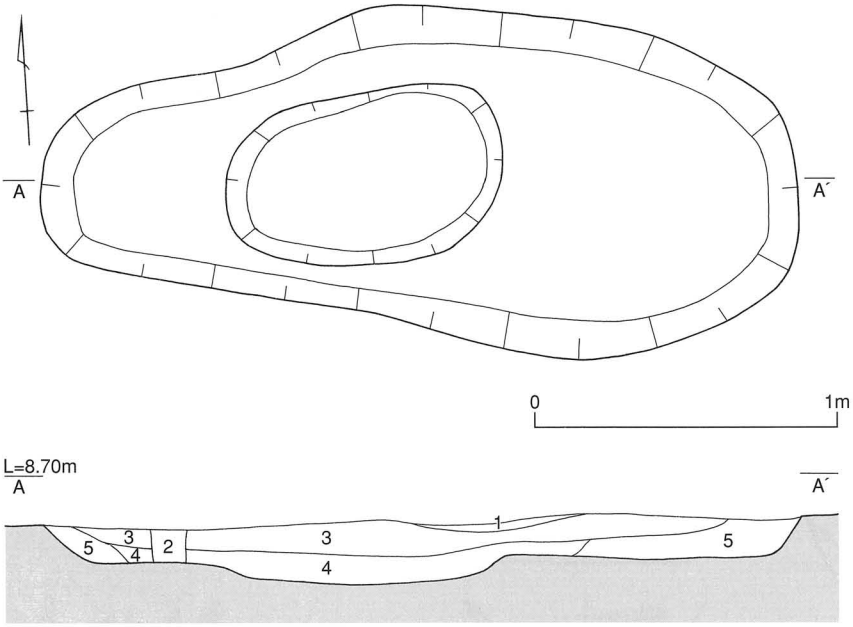


1　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘性砂質土
2　褐色　10YR4/4　粘質土
3　暗褐色　10YR3/4　粘質土（炭化物を含む。）
4　暗オリーブ褐色　2.5Y3/3　粘性砂質土
5　黄褐色　2.5Y5/4　粘性砂質土
6　オリーブ褐色　2.5Y4/3　粘質土
7　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘性砂質土

第307図　SK2068平・断面図（S＝1/25）

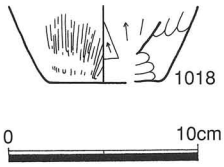


第308図　SK2068出土土器



1　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土
2　にぶい黄褐色　10YR5/4　粘質土（0.3cm程度の炭化物を少量含む。）
3　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土（0.8cm程度の炭化物を少量含む。）
4　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土
5　明黄褐色　10YR6/6　粘質土（黄土ブロックを含む。）

第309図　SK2073平・断面図（S＝1/25）



第310図　SK2073出土土器

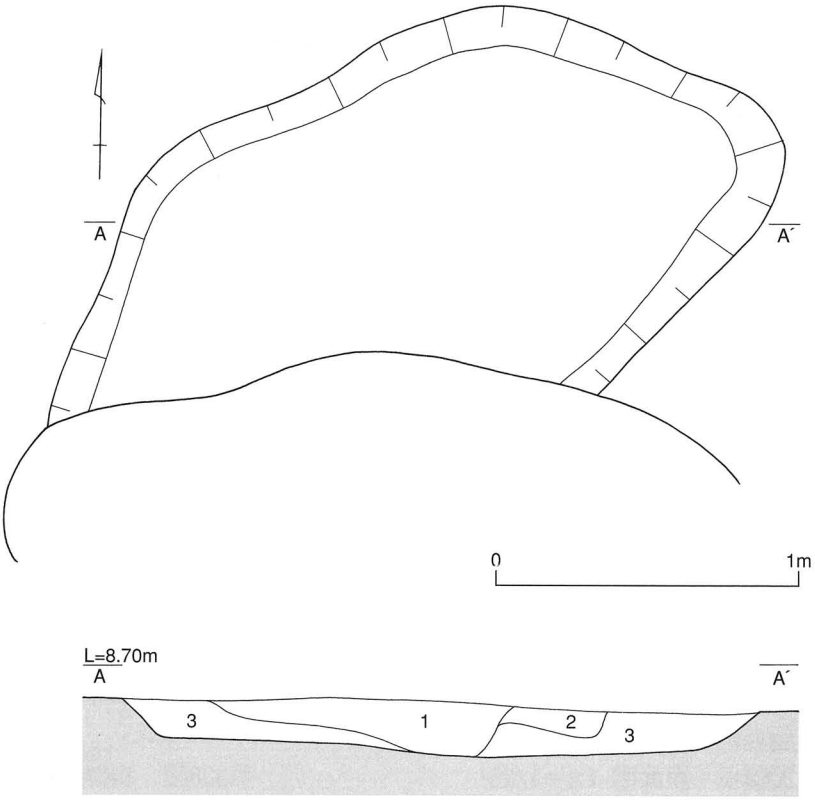
土坑（SK2073）

位置　10区　Loc.D２　εⅠ・Ⅱ　q20～１　　**平面形**　楕円形

土層　５層

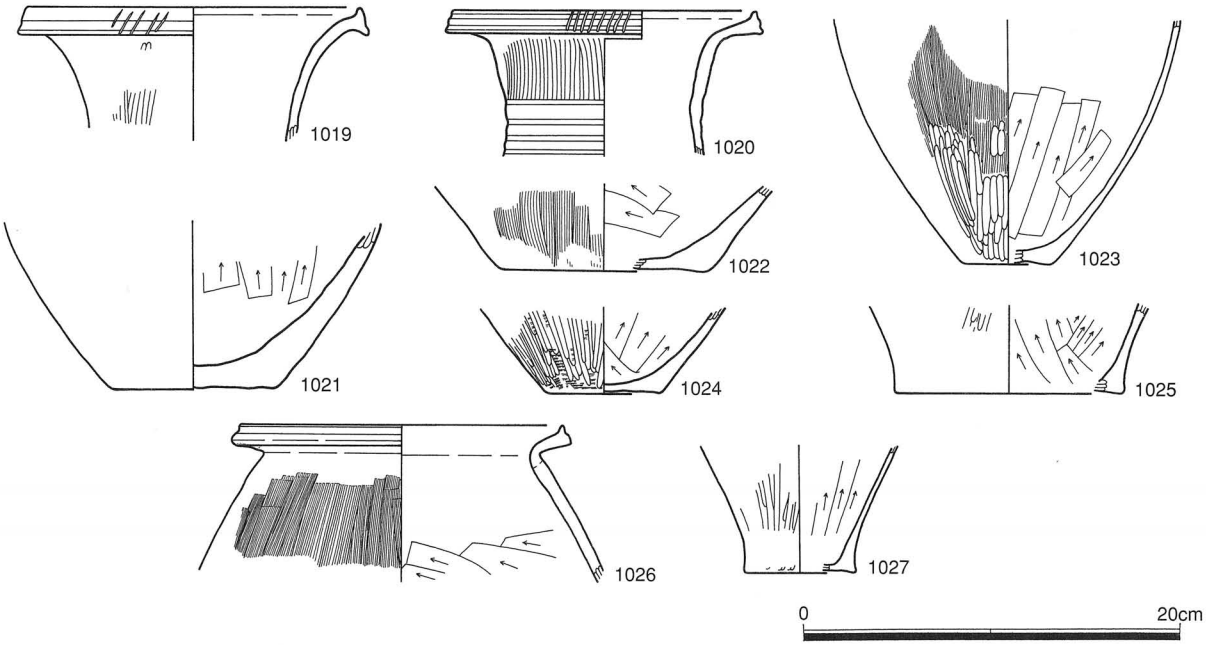
遺物出土状況　覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕の１点だけである。

時期　弥生時代中期後半

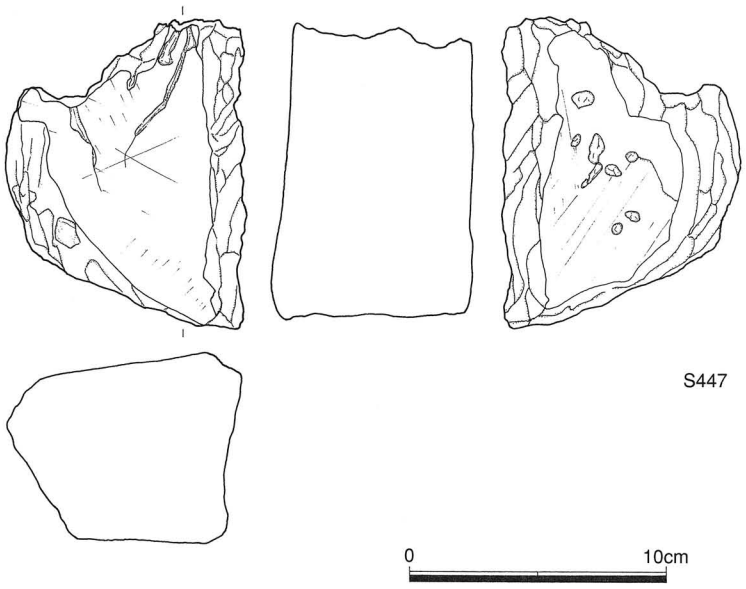


1　暗褐色　10YR3/3　粘質土　　2　灰黄褐色　10YR4/2　粘質土　　3　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土

第311図　SK2076平・断面図（S＝1/25）



第312図　SK2076出土土器



第313図　SK2076出土石器

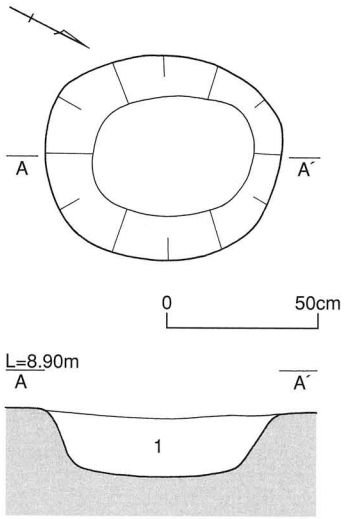
土坑（SK2076）

位置　10区　Loc.D 2　εⅠ・Ⅱ　q20～1　　**平面形**　不整な楕円形

土層　3層

遺物出土状況　覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の9点である。一方、石器は、砥石が1点図示できた。

時期　弥生時代中期後半



1　暗褐色　10YR3/4　粘性砂質土

第314図　SK2077平・断面図（s＝1/25）

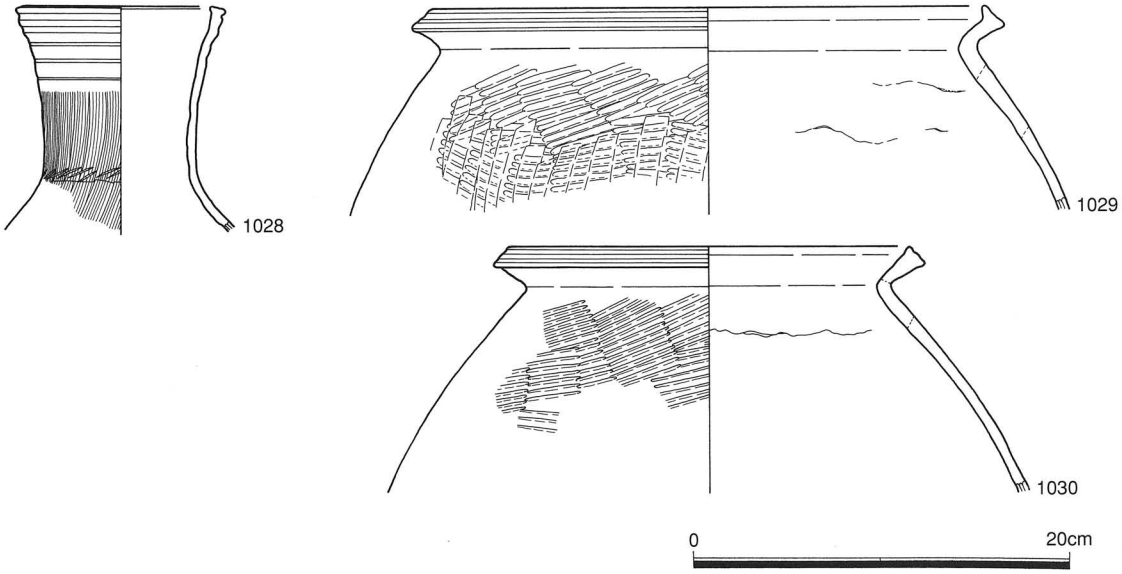
土坑（SK2077）

位置　10区　Loc.D 2　εⅡ　r 1　　**平面形**　円形

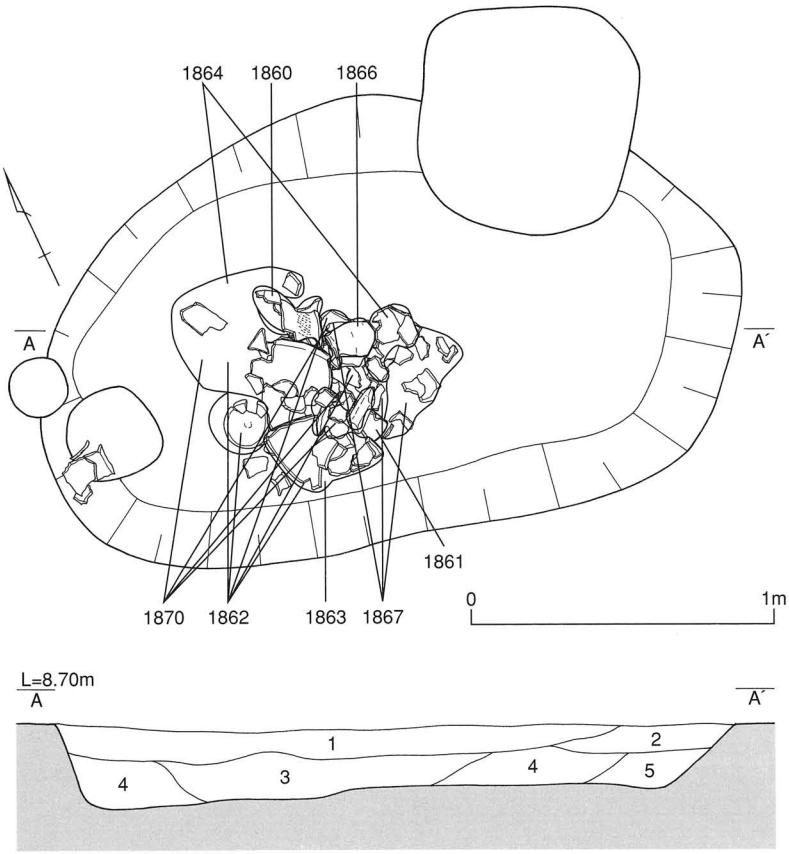
土層　1層

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の3点である。

時期　弥生時代中期後半



第315図　SK2077出土土器



1　にぶい黄褐色　10YR4/3　粘質土　　4　オリーブ褐色　2.5Y4/4　粘質土
2　褐色　10YR4/4　粘質土　　5　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土（粒子が細かい。）
3　にぶい黄褐色　10YR5/3　粘質土

第316図　SK2078平・断面図、遺物出土状況（S＝1/25）

土坑（SK2078）

位置　10区

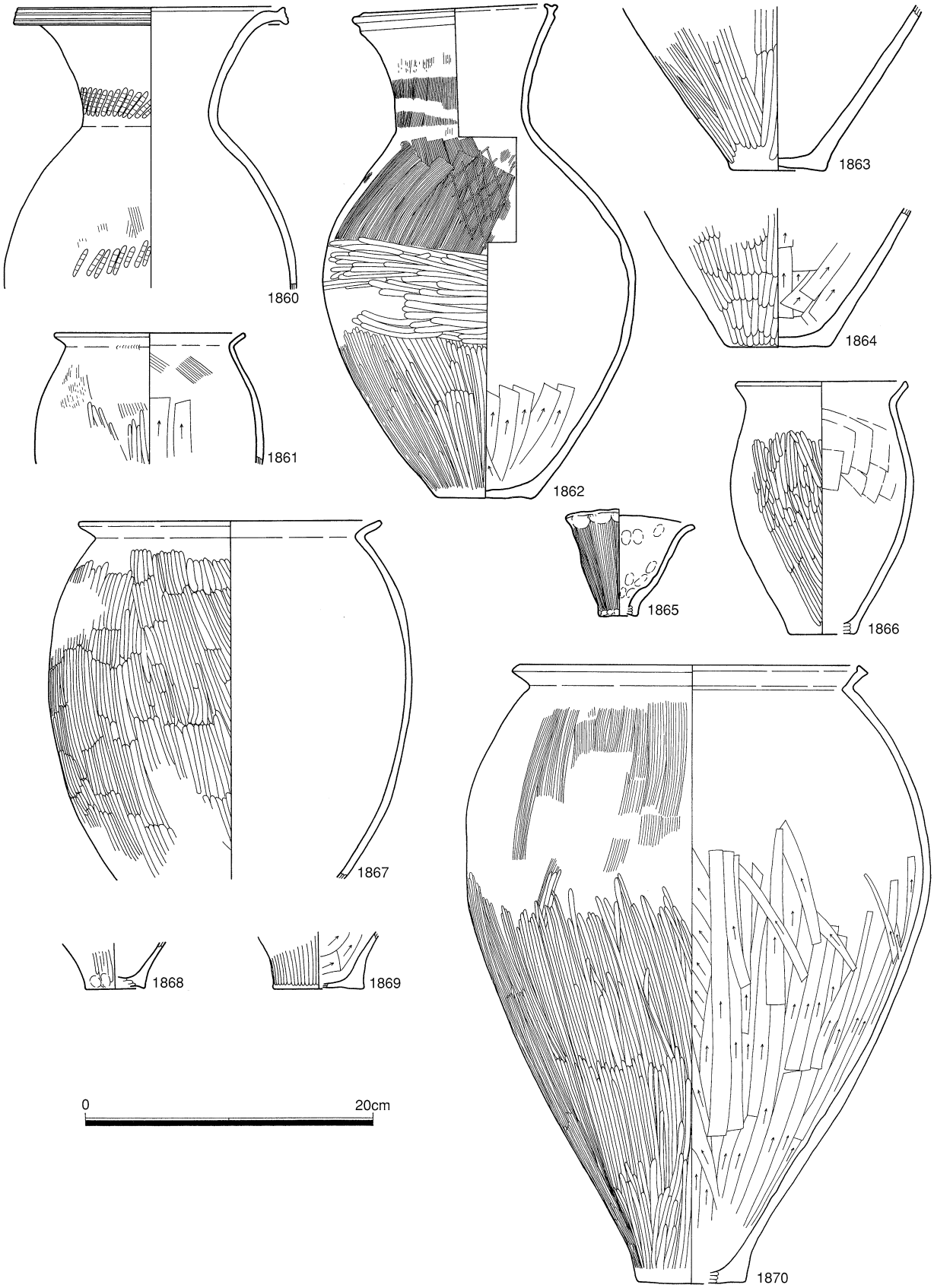
Loc.D 2　εⅠ・Ⅱ　r20～1

平面形　楕円形

土層　5層

遺物出土状況　覆土から土器が出土している。出土状況図にあるように、土坑中央やや南西よりで、まとまって検出されている。図示できた土器は、壺、甕、鉢の11点である。

時期　弥生時代中期後半



第317図　SK2078出土土器